

演 習 林 年 報

2012年度活動報告等

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林
2013.6

はじめに

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林は、北海道から愛知県までの地域にある7つの地方演習林と弥生キャンパスにある企画部および教育研究センターからなる組織で、「森を知る」、「森を護る」、「森を育て役立てる」ための教育と研究が幅広く進められています。1894（明治 27）年に日本で最初の大学演習林として千葉演習林が設立されており、来年 2014 年で 120 年が経過するという長い歴史を持ちます。千葉演習林の設立以降、北海道演習林、秩父演習林と設立されていき、総面積 32,300 ヘクタールを有する現在の7か所の地方演習林となっていました。各地方演習林には、それぞれの地域の気候、地質と地形、歴史を背景とした特徴ある森林が生育しています。

国立大学法人の活動は6年を1期とする中期計画の下に進められていますが、森林の管理運営を含めた東京大学演習林の活動はより長期的な視野を必要とするため、従来から10年を1期とする試験研究計画のもとで進められてきました。2011 年度からは、新たな10年計画である「演習林教育研究計画 2011～2020」の期間となりました。これまで各地方演習林の試験研究計画が地方演習林ごとに策定されていたところを、演習林全体のまとまりと地方演習林のそれぞれの役割の明確化を図り、一つの「演習林教育研究計画」として進めるなど、かなり大きい変更がありました。7つの地方演習林のうち生態水文学研究所（旧愛知演習林）と富士癒しの森研究所（旧富士演習林）について、特定テーマへの個性化を図るとして、樹芸研究所とともに「研究所」の名称となったのは2011 年6月からでした。

この「年報」で報告の対象とする2012 年度は、2011 年3月11日の東日本大震災から1年と少し経過した時期からの「演習林教育研究計画 2011～2020」の2年目にあたる期間です。生態水文学研究所、富士癒しの森研究所など変更された名称も次第になじまれてきたと思われます。名称変更のなかった地方演習林でも教員、職員に新計画の意図が定着したと考えています。その一方、「演習林教育研究計画」がめざす成果達成に向けて更に務める必要があります。

本冊子は「演習林教育研究計画」にそった着実な活動がなされているかを振り返るための基礎資料として作成しています。学生・院生の研究フィールドや学内外の実習、全学体験ゼミナールでの利用をはじめ、附属演習林全体の活動、記録を掲載しました。有効な利用を期待しています。

2013 年 5 月

東京大学大学院 農学生命科学研究科
演習林長 鈴木雅一

目次

はじめに

演習林の概要	1
組織図	2
演習林の活動	
各地方演習林活動	
千葉演習林	4
北海道演習林	6
秩父演習林	8
田無演習林	10
生態水文学研究所	12
富士癒しの森研究所	14
樹芸研究所	16
教育研究センター	18
各委員会活動	
各常置委員会報告	19
その他委員会報告	29
演習林活動の統計	31
資料	
教育活動	
大学院講義等	34
学部講義等	36
他大学の非常勤講師	38
招待講演・講師の派遣等	39
森林生態圏管理学大講座ゼミ	43
演習林研究部ゼミ	44
実習等	45
研究活動	
演習林技術職員等試験研究・研修会議	47
教職員の論文等	49
学会発表等	54
著書	59
外部資金によって行われた研究	60
学外各種委員会等委員	64
社会連携	
公開講座・セミナー等	66
講師の派遣等	70
国際交流	
交流事業	74
国際シンポジウム	74
共同研究	76
海外渡航	77
出版広報活動	
演習林報告	78
演習林	79
科学の森ニュース	80
演習林出版物	81
新聞・雑誌・放送等	82

利用状況	
演習林を利用して行った論文等	84
全利用者	87
研修	
技術職員	127
事務職員	127
安全衛生	
安全・防災のための講習会等	128
資格取得のための講習等	128
災害統計	129
山火事予防活動	129
人事異動	130
予算配分と収入	
予算配分	131
収入	131
演習林林産収入細分表	131
組織図	
企画部・教育研究センター	132
千葉演習林	133
北海道演習林	134
秩父演習林	135
田無演習林	135
生態水文学研究所	136
富士癒しの森研究所	136
樹芸研究所	136
管理	
管理業務実行位置図	138
管理面積集計表	142
林相別蓄積集計表	142
植栽樹種	142
立木伐採量	143
育林実行量	144
素材生産総括表	146
土木実行総括表	146
道路現況	146
各演習林所在地及び連絡先	147

演習林の概要

1890年に東京農林学校が帝国大学に併合されて農科大学となり、1894年にはその附属施設として日本で初めての大学演習林が房総半島の南東部に位置する清澄に設けられた。これが、今日の東京大学千葉演習林の始まりである。引き続いて、教育研究目的や森林の生態的な特性を考慮しながら、北海道演習林(1899)、秩父演習林(1916)、生態水文学研究所(1922)、富士癒しの森研究所(1925)、樹芸研究所(1943)、田無演習林(1929)が設置され、さまざまな森林帯にわたる約32,000haの広大な面積の、世界的にも貴重で多様な森林資源を守り育ててきた。さらに、2000年度には大学院重点化が行われ、従来から関係の深い森林科学専攻ならびに関連分野の研究者との教育・研究協力関係を一段と発展させながら、大学院農学生命科学研究科の他の附属施設(農場、牧場、水産実験所、動物医療センター、緑地植物実験所)とともに生圏システム学専攻の協力講座として新たなスタートを切り、大学院教育にも主体的に参画している。現在、東京大学演習林は7つの地方演習林と研究部から構成され、企画部・教育研究センター(旧研究部)を中心に演習林全体としての共通理念に立脚しつつ、各地方演習林独自の試験研究計画にもとづいて多くの教職員等が共同で管理する森林や多数の試験地によって支えられ教育研究および社会連携を進めている。

千葉演習林は暖温帯に位置する総面積約2,200haの日本で最初の大学演習林である。スギ、ヒノキ、マツ類などの主要造林木の育成技術と持続的森林施業に関する試験を100年余にわたって実施してきた。また、モミ、ツガや広葉樹からなる貴重な天然林を有し、学内外のさまざまな分野の研究・教育に大きく貢献している。近年では、特に自然史や生態系に関する調査、研究を幅広く行っている。

北海道演習林は亜寒帯に位置する総面積約23,000haの、東京大学では2番目に古い演習林である。択伐施業の実証的・理論的研究によって、林学と北方林業の発展に寄与してきた。各種の試験林が造成される一方、奥地天然林には11,000haの鳥獣保護区が設けられるなど北海道の森林動植物に関する各種の調査・研究に利用している。特に1958年以降、北海道演習林の天然林全域を対象として、北方林の持つ環境保全機能と木材生産機能との調和を図る一大森林施業実験「林分施業法」が実施しており、その成果は国内外から高い評価を受けている。

秩父演習林は冷温帯に位置し、総面積約5,800haと東京大学では2番目、青森県以南の大学演習林では最大の面積を有する演習林である。険しく多様な山岳地形の中にあり、森林植生は変化に富み、生物相も多様である。大面積にわたる貴重な天然林を対象に森林生態系に関する調査・研究を数多く行っている。また、急傾斜の山岳林における人工林施業法、映像情報による森林情報の収集・蓄積・利用などに関する研究も行っている。

田無演習林は本学農学部キャンパスに近い西東京市に設けられている総面積約9haの演習林である。大学に近いことや、土地が平坦なことから造林学、森林植物学、森林動物学などの生物系の圃場実習や室内実験に多く利用されている。

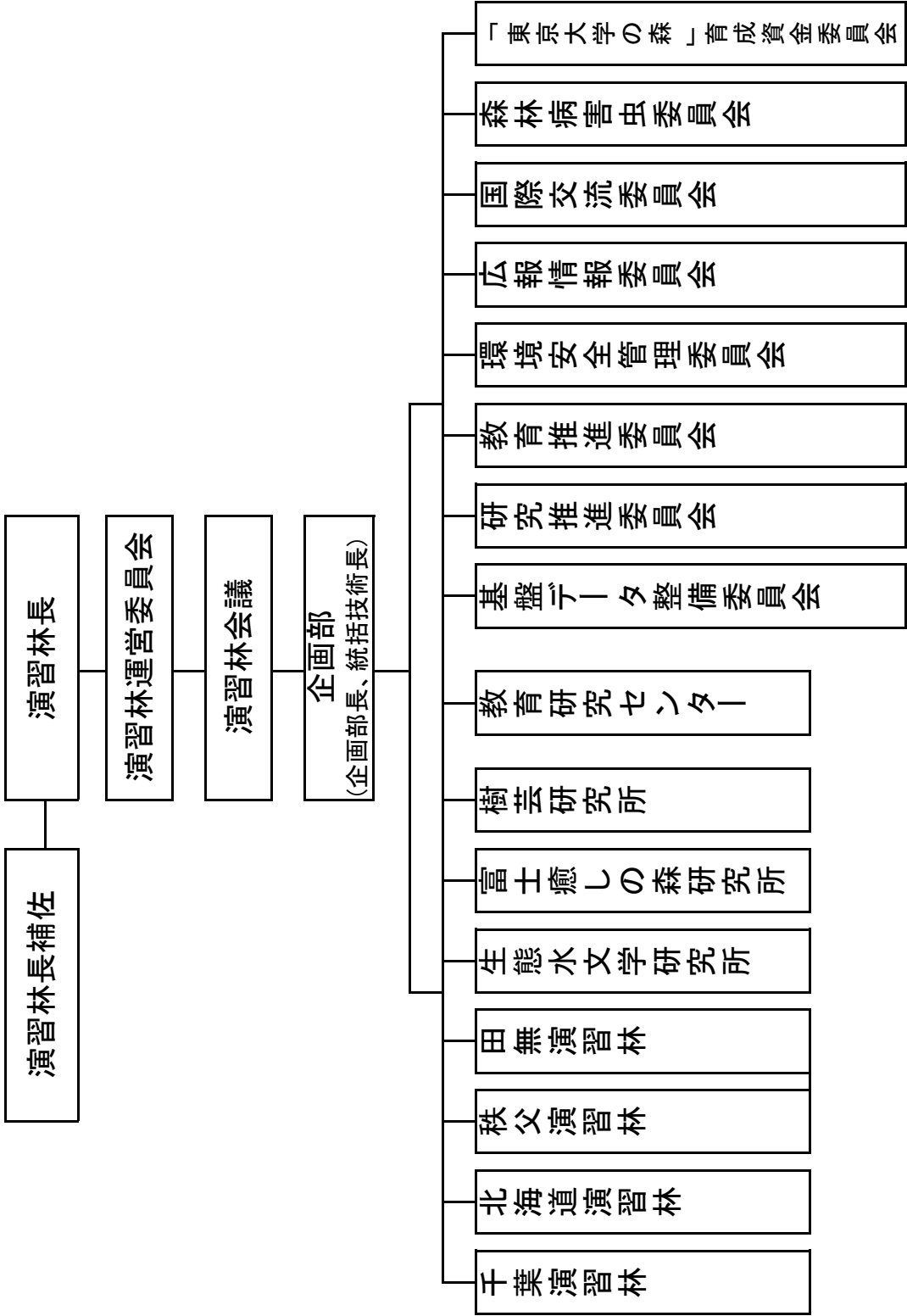
生態水文学研究所は崩壊の起きやすい花崗岩地域に設けられた総面積1,300haの演習林である。生産性の低い立地における森林水文ならびに森林植生回復に関する研究を主に行っている。70年にわたる量水観測は、わが国における土壤保全、水文研究の科学的、技術的発展に重要な役割を果たしてきた。また今日では、都市近郊林としての保健休養・環境保全機能や、河川の不安定化、洪水の増大などで苦しんでいる熱帯地域への国際協力面でも貢献が出来ると考えている。

富士癒しの森研究所は富士山麓山中湖畔に位置する総面積約40haの演習林である。立地条件を生かして森林の保健休養機能の解析や景観評価、環境教育に関する研究を行っている。また、演習林の一部には東京大学の学生・教職員の休養施設が設置され活用されている。

樹芸研究所は伊豆半島南端の温暖な地にある総面積約250haの演習林である。特用樹木の利用と育成に関する基礎研究や演習林内に泉源を持つ温泉熱を利用した温室における熱帯・亜熱帯産樹木の育成と展示を行っている。

農学部(弥生)キャンパスに設置されている企画部・教育研究センターは東京大学演習林の教育研究活動の中心であり、演習林全体の試験研究計画の円滑な実行を支援している。さらに、多方面の演習林利用希望者の便宜をはかること、共同研究の企画調整、各演習林の気象等観測結果のデータベース化と観測・研究成果の公表の場としての「演習林報告」および「演習林」の編集・発行、森林科学関連学術雑誌の図書館機能、インターネット等を利用した情報公開促進・広報等、東京大学演習林全体に関わるさまざまな役割を担っている。

組織図



■演習林の活動■

■各地方演習林活動■

千葉演習林

【教育】

東京大学における専門教育として、農学部の森林系専修を対象とした4科目（造林学実験、森林植物学実験、森林経理学実習、森林計測学実習）および大学院の各研究科を対象とした5科目（農学生命科学研究科：フィールド科学総合演習、新領域創成科学研究科：地域自然誌論・自然環境学野外総合実習、理学系研究科：地球惑星環境学野外調査Ⅰ・地質学野外実験Ⅱ）の実習で、のべ570人日の利用を受け入れ、また教養教育として、全学体験ゼミナール3科目（危険生物の知識、野生動物の保護管理、房総の森林と生業を学ぶ）で、のべ162人日の利用を受け入れた。また他大学の実習3科目で、のべ139人日の利用を受け入れた。

【研究】

研究課題のうち「持続可能な人工林経営を实践する理論と技術の高度化」では、森林組合と共同で2013－2017年の森林経営計画を策定し千葉県に申請した。5年間の計画で、皆伐は毎年実施することとし、搬出・伐り捨て間伐は2013年と2015年に森林管理・環境保全直接支払制度の助成を得て実施することとした。「林木の育種と増殖技術の開発」では、アカマツ抵抗性クローン採種園の整備のため2クローンを追加移植した。採種園のアイグロマツ2クローンについて、雑種性はクロマツに近く、かつマツ材線虫病抵抗性が高い家系であることを明らかにした。テーダマツ、ヒメコマツ、アカマツのさし木試験の生存率は、電気温床マットの有無による差がなく、それぞれ40%、37%、0%となった。またキヨスミミツバツツジのさし木試験の発根率は、ビニールトンネル低温湿層処理、ホルモン処理、摘葉処理で、それぞれ30%以上となった。「絶滅危惧植物の保全に関する研究」では、ヒメコマツ天然成木由来の実生苗のマツ材線虫病抵抗性を検証した結果、孤立木由来家系の生存率が25%と最も低く、小集団化による自殖が抵抗性を低下させることが示唆された。また演習林内に自生する実生を探索し、核SSRマーカーにより親子解析を行った結果、実生の自殖率は57%と高く、実生の生残に近交弱勢の影響が生じていることが示唆された。「房総丘陵における暖温帯林生態系の保全・管理」では、二次林に対するニホンジカの影響を明らかにするために下層植生調査、土壌動物サンプリング、リター分解速度の追跡調査、全天写真の撮影を実施した。また区画調査法による野生生物の生息数調査を実施し、ニホンジカの生息密度の推定を行った。

また「基盤データ整備」として、気象部門では、札郷観測所において月2回、気温・湿度・降水量・日射量・風速・風向のデータ回収を実施した。水文・水質部門では、袋山沢・新田観測点において月2回、水位のデータ回収を実施した。生物部門の植物分野では、千葉県立中央博物館と共同で、植物相の調査と植物標本の収集をのべ16日間実施し、1年間で270種777点の植物標本を作成した。さらに森林博物資料館に収蔵されている旧植物標本の画像撮影とリストの作成を進めた。また保護対象樹木について、樹種・位置情報をデータベース化するとともに、案内板の再設置を進めた。脊椎動物分野では、4月から3月までの354日間、センサーカメラを設置して定点観察を行い、21種を確認した。鳥類分野では、4月から5月にポイントセンサスを20回実施し、26科49種および外来1種を確認した。さらに3月から6月に巣箱の定点観察を28回実施し、シジュウカラ2個体の巣立ちを確認した。昆虫分野では、千葉県立中央博物館と共同で任意採集を月2回実施し、さらにピットフォールトラップ等の設置・定期回収を実施した。GIS部門では、レーザー距離計とGPSを組み合わせた測量システムにより植栽地・間伐地のデータベ

ースを作成した。また林野庁「デジタル森林空間情報利用技術開発事業」により全域の 3D 対応デジタル空中写真が整備された。また新規 GIS オペレータを養成した。

【社会連携】

毎年好評を得ている春の新緑と秋の紅葉時期の一般公開を開催した（合計 4,585 名参加）。また人の沢山集まる清澄寺の節分会に合わせて森林博物資料館の公開を実施した。さらに地域交流協定を結んでいる鴨川市と「野鳥の巣箱をかけよう」、「東大キャンパスツアー」を開催するとともに、毎年恒例となっている鴨川市立天津小学校 5 年生を対象とした「緑の教室」を開催し、子供たちは木登りや丸太切り体験、また森林散策などを通して森林の役割と生活への関わりについて学んだ。君津市では「スクールミュージアム」と題し、君津市立坂畑小学校 5、6 年生を対象に七里川溪谷において水生生物や地層の観察を行うなど地域と密着した活動を行った。千葉大学海洋バイオシステム研究センターとの共催で「高校生のための森と海のゼミナール」を開催した。その他ボランティア団体と連携して数多くの観察会を実施した。

【施業管理】

伐採：主伐は池ノ沢（22 林班 C10a 小班）で、2011 年度からの同一契約分について前年度から継続して伐採を実施し終了した（表-1）。2013 年度伐採予定地の小屋ノ沢（23 林班 C3 小班）、今澄（40 林班 C6 小班）の立木販売を行った。2014 年 3 月までに伐採終了予定である。収入間伐は 2012 年度はなかったが、2013 年度に予定している（表-2）。

育林：新植、下刈り、除伐、枝打ちに関しては、直営により実施中で（表-3）、新植地では、植栽後にシカ防除柵を設置した。急傾斜地であり、前年度は通常の防獣柵の高さでは侵入を防ぎきれず食害がみられたため、防獣柵の高さを高くした。枝打ちは方針通りヒノキのみで実施した。保育間伐は、補助金を活用し実施した。

（表-1）主伐実行量

年度	2012	2013(予定)
伐採面積(ha)	1.23	1.64
伐採材積(m ³)	479	714

（表-2）収入間伐実行量

年度	2012	2013(予定)
伐採面積(ha)	0	2.61
伐採材積(m ³)	0	249

（表-3）2012年度育林実行量

作業種	新植	下刈り	除伐	枝打ち	保育間伐
林齢		4	10～15	35	22～32
面積(ha)	0.53	0.75	3.47	0.79	7.80

【その他】

安全衛生：昨年に引き続き定期的に各種会議や研修会を実施し安全衛生に努めてきたが、3 件の災害が発生した。その内 1 件は鉋による切創、残り 2 件が通勤中の車両衝突事故である。幸いいずれも大きな事故に至らずに済んだが、更なる安全意識の向上に努めている。また主だった活動としては、職員の異動等により更新した緊急連絡網の到達時間についての抜き打ちでの確認や、防火担当責任者・火元責任者の変更および表示板の更新を行った。また、産業医指導のもと喫煙場所（天津事務所 2 カ所、清澄学生宿舎 1 カ所、清澄講義室 1 カ所、札郷宿舎 2 カ所）の登録を行った。

北海道演習林

【教育】

学部・大学院の専門教育として、農学部授業科目「森林科学総合実習」を森林科学専攻と共同で担当実施するとともに、大学院の授業科目3件（農学生命科学2件、新領域創成科学1件）、北海道大学授業科目1件（サステイナビリティ学教育研究センター）を受け入れた。また、卒業論文研究3件（帯広畜産大）、修士論文研究4件（東京大2件、北海道大1件、岩手大1件）、博士論文研究3件（東京大2件、北海道大1件）を受け入れ、これらの実行を支援した。この中から、卒業論文3篇（帯広畜産大）、修士論文2篇（東京大1篇、北海道大1篇）が作製された。その他、学会のエクスカージョンや研究室のゼミ合宿等計4件を受け入れた。

教養教育として、教養学部授業科目「全学体験ゼミナール：雪の森林に学ぶ～北海道演習林」を開講するとともに、2件の全学体験ゼミナールを受け入れ実施を支援した。また、他大学の実習科目1件（同志社女子大）を受け入れ、プログラムを作成・提供するとともに指導を行った。

本学の体験活動プログラム「森が社会に貢献するー持続可能な森づくりへの挑戦ー」を実施するとともに、同プログラム1件の実施を支援した。

初等・中等教育支援として、科学技術振興機構が主催するサマー・サイエンスキャンプ「森林の未来は？～森を知り、持続的な取り扱いを考える～」を開催した。また、文部科学省スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業として実施された校外研修（札幌啓成高）、教育学部附属中等教育学校の宿泊研修を受け入れ、それぞれプログラムを作成・提供するとともに指導を行った。帯広農業高（森林科学科）、旭川農業高（森林科学科）、とわの森三愛高（獣医進学コース）の3件の研修、および富良野市内小学校の総合的な学習の時間（1件2回）、富良野圏域の教育研究会部会の研修研究会（2件）を受け入れ、指導を行った。

技術者教育として、国際協力機構（JICA）および日本国際協力システム（JICS）の研修計3件、林業経営者や木材企業の団体による研修会2件を受け入れ、それぞれ指導を行った。

【研究】

「汎針広混交林帯における森林生態系の持続的・順応的管理」を課題として掲げ、森林生態、森林経営、森林生態系保全の3分野のもと、以下の活動を行った。

森林生態分野では、大面積長期森林生態系観測として前山コアプロットの定期測定を行った。微生物の生態と生物間相互作用として、エゾマツ青変病の萎凋機構に関する実験を行った。野生動物の生態として、エゾシカのライトセンサスとナキウサギの自動撮影装置によるモニタリングを継続実施した。施業に伴う攪乱と森林構造の変化として、天然林施業試験地の測定を継続するとともに、これまでに蓄積された測定データをもとに単木択伐が林床植生（ササ）の密度と樹木の更新に与える影響の定量化を行った。生態遺伝特性と遺伝子資源の保全として、エゾマツの接木増殖を林木育種センター北海道育種場と共同で実施した。森林生態系の基礎情報の収集として、前山地区および東山・老節布地区の航空機レーザー測量を実施するとともに、全演基盤データ整備委員会の活動とも連携の上、気象観測、水文・水質観測、主要樹種のフェノロジー観測、および動植物の生物相・分布域など生物情報の収集を継続した。また、気象観測データをもとに長期の年平均気温変動の推定を行った。

森林経営分野では、林分施業法の科学的・技術的基盤の強化として、過去の施業図面のデジタル化に着手した。また、ハンディ GNSS 受信機の測位精度試験を行うとともに、GNSS 受信機を用いた林種区分測量を試験的に導入した。更新保育施業による天然林再生技術の確立として、暗

色雪腐病菌の制御を目標とした積雪制御林内実証試験を行った。また、ロータリークラッシャーを用いて土壌を保全しながらササを除去する新たな地拵え作業を試験的に実施した。エゾマツ苗生産システムの確立として、昨年度に引き続いて苗畑病害（リゾクトニア苗立枯病および暗色雪腐病）の病原学的解析とこれらに対して使用可能な農薬製剤を確保するための適用登録拡大試験を実施するとともに、マルチキャビティコンテナを用いたコンテナ苗育成に及ぼすコンテナ容量・施肥・冬期屋内冷蔵の効果、およびコンテナ苗植栽に及ぼす植栽時期・コンテナ容量・地がき強度の影響について継続調査を行った。その他、導入針葉樹種の適応性について、50年間の生育状況をもとに明らかにした。

【社会連携】

一般公開事業として、公開セミナー「森林環境の保全と持続的な木材生産～初夏の演習林を散策しながら～」、および大麓山ハイキング登山会を開催した。神社山自然観察路の一般公開を春季と秋季に各2日間開催した。また、3年目となる富良野地区合同ワークショップ「富良野地方の美しい農山村景観維持のために」を南富良野町および富良野市（予定）において開催した。道北地区博物館等連絡協議会の研修会を受け入れるほか、富良野市や旭川市の教育委員会による生涯学習事業、計3件を受け入れた。

【施業管理】

立木伐採は資材量にして25,831 m³（うち天然林16,582 m³、人工林9,249 m³）を実行した。このうち、人工林の526 m³は森林整備加速化・林業再生基金による間伐事業として実施した。伐採量のうち2,422 m³については素材生産・販売を行った（直営729 m³、再生林請負994 m³、基金間伐526 m³、委託販売106 m³、危険木処理67 m³）。立木および素材の販売額は合計97,283,815円で、うち立木が55,321,700円、素材（委託販売を除く）が23,751,450円、委託販売（銘木市売）が18,210,665円であった。山出苗生産本数は17.5千本（トドマツ7.0、エゾマツ8.2、アカエゾマツ2.3千本）、地拵、植付、下刈の実行面積はそれぞれ15.8、18.4、62.0 ha（暫定値）で、林道の改良距離は44.2 kmであった。森林保護に関して、春期に山火予消防活動（監視および啓発）を、春と秋に野鼠発生予察調査を、冬期に猟友会および富良野市と共同でエゾシカの有害獣駆除（2回）を、それぞれ実施した。また、特定試験林（試験地）の測定を、計画に則って実行した。なお、末無沢において北海道による治山工事（床固工）が開始された。

土地資産に関して、道道用地として6,740 m²を売却した。立木補償は5件で計2,079本と生垣7.5m、総額8,203,351円であった。国土調査法による地籍調査事業が平沢地区と老節布地区の一部で開始され、今後30年以上をかけて演習林全域の境界（国有林・道有林界を除く）が確定される予定である。その他、国道38号線三ノ山峠登坂車線増設に伴って土地を譲渡予定である。岩屋地区の道道544号線（麓郷街道）未改良区間は、地質調査の結果線形設計からやり直すこととなった。東郷ダムの湛水敷地減少に伴って用地返還に係る協議を開始した。麓郷神社敷地、麓郷八十八ヶ所石仏群（無番三体を含む）など、越境状態の解消に向けて本部資産課および研究科資産管理担当と連携しながら取り組みを進めている。

【その他】

環境安全管理について、環境安全委員会を毎月開催し、安全で健康的な職場環境を整備することの方針のもと、休業災害ゼロ、5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底、基本動作の励行、の3点を目標に掲げ、教育研究安全衛生MSの実行を中心に環境安全管理を推進した。農学特定支援員として、富士吉田市外ニヶ村恩賜県有財産保護組合より職員1名を1年間受入れた。

秩父演習林

【教育】

（１）学位研究の受け入れ

本学の学部課程 0 名，修士課程 6 名，博士課程 4 名，他大学の学部課程 4 名，修士課程 8 名，博士課程 2 名が学位取得のための研究を行った。秩父演習林は研究計画の指導・助言，研究地への送迎，野外調査の補助，試験地の維持管理などの協力を行った。

（２）大学実習の受け入れ

本年度，秩父演習林で実施された本学の实習は，森林科学専攻の実習 4 件，他専攻の実習 2 件，他研究科の実習 3 件，教養課程の全学体験ゼミナール 1 件，総合科目 1 件であった。他大学の实習として，早稲田大学動物保護管理学実習と首都大学東京動物系統学実習が行われた。川俣学生宿舎ののべ利用人数は 972 人，のべ利用日数は 68 日間であった。

（３）K-12（幼稚園～高校）活動の受け入れ

K-12 活動として，犬山市立今井小学校探鳥会への講師派遣，秩父市立影森中学校林間学校・東京都立墨田川高校生物実習・埼玉県立熊谷高校 SSH 生物野外実習への講師派遣および実習地提供，秩父市立秩父第一中学校職場体験「仕事発見 DAY」の実習生受け入れを行った。

【研究】

（１）冷温帯森林生態系に関する研究

成果として，原生林固定試験地（15 箇所）の 1970～2007 年度の毎木調査と 2011 年度の立木位置調査のデータ，亜高山帯風害跡地試験地の 1971～2008 年度の毎木調査データを発表した。また，1994～2003 年度に採集されたキクイムシ類の種リストを発表した。さらに，年平均気温の長期データの推定結果，河川水の化学組成の予備調査結果を発表した。定期調査として，再生林固定試験地（15 箇所）・人工林固定試験地（12 箇所）の毎木調査・ライトセンサス・気象水文観測を実施した。また，大面積プロット（27・28 林班ろ小班）の立木位置測定を実施した。さらに，秩父演習林内に自生する木本種の物理化学特性を計測するとともに，シカ GPS テレメトリーの実施やシカ排除試験地の設置など，植生保護に向けた実証研究を開始した。

（２）情報工学分野との融合研究

前年度に続き，ロボットカメラによる森林景観と樹木フェノロジーの映像・音声記録，鳥類相の遠隔調査，環境教育教材の開発に関する研究が行われた。

（３）山村社会に関する研究

前年度に続き，山村社会の変化と資源，山村振興に関する研究が行われた。

（４）基盤データ整備

引き続き各部門分野の情報収集が進められた。水文観測部門ではバケモノ沢量水堰堤について，推移を流量に換算するための換算式を実測に基づき作成した。GIS 部門では長期計画の策定や民間企業との連携によりデータ集積が進み，林班現況や路網等のベクターデータ，林内全域の航空機レーザー測量データなどが整備された。

【社会連携】

公開講座・セミナー等として，公開講座を「東大の森林で昆虫採集」（8 月，参加者 15 名）と「水源の山を訪ねて～森林と水の研究～」(2 月，参加者 21 名)の 2 回開催した。この他に，自由見学日（5,10 月，参加者 73 名），ワサビ沢展示室特別開室（10 月，来場者 23 名），「東京大学

の森」育成資金イベント（10月，参加者18名）を実施した。また，秩父市木材加工業者主催の「木が香る秩父フェスティバル」（5,11月，道の駅ちちぶ）に参加，秩父演習林の恒例行事となっている「影森祭」（12月，来場者約90名）を秩父演習林ボランティア「しおじの会」の協力を得て実施した。

教職員等の講師の派遣は，ニューギニア国昆虫研究所へ行った。学外各種委員会など委員は，埼玉県森林審議会委員，特別天然記念物カモシカ保護対策事業通常調査指導委員，埼玉県特定鳥獣保護管理検討委員会，秩父地域獣害対策協議会幹事会（以上，埼玉県），関東山地ニホンジカ広域協議会，モニタリングサイト1000検討会（以上，環境省），兼六園マツ等樹木保全対策指導者（石川県），技術部会（日本樹木医会），ナラ枯れ被害防止技術開発事業（林野庁補助事業）にかかる検討委員会委員，秩父山地緑の回廊等におけるニホンジカ等野生動物による樹木の樹皮剥離被害モニタリング調査事業検討委員会委員，JaLTER運営委員会委員などをはじめ様々な活動を実施した。

【施業管理】

植伐実行量は，立木伐採，植栽ともに実施しなかった。

育林実行量は下刈り2.10ha，枝打ち1.20ha，撫育間伐84.98ha，この他にシカ防護柵（3箇所，2.10ha）とクマ剥皮防除樹皮ガード（4箇所，7.55ha），の保守管理をボランティアの協力を得て実施した。撫育間伐は2010年度からの「埼玉県水源地域の森づくり事業」により実施しており，2012年度は，雪の影響で前年度に実行できなかった箇所47.49haと大血川地域2～4林班37.49ha（積雪の影響で一部2013年5月まで工期延長）を実施した。なお，撫育間伐の実施年度の変更に伴い，秩父市に認定された森林施業計画（平成23（2011）年9月1日から5か年）並びに2012年3月に登録されたJ-VER制度「東京大学秩父演習林間伐推進プロジェクト」の計画変更手続きをそれぞれ行い，2012年7月に承認された。

土木実行量は車道維持13,859m，歩道維持50,609m，モノレール維持3,067m（3路線）であった。また，サントリーホールディングス株式会社との間で締結した森林整備に関連して作業道2路線の新設を2,205m実施した。工事は東谷林道が拡幅工事に伴う改良工事，入川林道が谷止工設置工事，排水補修工事を実施した。その他に滝川軌道木製橋補修工事，設計調査業務として東橋橋梁調査や源兵衛橋設計を実施した。

災害関連では，台風などにより入川林道に一部土砂の流出や落石が発生したが（直営作業で除去），特に大きな被害はなかった。

田無演習林

【教育】

農学部の実習を6件、教養学部の実習（全学体験ゼミナール）を2件、情報学環の実習を1件実施した。今年度は新規にフィールド科学専修による実習利用があった。農学部実習のうち2件は連携する生態調和農学機構によるものである。全学体験ゼミナールの1件は田無演の教職員が主体的に関わって実施した、小中学生に対する指導体験を通じて樹木に関する知識とコミュニケーション力の向上を図ることを目標とする「都市の緑のインタープリター」である。

卒業論文研究等では卒業論文5件（うち本学3件）、修士論文3件（うち本学2件）、博士論文4件（うち本学4件）の利用があった。

【研究】

単回・通年利用を含め47件の申請があり、延べ1,014人の研究利用があった。内容別には都市林生態系や都市林の環境特性に関する研究が約4割、樹木の生理に関する研究が約4分の1を占め、その他研究材料の提供や実験設備の利用となっている。

分野の異なる利用者との交流を深め、研究可能性をさらに広げることを目的とした研究利用者交流会を6月5日に開催し、9題の報告がなされた。

従来無線LANで接続されていた第一苗畑と事務庁舎の間に光ケーブルを敷設し、一部林内でのインターネット通信環境を大幅に改善した。スギ観測鉄塔を延伸補強し、観測の利便性ならびに安全性を高めた。

【社会連携】

小中学生向け講座を3件、休日公開を5件実施した。近隣の中学校から4件延べ9日間職場体験を受け入れたほか、本学教育学部附属中等教育学校の総合学習2件を含め、中学校による校外学習を合計5件受け入れた。生活科の野外授業など小学校による利用は8件受け入れた。小中学生向け講座1件は全学体験ゼミナールの一部としても実施し、効率性を高めた。演習林資源を有効活用できるように学内教職員向けのリース作り講習会を今年度新規に1件実施した。

田無演習林ならびに生態調和農学機構での市民による20年間にわたる自然観察記録をまとめた企画展「東大農場・演習林の生きものたち～市民による自然観察記録・この20年～」(多摩六都科学館)の開催に協力した。

【施業管理】

実習及び研究用としてアカマツ、クロマツ、スギ、ヒノキの実生苗の育成を行った。そのほか、研究者から委託された様々な苗木育成のための苗畑管理（灌水や除草）を技術職員と技能補佐員で行なった。また、試験地として実験用に植栽された林の適切な管理を行うため、下草刈り等の作業を行った。

年間を通して多数の見学者が来演するため、見学コース沿いの腐朽木、傾斜木、枯れ枝がある木等の危険木は随時、職員が処理して安全性の確保をはかった。特に、樹木園内の老齢の衰退大径木については、倒木等の危険回避のために、ソメイヨシノ1本、アカマツ2本の伐採を行い、その他樹木の枯損枝等の除去を高所作業車で行った。また、見学路柵の修繕も定期的に行った。

このほか、敷地境界からはみ出した枝の処理を適宜行い、第4期教育研究計画で示した、隣接する民地にかかる支障樹木の伐採を直営で5本、請負で18本行なった。

【その他】

9, 10 月にヒヤリハットが 2 件発生した。6 月に開催した利用者交流会において、田無演から環境安全管理についての情報提供を行い、利用者の安全管理に努めた。兼務先の生態調和農学機構からの MS ユニット独立は未実施のままとなっている。

芝野技術専門員が 1 月 21 日から 3 月 20 日まで、農学生命科学研究科実務研修を附属牧場にて行った。

「東京大学の森」育成資金に 1 名の寄付をいただいた。「武蔵野に大学の森をたずねて～東京大学田無試験地の 80 年～」を 50 冊販売（3 冊寄贈）、「森たび 東京大学演習林の見どころ 100」を 92 冊販売した。

生態水文学研究所

【教育】

農学部森林生物科学専修・森林環境資源科学専修の森林保全学実習を5月29～31日、測量学実習を9月24～28日に田中、蔵治らが行った。田中はこのほか弥生キャンパスで夏学期毎週木曜日午後に行われた実習もすべて受け持った。教養学部前期課程夏学期総合科目「ダムと森林」のフィールドワークを蔵治、田中らが6月2～3日、冬学期全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」を蔵治、田中、岩井らが2月23～25日に行った。南山大学（6月16～17日）、筑波大学（8月27～31日）、名古屋大学（12月13日）の講義、実習を受け入れた。東京農工大学から農学実験研習生1名を岩井が受け入れ、奄美大島における野外調査を指導した。

【研究】

白坂・穴の宮・東山・犬山にて気象、水文観測、雨水・溪流水サンプリング、水質分析、長期生態系プロットにおける毎木調査、リター調査、種子調査、地上徘徊性昆虫調査、鳥類調査を継続し、その結果の一部を環境省モニタリング1000事務局に提出した。過去の記録紙の読み取り、マイクロフィルム化されていない最近の記録紙のPDF化、過去のデジタルデータをCD-Rと紙媒体で永久保存する作業を進めた。白坂・穴の宮（2000、2001年）、東山（1991～2001年）の日降水量・日流出量観測結果報告（Ⅷ）および昭和30年当時の観測責任者からの報告文が「演習林」に掲載された。蔵治らにより穴の宮における日降水量の再計算結果報告（Ⅰ）も「演習林」に掲載された。白坂の気温長期変動の論文が田中らにより「演習林報告」に掲載された。穴の宮の直接流出量の五名らの論文が日本森林学会誌に掲載された。この研究成果は毎日新聞と東京新聞に紹介された。中部森林学会にて、赤津で実施した樹液流速の研究を田中ら、長期生態系プロットの種子生産量の研究を澤田らがそれぞれ発表した。第3回森林と水国際会議にて、犬山の林内雨・樹幹流の研究を田中ら、穴の宮の水収支を蔵治ら、穴の宮の直接流出量の変化を五名らがそれぞれ発表した。水文・水資源学会にて、穴の宮の直接流出量の研究を五名らが発表した。アジア大学演習林コンソーシウム第5回シンポジウムにて、赤津の長期生態系プロットでのリター量の研究を岩井ら、種子生産量の研究を澤田らがそれぞれ発表した。日本生態学会にて、犬山・穴の宮・赤津の生態系プロットにおける成長量の研究を岩井らが発表した。日本森林学会にて、犬山の林内雨の研究を田中ら、犬山の流出の研究を蔵治ら、穴の宮の水収支を五名らがそれぞれ発表した。日本森林学会の研究集会「森林水文ワークショップ2013」にて蔵治、田中、五名が発表した。生態水文学研究所90周年シンポジウム（後述）にて、最新の研究・モニタリングの成果を五名、澤田、松井が発表した。シンポジウムの翌日に「第3回森林水文学を考える若手研究者の会」を五名らが主催した。基礎生物学研究所第24回生物学技術研究会にて、長期生態系プロットの種子生産量の研究を澤田らが発表した。農学生命科学研究科技術職員研修会にて、豪雨時の穴の宮の水文観測研究を井上ら、鳥の30年間の繁殖研究を松井らがそれぞれ発表した。技術職員等研究・研修会議にて鳥の30年間の繁殖研究を松井らが発表した。データ利用規則に基づき、京都大学の糸数氏からの申請を許可しデータを提供した。このデータを用いた研究が砂防学会および第3回森林と水国際会議にて発表された。5月1日に五名美恵特任専門職員、11月16日に新実夏美学術支援職員を採用し、研究スタッフの充実が図られた。農学共同研究員としてタイ王立灌漑局の水文学技術者であるNilobol氏を3か月間受け入れ、共同研究を推進した。

【社会連携】

三重中学校高等学校と豊田東高等学校とのサイエンスパートナーシッププログラム（SPP）を赤津研究林にて、それぞれ8月22～23日、11月7日に実施した。犬山市立今井小学校の探鳥会と犬山市立城東小学校の探鳥会にて松井がそれぞれ3回ずつ講師をつとめた。瀬戸市立幡山中学校から生徒1名が2日間、本所で職場体験した。演習林サポーターズクラブ「シデコブシの会」、犬山研究林利用者協議会による赤津研究林、犬山研究林の見学を希望する団体のガイドがそれぞれ7件、2件行われた。演習林サポーターズクラブ「シデコブシの会」の主催で赤津研究林案内人養成講習が、犬山市が主催で案内人養成講習が実施され、それぞれ18名、7名が補助者として認定された。犬山研究林利用者協議会との協働で、犬山研究林ふれあいゾーンの見学コースに道標と看板を設置した。瀬戸市との共催で、生態水文学研究所創立90周年記念シンポジウムを開催し、約200名が参加し、来賓として愛知県知事、瀬戸市長のご臨席を賜った。赤津研究林ふれあいゾーンの見学コース内約120メートルの急坂区間に手すりを設置した。瀬戸市との共催で、せと環境塾2012講座「森と水のエネルギー」を赤津宿泊施設に宿泊して開催した。瀬戸市環境審議会、「せと環境塾」運営委員会、犬山市環境審議会に蔵治が委員として参加した。ローカルFM局「尾張東部放送」の生放送番組「蔵治先生の環境講座」に蔵治が毎月一回出演した。

【施業管理】

第5期生態水文学研究所教育研究計画において4つにゾーニングした研究林を、それぞれの施業方針に従って管理した。危険の未然防止の観点から、瀬戸市と犬山市の公道沿いに発生したナラ枯れ木を伐採した。台風に伴う強風で穴の宮29林班のスギ人工林が隣接する住宅をかすめて倒れ、今後も倒木の危険があるため皆伐した。74林班においてマツ枯れ対策として地上からの予防散布を行った。例年5月までに実施していた74林班のマツ枯れ被害木の伐採・焼却処分（約10立米）が、静岡県の記事により今年度は行われなかったため、県事務所に今後確実に実施されるよう要請した。74林班のマツの枯死木調査を11月、3月に行った。

【その他】

技術主任の澤田が全演協森林管理技術賞学術貢献賞を受賞した。

富士癒しの森研究所

平成 24 年度は、第 4 期教育研究計画の 2 年度目として、前年度に行った「癒しの森プロジェクト」の基盤整備を踏まえて、実証林の調査・施業、「癒しの森」をテーマとした教育プログラムの実施など、プロジェクト遂行上の実質的な活動を開始した。

【教育】

大学の実習として、農学部の実習 1 件、大学院の実習 1 件、教養学部 5 件、工学部 1 件、他大学 2 件を受け入れた。学生体験活動プログラムとして「癒しの森の落ち葉たき」を受け入れた。新たに「癒しの森プロジェクト」にもとづく教養学部開講科目として、全学体験ゼミ「癒しの森をつくる（夏）（冬）」を開講・実施した。関連科目として、森林圏生態社会学研究室提供による総合科目「癒しの森を考える」も新たに開講・実施した。ゼミ合宿を誘致し、1 件のゼミ合宿が行われた。運動会学生との共同作業として、カラマツ間伐材とヒノキ間伐材を用いたテーブル、車止めを作成し、山中寮およびその周辺に設置した。当研究所を利用して 1 件の卒業研究が行われた。

【研究】

実証林各プロットにおいて、毎木調査及び測量による初期状態の記録を完了した。外部の研究者を交えて「癒しの森勉強会」を実施し、実証林での研究展開を検討した。フットパス設置に向けた情報収集および計画検討作業を開始し、北海道での研修旅行を実施した。また、地域住民を対象とした体験型公開講座を実施し、意見交換を行った。特別ガイドにおけるアンケート調査を継続的に行った。「癒しの森づくり」の観点から灌木・枝条の処理方法に関する技術比較を実施し、技術職員等試験研究・研修会議で発表を行い、演習林ゼミでの発表課題にも選ばれた。また、農学生命科学研究科技術職員研修では、富士山噴火を想定して検討を行った当研究所での防災対策についてポスター発表した。関東甲信地区大学演習林技術職員研修、第 5 回アジア演習林コンソーシアムの受け入れ主体として、癒しの森プロジェクトにかかわる研修プログラムおよび解説を提供した。気象観測施設の I 林班への移設、リアルタイムモニタリングシステムの構築にむけて、事務所に Live E! の観測機器を導入した。

当初の計画にはなかった事業として、以下を実施した。外部の技術職員を交えて簡易製材機に関する検討会を実施した。山梨県国際シンポジウム、山梨県環境ビジネス研究会、山梨県美しい県土づくり推進大会、農学生命科学研究科研究交流会、日本森林学会大会において「癒しの森プロジェクト」の取り組みについて報告した。

【社会連携】

計画通り春・秋・冬の 3 回、東大教職員向け特別ガイドを実施した。地域住民を対象とした体験型講座として、森林調査体験「癒しの森を測ろう」および「フットパス de 森づくり」を実施した。山口育英奨学会職員に研修旅行に同行してもらい、ともにフットパスについて知見を深めた。また冬季の山口財団奨学会所有林を訪問し、情報交換・意見交換を行った。荒山林業を訪問し、イベントにおける解説・話題提供を行った。これまでの寄付者に対して年賀状送付などのサービスを行った。東京大学の森育成資金を通じての寄付金は、今年度は得られなかった。ウェブサイトおよびブログを活用し、イベントの通知他情報発信を効果的に行った。古い情報の整理は十分にできなかった。東大職員を参加対象とした看板再生プロジェクトを実施し、事務所前の看板の

完成・公開イベントを実施した。専攻長・附属施設長会議が山中寮を会場に実施され、出席者に林内を案内した。高校の実習1件を受け入れた。

【施業管理】

森林整備では、刈払いは一部を除き、おおむね計画通り実施した。除伐はすべての予定区で実施できなかった。境界危険木処理は、市町村交付金相当額予算で外注により実施した。枯損木伐採は、気象条件が整わず予定区では実施できなかったが、整備の緊急性にかんがみ予定外の区や大風や台風被害による風倒木処理作業を各所で行った。試験地整理は、LTERのタグ番号の整理と現地打ち替え作業を行い完了した。小班界の杭打ち作業を予定していたが実施できなかった。施設整備では、歩道、車道共に全線の整備を行った。特に車道については、市町村交付金相当額予算で砂利敷設整備を外注により実施した。Ⅱ林班内の一部車道については、今後車道としての管理は行わないこととした。Ⅱ林班の物置とプレハブ倉庫については、老朽化により使用できない状態にあったため市町村交付金相当額予算で外注により取壊しを行った。

実証林整備は、区画設置、刈払い、枝条搬出を行った。整理伐は実施できなかったが、C区については技術職員研修の実習作業で区内の一部を伐採した。区内の毎木調査は、公開講座「森林調査体験」および、秩父演習林から技術職員2名の作業協力を得て完了することができた。林内掲示板の掲示内容更新を行った。名称変更に伴うパネル式看板の設置は、計画していた4ヶ所のうち、事務所前の看板については設置を完了した。事務所内に薪ストーブを設置し、事務所裏に薪棚3棟を外注により設置した。



看板再生プロジェクトで作成した新しい看板



東大教職員向け特別ガイド「冬の散歩道」

樹芸研究所

第4期教育研究計画において樹芸研究所では教育分野にエフォートを大きく割くこととした。特に2006年度より開始した前期教養課程の全学体験ゼミナールの実施に大きなエフォートを割いている。教育内容の充実と実施体制の効率化の両立が今後の課題であると認識し取り組んでいる。本学では今年度、正課以外の場での様々な活動をサポートする体験活動プログラムが試行された。農学生命科学研究科より演習林に対しても提案が求められたことに応え、樹芸研究所では新しいプログラムを構築し、実施した。その他、温室植物やユーカリ適応試験等の財産を活かす事業展開に取り組んでいる。今年度は *Eucalyptus piperita* および *E. elata* のクローン増殖を進めて、「見せる」ユーカリ林試験地造営へ着手したところである。

【教育】

- ・本学1～4年生 体験活動
「伊豆に学ぶ応用編 ー南伊豆という一地域との連携に学ぶー」
- ・農学部 国際開発農学専修3年生 実習
「森林実習」
- ・教養学部前期課程1, 2年生 総合科目 人間・環境一般
「伊豆に学ぶプラス1」, 「伊豆に学ぶプラス2」
- ・教養学部前期課程1, 2年生 主題科目 全学体験ゼミナール
「伊豆に学ぶ1」, 「伊豆に学ぶ2」
「夏版伊豆に学ぶ1」, 「夏版伊豆に学ぶ2」
「森に学ぶ (伊豆)」
「企画系さらに伊豆に学ぶ1」「企画系さらに伊豆に学ぶ2」

【研究】

- ・ユーカリ現地適応試験により選抜されたユーカリ10種の各種試験を行う。
学内・学外の協力体制を構築し、材の性能試験および加工特性試験を行うほか、萌芽試験を行う。
- 実生苗とクローン苗による新植を行い林分の生産性試験計画を推進中。
Eucalyptus piperita および *E. elata* のクローンは企業と連携して増殖に取り組んでいる。
「国産早生樹ユーカリ6樹種の材質特性」を木材学会誌に、「ユーカリ属における成長応力発生機構」をの本木材学会大会において発表した。
- ・温室に生育するビャクダンの心材成分生成に関する研究が行われた。
- ・区画法による野生動物調査, センサーカメラによる野生動物調査, 糞粒法によるシカ生息調査, アオキのシカ食害調査を行った。「1台のセンサーカメラがこの5年間に記録した南伊豆町のシカ出現頻度」を中部森林研究誌に投稿した。

【社会連携】(市民向け公開講座など)

- ・温室特別公開(第1, 2回: キャッサバからタピオカ餅作り, 第3, 4回: 樹芸産チョコレート作り, 第5, 6回: ユーカリ油蒸留実験とアロマキャンドル作り)
- ・温室本一芸ある植物たちーを刊行した。

【施業管理】

- ・ユーカリ次世代林造成に向けた苗生産の取り組み
- ・クスノキ林・ツバキ林・ハゼノキ林の萌芽による再生実験
- ・オフセット・クレジット(J-VET)制度を利用したの間伐事業の取り組み
- ・静岡県助成制度による間伐・作業道開設

【その他】

- ・2011 年度に引き続き、本学技術職員研修を実施した。参加者は昨年度 3 名、今年度 4 名。
- ・2012 年 9 月に非常勤の須藤和子氏が退職された。25 年 4 月より、代わりに渡邊沙季氏を雇用する予定。
- ・2011 年度、現職の事務職員が亡くなり、現在は技術職員が事務に当たっている状況。2011 年に引き続き、職員の採用可能数の再配分の申請を行った（研究科で 1 件）。

教育研究センター

【教育】

週 1 回のゼミ（演習林ゼミと教育研究センターゼミ）と指導教員との連携による個別指導を通じて、演習林に所属する学生（博士課程学生 6 名，修士課程学生 5 名，4 年生 2 名，研究生 1 名，合計 14 名）の卒論，修論，博論研究等の指導・支援を行うとともに，学生生活全般のサポートを行った。また，データ解析やプレゼンの講習，修士論文，学生が筆頭著者の投稿論文，学会発表ポスター，要旨等の英文チェックを行った。

学部・大学院のガイダンス等で演習林における教育研究の説明を行った。演習林教員で担当している講義のスケジュール調整，教養学部講義，演習林ゼミ等の教育推進に関わる経費管理等を通じて，演習林の教育活動を支援した。また，学内の各種委員会に出席した。

広報情報委員会と連携し，各演の教育利用実績を取りまとめた。また，教育目的での演習林利用希望者に対して，各地方演習林との連絡調整を行い，必要な情報を提供した。

【研究】

演習林編集委員会と連携し，「演習林」，「演習林報告」の編集作業を行った。演習林内の委員会活動が円滑にできるよう，農学系事務との連絡調整を行うとともに，経費執行等の支援をした。広報情報委員会と連携し，各地方演習林の研究利用実績を取りまとめた。国際交流委員会と連携して，アジア大学演習林シンポジウムの準備，運営等を支援した。また，来年度 4 月のマレーシアサバ大学の訪問・受け入れに関して，森林科学専攻との調整を行った。

研究目的で演習林を利用する利用者に情報を提供し，全演習林の研究活動を支援した。演習林教職員による投稿論文（英文要旨含む）の英文，演習林報告の目次，地方演習林の各種施設等の英文チェックを行った。

所属教員のプロジェクト，科研費，運営費等で，個別テーマの研究に取り組んだ。また，地方演習林のレーザー計測に関する支援，そのデータ解析に向けた準備を行った。

農学生命科学研究科技術職員研修会において事務局として準備・当日の運営に当たった。

【社会連携】

広報情報委員会と連携し，ホームページ，科学の森ニュース，学内広報・弥生等の機関紙を通じて，演習林の社会貢献に関する広報活動を行った。また，各演習林の広報活動を取りまとめ，専攻長・附属施設長会議に毎月報告した。さらに，演習林の活動報告の情報を取りまとめ，演習林年報を発行した。一般公開，教職員向け特別ガイドの補助・支援を行った。

【施業管理】

地方演習林の施業管理，苗畑作業への補助を行った。

【その他】

農学系事務からの各種問い合わせに対応するとともに，連絡調整を行った。安全衛生活動として，地震時の緊急避難について，教職員，学生ともに緊急避難場所を 1 号館と 2 号館の間のヒマラヤスギの近くに一次避難した後，農学部グラウンドに集合することを確認した。4 月に台湾から来られた林先生について，企画部，地方演習林と連携して対応した。技術職員，近澤静恵氏の産休・育休の取得に伴い，代替職員として 11 月 16 日付で瀬戸祥子氏を採用した。

■平成 24 年度常置委員会活動報告■

【基盤データ整備委員会】

<気象観測部門>

東京大学演習林では、これまで最長で 100 年を超える期間気象観測を継続してきた。現在の観測システムは 2001 年から稼働し、7 地方演習林を網羅する合計 17 か所の観測地を基盤データ整備委員会気象部門で責任をもって観測を続けてきた。

2011 年度は「教育研究計画 2011-2020」に基づいた観測体制や機器の整備を行い、2012 年 1 月 1 日から正式に新体制に移行、2012 年度は新体制の下での観測を継続している。すなわち、基盤データ整備委員会気象部門で責任をもつ I 種観測地は札幌（千葉）、前山（北海道）、小赤沢（秩父）、白坂（生態水文）、青野（樹芸）の 5 か所、観測項目は気温、湿度、降水量、日射量、風速、風向で、露場や機器のメンテナンス、バックアップ機器の整備を進めた。I 種以外の観測地は II 種として各地方演習林の裁量で観測や全演でのデータ公開を行っているが、気象部門として各地方演習林で対応の困難な案件についてのサポートは継続している。

隔年開催の気象担当者会議は 6 月 22 日に開催し、観測地点・項目、データ回収方法、担当者、予算、機器の更新計画について検討した。また、データの精度向上を図るため気象観測指針を改定した。観測データの公開については、2013 年 1 月 1 日より演習林ホームページでの公開を大幅に早め、翌々月には公開するようにした。2012 年のデータは観測体制とともに「演習林」55 号（2014 年 1 月発行予定）に 2012 年気象年報として掲載する。

2012年度 各地方演習林の観測地と観測項目（2013年1月1日現在）

演習林名	千葉演			北海道演			秩父演				田無演	生態水文研			富士麓の森研	樹芸研	
I種とII種の別	I	II	II	I	II	II	I	II	II	II	II	I	II	II	II	I	II
観測地	札幌	清澄	新田	前山	山部	山部事務所	小赤沢	栃本	大血川	ワサビ沢	第一苗畑	白坂	東山	穴の宮	山中湖	青野	加納
気温	○(○)	○(-)	△(-)	○(●)	○(-)		○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(-)	○(-)	○(○)	○(○)	○(○)
地温								○(-)			○(-)	○(-)	○(-)			○(-)	
湿度	○(-)	○(-)	△(-)	○(-)	○(-)		○(-)	○(-)	○(-)	○(-)	○(-)	○(-)	○(-)	○(-)	○(○)	○(-)	○(-)
降水量	○(○)	○(-)	△(-)	○(●)	○(-)		○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(-)	○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(○)
日照時間					○(-)							○(-)				○(-)	
日射量	○(-)		△(-)	○(-)	○(-)		○(-)	○(-)		○(-)		○(-)	○(-)	○(-)		○(-)	
風速	○(-)		△(-)	○(-)	○(-)		○(-)	○(-)				○(-)	○(-)	○(-)		○(-)	
風向	○(-)		△(-)	○(-)	○(-)		○(-)	○(-)				○(-)	○(-)	○(-)		○(-)	
降雪						○(-)											
積雪						○(-)											
降雪深								○(-)									
積雪深						○(-)											

<生物部門>

○植物分野

演習林内に生育する維管束植物（自生種・導入植栽種）をリストアップし、同時にさく葉標本を 1 種につき 3 点以上作成することを目標に資料の収集にあたっている。2012 年度の活動状況は以下の通りである。植物目録作成のための調査が 2011 年度に終了したことに伴い、目録出版に向けたリストの整理を実施した。整理作業に時間を要したことから出版は 2013 年度の見込みとなり、さらに千葉演習林について 2012 年調査データを含めることとなった。各演習林の活動については以下の通りである。

千葉演習林：千葉県立中央博物館と千葉演習林で共同調査を行った。調査人員内訳（中央博 47 人工，演習林 28 人工）Ⅱ種の作業として，旧さく葉標本の画像撮影とリスト化を進めた。

北海道演習林：植生調査及び通常業務中に標本採取と生態写真の撮影を行った。標本は全て過去採取済みの種を採取した。

秩父演習林：通常業務中に調査を行った。生態写真を撮影したのみで新たに種の追加や標本の採取はなかった。また，今年度より基盤データ整備委員会植物分野のⅡ種として，自動撮影カメラによるフェノロジー調査を開始した。

田無演習林：活動無し。

生態水文学研究所：通常業務中に調査を行った。新たに種の追加や標本の採取はなかった。

富士癒しの森研究所：活動無し。

樹芸研究所：通常業務中に確認調査を行った。

演習林名	調査日数	調査人員	標本種数	標本点数
千葉演習林	16	75.0	270	777
北海道演習林	2	2.0	30	70
秩父演習林	0	0.0	0	0
田無演習林	0	0.0	0	0
生態水文学研究所	0	0.0	0	0
富士癒しの森研究所	0	0.0	0	0
樹芸研究所	0	0.0	0	0
全演習林合計	18	77.0	300	847

○鳥類分野

本年度も各演習林でみられる鳥類のリストアップとモニタリングを目的に教育研究計画のⅠ種，Ⅱ種の調査項目を実施した。該当年となっていた隔年での田無演習林，樹芸研究所の繁殖期のポイントセンサスは，他演習林職員の協力によって実施できた。2012年度の確認種数，調査回数は，下記表の通りで（調査回数は，ラインセンサス，ポイントセンサス，任意調査等の合計），今年度からは演習林外の周辺地域での確認も記録していくこととした。また，調査結果をもとにした研究発表が1件あった。今後も組織的に調査体制を維持していきながら，計画を実行していく予定である。

演習林名	確認種数		調査回数
	科	種	
千葉	27	55	26
北海道	33	81	25
秩父	27	65	117
田無	21	38	30
生水研	26	50	21
富士癒	26	56	8
樹芸	15	23	6

※ 確認種数は、演習林外周辺地域での確認種を含む

研究発表

松井理生・高德佳絵・才木道雄・荒木田善隆：巣箱によるシジュウカラとヤマガラの30年間の繁殖記録. 平成24年度技術職員等試験研究・研修会議報告P33-37. 東京大学農学生命科学研究科附属演習林.

○脊椎動物（鳥類を除く）分野

今年度は10月31日に担当者会議を行い、これまで行ってきた予備調査を基に今後の調査計画、調査結果の公表について議論を行った。そこで今期の教育研究計画期間（2011年～2020年）終了時に鳥類を除く脊椎動物全種の日録を公表することを目標と設定した（但し全種が困難な場合には綱単位での公表を行う）。また調査方法の検討もを行い、今年度はコウモリ目の調査計画を作成した。

このほかに活動のⅠ種として位置付けられているセンサーカメラを使った調査とその他に各演で行われた調査及び成果は以下のとおりである

演習林	Ⅰ種調査（センサーカメラ）			Ⅱ種調査
	設置場所	調査日数	確認種数	
千葉	林内	354	8	通勤時や業務中に目撃した脊椎動物をチェックし18種確認した。
北海道	林道	211	9	目撃ノートによる職員からの目撃情報が12種（哺乳類10種，爬虫類1種，両生類1種）140件収集された。11/14-16にエゾシカライトセンサスを実施し，192頭のエゾシカを確認した。
秩父	歩道，林道	365	12	5月にライトセンサスを行い，5種24件の情報を記録した。センサーカメラ，ライトセンサスに加え，目撃ノートでの情報収集も行い，哺乳類15種，爬虫類5種，両生類1種の計21種の生息が確認された。
生水	歩道，沢地	349	10	目撃情報シートに目撃した動物を記録し，8件7種を確認した。
富士	林内，歩道	262	7	業務中に目撃した動物をチェックし，5種13件を記録した。
樹芸	青野研究林内 加納観察林内	365	9	職員による目撃情報の記録を行い，16種（哺乳類6種，爬虫類6種，両生類4種）の出現を記録した。ニホンジカ区画法調査も行っている。
田無	樹木園内	322	0	特になし。

○昆虫類分野

(1) 全演共通の調査を実施

本年度もピットフォールトラップを用いた地表徘徊性甲虫相調査を実施した。2008年から各演共通の方法による定期的・定量的採集を行っており、採集された標本は北演に集められている。2008-2010年の標本については同定結果が出ているものの、2010年の一部、2011-2012年は未同定である。未同定標本を同定後、5年分のデータの解析を行い「演習林」に投稿する予定である。

(2) 各演を利用した研究論文からの昆虫相のリスト化

各演を利用した研究論文からの昆虫相のリスト化は各演で進めている。

<水文水質部門>

千葉演習林・北海道演習林・秩父演習林・生態水文学研究所・樹芸研究所において、流量と定時の水質サンプリングとその分析は砂防研究室からの支援も求めながら実行する体制が組まれている。その骨子は、下記の3点からなる。2012年度の活動は、このような体制の下、5つの地方演習林で地道な観測の継続と分析が実行され、その成果が生態水文学研究所に逐一報告され記録されたことである。

1. 生態水文学研究所におけるデータの管理
2. 基盤データ整備委員会管轄下の試験流域での水位測定・降水量測定
3. 降雨および溪流の水質サンプリング・分析の分担

上記に加えて、降雨の空間的起源をさぐる目的で降雨の安定同位体観測 2013年限定の週一回の通年観測が開始した。日本水文科学会同位体マッピングワーキンググループ (Isotope Mapping Working Group ; JAHS- IMWG) への観測参加という形で4つの降水観測点 (東京大学演習林だけの観測項目として同時期の溪流の安定同位体観測を含む) が参加している。

観測項目

1. 流量・雨量の観測と日流量・日雨量への整理：各地方演習林の責任で実施
2. 降水・溪流水の水質サンプリング：月1度採水し、分析担当の地方演習林へ送付
3. 水質化学分析：溪流水 (Na^+ , K^+ , Mg^{2+} , Ca^{2+} , SO_4^{2-} , NO_3^- , Cl^- , pH, EC の9項目)
降水 (上記9項目 + NH_4^+ の10項目)

流量・水質観測地点

1. 流量観測地点・溪流水質観測地点：千葉演習林 (袋山沢A), 北海道演習林 (丸山沢), 秩父演習林 (バケモノ沢), 生態水文学研究所 (白坂本谷), 樹芸研究所 (青野3号沢)
2. 溪流水質分析：千葉は砂防研究室で、北海道と樹芸は樹芸研究所で、他は生態水文学研究所で分析 (平成12年度中途から分析担当が一部変化：詳細省略)

雨量観測地点

雨量観測地点：千葉演習林 (新田), 北海道演習林 (東郷ダム), 秩父演習林 (ワサビ沢), 生態水文学研究所 (白坂), 樹芸研究所 (加納)

降水水質観測地点

雨量観測地点と同一，樹芸研究所は加納
降水水質分析

千葉（砂防研究室），北海道と樹芸研究所（樹芸研究所），他（教育研究センター経由
で砂防研究室）

データ公開

日降水量，日流出量，月1回の水質データ：生態水文学研究所がとりまとめ
雑誌「演習林」・演習林ホームページ上で公開予定タイムテーブルのアナウンス
2月演習林会議においてデータ収集状況の報告

＜GIS部門＞

本年度はGIS部門第2期活動計画期間（2010-2012年度）の最終年度にあたる。第2期は，①GIS操作技術の向上，②GISデータの整備，③GISデータの活用，の3つを活動方針としている。

活動方針①に関して，本年度は6月4日～7日に北海道演習林の職員を対象としたリモートセンシング技術指導を実施した（写真1）。教育研究センターの三浦直子特任助教が講師を務めた。1日目（4日）には「リモートセンシングの基礎と活用事例」の講演があり，リモートセンシングの仕組み・種類・活用等の基礎知識を学んだ。2日目（5日）は航空レーザ測量予定地の現地検討を行い，測量仕様等についてアドバイスを受けた。3日目（6日）は衛星画像や航空写真を利用した画像分類方法や解析方法について，4日目（7日）は航空レーザ測量データ解析ソフトウェアについて，それぞれ指導を受けた。また，12月10日～14日に田無演習林および樹芸研究所の職員を対象としたGIS内部研修会を実施した（写真2）。北海道の中川雄治技術職員が講師を務めた。田無（10日～11日）では，レーザコンパス測量システムとArcGISを用いた立木位置図作成の実習を行った。樹芸（12日～14日）では，高精度GPS受信機とレーザコンパス測量システムの操作およびデータ処理の方法について実習した。本研修会の開催を通じて，各地方演習林の実情に合った内容でGIS関連技術の向上が図られた。このほか，3D対応デジタル空中写真閲覧システム「もりったい」の操作講習会開催（北海道）などの活動を行った。

活動方針②に関して，千葉と北海道では林野庁補助事業「デジタル森林空間情報利用技術開発事業」により全域の3D対応デジタル空中写真を整備した。また，千葉では絶滅危惧種であるヒメコマツの集植場において樹木位置図をGISによりデータベース化した。北海道では，一部地域（約2,800ha）を対象に航空レーザ測量を実施した。秩父では，歩道の巡視・整備状況のGISデータ化，DEMを用いた既存林班界データの精度検討，航空機レーザ測量データを用いた1m間隔等高線のシェープファイル作成，高精度GPS受信機を用いた林内基準点の整備と試験地位置情報の精度向上，高感度GNSS受信機の試験導入，レーザコンパスによる大面積プロットの立木位置図作成を行った。田無演習林では，レーザコンパスとArcGISを用いて「東京大学の森」育成基金記念樹の位置図を作成した。生態水文学研究所では，GPSとGISを用いてマツ枯れ被害木の位置図を作成した。富士では，基盤データ脊椎動物センサーカメラの配置図および風倒被害木の位置図を作成した。樹芸研究所では，高精度GPS受信機を用いた林内基準点の設置，GPSを用いたニホンジカ生息数調

査のルート記録を行った。

活動方針③に関して、千葉では保育・収穫事業に伴う図面作成、GIS による架線集材可能性の検討、レーザコンパス測量システムを用いた森林管理・試験業務の実施などを行った。北海道では、伐採許可申請図面の作成、「もりったい」を用いたハイマツ帯の抽出、WebGIS を用いた空中写真閲覧環境の整備、カラマツ植林地分布図の作成、ラスタ解析によるエゾマツ採種園の適地抽出などを行った。秩父では、サントリーとの研究・森林整備協定に関わる図面作成、ArcGIS Server を利用した WebGIS の内部公開などを行った。また、演習林利用者 11 件に対して GIS データを提供した。生態水文では、長期生態系プロットの DEM データから算出した環境条件とカシノナガキクイムシに穿入されたブナ科樹木との関連について解析し、研究発表および論文投稿を行った。

3 月 18 日には GIS 部門の担当者会議を開催し、今年度の活動報告および第 2 期活動期間の総括を行うとともに、第 3 期活動期間（2013-2015 年度）の活動方針および 2013 年度活動計画について検討した。



写真 1 北海道演習林で行われたリモートセンシング技術指導の様子

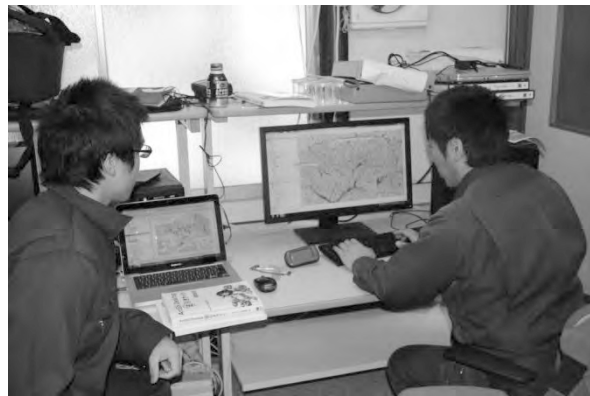


写真 2 田無演習林（左）と樹芸研究所（右）で行われた GIS 内部研修会の様子

＜固定試験地部門＞

東京大学の 7 地方演習林には数多くの試験地が設定され測定が行われている。試験地部門では、平成 23 年度に決めた「試験地データの整備と公開に向けての具体的なスケジュールと方法についての基本的な方針」に基づいて一部のデータのデジタル化を開始する予定であったが、準備の遅れと予算節約の必要性が出たため今年度の作業を断念した。

【研究推進委員会】

演習林研究推進委員会は 2007 年度より演習林教員を中心とした研究活動を組織的にバックアップすると同時に、研究プロジェクトの組織的な獲得、演習林の蓄積してきたデータの研究成果としての公表の促進を図るために設置され、その活動を継続してきた。

2012 年度は 7 月開催の教員総会へ向けて活動したにとどまった。教員総会において研究推進委員会から報告された内容は下記のとおりである。

- ①「附属施設としての演習林の運営からみた研究業績至上主義の考え方」
- ②「科学研究費等外部資金導入状況（過去 5 年間）から見えるもの」
- ③「演習林の組織横断的研究 -そのメリットと克服すべき条件-」

【教育推進委員会】

（１）委員会の開催

2012年 5 月 21 日（月），10 月 26 日（金），2013 年 3 月 1 日（金）の 3 回開催した。3 月 1 日については旅費節約の観点から TV 会議を行った。

（２）活動報告

教育推進委員会の活動は、「教育研究計画 2011～2020」に定めた以下の 6 項目について行っているもので、それぞれについて報告する。

2－１．教養学部講義の組織的取り組み

かつて講義タイトルの統一を図るなど、組織的に取り組まれることがあったが、その後弛緩し、地方演ごと（これも必須ではなくなった）あるいは属人的な開講となっていた。2012 年度教員総会において、①森林について多くの学生に知ってもらう②農学・森林分野進学への関心が高めてもらう、ほか多面的な意義があることが確認された。複数の演習林を回る全学体験ゼミの 2014 年度夏学期新規開講などの案を検討している。

2－２．教育推進委員会予算

教育推進委員会予算として、教員経費の 2 % と欠員分半額に運営費からの補てん分を加え、演習林として組織的に取り組む教育活動に関わる費用負担が職種、指導学生の多少、講義数の多寡等によって大きく偏らないようにするために、教養学部前期課程の教育（全学体験ゼミ等）にかかる経費、演習林ゼミに出席するための最低限の旅費、「演習林」として講義の担当を受け持っているオムニバス講義のための旅費、助教の教育技術の向上をはかるうえで重要な学部実習の担当に必要な旅費等を賄ってきた。演習林内施設での宿泊については実費支給を旨とする「教育推進委員会経費による演習林宿泊施設での宿泊に関する減額基準」を定めて対応してきたが、この基準を平成 25 年度から簡素化することとした。

2－３．広報情報委員会との連携

演習林ホームページ、および「科学の森で学ぼう」に掲載されている教員紹介の英語版を作り、公表することを目指し、広報情報委員会と協議を開始した。

2－４．演習林ゼミ

演習林ゼミは、教育目的で、修士論文および博士論文の作成に必要な指導を行うための「特別演習」「特別実験」等の科目の一部として行われている。平成 24 年度は例年通り 4 研究室ごとのアレンジおよび卒論、修論発表、技術職員の発表で 11 回実施した。演習林ゼミ

ミの方針が明文化されておらず、研究室ごと、個人ごとのばらつきがあったことを踏まえ、平成25年度の演習林ゼミの方針を決定した。

2－5．学生の確保

「科学の森で学ぼう」パンフレットを紙媒体で発行した。平成25年度は経費節減と学生への広報効果の観点から、紙媒体の発行中止とPDFでの発行を検討している。

2－6．教員総会

平成24年度の教員総会の運営を担当した。テーマは「全演計画を学ぶ」とし、企画部と8常置委員会（基盤データ委員会については、各部門長）に対して、全演計画の説明および課題の提示を行っていただき、グループディスカッションで議論した。グループは、職階別、4研究室、8地方演習林の3グループで行った。

平成25年度教員総会は、企画部・教育研究センターを中心に、研究推進・教育推進両委員会からそれぞれ担当委員2名が加わって運営を担うこととなった。

（3）その他

企画部・教育研究センターからの依頼により、生圏システム学専攻・フィールド科学専修のカリキュラム変更案に対して、演習林全教員に対してのアンケート調査を行った。

企画部・教育研究センターからの依頼により、マレーシアサバ大学から、学生1名が農学特定支援員として7週間来日したいという希望の受け入れ可能性について検討した。

【環境安全管理委員会】

毎月開催される農学部環境安全管理室・環境安全衛生委員会合同会議に出席して、情報の収集にあたり、演習林会議を通して演習林で起こりうる災害例の紹介と安全対策例の共有をはかり、災害を未然に防ぐ助けとしている。また、全学レベルで取り組まれる安全活動や管理体制の浸透をはかった。

安全衛生に関わる各種研修、講習については、演習林外部の研修、講習へ職員が参加するとともに、演習林内部でも実施した。

教育研究安全衛生マネジメントシステムについては2007年度より研究部（現教育研究センター・企画部）および各地方演習林をそれぞれユニットとして実施している。2012年度も継続して、各ユニットで安全衛生計画等の作成、定期的なミーティング、リスクアセスメントと対策の検討、安全衛生に関わる各種研修、講習を行った。

2012年度は毒物と劇物の別管理を徹底することとなった。毒物と劇物と一般試薬が混在しない状態で保管されることが、環境安全管理室の視察により確認・指導された。各地方演習林で試薬・農薬の整理を進めた結果、毒物保有は樹芸研究所の試薬のみとなった。

【広報情報委員会】

演習林会議の前の週に、毎月1回の会議を行い、広報、情報、ネットワーク等の各担当から報告を行うとともに、必要に応じて審議・議論を行った。すべてTV会議で行うことにより、千葉、生態水文、富士など遠隔地からの参加がしやすくなった。



【広報活動】

演習林編集委員会と連携して、雑誌「演習林報告」127号、128号、「演習林」53号を発行した。また、科学の森ニュース58～61号、技術職員等試験研究・研修会議報告、「科学の森で学ぼう」の編集、印刷、出版と各所への配布、企画出版として、樹芸研究所の「温室本 芸のある植物たち」の出版、全演ホームページの更新とコンテンツの管理を行った。

毎月の専攻長・附属施設長会議に演習林の活動を資料として提出したほか、各演習林と協力しながら、広報誌（学内広報、淡青、弥生など）への原稿の投稿、情報の提供を積極的に行った。平成24年度（平成24年4月～平成25年3月）の演習林出版局の出版物（ポストカード含む）の販売実績は、ジュンク堂店で157冊、農学部生協店で68冊、地方演習林合計で1,694冊、全体では1,919冊、1,241,851円（消費税込）となった。

【情報活動】

各演習林の利用実績の収集・報告およびデータベースの維持管理、演習林年報のとりまとめ、演習林サイボウズの管理、演習林ホームページやサイボウズ、データベースの入っているサーバーの保守を行った。また、基盤データ整備委員会と連携し、試験地部門におけるデータベースの構築、公開についての作業分担協力、各演で観測された気象データの収集と取りまとめ、公開支援を行った。

広報情報委員会の下部組織として演習林ネットワーク委員会があり、メールアカウントの管理業務・演習林Web/データベースサーバの管理・部局CERTにおける担当としてコンピュータセキュリティに関する業務、地方演習林のインターネット接続・コンピュータネットワークに対する支援などを行った。特に今年度は、特に情報基盤センターのメールホスティングシステムの変更にともなうアナウンスと管理作業などを行った。

【国際交流委員会】

演習林国際交流委員会は、おもに、各国の大学演習林との交流計画の作成・実施を任務としている。2012年度は、アジア大学演習林コンソーシアムの第5回シンポジウムを、9月26～30日の日程で山中寮内藤セミナーハウスにおいて主催した。エクスカーションとして富士癒しの森研究所、環境省生物多様性センター、秩父演習林を訪問した。また期間中の9月29日には山梨県環境科学研究所主催の国際シンポジウムを共催した。海外からの参加者は、韓国7名、台湾7名、インドネシア、マレーシア、タイから各1名であった。東京大学から、教員18名、技術職員5名、学生4名、山梨県環境科学研究所から5名の参加があった。また、2013年4月にマレーシアサバ大学の学生実習を受け入れることとなり、諸準備を進めた。

【森林病虫害委員会】

森林病虫害委員会は森林管理において支障となる病虫害が発生し各地方演習林で対応が

困難な場合に専門的な立場から管理指針を助言することになっている。2011年度は、松くい虫対策として、生態水文学研究所74林班の予防樹幹注入試験地の調査および秩父演習林の予防樹幹注入を行った。

2012年度は、生態水文学研究所74林班で2010年度に実施したマツ枯れ予防樹幹注入試験地（注入木約130本）での年内の枯死木は1本のみであったため、調査は実施しなかった。今後数年間、予防効果について経過観察し、注入木で枯死が多発した場合には薬剤の分布調査を行う予定である。

場所	処理	本数	2011年		2011年度 枯死本数	2012年度枯死本数 (2013年3月14日 現在)
			平均胸高 直径	平均樹高		
ハマシダ	注入木	84本	26.8cm	15.0m	4本	1本
	非注入木	328本	19.6cm	9.7m	16本	20本
吹寄下	注入木	47本	32.4cm	17.6m	0本	0本
	非注入木	194本	23.2cm	16.6m	7本	1本

※2012年度吹寄下の枯死木1本は2011年以前の枯れ

【「東京大学の森」育成資金実施委員会】

東大基金・渉外本部が主催した東大寄付者フォローアップセミナーを千葉演習林が中心となって11月29日に開催した。目的を掲げた基金の可能性について、渉外本部と打ち合わせを行った。今年度2月末までに22人から1,807,000円(本部取り分含む)の寄付があった。

演習林規則に則って開催された委員会・会議

運営委員会

演習林規則第5条により設置されている演習林の管理および運営に関する最高議決機関である。委員は演習林の教授・准教授のほか研究科長が推薦する研究科の教授または准教授（10名以内）と演習林統括技術長，研究科事務部長であり，演習林長が委員長を務める。今年度は2013年3月19日に開催され，平成24年度の演習林の管理および運営に関する報告と平成25年度の予算編成方針等の重要事項の審議を行った。

演習林会議

演習林規則第6条により設置されている演習林の管理および運営の実務に関する事項を審議決定する期間である。議員は演習林長，演習林長補佐，演習林所属の教授，准教授，講師，演習林統括技術長のほか演習林長が必要と認めた者になる（今年度は研究科総務附属施設担当副課長が指名された）。演習林長が議長を務める。原則として毎月1回（8月をのぞく）教授会開催日の前日に開催する。今年度は11回開催し，演習林の管理，運営に関する具体的な事項の審議・報告を行った。

その他の委員会・会議

技術主任会議

統括技術長と地方演習林技術主任により森林管理・技術職員組織等に関する諸課題を検討する。2012年度は7月24日に演習林長・企画部長も出席し開催した。

事務主任会議

地方演習林の事務主任相当職職員によって地方演習林における事務処理遂行上の問題点等について報告，意見交換を行う。原則として演習林長，企画部長，統括技術長も出席する，必要に応じて事務部の関係課長，係長も同席する。通常年1回，当初予算決定後に開催する。今年度は7月25日に事務主任・技術主任合同会議として開催した。

技術職員等試験研究・研修会議

技術職員等による研究報告と情報交換，技術研修等を目的に年1回開催する。今年度は11月1日から11月2日にかけて秩父演習林を会場に開催した。

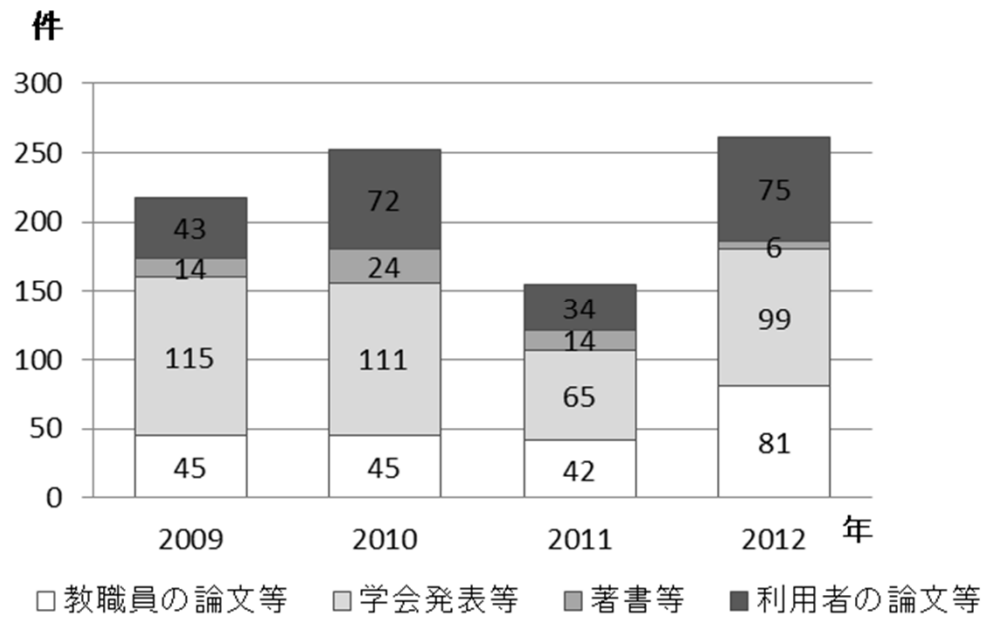
演習林編集委員会

「東京大学農学部演習林報告」と「演習林」の編集発行を行っている。委員は演習林の教授・准教授のほか関連専攻から推薦された教授・准教授（7名）と編集委員長が指名する者になる。原則として2ヶ月おきの奇数月に開催し，今年度は予定通り6回開催した。

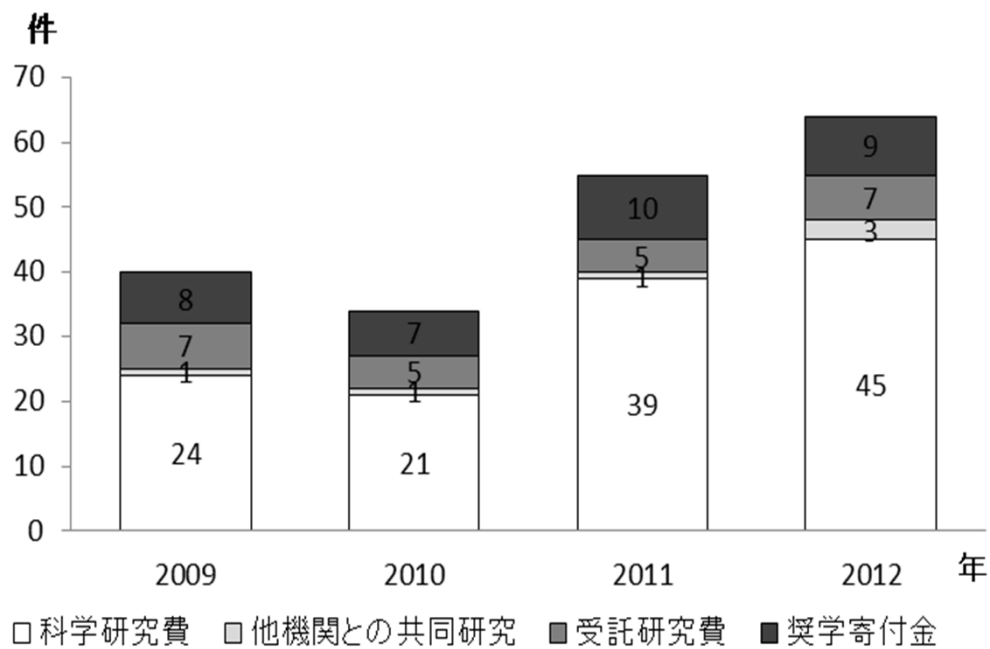
科学の森ニュース編集委員会

常置委員会のひとつである広報情報委員会のもとで広報誌「科学の森ニュース」の編集にあたっている。今年度も4回の発行にあわせて電子メールでの審議を行い、科学の森ニュース 58～61号を発行した。

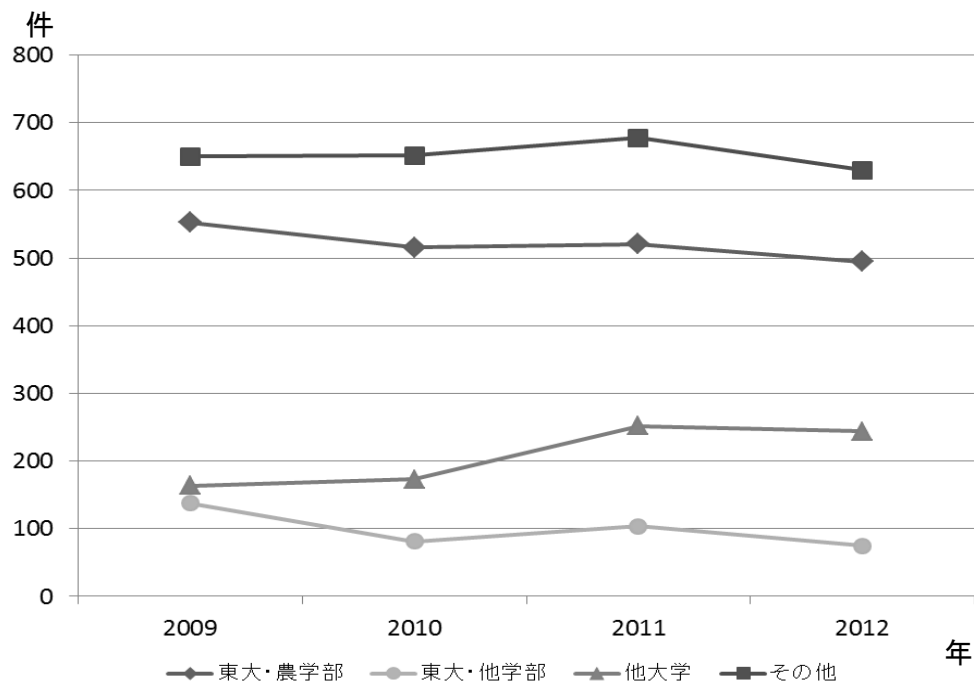
■演習林活動の統計■



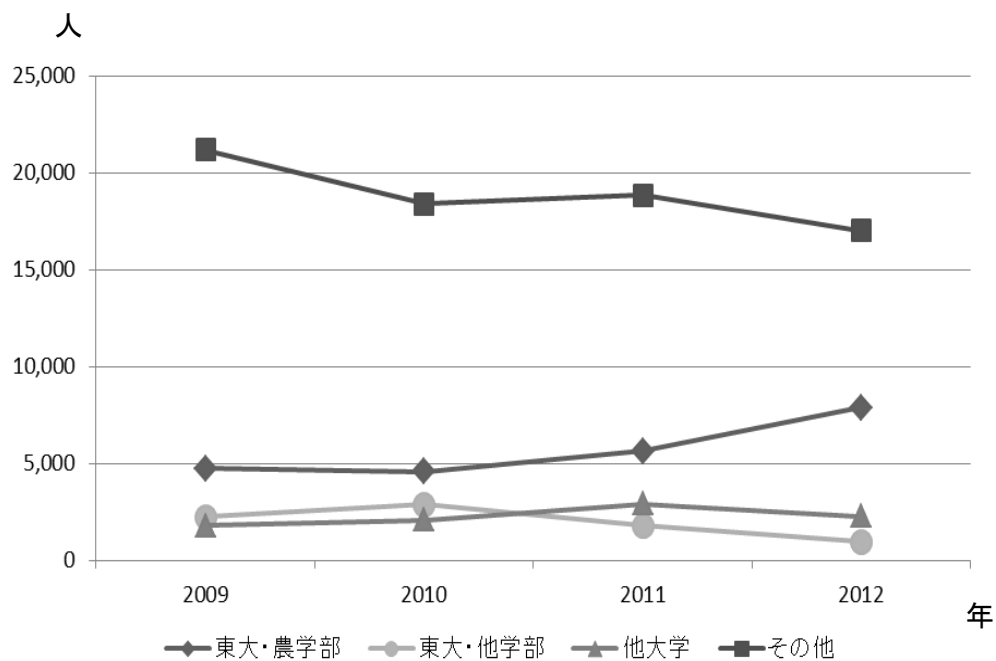
論文等の本数



外部研究費の獲得数



利用件数
秋の一般公開(千葉)、ロードレース(富士)の利用を除く



利用者述べ人数
秋の一般公開(千葉)、ロードレース(富士)の利用を除く

■資料■

■教育活動■

大学院講義等

大学院農学生命科学研究科

生圏システム学専攻修士課程

教 員 名					講 義 名
鎌田直人	後藤 晋	鈴木 牧	平尾聡秀		森林圏生物動態学
鎌田直人	後藤 晋	鈴木 牧	平尾聡秀		森林圏生態学演習
山田利博	鴨田重裕				森林遺伝子機能開発学
山田利博	鴨田重裕				森林生物機能学演習
石橋整司					森林生態圏管理学特論
斎藤 馨	安村直樹	藤原章雄			森林圏管理システム学
石橋整司	蔵治光一郎	安村直樹			森林圏生態社会学演習
芝野博文	尾張敏章	廣嶋卓也	(三浦直子)		森林流域管理学
山本博一	尾張敏章	廣嶋卓也			持続的森林圏経営論
芝野博文	尾張敏章	廣嶋卓也	浅野友子		森林流域管理学演習
鎌田直人	山田利博	石橋整司	芝野博文	後藤 晋	生圏システム学実験・研究
鴨田重裕	蔵治光一郎	尾張敏章	鈴木 牧	平尾聡秀	
安村直樹	浅野友子	廣嶋卓也			

森林科学専攻修士課程

教 員 名					講 義 名
鎌田直人	後藤 晋	鈴木 牧	平尾聡秀		森林圏生物動態学
山田利博	鴨田重裕				森林遺伝子機能開発学
石橋整司					森林生態圏管理学特論
斎藤 馨	安村直樹	藤原章雄			森林圏管理システム学
芝野博文	尾張敏章	廣嶋卓也	(三浦直子)		森林流域管理学
山本博一	尾張敏章	廣嶋卓也			持続的森林圏経営論
鎌田直人	山田利博	石橋整司	芝野博文	後藤 晋	森林科学特別実験
鴨田重裕	蔵治光一郎	尾張敏章	鈴木 牧	平尾聡秀	
安村直樹	浅野友子	廣嶋卓也			
鎌田直人	山田利博	石橋整司	芝野博文	後藤 晋	森林科学特別演習
鴨田重裕	蔵治光一郎	尾張敏章	鈴木 牧	平尾聡秀	
安村直樹	浅野友子	廣嶋卓也			

農学国際専攻修士課程

教 員 名					講 義 名
鎌田直人					森林昆虫生態学
尾張敏章					International Forest Certification

生圏システム学専攻博士課程

教 員 名					講 義 名
鎌田直人	後藤 晋	鈴木 牧	平尾聡秀		森林圏生態学特別演習
山田利博	鴨田重裕				森林生物機能学特別演習
石橋整司	蔵治光一郎	安村直樹			森林圏生態社会学特別演習
芝野博文	尾張敏章	廣嶋卓也	浅野友子		森林流域管理学特別演習
鎌田直人	山田利博	石橋整司	芝野博文	後藤 晋	生圏システム学特別実験・研究
鴨田重裕	蔵治光一郎	尾張敏章	鈴木 牧	平尾聡秀	
安村直樹	浅野友子	廣嶋卓也			

森林科学専攻博士課程

教 員 名					講 義 名
鎌田直人	山田利博	後藤 晋	鴨田重裕	鈴木 牧	森林生態圏管理学特別演習Ⅰ
平尾聡秀					
石橋整司	芝野博文	蔵治光一郎	尾張敏章	安村直樹	森林生態圏管理学特別演習Ⅱ
浅野友子	廣嶋卓也				
鎌田直人	山田利博	後藤 晋	鴨田重裕	鈴木 牧	森林生態圏管理学特別実験Ⅰ
平尾聡秀					
石橋整司	芝野博文	蔵治光一郎	尾張敏章	安村直樹	森林生態圏管理学特別実験Ⅱ
浅野友子	廣嶋卓也				

農学部講義・演習・実験実習

教 員 名			講 義 名	学部:課程(専修)等	開講年次・学期
山本博一 石橋整司 鴨田重裕 安村直樹 浅野友子	鎌田直人 芝野博文 蔵治光一郎 尾張敏章 平尾聡秀	山田利博 後藤 晋 鈴木 牧 廣嶋卓也	森林科学概論	応用生命科学課程・環境資源科学課程	3年次・冬学期
鎌田直人 芝野博文 蔵治光一郎 尾張敏章 平尾聡秀	山田利博 後藤 晋 鈴木 牧 廣嶋卓也	石橋整司 鴨田重裕 安村直樹 浅野友子	森林生態圏管理学	応用生命科学課程・環境資源科学課程	3, 4年次・夏学期
永田信	古井戸宏通	安村直樹	森林政策学	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・夏学期
松下範久 久本洋子	呉 炳雲	楠本 大	森林植物学実験	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・夏学期
富樫一巳 前原 忠	久保田耕平	加賀谷隆	森林動物学実験	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・夏学期
丹下 健 楠本 大	益守眞也 久本洋子	大澤裕樹	造林学実験	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・夏学期
永田 信 竹本太郎	古井戸宏通 齋藤暖生	安村直樹	森林政策学演習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・夏学期
鈴木雅一	田中延亮	蔵治光一郎	測量学実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・夏学期
丹下 健 鈴木 牧	益守眞也	大澤裕樹	森林土壌学実験	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年次・夏学期
鈴木雅一 浅野友子	大手信人	蔵治光一郎	森林保全学実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年次・夏学期
酒井秀夫	桜井 倫	鈴木 牧	森林土木学実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年次・夏学期
白石則彦 中島 徹	廣嶋卓也 當山啓介	藤原章雄	森林経理学実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年次・夏学期
龍原 哲 藤原章雄	廣嶋卓也	中島 徹	森林計測学実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・冬学期
白石則彦 坂上大翼	芝野博文	尾張敏章	森林科学総合実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・夏学期
鴨田重裕 平尾聡秀	廣嶋卓也	井上広喜	森林実習	国際開発農学専修	3年次・夏学期

教養学部講義・演習

教 員 名			講 義 名	開講学期
石橋整司 齋藤暖生	前原 忠 久本洋子	井上広喜	全学体験ゼミナール「危険生物の知識」	夏学期
山田利博 鈴木 牧	石田 健 久本洋子	廣嶋卓也 當山啓介	全学体験ゼミナール「フィールドで考える野生動物の保護管理」	夏学期

教 員 名			講 義 名	開講学期
芝野博文	藤原章雄		全学体験ゼミナール「景観としての森林生態系と人間の感覚」	夏学期
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「森に学ぶ(伊豆)」	夏学期
鴨田重裕	芝野博文		全学体験ゼミナール「森に学ぶ(ふらの)」	夏学期
鴨田重裕	岡本 研		全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ1」	夏学期
鴨田重裕	井出雄二		全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ2」	夏学期
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「企画系さらに伊豆に学ぶ1」	夏学期
安村直樹	楠本 大	前原 忠	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成ー子どもに伝える自然体験」	夏学期
石橋整司	後藤 晋	藤原章雄	全学体験ゼミナール「癒しの森を創る(夏)」	夏学期
齋藤暖生	三浦直子			
嶋田 透	田付貞洋	石川幸男	全学自由研究ゼミナール「昆虫と節足動物の生物学」	夏学期
勝間進	長澤寛道	永田晋治		
東原和成	富樫一巳	久保田耕平		
鎌田直人	宮下 直			
鴨田重裕			総合科目D(人間・環境一般)「伊豆に学ぶプラス」	夏学期
石橋整司	蔵治光一郎	安村直樹	総合科目D(人間・環境一般)「癒しの森を考える」	夏学期
藤原章雄	齋藤暖生	當山啓介		
蔵治光一郎	田中延亮		総合科目D(人間・環境一般)「ダムと森林」	夏学期
富樫一巳	丹下 健	寶月岱造	総合科目D(人間・環境一般)「森の生物学：共存する森林生物」	夏学期
鎌田直人	久保田耕平	益守眞也		
松下範久				
芝野博文	尾張敏章	坂上大翼	全学体験ゼミナール「雪の森林に学ぶ～北海道演習林」	冬学期
山田利博	廣嶋卓也	久本洋子	全学体験ゼミナール「房総の森と生業を学ぶ」	冬学期
當山啓介				
鴨田重裕	下村彰男		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1」	冬学期
鴨田重裕	下村彰男		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	冬学期
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「企画系、さらに伊豆に学ぶ2」	冬学期
蔵治光一郎	田中延亮	岩井紀子	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	冬学期
鈴木 譲				
石橋整司	浅野友子	藤原章雄	全学体験ゼミナール「癒しの森を創る(冬)」	冬学期
齋藤暖生	三浦直子			
石橋整司	露木 聡		全学自由研究ゼミナール「古典落語から知る江戸の自然・文化」	冬学期
鴨田重裕			総合科目D(人間・環境一般)「伊豆に学ぶプラス2」	冬学期
安村直樹	齋藤暖生	當山啓介	総合科目D(人間・環境一般)「森のエネルギーを使いこなす」	冬学期
石橋整司	露木 聡	藤原章雄	総合科目D(人間・環境一般)「森をはかる」	冬学期

他大学の非常勤講師等

教員名	講義名	対象学部	学科等	学年	大学名
石橋整司	環境論	電気通信学部	総合文化講座	1	電気通信大学
石橋整司	エコロジーA	造形学部	デザイン学科	2、3、4	東京造形大学
齋藤暖生	地域資源管理論	文学部	社会学科	2、3、4	都留文科大学
齋藤暖生・西山教雄	地域資源管理・環境保全学実習	文学部	社会学科	2、3、4	都留文科大学
齋藤暖生	森林生態学(人間活動と森林生態)	生命環境学部	自然環境学科	2、3、4	帝京科学大学
安村直樹	地域林業振興論	地域政策学部		2、3、4	高崎経済大学
平尾聡秀	多様性生物学特講 I	理学研究科		修士課程	千葉大学
鈴木智之	自然科学3(生物)	法学部	通信教育課程	1、2、3、4	中央大学

招待講演・講師の派遣等

教員名	講演名	主催	開催場所	日程
蔵治光一郎	長良川河口堰検証はどうなされたかー愛知県の検証の意義と 今後私たちに求められる課題ー	長良川河口堰市民学習会	ハートフルスクエアG	4/1
山田利博・廣嶋卓也	野外総合実習	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	千葉演習林	4/6
久本洋子	FIG(千葉県森林インストラクター会)春の研修会「千葉演習林の紹介と竹の話」	千葉県森林インストラクター会	千葉演習林	4/14
澤田晴雄	春の観察会	シデコブシの会	生態水文学研究所	4/15
蔵治光一郎	森林管理と市民活動	かわさき市民アカデミー	川崎市生涯学習プラザ	4/19
才木道雄	探鳥会	犬山市立今井小学校	犬山市	4/20
松井理生	探鳥会	犬山市立今井小学校	犬山市	4/20、11/30
岩井紀子	生物多様性を守る	犬山研究林利用者協議会	犬山市	4/22
蔵治光一郎	尾張東部地域の土地の 過去・現在・未来 特に、守山・尾張旭・瀬戸について	愛知宅建協会東尾張支部	スカイワードあさひひまわりホール	4/24
齋藤暖生	環境デザイン実習	山梨県立富士北稜高等学校 建築・デザイン学科	富士癒しの森研究所	4/26、6/13、7/11、9/5、10/20、10/21
松井理生	探鳥会	犬山市立城東小学校	犬山市	5/8、11/7、2/13
齋藤暖生	北富士の生態と民俗	静岡県民俗学会	富士市交流プラザ	5/13
齋藤俊浩・丹羽悠二・吉田弓子	影森中学校林間学校	秩父市立影森中学校	秩父演習林入川軌道跡	5/17
松井理生	バードウォッチング	シデコブシの会	生態水文学研究所	5/20
大村和也	新緑の荒川源流ハイクと秩父小屋飯作り	大滝げんきプラザ	秩父演習林入川軌道跡	5/26
澤田晴雄	犬山研究林 春の観察会	犬山研究林利用者協議会	生態水文学研究所	5/27
山田利博・軽込 勉	校外実習	千葉県立君津青葉高校	千葉演習林	5/30
廣嶋卓也・當山啓介・阿達康真	JICA 課題別研修:国家森林モニタリングシステム整備のための人材育成コース「東京大学千葉演習林の紹介」・「破壊的バイオマス測定法について」	独立行政法人国際協力機構(JICA)	千葉演習林	6/4-8
石橋整司・後藤晋・浅野友子・安村直樹・藤原草雄・齋藤暖生・村瀬一隆・西山教雄	第15回関東甲信越地区大学演習林等技術職員研修	東京大学演習林	富士癒しの森研究所	6/6-8
蔵治光一郎	森林の持つ公益的機能	とよた森林学校	生態水文学研究所赤津宿泊施設	6/10
平尾聡秀	日本列島における種多様性の地理的パターン	横浜国立大学土壌生態学セミナー	横浜国立大学	6/12
岩井紀子、松井理生、渡部賢	総合政策学体験プログラムA	南山大学	生態水文学研究所	6/16-17
蔵治光一郎	第2回ワールドカフェin名古屋 我々の身近にある環境・エコを考える	東海銀杏会	ホテルソフィテル名古屋	6/17
蔵治光一郎、田中延亮、澤田晴雄、荒木田きよみ	赤津研究林案内人養成講習	シデコブシの会	生態水文学研究所	6/24
蔵治光一郎	赤津研究林に関して利用者のみなさまに東京大学が伝えたいこと	シデコブシの会	生態水文学研究所赤津宿泊施設	6/24
尾張敏章	天然林施業技術を活用した林分施業法(平成24年度JICA研修「アジア・中南米地域C&I森林認証」)	独立行政法人国際協力機構(JICA)	北海道演習林	6/26
尾張敏章	世界の木材のマーケティングと森林認証(平成24年度JICA研修「アジア・中南米地域C&I森林認証」)	独立行政法人国際協力機構(JICA)	JICA札幌	6/29
平尾聡秀・相川美絵子・五十嵐勇治・高野充広・吉田弓子	中学生社会体験チャレンジ事業・秩父第一中学校「仕事発見DAY」	秩父市立秩父第一中学校	秩父演習林	7/4-6
木村徳志	東京大学北海道演習林の苗畑管理と見本林	北海道旭川農業高校 森林科学科	北海道演習林	7/23

教員名	講演名	主催	開催場所	日程
芝野博文・尾張敏章・坂上大翼・小池征寛・井上崇・中川雄治・及川希	サマー・サイエンスキャンプ「森林の未来は？—森を知り、持続的な取り扱いを考える—」	科学技術振興機構(JST)	北海道演習林	7/24-7/27
井口和信	北海道中央部の森林環境と持続的木材生産の現場を学ぶ	道北地区博物館等連絡協議会	北海道演習林	7/26
蔵治光一郎	集水域が一体となって取り組む健全な水循環の再生	愛知県地域政策局土地水資源課 設楽ダム連続公開講座運営チーム	愛知大学豊橋キャンパス	7/28
岩井紀子	オオサンショウウオ観察会	シデコブシの会	瀬戸市	7/28
山田利博・廣嶋卓也・久本洋子・當山啓介・藤平晃司	高校生のための森と海のゼミナール	千葉演習林, 千葉大学海洋バイオシステム研究センター	千葉演習林, 千葉大学海洋バイオシステム研究センター	7/30-8/1
坂上大翼・木村徳志・福岡 哲・犬飼慎也	北海道の針広混交天然林の構造(平成24年度SSH事業視察研修)	北海道札幌啓成高等学校	北海道演習林	7/31-8/1
久本洋子・鶴見康幸・藤平晃司・阿達康真	2012年課題別自然研究宿泊授業「千葉演習林の概要と森林について」	東京大学教育学部附属中等教育学校	千葉演習林	8/2
井上淳、澤田晴雄	せと環境塾2012 講座4「森と水のエネルギー」	瀬戸市環境課	生態水文学研究所	8/11-12
澤田晴雄	水生昆虫観察会	地域環境活性化協議会	生態水文学研究所	8/18
田中延亮	「豊田市足助地域における森の健康診断その2」持続可能な社会を考える ～矢作川流域の人工林の健康診断～	愛知県立豊田東高等学校	豊田市	8/22
蔵治光一郎、田中延亮、岩井紀子、松井理生、澤田晴雄、井上淳、渡部賢、荒木田きよみ	森林を通して、環境を科学の視点で考えよう	三重中学校・高等学校	生態水文学研究所・瀬戸川・蛇が洞川	8/22-23
坂上大翼	観光資源としての富良野の森林、そして森林の持つ癒しの効果(インターンシップ・地域の自然環境II)	同志社女子大学 現代社会学部社会システム学科	北海道演習林	8/23
五十嵐勇治・大村和也	墨田川高校生物実習	墨田川高校	秩父演習林	8/24-25
田中延亮	水にふれあう親子ツアー	愛知中部水道企業団	生態水文学研究所	8/25
蔵治光一郎	我々の身近にある環境・エコを考える	東海銀杏会	マリオットアソシアホテル名古屋	8/27
蔵治光一郎	東京大学演習林 生態水文学研究所とは	筑波大学生命環境学群地球学類水文科学野外実験B・地球科学専攻水文科学野外実験	生態水文学研究所赤津宿泊施設	8/28
岡平卓巳・遠國正樹	東京大学北海道演習林における天然林管理の方法	北海道帯広農業高校 森林科学科	北海道演習林	8/29
後藤晋	第32回奨学生集会/特別講演「厳しい環境に樹木はどう適応しているのか？」	山口育英奨学会	山口育英奨学会(長岡市)	8/29-30
安村直樹	誰のための林業か、何のための林業か	NPO新月の木国際協会	小田原市きつつきホール	9/8
蔵治光一郎	流域委員会の現状と展望	グリーンアクセス・プロジェクトチーム[大阪大学大久保研究室、環境パートナーシップオフィスEPO、(公財)公害地域再生センター(あおぞら財団)]	あおぞら財団	9/9
鎌田直人	東大秩父演習林プロジェクトの概要	サントリー「水科学フォーラム」	サントリー研修所「夢たまご」	9/10
廣嶋卓也・當山啓介	フィールド科学総合演習	東京大学大学院農学生命科学研究科生態システム学専攻緑地創成学研究室	千葉演習林	9/10-11
井口和信	北海道の森林・シカの食害・生態系保護と獣医師の役割	酪農学園とわの森三愛高校 獣医進学コース	北海道演習林	9/12
田中延亮	あいち海上の森大学・森林再生コース「森林の機能と水循環」	あいち海上の森センター	生態水文学研究所	9/16
平尾聡秀	森の動きと生物のつながりを知る	埼玉県立熊谷高校スーパーサイエンスハイスクール	秩父演習林	9/23

教員名	講 演 名	主催	開催場所	日程
芝野博文	地域住民参加による多様な森林保全	国際協力機構(JICA)	北海道演習林	9/24
安村直樹	里エネ利用のルネサンス	(財)林業経済研究所	東京大学弥生講堂	9/29
齋藤暖生	東京大学演習林がすすめる「癒しの森プロジェクト」	山梨県環境科学研究所	山梨県環境科学研究所	9/29
大川あゆ子	富良野の樹木と動植物	上富良野町・中富良野町・富良野市教育研究会生活・総合部会	北海道演習林	10/4
井口和信	北海道演習林の植物	上川管内教育研究会南部地区理科班	北海道演習林	10/4
山田利博	樹木医研修「幹の外科技術と機器による診断」	(財)日本緑化センター	筑波研修センター	10/11、16
木村徳志・大川あゆ子	総合的な学習の時間「樹海の森へ」	富良野市立樹海小学校	北海道演習林	10/16、1/18、3/5
廣嶋卓也	東京大学千葉演習林における有害鳥獣のモニタリングと駆除	千葉県狩猟事故防止対策委員会	プラザ菜の花	10/17
鎌田直人	東大秩父演習林のシカ被害とサントリープロジェクトの概要	秩父演習林	秩父演習林ワサビ沢展示室	10/21
齋藤暖生	“癒し”で人と森をつなぐー東京大学演習林“癒しの森プロジェクト”の試みー	山梨県環境ビジネス研究会	山梨県環境科学研究所	10/23
久本洋子	関東ブロック自然保護担当者交流集会「千葉演習林の植物と気候、生物について」	千葉県勤労者山岳連盟	千葉演習林	10/27
蔵治光一郎	東京都水源林の管理	矢作川流域圏懇談会山部会	岡崎市農村環境改善センター	10/27
齋藤暖生	キノコ利用から読む森と人の歴史	森づくり人づくり22	長野県大町市	10/28
廣嶋卓也・當山啓介・村川功雄・塚越剛史・梁瀬桐子・大石 諭・藤平晃司・三次充和・鶴見康幸・阿達康眞	鴨川市天津小学校・緑の教室	千葉演習林・天津小学校PTA	千葉演習林	10/31
澤田晴雄	職場体験	瀬戸市立幡山中学校	生態水文学研究所	11/1-2
平尾聡秀	秩父演習林の生物多様性研究について	附属演習林技術職員研修会	秩父演習林	11/2
蔵治光一郎	愛知県「尾張東部丘陵」の1300年の歴史	半田市教育委員会	生態水文学研究所赤津宿泊施設	11/3、10
蔵治光一郎、澤田晴雄	講座「知多半島の歩み」	半田市教育委員会	生態水文学研究所	11/3
田中延亮	第八回森の健康診断報告会「緑のダム実験」の報告	矢作川水系森林ボランティア協議会	豊田市	11/4
蔵治光一郎	豊田市の変遷と森の公益的機能	豊田東高校	生態水文学研究所赤津宿泊施設	11/6
蔵治光一郎、田中延亮、澤田晴雄、松井理生	持続可能な社会を考える ～矢作川流域の人工林の健康診断～	愛知県立豊田東高校	生態水文学研究所	11/7
蔵治光一郎、田中延亮	講座「知多半島の歩み」	半田市教育委員会	生態水文学研究所	11/10
澤田晴雄	みんなの森あるき2012 写真のチカラ	持続可能な豊かな社会をつくるネットワーク	生態水文学研究所	11/10
山田利博・當山啓介	千葉演習林ツアー	シデコブシの会	千葉演習林	11/24
廣嶋卓也	森林GISフォーラム千葉県地域シンポジウム:「東京大学千葉演習林における伐採適地の選定事例」	森林GISフォーラム	プラザ菜の花	11/27
軽込 勉	森林GISフォーラム千葉県地域シンポジウム:「東京大学千葉演習林におけるGPS・GISの導入事例」	森林GISフォーラム	プラザ菜の花	11/27
蔵治光一郎	ランビルにおける気象・水文・水質研究のこれまでとこれから	サラワク熱帯林研究コンソーシアム・京都大学総合博物館・総合地球環境学研究所プロジェクト・「人間活動下の生態系ネットワークの再生と崩壊」	京都大学稲盛財団記念館大会議室	12/8
田中延亮	「庄内川水系・水のつながり」第4回源流の森(2)	なごや環境大学	生態水文学研究所	12/9

教員名	講演名	主催	開催場所	日程
鶴見康幸・藤平晃司・阿達康真	坂畑小学校スクールミュージアム自然観察会	君津市教育委員会	千葉演習林	12/11
田中延亮、岩井紀子、澤田晴雄、松井理生	生物環境科学基盤実験実習	名古屋大学	生態水文学研究所	12/13
平尾聡秀	種多様性の地理的パターンと系統的ニッチ保守性	森林科学専攻森林科学セミナー	弥生キャンパス	1/15
蔵治光一郎、田中延亮	犬山研究林案内人養成講習	犬山市公園緑地課	生態水文学研究所	1/19
蔵治光一郎	犬山研究林を利用するみなさまに東京大学が伝えたいこと	犬山市	さらさくら	1/19
岩井紀子	「あいち自然再生カレッジ」第5回：両生類を守るにはー水と陸のつながりを考えるー	愛知県立大学	愛知県立大学名駅サテライトキャンパス	1/19
澤田晴雄	標石を探そうツアー	シデコブシの会	生態水文学研究所	1/20
浅野友子	山地河道の水文観測について	国土技術政策総合研究所	つくば市	1/31
澤田晴雄、荒木田きよみ	犬山研究林案内人養成講習	犬山市公園緑地課	生態水文学研究所	2/2
芝野博文・岡村行治	北海道演習林における森林の持続的・順応的管理 (ODA環境プログラム無償資金協力事業カメルーン国森林保全計画技術支援)	日本国際協力システム(JICS)	北海道演習林	2/6
尾張敏章	北海道林業の現状と将来(平成24年度森林・林業人材育成加速化事業フォレスト・マネージャー研修)	北海道森林整備担い手支援センター	NTT北海道セミナーセンタ	2/12
澤田晴雄	ニホンジカによる森林食害と、その調査手法	愛知県勤労者山岳連盟自然保護部	労山愛知県連事務所	2/16
軽込 勉	つぎ木指導	千葉県立君津青葉高校	千葉演習林	2/19
蔵治光一郎	「森と水」の関係を解き明かす	かずがいの環境まちづくりパートナーシップ会議	レディヤン春日井	2/23
久本 洋子	第7回 巨樹・古木フォーラム in かつとりー国・府馬の大クスを事例にー	NPO法人 樹の生命を守る会	千葉県香取市山田公民館	2/23
當山啓介	2013 International Symposium on Frontier Agriscience and Technology "National forest planning system and unequal forestry profitability"	信州大学農学部 近未来農林総合科学教育研究センター(FAST)	信州大学農学部	2/27
蔵治光一郎	身近にある水と森を考える	東海電波懇談会	メルパルク名古屋	3/7
鎌田直人	Why does the Japanese oak wilt occur only in Japan?	Binatang Research Center	Binatang Research Center	3/7
久本 洋子	Abies総会講演「タケと竹林」	千葉演習林ボランティア会 Abies	千葉演習林	3/15
井口和信・木村徳志	雪上の動物の痕跡を探す	富良野の自然に親しむ集い・富良野市生涯学習センター	北海道演習林	3/17
尾張敏章	北海道林業の「百年の計」を考える(平成24年度一般社団法人北海道造林協会会員発表会特別講演)	一般社団法人北海道造林協会	ホテルポールスター札幌	3/21

森林生態圏管理学大講座ゼミ

第1回(2012年4月27日(金)13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林流域管理学研究室)
三浦直子(演習林教育研究センター)The utility of RS/GIS for ecological applications
岩井紀子(生態水文学研究所)消費者が資源を増やす〜オタマジャクシによる栄養塩回帰効果〜
田中延亮(生態水文学研究所)生態水文学研究所赤津研究林の多様な樹木の蒸散特性の解明に向けて
浅野友子(秩父演習林)同じ流域内でも場所によって流量が最大になる時間が違う現象について
第2回(2012年5月25日(金)13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林生物機能学研究室)
小笠真由美(新領域・自然環境)温帯性落葉樹におけるキャビテーション感受性に関わる木部の水輸送特性
楠本大(田無演習林)宿主の獲得抵抗性が葉内生菌の感染に与える影響
鴨田重裕(樹芸研究所)ユーカリのフェノール性成分とPAL遺伝子の解析
山田利博(千葉演習林)演習林のキノコの放射能汚染
第3回(2012年6月22日(金)13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林圏生態学研究室)
Syaiful Amri Saragih(演習林教育研究センター 研究生) Diversity and abundance of collembola and mycorrhiza in rhizosphere of <i>Brachiaria reptans</i> grass in Yogyakarta Special Province
鎌田直人(秩父演習林)ナラ枯れはなぜ日本だけで発生するのか？
後藤晋(演習林教育研究センター)エゾマツの資源保続に向けて；冬期保管と植栽方法の検討
石田健(生圏システム)福島第一原発事故後の、高線量地帯の野生生物とその長期モニタリング〜秩父演習林と奄美大島での経験を活かす〜
第4回(2012年7月20日(金)13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林圏生態社会学研究室)
鈴木雅一(森林科学)日本の人工林の林齢構成と森林の多面的機能
斎藤馨(新領域・自然環境)東京大学演習林の森林ライブモニタリングシステムの設置と運用
藤原章雄(富士癒しの森研究所)学術情報のアーカイブに関する近年の情勢
齋藤暖生(富士癒しの森研究所)温泉資源の持続的利用と管理制度に関する一考察：長野県上田市別所温泉財産区の事例に基づいて
當山啓介(千葉演習林)『森林経営計画』について
第5回(2012年9月21日(金)13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林圏生態学研究室)
Thwe Thwe Win(生圏博士1年) Genetic structure and phylogeography of Myanmar teak using molecular markers
石塚航(総合文化・広域科学)日本各地の野生ダイコンにおける種内変異の解明に向けて
久本洋子(千葉演習林)トマツF ₁ 個体における繁殖および成長量に由来標高が及ぼす影響
第6回(2012年10月26日(金)13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林流域管理学研究室)
辰巳晋一(森林博士2年)下層植生の高密度化は針広混交林におけるレジームシフトを引き起こす
尾張敏章(北海道演習林)北海道中央部の択伐林におけるトマツ更新木の個体数密度と立地環境との関係
山本博一(新領域・自然環境)文化財建造物と森林資源
広嶋卓也(千葉演習林)GIS主題図を利用した伐採適地の選定
第7回(2012年11月20日(火)13:00-15:00/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林生物機能学研究室)
坂上大翼(北海道演習林)積雪の制御が暗色雪腐病菌のエゾマツ・トマツ・ウダイカンパ種子への加害性に及ぼす影響
井上大喜(樹芸研究所)ビャクダン培養細胞における芳香物質生産の試み
第8回(2012年12月21日(金)/13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学会議室/修士論文発表・森林圏生態学研究室)
滝川寛之(森林修士2年)二次林に生育するウダイカンパの心材形成と個体間変異
門脇希(生圏修士2年) Impacts of two alien ants, <i>Pheidole megacephala</i> and <i>Anoplolepis gracilipes</i> , on native ant fauna in Okinawa, Japan
高田乃倫予(森林修士2年)山村振興における森林資源活用の実態-埼玉県秩父市の山村地域の現状-
Pinkantayong Panisara(生圏博士3年) Population dynamic of larch sawfly, <i>Pristiphora erichsonii</i> (Hartig)
平尾聡秀(秩父演習林)群集形成に対するニッチ分化の寄与度を定量するための統計学的基準の提唱
第9回(2013年1月18日(金)13:00-17:00/農学部1号館B1階 生圏システム学会議室/卒業論文発表・森林流域管理学研究室)
眞田知輝(森林4年)薪ストーブ需要の変遷
宮部涼太郎(森林4年)「道」の環境形成を捉える視点探索
芝野博文(北海道演習林)日単位流量データに見られる無降雨日減水曲線の低減係数の長期変動
第10回(2013年2月22日(金)13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林圏生態社会学研究室)
蔵治光一郎(生態水文学研究所)矢作川流域における総合流域圏管理の現状と課題
田神悠介(生圏修士1年)北山川流域嶋津中州における水害痕跡調査
齋藤暖生(富士癒しの森研究所)林野の採集活動に見る排除と共存に関する比較研究に向けて
石橋整司(演習林企画部)秩父演習林における自動撮影カメラの撮影記録
安村直樹(田無演習林)薪由来のPM2.5〜わが国における発生量の推計
第11回(2013年3月1日(金)13:15-17:00/農学部1号館1階 6番教室/技術職員研究発表)
米道学(演習林教育研究センター)ビニールハウスに対する遮光ネット使用がマツ接ぎ木活着率に及ぼす効果
及川希・磯崎靖雄(北海道演習林)北海道演習林における林道維持管理業務とそのデータ管理
松井理生(生態水文学研究所)巣箱によるシジュウカラとヤマガラ30年間の繁殖記録
才木道雄(秩父演習林)境界データの電子化による調査方法の改善
西山教雄(富士癒しの森研究所)「癒しの森」づくりにおける灌木・枝条の処理方法の検討-焼却法と破碎法の比較-
犬飼慎也ほか(北海道演習林)北海道中央部に隔離分布するハクサンシャクナゲ集団の遺伝的多様性と繁殖様式
高德佳絵ほか(秩父演習林)秩父演習林の鳥類標識調査
西山教雄ほか(富士癒しの森研究所)ポータブルローブウインチを使った簡易で安全な集材作業の試み-搬出効率と労働負荷の計測-
後藤太成ほか(生態水文学研究所)白坂量水堰における土砂堆積量の測定と経年変化

2012年度 演習林研究部ゼミ

演習林研究部ゼミ

回	月日	発表者氏名	発表タイトル
第1回	2012.04.20	平林 毅一郎	天然更新による林相の変化が表層土壌に与える影響:ポリフェノールに着目して
		田神 悠介	ポータブル蛍光分光システムの開発
第2回	2012.05.18	Jorge Duran	The Internationalization of the Wood Pellets Market and their Influence in the Supply Structure of Biomass
第3回	2012.06.01	宮部 涼太郎	卒業論文経過報告「道に関する研究」
第4回	2012.07.06	Syaiful Amri Saragih	Mycorrhizal traits relevant for a functional effect classification of mycorrhizal fung
		Panisara Pinkantayong	Foliage property of the Japanese larch in relation to defoliation by larch sawfly larva
		門脇 希	Impacts of two alien ants, Anoplolepis gracilipes and Pheidole megacephala, on native ant fauna in Okinawa, Japan
第5回	2012.07.13	高田 乃倫予	山村における振興の可能性～埼玉・栃木・群馬の3 県の山村振興と林業について～
		滝川 寛之	二次林に生育するウダイカンバの心材の現状と形成について
第6回	2012.07.27	Thwethwe Win	Genetic structure and Phylogeography of Myanmar teak
第7回	2012.10.05	門脇 希	論文紹介:Invasional ‘meltdown’ on an oceanic island
第8回	2012.10.12	眞田 知輝	山を動かす
第9回	2012.10.19	田神 悠介	中州内森林における水害の痕跡の研究 和歌山県嶋津の森において
第10回	2012.11.02	高田 乃倫予	山村振興と森林の関係性
		滝川 寛之	二次林に生育するウダイカンバの 心材形成パターンとその個体間変異
第11回	2012.11.09	Thwethwe Win	Phylogeography of Quercus Phillyraeoides(Fagaceae) in Japan as revealed by chloroplast DNA variation
		宮部 涼太郎	林内の道の環境と管理・利用とに関する研究
第12回	2012.12.07	Syaiful Amri Saragih	Insect Pest in Future Forest : More Severe Problem?
		陳元君	中国海南島インゴリン自然保護区における住民連携型森林資源管理の必要性
		平林 毅一郎	金属汚染地域における植物の生育機構
第13回	2012.12.14	(修士2年全員練習)	
		門脇 希	ツヤオオズアリとアシナガキアリの沖縄在来蟻群への影響について
		高田 乃倫予	山村振興における森林資源活用の実態-埼玉県秩父市の山村地域の現状
		滝川 寛之	二次林に生育するウダイカンバの心材形成と個体間変異
第14回	2013.01.22	(修士2年全員練習)	
		門脇 希	ツヤオオズアリとアシナガキアリの沖縄在来蟻群への影響について
		高田 乃倫予	山村振興における森林資源活用の実態-埼玉県秩父市の山村地域の現状
		滝川 寛之	二次林に生育するウダイカンバの心材形成と個体間変異
第15回	2013.01.24	(修士2年全員練習)	
		門脇 希	ツヤオオズアリとアシナガキアリの沖縄在来蟻群への影響について
		高田 乃倫予	山村振興における森林資源活用の実態-埼玉県秩父市の山村地域の現状
		滝川 寛之	二次林に生育するウダイカンバの心材形成と個体間変異
第16回	2013.01.26	(修士2年全員練習)	
		門脇 希	ツヤオオズアリとアシナガキアリの沖縄在来蟻群への影響について
		高田 乃倫予	山村振興における森林資源活用の実態-埼玉県秩父市の山村地域の現状
		滝川 寛之	二次林に生育するウダイカンバの心材形成と個体間変異
第17回	2013.02.06	(学部4年全員練習)	
		眞田 知輝	薪ストーブ販売店とユーザーの需要の現状
		宮部 涼太郎	道の利用・管理が関わる森林内の道周辺の環境形成について
第18回	2013.02.09	(学部4年全員練習)	
		眞田 知輝	薪ストーブ販売店とユーザーの需要の現状
		宮部 涼太郎	道の利用・管理が関わる森林内の道周辺の環境形成について
第19回	2013.02.10	(学部4年全員練習)	
		眞田 知輝	薪ストーブ販売店とユーザーの需要の現状
		宮部 涼太郎	道の利用・管理が関わる森林内の道周辺の環境形成について

特別講座

回	月日	発表者氏名	発表タイトル
第1回	2012.05.11	後藤晋 (研究教育センター)	Excelセミナー
第2回	2012.06.15	後藤晋 (研究教育センター)	R講習会
		前原 忠 (教育研究センター)	教育研究安全MS

実習等

演習林名	学 校 名	科 目 名	学 部 等	学 科 等	学年	学生数	実施月	日数
千葉	東京大学	自然環境学野外総合実習	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	修士	46	4月	2
千葉	東京大学	造林学実験	農学部	森林系3専修	3・4年	22	5月	4
千葉	東京大学	森林植物学実験(野外実習)	農学部	森林系3専修	3・4年	19	5月	3
千葉	東京大学	森林経理学実習	農学部	森林系2専修	3・4年	8	5月	4
千葉	東京大学	地域自然誌論	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	修士	5	5月	2
千葉	東京大学	全学体験ゼミ「危険生物の知識」	教養学部		1・2年	22	6月	1
千葉	京都大学	課題演習E1(地質調査法野外実習)	理学研究科	地質学鉱物学教室	3年	8	8月	5
千葉	千葉大学	地球科学科実験「地質学野外実験Ⅱ」	理学研究科	地球科学コース	3年	21	8・9月	7
千葉	東京大学	フィールド科学総合演習	農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	修士	16	9月	2
千葉	東京大学	地球惑星環境学野外調査Ⅰ	理学系研究科	地球惑星科学専攻	3・4年	12	9月	6
千葉	東京大学	全学体験ゼミ「野生動物の保護管理」	教養学部		1・2年	19	9月	4
千葉	静岡大学	地質調査法実習Ⅱ	理学部	地球科学科	3年	12	10月	5
千葉	東京大学	森林計測学実習	農学部	森林系2専修	3・4年	10	12月	4
千葉	東京大学	全学体験ゼミ「房総の森林と生態を学ぶ」	教養学部		1・2年	16	2月	4
千葉	東京学芸大学	地質学調査法実習	自然科学系	環境科学分野	2・3年	13	3月	3
北海道	東京大学	全学体験ゼミ「景観としての森林生態系と人間の感覚」	教養学部		1・2年	17	6月	4
北海道	東京大学	附属学校宿泊研修	教育学部	附属中等教育学校	高校生	39	7月	4
北海道	公益財団法人日本科学技術振興財団振興事業部	サマーサイエンスキャンプ2011			高校生	15	7月	4
北海道	東京大学	全学体験ゼミ「森に学ぶ(ふらの)」	大学院農学生命科学研究科	附属演習林樹芸研究所	1・2年	13	8月	5
北海道	北海商科大学	アメリカ政治史研究	商学部		院生	7	8月	3
北海道	北海道札幌啓成高等学校	SSH道内視察研修(自然環境)			高校生	15	7月	3
北海道	東京大学	森林科学総合実習	大学院農学生命科学研究科	森林科学専攻	学生・院生	23	9月	4
北海道	東京大学	森林管理学野外実習・自然景観情報野外実習	大学院新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	院生	8	9月	5
北海道	東京大学	持続的森林圏経営論	大学院農学生命科学研究科	森林科学専攻、生圏システム学専攻	院生	3	9月	3
北海道	東京大学	陸域生態学実習	大学院新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	院生	17	9月	5
北海道	東京大学	森林流域管理学(修士課程集中講義)	大学院農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	院生	2	10月	4
北海道	東京大学	全学体験ゼミ「雪の森林に学ぶ～北海道演習林」	教養学部		1・2年	36	2月	3
秩父	早稲田大学	野生動物保護管理学演習、大学院動物行動生態学演習	人間科学部		3・4年・修士	16	4月	3
秩父	東京大学	森林土壌学実習	大学院農学生命科学研究科	森林科学専攻	4年	2	5月	4
秩父	東京大学	全学体験ゼミ「危険生物の知識」	教養学部		1～2年	21	6月	2
秩父	首都大学東京	動物系統学野外実習	理工学部	生命科学専攻	3年	15	8月	4
秩父	東京大学	森林土壌学実験	農学生命科学研究科	森林科学専攻	4年	6	8月	3
秩父	東京大学	森林生態学野外実習	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	修士	9	8月	3
秩父	東京大学	フィールド科学総合演習(森圏管理学実習)	農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	修士	7	9月	4
秩父	東京大学	理学部生物学科植物科学野外実習Ⅲ	理学系研究科	生物科学専攻	4年	4	9月	4
秩父	東京大学	森林植物学実験野外実習	農学生命科学研究科	森林科学専攻	3年	19	9月	4
秩父	東京大学	森林政策学演習	農学生命科学研究科	森林科学専攻	3年	15	9月	4
秩父	東京大学	森林科学実習、バイオマス科学実習	農学生命科学研究科	生物材料科学専攻	3年	14	10月	3
秩父	東京大学	自然環境デザインスタジオ2	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	修士	7	10月	2
秩父	東京大学	自然環境デザインスタジオ2	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	修士	8	10月	2
秩父	東京大学	総合科目「森のエネルギーを使いこなす」実習	教養学部		1～2年	18	12月	2
田無	東京大学	造林学実験	農学部	森林系2専修	3年	21	4・6・7月	3
田無	東京大学	森林動物学実験	農学部	森林系2専修	3年	20	5・8月	2
田無	東京大学	森林土壌学実験	農学部	森林系2専修	4年	7	4月	1
田無	東京大学	フィールド農学基礎実習	農学部	応用生物学専修	3年	24	4・1月	2
田無	東京大学	緑地環境実地実習	農学部	緑地環境学専修	3年	1	4・6・1月	3
田無	東京大学	生物多様性科学実習	農学部	フィールド科学専修	3年	10	10月	1
田無	東京大学	全学体験ゼミ「都市の緑のインタープリター養成」	教養学部		1・2年	4	5・6月	3
田無	東京大学	全学体験ゼミ「昆虫と節足動物の生物学」	教養学部		1・2年	8	8月	1

2012年度 実習等

演習林名	学 校 名	科 目 名	学 部 等	学 科 等	学年	学生数	実施月	日数
田無	西東京市立田無小学校	歩行訓練				48	6月	1
田無	西東京市立保谷中学校	職場体験学習			中学2年	4	6月	1
田無	東久留米市立南中学校	職場体験学習			中学2年	7	7月	3
田無	実践学園中学校	校外学習			中学2年	60	9月	1
田無	西武学園文理小学校	理科見学			小学1・2年	105	10月	1
田無	三鷹市立第六中学校	校外学習			中学1年	17	10月	1
田無	自由学園初等部	生活科授業			小学1年	20	10月	1
田無	東京大学教養学部附属中等教育学校	課題別授業			中学3・4年	40	10・11月	2
田無	西東京市立田無第二中学校	職場体験学習			中学2年	3	10・11月	3
田無	西東京市立保谷小学校	総合学習			小学3年	60	11月	1
田無	西東京市立住吉小学校	生活科授業			小学1・2年	88	11月	1
田無	西東京市立谷戸第二小学校	生活科授業			小学1年	95	11月	1
田無	東久留米市立第五小学校	生活科授業			小学1年	85	11月	1
田無	西東京市立泉小学校	自然観察			小学1・2年	85	12月	1
田無	東久留米市立下里中学校	職場体験学習			中学2年	2	1月	2
田無	西東京市立田無小学校	見学			小学5年	89	3月	1
生態水文	東京大学	森林保全学実習	農学	森林科学	4	10	5月	3
生態水文	東京大学	総合科目D(人間・環境一般)「ダムと森林」	教養		1・2年	28	6月	2
生態水文	南山大学	総合政策学部学外体験プログラムA(国内)	総合政策	総合政策	2・3・4年	6	6月	2
生態水文	筑波大学	水文科学野外実験		生命環境科学研究科	2・3年修士	16	8月	5
生態水文	東京大学	測量学実習	農学	森林環境資源科学	3・4年	16	9月	5
生態水文	名古屋大学	生物環境科学基礎実験実習	農学	生物環境科学	2年	38	12月	1
生態水文	東京大学	全学体験ゼミ「ダムと土砂と海」	教養		1・2年	27	2月	2
富士	都留文科大学	地域資源管理・環境保全実習	文学部	社会学科	3・4年	7	5月	2
富士	東京大学	森圏管理学実習	農学生命科学研究科	フィールド科学専修	院生	10	6月	2
富士	富士北稜高校	森林空間整備にむけた素材の研究			高校生	14	6月	1
富士	東京大学	森林生態圏管理学特論	農学生命科学研究科		院生	3	6月	1
富士	東京大学	環境設計演習	農学生命科学研究科		院生	12	7月	2
富士	東京大学	総合科目「癒しの森」を考える	教養学部		学生	30	7月	2
富士	富士北稜高校	森林空間整備にむけた素材の研究			高校生	14	7月	1
富士	都留文科大学	地域資源管理・環境保全実習	文学部	社会学科	3・4年	6	7月	2
富士	東京大学	森林動物学実習	農学部	森林科学専攻	学生	22	8月	3
富士	富士北稜高校	森林空間整備にむけた素材・構造の研究			高校生	14	9月	1
富士	東京大学	全学体験ゼミ「癒しの森を創る(夏)」	農学生命科学研究科		学生	5	9月	3
富士	東邦大学	野外基礎実習	理学部		1年生	23	9月	1
富士	東京大学	社会基盤フィールド演習	工学部			50	9月	4
富士	富士北稜高校	森林空間と生活空間の連携に関する実技・実習			高校生	15	10月	2
富士	東京大学	総合科目「森をはかる」	教養学部		学生	19	12月	2
富士	東京大学	全学体験ゼミ「癒しの森を創る(冬)」	教養学部		学生	10	12月	2
富士	東京大学	体験活動プログラム「癒しの森の落ち葉焚き」	農学部		学生	3	12月	2
樹芸	東京大学	全学体験ゼミ「夏版・伊豆に学ぶ1」	教養学部		1・2年	29	8月	4
樹芸	東京大学	全学体験ゼミ「夏版・伊豆に学ぶ2」	教養学部		1・2年	30	8月	4
樹芸	東京大学	森林実習	農学部	国際開発農学専修	3年	16	9月	4
樹芸	東京大学	全学体験ゼミ「企画系さらに伊豆に学ぶ」	教養学部他		1・4年	13	9月	5
樹芸	東京大学	全学体験ゼミ「森に学ぶ」	教養学部		1・2年	22	9月	4
樹芸	東京大学	全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ1」	教養学部		1・2年	31	2月	4
樹芸	東京大学	全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ2」	教養学部		1・2年	20	2月	4
樹芸	東京大学	全学体験ゼミ「企画系さらに伊豆に学ぶ」	教養学部他		1・4年	7	3月	6

■研究活動■

演習林技術職員等試験研究・研修会議

場所 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林

日程 [平成 24 年 11 月 1 日 (木)]

試験研究発表会 (於: ワサビ沢展示室)

12:30 受付・記念撮影

13:00 開会挨拶 鎌田直人 秩父演習林長

13:10 試験研究発表 (○: 発表者) 進行: 秩父演習林 五十嵐勇治
境界データの電子化による調査方法の改善

○才木道雄・原口竜成・千嶋武・富澤貴志 (秩父演習林)

13:30 千葉演習林作業日誌から見る作業量

○塚越剛史・軽込 勉 (千葉演習林)・米道 学(教育研究センター)

13:50 北海道演習林における図面データの管理状況

○中川雄治・笠原久臣 (北海道演習林)

14:10 北海道演習林における林道維持管理業務とそのデータ管理

○及川 希・磯崎靖雄・飯沼利雄 (北海道演習林)

14:30 田無演習林ホームページのアクセス解析

○栗田直明・芝野伸策 (田無演習林)

14:50 ニタ間川上流 (千葉県鴨川市) の水生昆虫相

○三次充和 (千葉演習林)

15:10 巣箱によるシジュウカラとヤマガラの 30 年間の繁殖記録

○松井理生 (生態水文学研究所)・高德佳絵・才木道雄 (秩父演習林)・荒木田善隆 (生態調和農学機構)

15:30 休憩

15:40 ビニールハウスに対する遮光ネット使用がマツ接ぎ木活着率に及ぼす効果

○米道 学 (教育研究センター)・塚越剛史・里見重成・軽込勉 (千葉演習林)

16:00 ユーカリ造林試験に関する育苗法の検討と今後の展開について

○辻 良子・渡邊良広・小林徹行・辻 和明 (樹芸研究所)

16:20 ポータブルウインチを用いた木材の搬出・収穫体験プログラムの開発

○齋藤俊浩 (秩父演習林)・西山教雄・千島茂 (富士癒しの森研究所)

16:40 「癒しの森」づくりにおける灌木・枝条の処理方法の検討

ー焼却法と破碎法の比較ー

○西山教雄 (富士癒しの森研究所)

17:00 講評 石橋整司 企画部長

18:10 懇親会 (川俣宿泊施設食堂)

17:00 講評 石橋整司 企画部長

18:00 懇親会

宿泊: 川俣学生宿舎

【平成 24 年 11 月 2 日（金）】

講義・現地研修

9:00 鈴木雅一 演習林長 「研究のガイダンス」

9:30 犬飼 浩 統括技術長「技術職員組織化について 全学、研究科と演習林組織の関係は？」

9:30 平尾聡秀 講師（秩父演習林）「秩父演習林の生物多様性の研究について」

10:00 秩父演習林(入川流域)の見学

12:00 昼食後解散

参加者

林 長 ・ 企 画 部 ： 鈴木雅一・石橋整司・犬飼 浩

千 葉 演 習 林 ： 塚越剛史・三次充和・梁瀬桐子

北 海 道 演 習 林 ： 及川 希・中川雄治

秩 父 演 習 林 ： 鎌田直人・浅野友子・平尾聡秀・五十嵐勇治・大村和也・千嶋 武・齋藤
俊浩・高野充広・相川美絵子・才木道雄・丹羽悠二・吉田弓子・原口竜成・
神塚武一・木村恒太

田 無 演 習 林 ： 栗田直明

生態水文学研究所 ： 松井理生

富士癒しの森研究所： 西山教雄

樹 芸 研 究 所 ： 辻 良子・小林徹行

教育研究センター ： 後藤 晋・米道 学

生態調和農学機構 ： 神川翔貴・臼井真由美

教職員の論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
後藤晋・小川瞳・尾張敏章・鴨田重裕・木村徳志・楠本 大・坂上大翼・山田利博・秋本正信・内山和子・来田和人・黒丸 亮・今博計・石橋聡・生方正俊・落合幸仁・佐々木尚三・田村明・那須仁弥・山口武広・河原義明・出口隆	新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業「北海道固有の森林資源再生を目指したエゾマツの早出し健全苗生産システムの確立」－2年間の主な成果－	林木の育種	244	18-21	2012
齋藤暖生	入会から世界を変える－国際コモンズ学会北富士大会の試み－	森林環境2013		29-39	2013
當山啓介	伐出作業を考えた利用間伐作業の同期化－山形県金山町民有林の例－	森林資源管理と数理モデル	11	181-193	2012
Tatsumi, S., Owari, T., Toyama, K. and Shiraishi, N.	Adaptation of a Spatially-Explicit Individual-Based Forest Dynamics Model SORTIE-ND to Conifer-Broadleaved Mixed Stands in the University of Tokyo Hokkaido Forest	森林資源管理と数理モデル FORMATH	11	1-26	2012
Yoko Hisamoto and Mikio Kobayashi	Flowering habit of two bamboos <i>Phyllostachys meyeri</i> and <i>Shibataea chinensis</i> analyzed with flowering gene	Plant Species Biology			2012
蔵治光一郎・鎌田直人・芝野博文・山田利博・山本清龍・山中千恵子・算用子麻未	東京大学演習林富士癒しの森研究所・千葉演習林における年平均気温の長期データの推定	東京大学農学部演習林報告	127	45-56	2012
Mie Gomyo, Taeko Wakahara, Katsushige Shiraki, Koichiro Kuraji and Masakazu Suzuki	Sources and generation mechanisms of high SO42-concentrations in soil water, groundwater and streamwater in a small watershed, Lambir Hills National Park, Malaysia	Bulletin of the University of Tokyo Forests	127	17-34	2012
Kusumoto D, Masuya H, Ohmura K, Kamata	Virulence of <i>Raffaelea quercivora</i> isolates inoculated into <i>Quercus serrata</i> logs and <i>Q. crispula</i> saplings	Journal of Forest Research	17(4)	393-396	2012
大海昌平・岩井紀子・亘 悠哉	アマミシカワガエル地域個体群間の体サイズ比較	日本爬虫両棲類学会報	2012(2)	101-106	2012
當山啓介	目林協アンケートに見る『森林・林業再生プラン』に対する関係者の意識	林業経済	65(6)	15-28	2012
Iwai N, Shoda-Kagaya E, Hamaguchi K	Isolation and characterization of eight microsatellite loci in the Otton frog, <i>Babina subaspera</i> .	Journal of Forest Research	17	446-448	2012
Kusumoto D, Matsumura E	Effects of salicylic acid, 1-aminocyclopropan-1-carboxylic acid, and methyl jasmonate on the frequencies of endophytic fungi in <i>Quercus serrata</i> leaves	Forest Pathology	42	393-396	2012
Naoto Kamata, Hideaki Goto, Keiko Hamaguchi, Hayato Masuya, Dai Kusumoto, Toshihide Hirao, Wen-I Chou, Wiwat Suasa-ard, Sawai Buranapanichpan, Sopon Uraichuen, Oraphan Kern-asa, Sunisa Sanguansub, Thu Pham Quang, Sih Kahono, Heddy Julistiono	Why does the Japanese oak wilt occur only in Japan?	Proceeding of International Conference on The Impacts of Climate Change to Forest Pests and Diseases in The Tropics		29-37	2012
山下香葉・勝木俊雄・田端雅進・太田祐子・明石浩司・元島清人・山田利博	遺伝資源保存林におけるヤツガタケトウヒの非破壊腐朽診断 その1：3種の非破壊検査機器の比較	樹木医学研究	16(4)	171-172	2012
Ishizuka W, Goto S	Modeling intraspecific adaptation of <i>Aibes sachalinensis</i> to local altitude and responses to global warming, based on a 36-year reciprocal transplant experiment	Evolutionary Applications	5	229-244	2012
當山啓介・龍原哲・白石則彦	多様な条件下でのシミュレーションによるスギ人工林の伐期と間伐体系の検討	日本森林学会誌	94	269-279	2012

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一号	頁	年
Megumi K. Kimura, Susumu Goto, Yoshihisa Suyama, Masaki Matsui, Keith Woeste, Kenji Seiwa.	Morph-specific mating patterns in a low-density population of a heterodichogamous tree, <i>Juglans ailantifolia</i> .	Population Ecology	213	1477-1487	2012
Uchiyama K, Fujii S, Ishizuka W, Goto S, Tsumura Y.	Development of 32 EST-SSR markers for <i>Abies firma</i> (Pinaceae) and their transferability to related species.	Applications in Plant Sciences	1		2013
田中延亮・鎌田直人・ 芝野博文・尾張敏章・ 大川あゆ子・五十嵐勇 治・荒木田きよみ	東京大学演習林生態水文学研究所・北海道演習 林・秩父演習林における年平均気温の長期データ の推定	東京大学農学部 演習林報告	128	1-19	2013
遠國正樹・平田雅和・ 鈴木裕紀・高橋功一・ 尾張敏章	森林内におけるハンディGNSS受信機の測位精度	北方森林研究	61	117-120	2013
算用子麻未・小池征 寛・鈴木祐紀・岡平卓 巳・高橋友継・坂上大	北海道中央部における導入針葉樹9種の50年後の生 育と適応性	北方森林研究	61	87-90	2013
Noriko Iwai	Morphology, function, and evolution of the <i>pseudthumb</i> in the <i>Otton frog</i>	Journal of Zoology	289	127-133	2013
小泉匡平・鎌田直人・ 小池孝良	ナラ枯れとカシノナガキクイムシ—北陸のナラ枯 れ現場から—	北方林業	65. 2	52-55	2013
鎌田直人・後藤秀章・ 楠本 大・濱口京子・ 升屋勇人・江崎功二 郎・平尾聡秀	<講座：森林保護学(9)>ナラ枯れ流行の原因を探る 旅—海外のカシナガとナラ枯れ—	北方林業	65. 2	56-60	2013
Owari, T.	Relationships between the abundance of <i>Abies sachalinensis</i> juveniles and site conditions in selection forests of Central Hokkaido, Japan	Forest Resource Management and Mathematical Modeling	12	1-20	2013
Tatsumi, S., Owari, T., Ohkawa, A., Nakagawa, Y.	Bayesian modeling of neighborhood competition in uneven-aged mixed-species stands	Forest Resource Management and Mathematical Modeling	12	191-209	2013
浅野友子・川崎雅俊・ 藤原奈生子・大村和 也・高野充広・千嶋 武・原口竜成・平田雅 和・鎌田直人	秩父演習林入川流域における河川水の化学組成モ ニタリング地点の検討	演習林	53	153-167	2013
斎藤俊浩・後藤秀章・ 平尾聡秀・鎌田直人	1994-2003年に秩父演習林の誘引トラップで捕獲さ れたキクイムシ類のリストの再検討	演習林	53	169-193	2013
楠本大・升屋勇人・鎌 田直人	ナラ枯れの病原菌 <i>Raffaelea quercivora</i> の病原力—新 鮮丸太を使った菌株間差の検出—	森林防疫	62, 2	66-70	2013
山田利博・村川功雄・齋 藤俊浩・大村和也・高德 佳絵・井口和信・井上淳・ 才木道雄・齋藤暖生・辻 和明・田野井慶太郎・中 西友子	福島第一原子力発電所事故に起因する放射性物質 低汚染地域におけるキノコ類への放射性セシウム の蓄積—東京大学演習林における事例—	Radioisotopes	62(3)	141-147	2013
Yamagishi T, Yokoyama T, Yamada T, Matsumoto Y	Structure of cell wall components in the sapwood of <i>Quercus serrata</i> Thunb. attacked by <i>Platypus quercivorus</i>	Journal of Wood Chemistry and Technology	33(1)	65-75	2013
Haruo Saito	The governance of local commons and community administration: The hidden potential of the property ward system	Local Commons and Democratic Environmental Governance		215-233	2013
山田利博・村川功雄・ 齋藤俊浩・大村和也・ 高德佳絵・井口和信・ 井上淳・才木道雄・齋 藤暖生・辻和明・田野 井慶太郎・中西友子	福島第一原子力発電所事故に起因する野生キノコ への放射性セシウム蓄積—東京大学演習林にお ける事例—	RADIOISOTOPES	62(3)	19-25	2013

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
Matsunaga SN, Niwa S, Mochizuki T, Tani A, Kusumoto D, Utsumi T, Enoki T, Hiura T	Seasonal variation in basal emission rates and composition of mono- and sesquiterpenes emitted from dominant conifers in Japan	Atmospheric Environment	69	124-130	2013
Iwai N, Shoda-Kagaya E	Population structure of an endangered frog (<i>Babina subaspera</i>) endemic to the Amami Islands: possible impacts of invasive predators on gene flow.	Conservation Genetics	13	717-725	2013
1.Nakajima T, Hirata Y, Hiroshima T, Furuya N, Tatsuhara S, Tsuyuki S and Shiraishi N	A Growth Prediction System for Local Stand Volume Derived from LIDAR Data	GIScience & Remote Sensing			2012
Suzuki, R.O., Suzuki, S.N.	Morphological adaptation of a palatable plant to long-term grazing can shift interactions with an unpalatable plant from facilitative to competitive	Plant Ecology	213	175-183	2012
Suzuki, S.N., Kachi, N., Suzuki, J.I	Variability of local spatial structure in a wave-regenerated <i>Abies</i> forest	Ecological Research	27	893-901	2012
Sakamoto, S.H., Suzuki, S.N., Degawa, Y., Koshimoto, C., Suzuki, R.O.	Seasonal habitat partitioning between sympatric terrestrial and arboreal Japanese wood mice, <i>Apodemus speciosus</i> and <i>A. argenteus</i> , in successional vegetation.	Mammal Study	37	261-272	2012
Suzuki SN, Ishihara MI, Nakamura M, Abe S, Hiura T, Homma K, Higa M, Hoshino H, Hoshizaki K, Ida H, Ishida K, Kawanishi K, Kobayashi K, Kuraji K, Kuramoto K, Masaki T, Niiyama K, Noguchi M, Nomiya H, Saito S, Sakai T, Sakimoto M, Sakio H, Sato T, Shibano S, Shibata M, Suzuki M, Takashima T, Tanaka H, Takagi M, Tashiro N, Tokuchi N, Yoshida T, Yoshida Y.	Nation-wide litter fall data from 21 forests of the Monitoring Sites 1000 Project in Japan	Ecological Research	27	989-990	2012
広橋亜希, 児嶋美穂, 吉田正人, 山本浩之, 渡邊良広, 井上広喜, 鴨田重裕	国産早生樹ユーカリ6樹種の材質特性	木材学会誌	58(6)	339-346	2012
浅野友子・星野晋一郎・内田太郎・秋山浩一	山地河道における水の流れとマニングの粗度係数の実測	砂防学会誌	165(1)	62-68	2012
Asano, Y. and T. Uchida	Flow path depth is the main controller of mean base flow transit times in a mountainous catchment	Water Resources Research	48, W03512	doi:10.1029/2011WR010906	2012
浅野友子・内田太郎・渡邊良広・井上広喜・辻和明・鴨田重裕	東京大学樹芸研究所青野研究林における山地河道の水力・水文観測	砂防学会誌	65(3)	65-69	2012

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一号	頁	年
Michiko Nakagawa, Michinari Matsushita, Hiroko Kurokawa, Hiromitsu Samejima, Yayoi Takeuchi, Masahiro Aiba, Ayumi Katayama, Yuji Tokumoto, Tomonori Kume, Natsuko Yoshifuji, Koichiro Kuraji, Hidetoshi Nagamasu, Shoko Sakai and Tohru Nakashizuka	Possible Negative Effect of General Flowering on Tree Growth and Aboveground Biomass Increment in a Bornean Tropical Rain Forest	Biotropica	44(6)	715-719.	2012
五名美江・蔵治光一郎	ハゲ山に森林を再生した小流域における降雨量一直 接流出量関係の長期変化	日本森林学会誌	94	214-222	2012
Toshihide Hirao, Masashi Murakami, Yasuhiro Kubota	Species abundance distributions of moth and beetle assemblages in a cool-temperate deciduous forest	Insect Conservation and Diversity			2012
Noriko Iwai	HOME RANGE AND MOVEMENT PATTERNS OF THE OTTON FROG: INTEGRATION OF YEAR- ROUND RADIOTELEMETRY AND MARK–RECAPTURE METHODS	Herpetological Conservation and Biology			2013
福岡哲・及川希・遠國 正樹・磯崎靖雄・後藤 晋	東京大学北海道演習林の針広混交林における択伐施 業がミズナラの個体群動態に及ぼす影響	東京大学演習林 報告			2013
Igarashi, Y., Tanaka, N., Tanaka, K., Yoshifuji, N., Sato, T., Tantasirin, C., Suzuki, M.	Seasonality of water and carbon dioxide exchanges at a teak plantation in northern Thailand	Ecohydrology	6	125-133	2013
Suzuki, S.N., Kachi, N., Suzuki, J.I	Spatial variation of local stand structure in an Abies forest, 45 years after a large disturbance by the Isewan	Journal of Forest Research	18	139-148	2013
Suzuki SN, Tomimatsu H, Ohishi Y, Konno Y	Edge-related changes in tree communities in the understory of mesic temperate forest fragments of northern Japan	Ecological Research	28	117-124	2013
安村直樹	薪ストーブと健康ー望まれる排煙対策ー	木材情報	250	9-12	2012
Hiroshima T	Trends and issues on the Japan Verified Emission Reduction (J-VER) scheme and corresponding carbon offset in Japan	Bull Tokyo Univ For	127	1-16	2012
鎌田直人・サングァンスッ プ スニサ・後藤秀章	ナラ枯れ被害がアンブロシアクイムシ類群集に 与える影響：本州中央部のコナラに寄生するギルド 構造解析からの予測	昆虫と自然	47, 10	16-19	2012
尾張敏章	東京大学北海道演習林の林分施業法ー50年を振り返 り, 50年を展望するー	北方林業	64	331-335	2012
後藤 晋	厳しい環境に樹木はどう適応しているのか？	山びこ	45	6-14	2012
安村直樹	新大陸林業演義(6) 何にこだわりますか ニュージ ーランドその2	山林	1546	54-55	2012
安村直樹	里エネ利用のルネサンスー需要側からエネルギー問 題を考えるー	林業経済			2012
安村直樹	新大陸林業演義(7) ニュージーランドの大気汚染対 策 ニュージーランドその3	山林	1546	42-43	2012
岩井紀子	カエル研究から水場の管理へ.	水文・水資源学 会誌	25	45	2012
蔵治光一郎	森林生態系の水涵養機能への社会の期待	水利科学	324	100-106	2012
Iwai N, Shoda-Kagaya E	Recent publications: Population structure of an endangered frog (Babina subaspera) endemic to the Amami Islands: possible impacts of invasive predators on gene flow.	FrogLog	20	40	2012
蔵治光一郎・加藤敦美・ 五名美江	生態水文学研究所穴の宮試験流域日降水量の再計 算結果報告(I)	演習林	53	55-66	2012
蔵治光一郎・五名美江	70年以上の長期モニタリングが明らかにした治水計画 の対象となるような大雨時の森林保水量の実態	科学	83(4)	397-402	2012
平尾聡秀・久保田康 裕・村上正志	生物多様性の維持機構の解明に中立理論が果たす 役割	生物科学	64	242-249	2012

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
鎌田直人・後藤秀章・楠本大・濱口京子・升屋勇人・江崎功二郎・平尾聡秀	ナラ枯れ流行の原因を探る旅:海外のカシナガとナラ菌	北方林業	65	24-28	2012
糸数哲・小杉賢一朗・恩田裕一・蔵治光一郎・田中延亮・後藤太成・太田岳史・水山高久	通常降雨イベントにより同定されたタンクモデルを用いた豪雨イベントの再現精度	水文・水資源学会誌	26(2)	85-98	2013
澤田晴雄・平尾聡秀・鎌田直人	東海地方の暖温帯二次林におけるカシノナガキクイムシ加害初期の穿入木の経年変化と空間分布	森林防疫			2013
塚越剛史、三次充和、鈴木祐紀、米道学、里見重成、阿達康真、軽込勉、鈴木牧、山田利博	伐採と防鹿柵の設置が広葉樹二次林のリター・土砂移動量に与える短期的影響	演習林	52	307-317	2012
Takaya Iwasaki, Tadashi Sase, Shohei Takeda, Takeshi A. Ohsawa, Kemrio Ozaki, Naoki Tani, Hiroyuki Ikeda, Masanori Suzuki, Ryota Endo, Kazuo Tohei, Yasuyuki Watano	Extensive selfing in an endangered population of <i>Pinus parviflora</i> var. <i>parviflora</i> (Pinaceae) in the Boso Hills, Japan	Tree Genetics & Genomes	Vol. 16		2013
五十嵐勇治・大村和也・相川美絵子・澤田相川美絵子・吉田弓子・五十嵐勇治・大村和也・澤田晴雄	秩父演習林における原生林固定試験地毎木調査資料	演習林	53	67-127	2013
相川美絵子・吉田弓子・五十嵐勇治・大村和也・澤田晴雄	秩父演習林における亜高山帯風害跡地試験地の毎木調査資料(1971-2008)	演習林	53	9-28	2013
齋藤俊浩・後藤秀章・平尾聡秀・鎌田直人	1994-2003年に秩父演習林の誘因トラップで捕獲されたキクイムシ類のリストの再検討	演習林	53	169-293	2013
原口竜成・千嶋武・高德佳絵・丹羽悠二・神塚武一・五十嵐勇治・相川美絵子・吉田弓子・鎌田直人	埼玉県秩父市における間伐強度の異なるサワラ人工林の成長解析	関東森林研究	63	57-60	2012
原口 竜成	東京大学秩父演習林における技術職員の役割と業務	フォレストコンサル	130	33-38	2012
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	生態水文学研究所日降水量・日流出量観測結果報告(VIII)	演習林	53	29-53	2012
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	昭和30年に作成された穴の宮、東山、数成、白坂の各水位観測所からの諸報告	演習林	53	129-152	2012
Tatsumi,S., Owari,T., Ohkawa,A. & Nakagawa,Y.	Bayesian Modeling of Neighborhood Competition in Uneven-Aged Mixed-Species Stands	森林資源管理と数理モデル FORMATH Vol.12—FORNATH RYUKYUS 2012	Vol.12	191-209	2013
Mie GOMYO・Taeko WAKAHARA・Katsushige SHIRAKI・Koichiro KURAJI・Kanehiro KITAYAMA・Masakazu SUZUKI	Comparison of nutrient balance between a tropical lowland forest and a tropical montane forest in Malaysian Borneo	Journal of Tropical Biology & Conservation	9	15-25	2012
Dai Kusumoto・Hayato Masuya・Kazuya Ohmura・Naoto Kamata	Virulence of <i>Raffaella quercivora</i> isolates inoculated into <i>Quercus serrata</i> logs and <i>Q. crispula</i> saplings	Journal of Forest Research	17	393-396	2012

2012年度 教職員の論文等

学会発表等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一号	頁	年
原口竜成・千嶋武・高徳佳絵・丹羽悠二・神塚武一・五十嵐勇治・相川美絵子・吉田弓子・鎌田直人	埼玉県秩父市におけるサワラ人工林の成長解析	関東森林研究	63((2)	57-60	2012
三次充和、塚越剛史、広嶋卓也、中島徹、露木聡	スギ人工林におけるLiDAR取得データによる立木成長量の推定	関東森林研究	63(1)	27-30	2012
高田乃倫予、石橋整司、安村直樹、富山啓介	埼玉県の山村におけるUターン者の現状	関東森林研究			2012
Yoko Hisamoto	Utility of flowering genes as nuclear DNA markers to detect putative hybrid species in Japanese dwarf bamboos.	日本生態学会	59		2012
藤井正典・平尾聡秀・小島久弥・福井学	淡水環境における微生物の地理的分布とその制限要因	日本生態学会	59		2012
Iwai N・Kadoya T・Akasaka M・Ishida S・Takamura N	Biomass or Diversity?・How aquatic plants affect Odonata	East Asian Federation of Ecological Societies			2012
久本 洋子	日本産ササ類における推定雑種検出を可能とする開花遺伝子マーカーの検討	日森学術講	123		2012
當山啓介	人工林の施業方針選択を支援するため予想結果提示法について	日森学術講	123		2012
宮川修一・小畑尚子・土田浩治・舟橋和夫・齋藤暖生・竹中千里	東北タイの農村におけるシロアリ塚の利用 • 伝統的利用	日本熱帯農業学会	111		2012
Keisuke Toyama・Satoshi Tatsuhara and Norihiko Shiraishi	Simulation on management of Japanese private industrial forest・Does the commercial thinning promotion policy decrease clearcutting?・	Forests for People			2012
秋元真也、寺田珠実、嶋田重裕、後藤晋	トウヒ属樹木由来PAL遺伝子の解析	日本植物細胞分子生物学会(生駒)大会・シンポジウム	30		2012
Iwai N	Morphology and functions of the "fifth finger" in the Otton frog, Babina subaspera.	7th World Congress of Herpetology			2012
Sawada・H. and Iwai・N.	Annual fluctuation of seed production of nine major tree species in the LTER plot of Ecohydrology Research Institute, the University of Tokyo Forests	5th Symposium of Asian University Forest Consortium			2012
Hisamoto Y・Ishizuka W・Goto S	Effects of altitude on the reproduction and growth of F1 progeny of Abies sachalinensis.	The 5th Symposium of Asian University Forest Consortium			2012
Yoko Hisamoto・Wataru Ishizuka・Susumu Goto	Effects of altitude on the reproduction and growth of F1 progeny of Abies sachalinensis	the 5th Symposium of Asian University Forest Consortium			2012
Toshihide Hirao	Species diversity of moth and beetle assemblages in a cool-temperate deciduous forest	The 5th Symposium of Asian University Forest Consortium			2012
澤田晴雄・岩井紀子・鎌田直人	東京大学生態水文学研究所長期生態系プロットにおける主要9樹種の種子落下量年変動	中部森林学会	2		2012
當山啓介・広嶋卓也・村川功雄・塚越剛史・大石諭・軽込勉	経営上の制約を満たす森林経営計画の検討ー東京大学千葉演習林の事例ー	関東森林研究	2		2012
滝川寛之・後藤晋・岡村行治・松井理生	二次林に生育するウダイカンバの心材形成パターンとその個体間変異	森林遺伝育種学会			2012
Thwe Thwe Win・Atsushi Watanabe・Tomonori Hirao・Susumu Goto	Comparison of genetic diversity and variation of Myanmar teak (Tectona grandis) with other native countries	森林遺伝育種学会			2012
岩泉正和・渡辺敦史・逢沢峰昭・後藤晋	エゾマツにおけるSSRマーカーの整備状況	森林遺伝育種学会			2012
岩井紀子	5本目の指の謎ーオットンガエルの拇指の意義とはー	九州両生爬虫類研究会	4		2012
岩井紀子・渡部賢・澤田晴雄	樹木多様性と生産量の関係ー天然林生態系プロットのデータ解析ー	日本生態学会	60		2012

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
鈴木智之・竹田謙一・小林元	縞枯れ林におけるシカ食害の現状とその10年間の変化縞枯れ林におけるシカ食害の現状とその10年間の変化	日本生態学会	60	P2-405	2013
久本洋子	日本産ササ類における推定雑種分類群を検出する分子マーカーの検討	日本生態学会	60		2013
藤井正典・伊藤亮太・平尾聡秀	微生物群集の系統的多様性の全球パターン	日本生態学会	60		2013
浅野 友子・内田 太郎	山地源流域における降雨時流出の空間分布	日森学術講	123		2012
内田 太郎・浅野 友子	森林流域の流出機構に関する概念の構築にむけて	日森学術講	123		2012
山下香菜・勝木俊雄・田端雅進・太田祐子・明石浩司・元島清人・山田利博	ヤツガタケトウヒ心材腐朽の非破壊診断	日本木材学会	62		2012
松浦孝憲・福原一成・遠藤良太・本山直樹・唐常源・孫静・張翹鵬・小林弘和・田畑勝洋・山田利博	千葉県における無人ヘリコプターによる薬剤散布の松くい虫防除効果	日森学術講	123		2012
梅利弘・福田健二・米道 学・里見重成・山田利博	マツ材線虫病における通水阻害の発生と水ポテンシャルの関係	日森学術講	123	F03	2012
鈴木智之	全国のリターフォール動態の階層モデリングーモニタリングサイト1000データを用いてー	日森学術講	123	P1-030	2011
Tomimatsu H・Yamagishi H・Suzuki S・Konno Y.	Long-term dynamics of tree biomass in fragmented forests: inference from patterns along a gradient of forest size	日本生態学会	29	P3-153A	2012
田野井慶太郎・眞鍋昇・李 俊佑・小林和彦・安永円理子・山田利博・中西友子・長澤寛道	東京大学大学院農学生命科学研究科の取り組みー附属施設を活用した調査	アイトープ・放射線研究発表会	49		2012
Matsuda Y・Torii M・Yamada T & Ito S	Lessons from fungal inoculation experiments. How oak trees wilt and die by the infection of Japanese oak wilt	KFRI oak symposium			2012
Yamada T・Yonemichi T・Tsukagoshi T・Satomi S & Karukome T	Major tree diseases observed in the University of Tokyo Chiba Forest	SAUFC5			2012
大海昌平・岩井紀子・亘悠哉	アマミシカワガエル地域個体群間の体サイズ比較	日本爬虫両生類学会	51		2012
坂上大翼・来田和人・山口岳広・木村徳志・秋本正信・今 博計・山田利博	エゾマツ・アカエゾマツ・トドマツ苗の暗色雪腐病の薬剤防除試験（予報）	北方森林学会	61	Pa-03	2012
来田和人・坂上大翼・山口岳広・木村徳志・秋本正信・今 博計・山田利博	Rhizoctonia solaniによるエゾマツ、アカエゾマツ、トドマツの苗立枯病の薬剤防除試験	北方森林学会	61	Pa-01	2012
松井優一・楠本 大・山田利博	マツ材線虫病抵抗性アカマツにおける抵抗性要因	樹木医学会要旨集	17		2012
山田利博	五葉マツ類かさぶたがんしゅ病の発生状況	樹木医学会要旨集	17		2012
徳江 泉・米沢 洋・山田利博	樹木内部の音響波診断における高周波を使用する優位性ーDWによる計測の場合ー	樹木医学会要旨集	17		2012
尾張敏章・中川雄治・遠國正樹・後藤 晋	東京大学北海道演習林における主要針葉樹3種の分布	日森学術講	123	Pb123	2012
澤田晴雄・鎌田直人	東京大学生態水文学研究所長期生態系プロットにおけるカシノナガキイムシ加害初期の穿入木と枯死木の空間分布と経年変化	日森学術講	123		2012
久保田耕平・深谷 緑・間野隆裕・佐藤信輔・鎌田直人	ブナアオシャチホコの遺伝的分化	日森学術講	123		2012
広嶋卓也	J-VER取引の現状と課題	日森学術講	123	B11	2013

2012年度 教職員の論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
Hiroshima T	Abstracts of the First Conference “Forest for People” in Alpbach, Tyrol/Austria, May 22 - 24, 2012	First Conference “Forest for People”		P334	2012
Naoto Kamata・Hideaki Goto・Keiko Hamaguchi・Hayato Masuya・Dai Kusumoto・Toshihide Hirao・Wen-I Chou・Wiwat Suasa-ard Sawai・Buranapanichpan・Sopon Uraichuen・Oraphan Kern-asa・Sunisa Sanguansub・Thu Pham Quang・SihKahono・Heddy Julistiono	Why does the Japanese oak wilt not occur outside Japan?	3rd meeting of IUFRO Working Unit 7.03.12 “Alien invasive species and international trade” Abstracts	O5		2012
Sunisa Sanguansub・Hideaki Goto・and Naoto Kamata	High risk ambrosia beetles species attacking living trees	3rd meeting of IUFRO Working Unit 7.03.12 “Alien invasive species and international trade” Abstracts	O6		2012
Nozomi Kadowaki・Kazuki Tsuji・Hitoshi Ohnishi・Hiroataka Tanaka・Naoto Kamata・Komatsu・M・Sakaue・D・Maehara・T・Son・J-A・Wu・B.Y・Matsushita・N・and Hogetsu・T	Impacts of two alien ants, Pheidole megacephala and Anoplolepis gracilipes, on native ant fauna in Okinawa, Japan	3rd meeting of IUFRO Working Unit 7.03.12 “Alien invasive species and international trade” Abstracts	O14	36-37	2012
	Genetic structures of Bursaphelenchus xylophilus and Monochamus alternatus in a seriously damaged maritime pine forest of Japan	Abstracts of the 3rd meeting of IUFRO Working Unit 7.03.12 “Alien invasive species and international trade”		P16	2012
Owari・T.	Forest inventory and analyses to sustain provisioning ecosystem services: experiences from the University of Tokyo Hokkaido Forest	International Symposium on a New Era of Forest Management for Ecosystem Services		3-5	2012
Owari・T.	Value creation in international business relationships: perspectives of Finnish wood products suppliers	Proceedings and Abstracts Book of the IUFRO All Division 5 Conference		103	2012
Naoto Kamata・Sunisa Sanguansub・Hideaki Goto	A Trial to Evaluate a Potential Risk of Tree-killing Diseases by Raffaelea-Ambrosia Beetle Complex	Abstracts: XXIV International Congress of Entomology			2012
夏目亮輔・平間淳司・鎌田直人	ホタル(ヘイケ・ゲンジ)の誘発発光や同調発光をもたらす黄緑色小型LED光源の開発	日本生物環境工学会2012年東京大会講演要旨集			2012
久保田耕平・深谷緑・間野隆裕・佐藤信輔・鎌田直人	ブナアオシヤチホコのみトコン ドリア遺伝子にもとづく遺伝的分化	日本昆虫学会講演要旨	72		2012
Yasunori Igarashi・Takanori Sato・Nobuaki Tanaka・Katsunori Tanaka・Natsuko Yoshifuji・Masakazu Suzuki	Estimate of six-year evapotranspiration over a teak plantation in northern Thailand	3rd International Conference on Forests and Water in a Changing Environment			2012
Nobuaki Tanaka・Kazuki Dohi	Impact of strong thinning operation on rainfall interception in a Japanese cypress stand	3rd International Conference on Forests and Water in a Changing			2012
Akiko Hirata・Yuichi Onda・Hiroaki Kato・Kazuki Nanko・Koichiro Kuraji・Nobuaki Tanaka・Takashi Gomi	Effects of Forest Thinning on Canopy Interception in Japanese Cypress Plantations . Changes in the Proportion of Throughfall Components	3rd International Conference on Forests and Water in a Changing Environment	76		2012

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
Tetsushi Itokazu・Ken'chirou Kosugi・Yuichi Onda・Koichiro Kuraji・Nobuaki Tanaka・Taisei Goto・Takeshi Ohta	Differences in direct runoff characteristics with vegetation recovery in granite watersheds	3rd International Conference on Forests and Water in a Changing Environment			2012
Owari・T.・Shibano・H.・Sakaue・D.・Kimura・N.・Miyamoto・T.	Effects of snow control treatments on snow cover and soil frost: a preliminary look	Abstracts of the 5th Symposium of Asian University Forest Consortium		86-87	2012
Naoto Kamata	A joint project of the University of Tokyo Chichibu Forest with SUNTORY	Abstracts of the 5th Symposium of Asian University Forest Consortium "Humans and Forests: Building the Future by Tracking the Past"		22-23	2012
Naoto Kamata・Hideaki Goto・Keiko Hamaguchi・Hayato Masuya・Dai Kusumoto・Toshihide Hirao・Wen-I Chou・Wiwat Suasard・Sawai Buranapanichpan・Sopon Uraichuen・Oraphan Kern-asa・Sunisa Sanguansub・Thu Pham Quang・SihKahono・Heddy Julistiono	Why does the Japanese oak wilt occur only in Japan?	IUFRO07.02.07 The impact of Climate Change to Forest Plant Protection			2012
田中延亮・高木航・佐藤貴紀・浜咲子・福永健司・橘隆一・後藤太成	スギ個体の吸水量のグラニエ法による推定値の誤差評価—吸水実験を用いた検討—	中部森林学会	2		2012
坂上大翼・八十島大輔・宮本敏澄・尾張敏章・芝野博文	積雪の制御が暗色雪腐病菌のエゾマツ・トドマツ・ウダイカンバ種子への加害性に及ぼす影響	樹木医学会要旨集	17	29	2012
松下範久・田盛章吾・坂上大翼・高橋由紀子・宝月岱造	暗色雪腐病菌の分子系統解析に基づく分類学的位置づけ	樹木医学会要旨集	17	11	2012
Owari・T.	Effects of overstory conditions and topographic gradients on the regeneration abundance of major tree species in a conifer-broadleaved mixed selection forest in central Hokkaido, Japan	Programme and Abstracts of the 8th International Conference on Uneven-aged Silviculture: Optimising timber production, ecosystem services and resilience to climate change		36-37	2012
算用子麻未・小池征寛・鈴木祐紀・岡平卓巳・高橋友継・坂上大翼	北海道中央部における導入針葉樹9種の50年後の生育と適応性	北方森林学会大会	61	Pa-36	2012
櫻井孝洋・久保 守・鎌田直人	全天魚眼画像の回転パラメータ校正	信学技報（電子情報通信学会技術研究報告）	112(335)	95-100	2012
辰巳晋一・尾張敏章	伐採木の選定方針が針広混交林のササ密度と樹木更新量を決定づける	日本生態学会講演要旨	60	P1-349	2013
Owari・T.	Forest certification in marketing: a review	Abstracts of the International Symposium MORIOKA 2013: Global Forest Products Marketing and Forest Certification in A Green Economy		12-15	2013
糸数哲・小杉賢一朗・水山高久・恩田裕一・太田岳史・蔵治光一郎・田中延亮・後藤太成	植生の回復に伴う洪水流出特性の変化	砂防学会研究発表会概要集	平成24年度	250-251	2012

2012年度 教職員の論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
五名美江・若原妙子・白木克繁・蔵治光一郎・鈴木雅一	マレーシア・ランピル国立公園小流域における土壌水、地下水、溪流水の高濃度硫酸の起源と生成機構	日森学術講	123	Pa032	2012
Koichiro Kuraji・Mie Gomyo	Dependence of Annual Water Balance and Evapotranspiration on a Long-term Natural Forest Regrowth	The 3rd International Conference on Forests and Water		59	2012
Mie Gomyo・Koichiro Kuraji	Long-term Variation of Relationship between Rainfall and Direct Runoff in Small Watershed with the Forest Restoration and Succession on Denuded Hills	The 3rd International Conference on Forests and Water		95	2012
Taeko Wakahara・Katsushige Shiraki・Mie Gomyo・Koichiro Kuraji・Masakazu Suzuki	Behavior of Runoff and Soil Water under Unpredictable Dry Spells in a Bornean Tropical Rainforest	The 3rd International Conference on Forests and Water		99	2012
五名美江・蔵治光一郎	荒廃山地に森林を再生した小流域における降雨量一直接流出量の長期変化	水文・水資源学会2012年度研究発表会			2012
中川芳江・蔵治光一郎・五名美江	湿原を含む隣接した2流域の水収支比較一兵庫県丸山湿原を事例として一	水文・水資源学会要旨集	2012	278-279	2012
山中千恵子	千葉演習林での46年間を振り返って	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2012年度	18-19	2013
村川功雄	房総を襲った主な津波と東日本震災時の行動および現在の対応策	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2012年度	48-49	2013
軽込勉、塚越剛史、里見重成、三次允和、梁瀬桐子、米道学	千葉演習林におけるGPS・GISの導入事例の紹介	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2012年度	64-65	2013
米道学、塚越剛史、里見重成、軽込勉、阿達康真、鈴木祐紀	温湿度がクロマツの接ぎ木活着率に及ぼす効果について	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2012年度	68-69	2013
Ryusei HARAGUCHI	Roles and tasks of technicians in the University of Tokyo Chichibu Forest	Abstracts of the 5th Symposium of Asian University Forest Consortium		60-61	2012
細谷将・丹羽悠二・水野直樹・鈴木譲・菊池潔	連続戻し交雑家系を用いたトラフグ“噛み合い”遺伝子座の探索	日本水産学会春季大会	平成25年度		2013
栗田直明・芝野伸策	広域避難場所としての田無演習林の現状と課題	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2012年度	44-45	2013
芝野伸策	農学生命科学研究科の技術職員組織	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2012年度	74	2013
西山教雄、村瀬一隆	富士山噴火のハザードマップから想定した、対策と避難ルートの検討	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2012年度	46-47	2013
澤田晴雄	森林の種子生産量測定方法と最近7年間の結果	生物学技術研究会報告	24		2012
井上淳・松井理生	2011年台風15号による豪雨時の穴の宮試験流域の降雨量および流出量観測結果	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2012年度	52-53	2012
松井理生・高徳佳絵・才木道雄・荒木田善隆	巣箱によるシジュウカラとヤマガラの30年間の繁殖記録	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2012年度	66-67	2012
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	生態水文学研究所日降水量・日流出量観測結果報告（Ⅷ）	演習林	53	29-53	2012
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	昭和30年に作成された穴の宮、東山、数成、白坂の各水位観測所からの諸報告	演習林	53	129-152	2012
Haruo SAWADA & Noriko IWAI	Annual fluctuation of seed production of 9 main tree species in the LTER plot	Abstracts of the 5th symposium of Asian University Forest Consortium		P68-69	2012
Noriko IWAI & Haruo SAWADA	Dynamics of litter fall in the LTER plot of Ecohydrology Research Institute, the University of Tokyo Forests	Abstracts of the 5th symposium of Asian University Forest Consortium		70-71	2012
小林徹行・渡邊良広・辻和明・辻良子	津波襲来時の被害想定と避難ルートの整備	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2012年度	28-29	2013
Naoko Miura・Simon D. Jones	Estimation of Coarse Woody Debris using Airborne LiDAR	Proceedings of 16th Australian Remote Sensing and Photogrammetry Conference		45-48	2012
Naoko Miura	Does forest structure affect the Normalized Difference Vegetation Index?	Program and Abstracts of Silvlasar 2012		135	2012

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
Kuraji Koichiro ・ Gomyo Mie	Dependence of annual water balance and evapotranspiration on a long-term natural forest regrowth	3rd international conference on forest & water in a changing environment		59	2012
Wakahara Taeko ・ Shiraki Katsushige ・ Gomyo Mie ・ Kuraji Koichiro ・ Suzuki Masakazu	Behavior of runoff and soil water under unpredictable dry spells in a Bornean tropical rainforest	3rd international conference on forest & water in a changing environment		99	2012

著書

著者名	題 目	書名・編者	出版社名	頁	年
蔵治光一郎	森の「恵み」は幻想か 科学者が考える森と人の関係		化学同人		2012
齋藤 暖生(共著)	コモンズのドラマ―持続可能な資源管理論の14年―	茂木愛一郎／三保学／ 泉留維 監訳	東京大学演習林出版局	5-47	2012
浅野 友子(分担執筆)	森のバランス、植物と土壌の相互作用	森林立地学会編	東海大学出版会		2012
Jones, S., Lechner, A., Sheffield, K., Miura, N., Farmer, E., Reinke, K., Norton, T.W.	Measuring the components of vegetation condition using remote sensing	Landscape Logic: Integrating science for landscape management Lefroy, T., Curtis, A., Jakeman, A., McKee, J.	CSIRO publishing	191-204	2012
鈴木雅一	巻頭言	東京大学樹芸研究所 温室本 芸のある植物たち	東京大学演習林出版局	4-5	2012
鴨田重裕	樹芸研究所紹介	東京大学樹芸研究所 温室本 芸のある植物たち	東京大学演習林出版局	6-8	2012

外部資金によって行われた研究

科学研究費

氏 名	研究種目	研 究 課 題	研究代表者	代 表 者 所 属
鎌田直人	基盤研究(A)(海外)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	鎌田直人	東京大学
楠本 大	基盤研究(A)(海外)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	鎌田直人	東京大学
平尾聡秀	基盤研究(A)(海外)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	鎌田直人	東京大学
蔵治光一郎	基盤研究(A)(海外)	ウォーカー循環系における大気振動と山岳の森林限界の形成	北山兼弘	京都大学
齋藤暖生	基盤研究(A)(海外)	熱帯の産米林農村に在来する生物の機能を活用した農業生産と資源利用との調和	宮川修一	岐阜大学
鎌田直人	基盤研究(A)(一般)	森林の時空間的存在様式が昆虫の遺伝的特性に及ぼす影響—ブナ林の昆虫を対象として—	久保田耕平	東京大学
鎌田直人	基盤研究(A)	高解像度衛星データ活用のための東アジアの植生調査	村本健一郎	石川高専
楠本 大	基盤研究(A)	樹木の水分生理特性と萎凋病の枯死機構の統合的理解	福田健二	東京大学
坂上大翼	基盤研究(A)	樹木の水分生理特性と萎凋病の枯死機構の統合的理解	福田健二	東京大学
山田利博	基盤研究(A)	生体分子の相互作用に基づいたマツ材線虫病発病機構の解明	佐橋憲生	森林総合研究所
岩井紀子	基盤研究 (A)	水田の生物がもたらす生態系サービスの賢い利用を導く技術と社会の総合研究	夏原由博	名古屋大学
楠本 大	基盤研究(A)	生体分子の相互作用に基づいたマツ材線虫病発病機構の解明	佐橋憲生	森林総合研究所
浅野友子	基盤研究 (A)	森林-農地移行帯における放射性核種の移動・滞留と生態系濃縮の評価	五味高志	東京農工大学
山田利博	基盤研究(B)(海外)	養菌性キクイムシが伝播する菌類による樹木の衰退・枯死に関するアジアでの緊急調査	伊藤進一郎	三重大学
田中延亮	基盤研究 (B) 海外 学術調査	タイ国チーク人工林における間伐が水循環、炭素循環に与える影響の研究	鈴木雅一	東京大学
平尾聡秀	基盤研究(B)(海外)	環北方域の針葉樹林の衰退機構と適応的森林資源管理	久保田康裕	琉球大学
田中延亮	基盤研究 (B) 一般	熱帯落葉林の生物季節に及ぼす水ストレス効果の実験観測と植生モデルの高度化	田中克典	海洋研究開発機構
後藤晋	基盤研究(B)	北方針葉樹における環境適応の実態と遺伝的メカニズムの解明	後藤晋	東京大学
鎌田直人	基盤研究(B)	農林生態系における天敵多様性の生態系機能	村上正志	千葉大学

氏 名	研究種目	研 究 課 題	研究代表者	代 表 者 所 属
平尾聡秀	基盤研究(B)	農林生態系における天敵多様性の生態系機能	村上正志	千葉大学
嶋田重裕	基盤研究(B)	北方針葉樹における環境適応の実態と遺伝的メカニズムの解明	後藤晋	東京大学
尾張敏章	基盤研究(B)	北方針葉樹における環境適応の実態と遺伝的メカニズムの解明	後藤晋	東京大学
久本洋子	基盤研究(B)	北方針葉樹における環境適応の実態と遺伝的メカニズムの解明	後藤晋	東京大学
浅野友子	基盤研究(B)	山地河道の水理特性の時空間分布解明	浅野友子	東京大学
齋藤暖生	基盤研究(B)	限界集落における持続可能な森林管理のあり方に関する研究	奥田裕規	森林総合研究所
山田利博	基盤研究(B)	ブナ科樹木萎凋病菌の病原性に関与する要因に関する研究	伊藤進一郎	三重大学
尾張敏章	基盤研究(C)	積雪制御による天然更新促進技術の開発	尾張敏章	東京大学
坂上大翼	基盤研究(C)	積雪制御による天然更新促進技術の開発	尾張敏章	東京大学
芝野博文	基盤研究(C)	積雪制御による天然更新促進技術の開発	尾張敏章	東京大学
尾張敏章	基盤研究(C)	時系列三次元リモートセンシングによる広域森林資源シミュレーションシステムの開発	露木 聡	東京大学
広嶋卓也	基盤研究(C)	時系列三次元リモートセンシングによる広域森林資源シミュレーションシステムの開発	露木聡	東京大学
藤原章雄	基盤研究(C)	インターネット森林観察サイトの構築と運用試験	斎藤馨	東京大学
広嶋卓也	基盤研究(C)	リモートセンシングに基づく地域資源予測モデルに立脚した風害危険管理システムの構築	白石則彦	東京大学
鎌田直人	挑戦的萌芽研究	地球環境観測データベースの水平・垂直統合化	村本健一郎	石川高専
平尾聡秀	挑戦的萌芽研究	多目的最適化アルゴリズムを用いた自然保護区の空間配置分析ツールの開発	久保田康裕	琉球大学
平尾聡秀	挑戦的萌芽研究	GenBankデータに基づく全球スケールでの微生物多様性分布の解明	村上正志	千葉大学
井上広喜	若手研究(B)	人為的な細胞死誘導を通じたジャクダン培養細胞における心材成分の合成方法の確立	井上広喜	東京大学
平尾聡秀	若手研究(B)	樹木との共進化を考慮した植食性昆虫群集の多様性形成機構の解明	平尾聡秀	東京大学
齋藤暖生	若手研究(B)	森林における採集活動の排除と共存に関する比較研究	齋藤暖生	東京大学
田中延亮	若手研究 (B)	山地林生態系における湿性・乾性沈着量の定量化と樹冠収支モデルの適用	田中延亮	東京大学
當山啓介	研究活動スタート支援	林業再生のための効率性追求の情勢下で環境配慮型森林管理を実現するシステムの探求	當山啓介	東京大学
岩井紀子	研究活動スタート支援	奄美大島の森林生態系保全ー森林性カエルの保全に配慮した森林管理手法の提言	岩井紀子	東京大学
大石諭	奨励研究	自然災害に対応した林道管理システムの開発	大石諭	東京大学
渡邊良広	奨励研究	ユーカリ属植栽地における土壌養分収奪性の検証	渡邊良広	東京大学

2012 年度 外部資金によって行われた研究

その他補助金

氏 名	補助金等名称	研 究 課 題	研究代表者	代 表 者 所 属
久本洋子・ 山田利博・ 廣嶋卓也	知の頂点に向かって 加速！東大プラン	女性研究者養成システム改革加速	久本洋子	東京大学
岩井紀子	知の頂点に向かって 加速！東大プラン		岩井紀子	東京大学
山田利博	二国間交流事業（日 本学術振興会）	日本と韓国で発生しているブナ科樹木萎 凋病に関する比較研究	山田利博	東京大学
藤原章雄	海洋アライアンス・ イニシアティブ	ライブモニタリングによる里海里山環境プ ロファイリングと環境教育プラットフォームの 構築 ―大槌町東日本大震災津波復興計 画赤浜地域―	斎藤馨	東京大学
鈴木智之	公共財団法人日本生 命財団 環境問題研 究助成	なぜ野生植物は病原菌に耐性があるの か？―無農薬農業への応用を目指した 野生植物の植物病理に関する生態・遺 伝学的研究	鈴木智之	東京大学
鈴木智之	公益財団法人自然保 護助成基金 プロ・ナ トゥーラ・ファンド助成	縞枯れ林におけるシカ食害の現状とそ の10年間の変化	鈴木智之	東京大学

奨学寄付金

氏 名	寄 付 目 的	寄 付 者
鎌田直人	学術研究の経費	サントリーホールディングス株式会社
芝野博文	天然林におけるミズナラの動態解明とミズナラ育林技術の開発	サントリー酒類株式会社
平尾聡秀	研究助成(研究課題:秩父演習林に自生する木本類の化学特性データベースの構築)	サントリーホールディングス株式会社
平尾聡秀	学術研究の経費(研究課題:環境省モニタリング1000)	(財)自然環境研究センター
山田利博	松くい虫防除に関する研究	(公社)ゴルフ緑化促進会
後藤晋	燃材生産と保健休養機能に優れた先進的な森林管理手法の機能・技術・社会的評価	山口育英奨学会
藤原章雄	地域住民参加によるフットパス設定および整備手法の開発、およびフットパスがもたらす森林の保健休養機能の評価	山口育英奨学会
蔵治光一郎	学術研究の経費(研究課題:環境省モニタリング1000)	(財)自然環境研究センター
五名 美江	農学に関する研究助成 テーマ名「湿原の有無が森林流域の溪流水質に与える影響の評価」	公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団

受託研究費

氏 名	研 究 課 題 名	委 託 機 関
後藤晋・山田利博・鴨田重裕・尾張敏章・楠本大・坂上大翼	北海道固有の森林資源再生を目指したエゾマツの早出し健全苗生産システムの確立	農林水産技術会議
広嶋卓也	森林及び林業分野における温暖化緩和技術の開発委託事業	森林総合研究所
広嶋卓也	森林伐採・更新と木材利用に関わる炭素収支モデルの開発(伐採・更新方法決定モデルの開発)	森林総研受託研究
石橋整司	地球環境保全等試験研究費「種特性に基づいた里山二次林の多様性管理技術の開発	環境省
蔵治光一郎	水災害リスク評価のための準リアルタイム水循環観測網の展開	独立行政法人科学技術振興機構
蔵治光一郎	愛知フィールドにおける間伐による水・土砂流出の変化	独立行政法人科学技術振興機構
浅野友子	上流域水系ネットワークにおける森林-溪流生態系の放射性物質移動と生物濃縮の評価	環境省

他機関との共同研究

氏 名	研 究 課 題 名	共 同 研 究 機 関
芝野博文	北海道演習林と周辺の農地および河川に関する景観生態学的研究	王子木材緑化(株)北海道支店
蔵治光一郎	湿原の集水域を含む森林水文特性を踏まえた湿原管理方策の研究	(株)ネイチャースケープ
平尾聡秀	全球スケールの微生物多様性分布の解明	北海道大学低温科学研究所

2012 年度 学外各種委員会等委員

学外各種委員会等委員

氏 名	委 員 会 等 名 称	委 員 会 等 所 属 機 関
山田利博	樹木医研修カリキュラム委員会	(財)日本緑化センター
山田利博	千葉県森林審議会	千葉県
山田利博	千葉県試験研究機関評価委員会農林総合研究センター課題評価専門部会	千葉県
山田利博	千葉県国土利用計画地方審議会	千葉県
山田利博	千葉県土砂採取対策審議会	千葉県
山田利博	千葉県ヒメコマツ保全協議会	千葉県
山田利博	鴨川市文化財保護審議会	鴨川市
山田利博	樹木医学研究編集委員会	樹木医学会
山田利博	街路樹診断マニュアル改訂検討会	東京都／(一社)街路樹診断協会
山田利博	縄文杉の大枝に関する検討会	九州森林管理局／(一社)日本森林技術協会
廣嶋卓也	狩猟事故防止対策委員会	千葉県
廣嶋卓也	特定鳥獣保護管理計画検討会	千葉県
廣嶋卓也	「次期枠組みにおける吸収量計上方法等調査」委員会	国際緑化推進センター
廣嶋卓也	英文誌編集委員	日本森林学会
廣嶋卓也	事務局長	森林GISフォーラム
當山啓介	事務局	木材利用システム研究会
久本洋子	運営委員	竹林景観ネットワーク
芝野博文	北方森林学会評議員	北方森林学会
尾張敏章	北方森林学会幹事	北方森林学会
尾張敏章	北方森林学会評議員	北方森林学会
尾張敏章	林業に新規参入する労働者に係る労働災害防止対策推進事業に伴う新規参入者教育カリキュラム、教育教材策委員会	株式会社森林環境リアライズ
尾張敏章	先進林業機械改良・新作業システム開発事業作業システム導入支援事業検討委員会	三美鉱業株式会社
芝野博文	南富良野区域環境情報協議会委員	森林総合研究所森林農地整備センター
芝野博文	北海道林木育種協会顧問	北海道林木育種協会
坂上大翼	北海道林木育種協会編集委員	北海道林木育種協会
坂上大翼	北海道林木育種協会地方連絡員	北海道林木育種協会
尾張敏章	客員准教授	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構統計数理研究所
芝野博文	「地域管理経営計画等に関する懇親会」委員	北海道森林管理局
芝野博文	富良野市環境審議会委員	富良野市
芝野博文	重点課題評価会議における評価委員	森林総合研究所
鎌田直人	特別天然記念物カモシカ保護対策事業通常調査指導委員	埼玉県
鎌田直人	石川県兼六園マツ等樹木保全対策指導者	石川県
鎌田直人	関東山地ニホンジカ広域協議会専門委員会	環境省
鎌田直人	秩父山地緑の回廊等におけるニホンジカ等野生動物による樹木の樹皮剥離被害モニタリング調査事業検討委員会	埼玉森林管理所
鎌田直人	評議員	日本森林学会
鎌田直人	JFR編集委員会	日本森林学会
鎌田直人	100周年記念事業委員会	日本森林学会
鎌田直人	第125回日本森林学会大会運営委員会	日本森林学会
鎌田直人	編集委員会	日本昆虫学会
鎌田直人	和文誌編集委員会	日本生態学会
鎌田直人	事務局代表	森林野生動物研究会
鎌田直人	IUFRO7.03.08 “Forest protection in Northeast Asia” Deputy	IUFRO
鎌田直人	林野庁委託事業「ナラ枯れ被害防止技術開発事業」検討委員会	日本森林技術協会
浅野友子	埼玉県森林審議会	埼玉県

氏 名	委 員 会 等 名 称	委員会等所属機関
平尾聡秀	モニタリングサイト1000検討会	環境省
平尾聡秀	日本長期生態学研究ネットワーク運営委員会	日本長期生態学研究ネットワーク
蔵治光一郎	とよた森づくり委員会	豊田市
蔵治光一郎	水循環推進協議会	岡崎市
蔵治光一郎	環境審議会	瀬戸市
蔵治光一郎	せと環境塾運営委員会	瀬戸市
蔵治光一郎	環境審議会	犬山市
蔵治光一郎	長良川河口堰最適運用検討委員会	愛知県地域振興局土地水資源課
蔵治光一郎	長良川河口堰合同会議準備会	愛知県地域振興局土地水資源課
蔵治光一郎	設楽ダム連続公開講座運営チーム	愛知県地域振興局土地水資源課
蔵治光一郎	矢作川流域圏懇談会	国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所
蔵治光一郎	理事会	中部森林学会
蔵治光一郎	代議員会	日本森林学会
蔵治光一郎	国際委員会	水文・水資源学会
蔵治光一郎	研究推進委員会	水文・水資源学会
蔵治光一郎	編集委員会	不知火海・球磨川流域圏学会

■社会連携■

公開講座・セミナー等

講 座 名	主 催	開催場所	日 程
鴨川市交流事業「野鳥の巣箱をかけよう」(巣箱観察会)	鴨川市/千葉演習林	千葉演習林	2012.4.7
法政二高OB会「自然観察会」	法政二高OB会	千葉演習林	2012.4.11
千葉県森林インストラクター会研修会	千葉県森林インストラクター会	千葉演習林	2012.4.14～15
春の一般公開	千葉演習林	千葉演習林	2012.5.21～22
地質調査実習	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構	千葉演習林	2012.5.22～25
千葉県立君津青葉高等学校総合学科環境系校外実習	千葉県立君津青葉高等学校	千葉演習林	2012.5.30～31
JICA課題別研修「国家森林モニタリングシステム整備のための人材育成」	(財)国際緑化推進センター	千葉演習林	2012.6.3～8
埼玉県立自然の博物館友の会「自然観察会」	埼玉県立自然の博物館友の会	千葉演習林	2012.7.8
地質調査研修	地球科学総合研究所	千葉演習林	2012.7.11～12
千葉県立千葉高等学校SPP「現地見学」	千葉県立千葉高等学校	千葉演習林	2012.7.15
戸村学園コスモス幼稚園「ハイキング」	戸村学園コスモス幼稚園	千葉演習林	2012.7.19
高校生のための森と海のゼミナール	千葉演習林/千葉大学海洋バイオシステム研究センター	千葉演習林/千葉大学海洋バイオシステム研究センター	2012.7.30～8.1
東京大学教育学部附属中等教育学校・総合的な学習・課題別学習「自然研究」	東京大学教育学部附属中等教育学校	千葉演習林	2012.8.2～4
NPO法人房総の野生生物調査会「自然観察会及び総会」	NPO法人房総の野生生物調査会	千葉演習林	2012.8.4～5
長狭学園鴨川市立長狭中学校「一日職場体験学習」	長狭学園鴨川市立長狭中学校	千葉演習林	2012.8.6
東京大学教育学部附属中等教育学校「生物部現地学習」	東京大学教育学部附属中等教育学校	千葉演習林	2012.8.8～10
千葉演習林ボランティア会Abies「お月見研修」	千葉演習林ボランティア会Abies	千葉演習林	2012.10.6～7
植生学会エクスカッション	植生学会	千葉演習林	2012.10.15
日本樹木医会二樹会「視察研修会」	日本樹木医会二樹会	千葉演習林	2012.10.22
千葉県勤労者山岳連盟・第22回関東ブロック自然保護担当者交流集会	千葉県勤労者山岳連盟	千葉演習林	2012.10.27～28
地質調査研修	日本地質学会	千葉演習林	2012.10.30～11.2
鴨川市立天津小学校・総合学習「緑の教室」	鴨川市立天津小学校	千葉演習林	2012.10.31
鴨川市交流事業「野鳥の巣箱をかけよう」(巣箱作り)	鴨川市/千葉演習林	千葉演習林	2012.11.3
鴨川市交流事業「東大キャンパスツアー」	鴨川市/千葉演習林	東京大学	2012.11.17
千葉県森林インストラクター会「自然観察会」	千葉県森林インストラクター会	千葉演習林	2012.11.11
NPO法人樹木生態研究会「樹木観察会」	NPO法人樹木生態研究会	千葉演習林	2012.11.17～18
NPO法人ちば山「現地見学会」	NPO法人ちば山	千葉演習林	2012.11.18

講 座 名	主 催	開催場所	日 程
千葉県森林インストラクター会「名も無い森の交流会」	千葉県森林インストラクター会	千葉演習林	2012.11.22
秋の一般公開	千葉演習林	千葉演習林	2012.11.23～24・ 2012.12.1～2
シデコブシの会「現地見学会」	シデコブシの会	千葉演習林	2012.11.24～25
東大農場・演習林の存続を願う会「現地見学会」	東大農場・演習林の存続を願う	千葉演習林	2012.11.28
千葉県生涯大学校南房学園園芸科33期OB会「自然観察会」	千葉県生涯大学校南房学園園芸科	千葉演習林	2012.11.29
東京大学基金「特別見学セミナー」	東京大学渉外本部	千葉演習林	2012.11.29
内浦山県民の森「紅葉の養老溪谷・ロングハイキング」	内浦山県民の森	千葉演習林	2012.11.30
千葉県森林インストラクター会「自然観察会」	千葉県森林インストラクター会	千葉演習林	21012.12.3
内浦山県民の森「紅葉の猪ノ川ハイク」	内浦山県民の森	千葉演習林	2012.12.6
樹木環境ネットワークOB会「自然観察会」	樹木環境ネットワークOB会	千葉演習林	2012.12.6～7
ふるさとの自然に親しむ会「現地見学会」	ふるさとの自然に親しむ会	千葉演習林	2012.12.7
柏ゆうゆうクラブ「植生観察会」	柏ゆうゆうクラブ	千葉演習林	2012.12.8
NHK文化センター柏教室「森林講座」	NHK文化センター柏教室	千葉演習林	2012.12.11
君津市立坂畑小学校スクールミュージアム「自然観察会」	君津市	千葉演習林	2012.12.11
君津市生涯学習交流センター「講座・きみつ探訪」自然散策	君津市生涯学習交流センター	千葉演習林	2012.12.12
君津市中央公民館サークル自然探勝会「自然観察」	君津市中央公民館サークル自然探勝会	千葉演習林	2012.12.12
千葉県勤労者山岳連盟・第29回ロングハイキング	千葉県勤労者山岳連盟	千葉演習林	2013.1.27
森林博物資料館一般公開	千葉演習林	千葉演習林	2013.2.3
房総の山の観察会「小櫃川をのぼる」	千葉県立中央博物館	千葉演習林	2013.2.3
第5回房総丘陵トレイルラン講習会	房総丘陵トレイルラン&ハイク実行委員会	千葉演習林	2013.2.9
内浦山県民の森「清澄八山をめぐる」	内浦山県民の森	千葉演習林	2013.2.14～15
千葉県立君津青葉高等学校総合学科環境系「現地見学」	千葉県立君津青葉高等学校	千葉演習林	2013.2.19
第5回房総丘陵トレイルランレース	房総丘陵トレイルラン&ハイク実行委員会	千葉演習林	2013.3.2～3
ふわくハイキングサークル「小さな春を探しに」植物観察会	ふわくハイキングサークル	千葉演習林	2013.3.6～7
内浦山県民の森「第23回関東ふれあいの道ふれあいウォーク」	内浦山県民の森	千葉演習林	2013.3.15
千葉演習林ボランティア会Abies「演習林を歩こう及び総会」	千葉演習林ボランティア会Abies	千葉演習林	2013.3.16～17
神社山自然観察路 春季一般公開	北海道演習林	北海道演習林	2012.5.26～27
学内公開プログラム「新緑の富良野の森を訪ねて」	北海道演習林	北海道演習林	2012.6.7
富良野地区合同ワークショップ「富良野地方の美しい農山村景観維持のために」	北海道演習林	南富良野町	2012.6.8
北海道演習林公開セミナー	北海道演習林	北海道演習林	2012.6.24

2012年度 公開講座・セミナー等

講 座 名	主催	開催場所	日程
大麓山ハイキング登山会	北海道演習林	北海道演習林	2012.7.22
JSTサマー・サイエンスキャンプ「森林の未来は？ ～森を知り、持続的な取り扱いを考える～」	科学技術振興機構	北海道演習林	2012.7.24～27
神社山自然観察路 秋季一般公開	北海道演習林	北海道演習林	2012.10.13～14
富良野地区合同ワークショップ「富良野地方の 美しい農山村景観維持のために」	北海道演習林	山部福祉センター	2013.3.25
春の自由見学日	秩父演習林	秩父演習林	2012.5.13～14
公開講座「東大の森林で昆虫採集」	秩父演習林	秩父演習林	2012.8.11～12
第5回アジア大学演習林コンソーシアムエクス カーション		秩父演習林	2012.9.30～10.1
秩父演習林見学会(育成資金寄付者対象)		秩父演習林	2012.10.21
紅葉の自由見学日・ワサビ沢展示室特別開室	秩父演習林	秩父演習林	2012.10.27～28
影森祭	秩父演習林	影森苗畑	2012.12.9
利用者説明会	秩父演習林	秩父演習林	2012.12.14
公開講座「水源の山を訪ねて～森林と水の研 究～」	秩父演習林	秩父演習林	2013.2.16
春の休日公開	田無演習林	田無演習林	2012.4.29
春の休日公開	田無演習林	田無演習林	2012.5.6
「子ども樹木博士」認定会	西東京市「子ども 樹木博士」を 育てる会	田無演習林	2012.6.3
森林教室「世界に一つの樹木図鑑を作ろう」	田無演習林/保 谷駅前公民館	田無演習林	2012.7.22
「子ども樹木博士」認定会	西東京市「子ども 樹木博士」を 育てる会	田無演習林	2012.11.4
休日公開	田無演習林	田無演習林	2012.12.1
リース作り講習会	田無演習林	田無演習林	2012.12.1
植物観察会		生態水文学研究 所	2012.4.16
利用者研究集会	生態水文学研究 所	生態水文学研究 所	2012.5.11～12
とよた森林学校 森林セミナー		生態水文学研究 所	2012.6.10
赤津研究林案内人養成講習		生態水文学研究 所	2012.6.24
せと環境塾2012講座「森と水のエネルギー」	瀬戸市役所	生態水文学研究 所	2012.8.11～12
小学生を対象とした水生昆虫観察及び環境教 育		生態水文学研究 所	2012.8.18
「水」をテーマにした親子体験教室		生態水文学研究 所	2012.8.25
あいち海上の森大学講座「森林の機能と水環 境」		生態水文学研究 所	2012.9.16
知多半島の歩み①		生態水文学研究 所	2012.11.3
知多半島の歩み②		生態水文学研究 所	2012.11.10
東海銀杏会演習林見学会		生態水文学研究 所	2012.11.11
東京大学生態水文学研究所創立90周年記念 シンポジウム	生態水文学研究 所	生態水文学研究 所	2012.12.1～2
第3回森林水文学を考える若手研究者の会		生態水文学研究 所	2012.12.1～2
犬山研究林案内人養成講習①	犬山市役所	生態水文学研究 所	2013.1.19

講 座 名	主 催	開催場所	日 程
標石を探そうツアー		生態水文学研究所	2013.1.20
犬山研究林案内人養成講習②	犬山市役所	生態水文学研究所	2013.2.2
東大職員特別ガイド「春の彩りを訪ねて」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2012.4.21
森林調査体験「癒しの森を測ろう」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2012.5.23
富士癒しの森研究所パネル式看板お披露目会	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2012.7.23
運動会学生との共同作業		富士癒しの森研究所	2012.8.21
第5回アジア大学演習林コンソーシアム	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2012.9.27～29
山梨県環境科学研究所国際シンポジウム2012	山梨県環境科学研究所	山梨県環境科学研究所	2012.9.29
東大教職員向け特別ガイド「きのこに親しむ」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2012.10.13
公開講座「フットパスde森づくり」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2012.12.13
癒しの森勉強会	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2013.1.9
東大教職員向け特別ガイド「冬の散歩みち」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2013.2.2
第1回温室特別公開日	樹芸研究所	樹芸研究所	2012.5.6
第2回温室特別公開日	樹芸研究所	樹芸研究所	2012.5.12
第3回温室特別公開日	樹芸研究所	樹芸研究所	2012.10.17
第4回温室特別公開日	樹芸研究所	樹芸研究所	2012.10.20
第5回温室特別公開日	樹芸研究所	樹芸研究所	2012.12.12
第6回温室特別公開日	樹芸研究所	樹芸研究所	2012.12.15

2012年度 講師の派遣等

講師の派遣等

氏名	講演名	主催	開催場所	日程
山田利博・廣嶋卓也	野外総合実習	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	千葉演習林	2012.4.16
久本洋子	FIC(千葉県森林インストラクター会)春の研修会「千葉演習林の紹介と竹の話」	千葉県森林インストラクター会	千葉演習林	2012.4.14
山田利博・軽込 勉	校外実習	千葉県立君津青葉高校	千葉演習林	2012.5.30
廣嶋卓也・當山啓介・阿達康眞	JICA 課題別研修:国家森林モニタリングシステム整備のための人材育成コース「東京大学千葉演習林の紹介」・「破壊的バイオマス測定法について」	独立行政法人国際協力機構(JICA)	千葉演習林	2012.6.4～8
山田利博・廣嶋卓也・久本洋子・當山啓介・藤平晃司	高校生のための森と海のゼミナール	千葉演習林, 千葉大学海洋バイオシステム研究センター	千葉演習林, 千葉大学海洋バイオシステム研究センター	2012.7.30～8.1
久本洋子・鶴見康幸・藤平晃司・阿達康眞	2012年課題別自然研究宿泊授業「千葉演習林の概要と森林について」	東京大学教育学部附属中等教育学校	千葉演習林	2012.8.2
廣嶋卓也・當山啓介	フィールド科学総合演習	東京大学大学院農学生命科学研究科生態圏システム学専攻緑地創成学研究室	千葉演習林	2012.9.10～11
山田利博	樹木医研修「幹の外科技術と機器による診断」	(財)日本緑化センター	筑波研修センター	2012.10.11,16
久本洋子	関東ブロック自然保護担当者交流集会「千葉演習林の植物と気候、生物について」	千葉県勤労者山岳連盟	千葉演習林	2012.10.27
廣嶋卓也・當山啓介・村川功雄・塚越剛史・梁瀬桐子・大石 諭・藤平晃司・三次充和・鶴見康幸・阿達康眞	鴨川市天津小学校・緑の教室	千葉演習林・天津小学校PTA	千葉演習林	2012.10.31
山田利博・當山啓介	千葉演習林ツアー	シデコブシの会	千葉演習林	2012.11.24
鶴見康幸・藤平晃司・阿達康眞	坂畑小学校スクールミュージアム自然観察会	君津市教育委員会	千葉演習林	2012.12.11
當山啓介	2013 International Symposium on Frontier Agriscience and Technology “National forest planning system and unequal forestry profitability”	信州大学農学部 近未来農林総合科学教育研究センター (FAST)	信州大学農学部	2012.2.27
廣嶋卓也	東京大学千葉演習林における有害鳥獣のモニタリングと駆除	千葉県狩猟事故防止対策委員会	プラザ菜の花	2012.10.17
廣嶋卓也	森林GISフォーラム千葉県地域シンポジウム:「東京大学千葉演習林における伐採適地の選定事例」	森林GISフォーラム	プラザ菜の花	2012.11.27
軽込 勉	森林GISフォーラム千葉県地域シンポジウム:「東京大学千葉演習林におけるGPS・GISの導入事例」	森林GISフォーラム	プラザ菜の花	2012.11.27
軽込 勉	つぎ木指導	千葉県立君津青葉高校	千葉演習林	2013..2.19
久本 洋子	第7回 巨樹・古木フォーラム in かつりー国天・府馬の大クスを事例にー 司会進行	NPO法人 樹の生命を守る会	千葉県香取市山田公民館	2013.2.24
久本 洋子	Abies総会講演「タケと竹林」	千葉演習林ボランティア会 Abies	千葉演習林	2013.3.16
尾張敏章	天然林施業技術を活用した林分施業法について学ぶ	北海道国際交流協力・総合センター	北海道演習林	2012.6.27

氏名	講 演 名	主催	開催場所	日程
井口和信	富良野市ことぶき大学東山校研究	富良野市教育委員会社会教育課社会教育係	北海道演習林	2012.7.12
井口和信	富良野活断層見学会	旭川市博物館科学館	北海道演習林	2012.7.15
木村徳志	東京大学北海道演習林の苗畑管理と見本林	北海道旭川農業高校森林科学科	北海道演習林	2012.7.23
芝野博文・尾張敏章・坂上大翼・小池征寛・井上崇・中川雄治・及川希	サマー・サイエンスキャンプ「森林の未来は？—森を知り、持続的な取り扱いを考える—」	科学技術振興機構(JST)	北海道演習林	2012.7.24～7.27
井口和信	北海道中央部の森林環境と持続的木材生産の現場を学ぶ	道北地区博物館等連絡協議会	北海道演習林	2012.7.26
坂上大翼・木村徳志・福岡 哲・犬飼慎也	北海道の針広混交天然林の構造(平成24年度SSH事業視察研修)	北海道札幌啓成高等学校	北海道演習林	2012.7.31～8.1
坂上大翼	観光資源としての富良野の森林、そして森林の持つ癒しの効果(インターンシップ・地域の自然環境I)	同志社女子大学現代社会学部社会システム学科	北海道演習林	2012.8.23
岡平卓巳・遠國正樹	帯広農業高校 森林科学科1年見学	北海道帯広農業高等学校	北海道演習林	2012.8.29
井口和信	平成24年度奈良県林業倶楽部現地研修会	奈良県林業倶楽部	北海道演習林	2012.9.11
井口和信	森林吸収源インベントリ情報整備事業 土壌等調査	株式会社クリタス	北海道演習林	2012.9.11
井口和信	北海道の森林・シカの食害・生態系保護と獣医師の役割	酪農学園とわの森三愛高校	北海道演習林	2012.9.12
岡村行治	国産材利用促進のための樹木の生態観察研修	大川木材青壮年会	北海道演習林	2012.9.15
芝野博文	地域住民の参加による多様な森林保全(JICA研修)	海外林業コンサルタンツ協会	北海道演習林	2012.9.24
井口和信	上川管内教育研究会	上川教育研究会	北海道演習林	2012.10.5
大川あゆ子	上富良野・中富良野・富良野教育研究生活・総合部会	中富良野町立旭中小学校	北海道演習林	2012.10.5
井口和信	富良野の森林に関する研修及び自然観察	上富良野町旭新あずま会	北海道演習林	2012.10.12
木村徳志・大川あゆ子	総合的な学習の時間「樹海の森へ」	富良野市立樹海小学校	北海道演習林	2012.10.16
木村徳志・大川あゆ子	総合的な学習の時間「樹海の森へ」	富良野市立樹海小学校	北海道演習林	2013.1.18
木村徳志・大川あゆ子	総合的な学習の時間「樹海の森へ」	富良野市立樹海小学校	北海道演習林	2013.3.5
芝野博文・岡村行治	日本国際協力システム「カメルーン国森林保全計画」研究員受入	日本国際協力システム(JICS)	北海道演習林	2013.2.6
木村徳志	博物館事業・富良野の自然に親しむ集い	富良野市生涯学習センター	北海道演習林	2013.3.17
才木道雄	探鳥会	犬山市立今井小学校	犬山市	2012.4.20
齋藤俊浩・丹羽悠二・吉田弓子	影森中学校林間学校	秩父市立影森中学校	秩父演習林入川軌道跡	2012.5.18
大村和也	新緑の荒川源流ハイクと秩父小昼飯作り	大滝げんきプラザ	秩父演習林入川軌道跡	2012.5.27
平尾聡秀	日本列島における種多様性の地理的パターン	横浜国立大学土壌生態学セミナー	横浜国立大学	2012.6.12
平尾聡秀・相川美絵子・五十嵐勇治・高野充広・吉田弓子	中学生社会体験チャレンジ事業・秩父第一中学校「仕事発見DAY」	秩父市立秩父第一中学校	秩父演習林	2012.7.4～6
五十嵐勇治・大村和也	墨田川高校生物実習	墨田川高校	秩父演習林	2012.8.24～25
平尾聡秀	森の動きと生物のつながりを知る	埼玉県立熊谷高校スーパーサイエンスハイスクール	秩父演習林	2012.9.23
平尾聡秀	秩父演習林の生物多様性研究について	附属演習林技術職員研修会議	秩父演習林	2012.11.2
平尾聡秀	種多様性の地理的パターンと系統的ニッチ保守性	森林科学専攻森林科学セミナー	弥生キャンパス	2013.1.15
安村 直樹・楠本大・芝野 伸策・栗田直明	職場体験学習	西東京市立保谷中学校	田無演習林	2012.6.13
安村 直樹・楠本大・芝野 伸策・栗田直明	職場体験学習	東久留米市立南中学校	田無演習林	2012.7.9、10、11

2012年度 講師の派遣等

氏名	講 演 名	主催	開催場所	日程
安村 直樹・楠本 大・芝野 伸策・栗田 直明	職場体験学習	西東京市立田無第二中学 校	田無演習林	2012.10.30、31、 2012.11.1
安村 直樹・楠本 大・芝野 伸策・栗田 直明	職場体験学習	東久留米市立下里中学校	田無演習林	2013.1.30、31
安村 直樹	校外学習	実践学園中学校	田無演習林	2012.8.29、9.7
楠本 大・芝野 伸 策	生活科(理科分野)見学	西武学園文理小学校	田無演習林	2012.10.10
楠本 大	見学会	サフラン愛児園	田無演習林	2012.10.24
栗田 直明	職場訪問	三鷹市立第六中学校	田無演習林	2012.10.24
栗田 直明	生活科授業	自由学園初等部	田無演習林	2012.10.31
楠本 大・芝野 伸 策・栗田 直明	生活科授業	西東京市立住吉小学校	田無演習林	2012.11.8
蔵治光一郎	長良川河口堰検証はどうか ー愛知県の検証の意義と今後 私たちに求められる課題ー	長良川河口堰市民学習会	ハートフルスクエアG	2012.4.1
澤田晴雄	春の観察会	シデコブシの会	生態水文学研究所	2012.4.15
蔵治光一郎	森林管理と市民活動	かわさき市民アカデミー	川崎市生涯学習プ ラザ	2012.4.19
松井理生	探鳥会	犬山市立今井小学校	犬山市	2012.4.20、 11.30,2.2
岩井紀子	生物多様性を守る	犬山研究林利用者協議会	犬山市	2012.4.22
蔵治光一郎	尾張東部地域の土地の 過去・現 在・未来 特に、守山・尾張旭・瀬 戸について	愛知宅建協会東尾張支部	スカイワードあさひ ひまわりホール	2012.4.24
松井理生	探鳥会	犬山市立城東小学校	犬山市	2012.5.8、11.7、 2.13
松井理生	バードウォッチング	シデコブシの会	生態水文学研究所	2012.5.2
澤田晴雄	犬山研究林 春の観察会	犬山研究林利用者協議会	生態水文学研究所	2012.5.27
蔵治光一郎	森林の持つ公益的機能	とよた森林学校	生態水文学研究所 赤津宿泊施設	2012.6.10
岩井紀子、松井理 生、渡部賢	総合政策学体験プログラムA	南山大学	生態水文学研究所	2012.6.16～17
蔵治光一郎	第2回ワールドカフェin名古屋 我々の身近にある環境・エコを考 える	東海銀杏会	ホテルソフィテル名 古屋	2012.6.17
蔵治光一郎・田中延 亮・澤田晴雄・荒木田 きよみ	赤津研究林案内人養成講習	シデコブシの会	生態水文学研究所	2012.6.24
蔵治光一郎	赤津研究林に関して利用者のみ なさまに東京大学が伝えたいこと	シデコブシの会	生態水文学研究所 赤津宿泊施設	2012.6.24
蔵治光一郎	集水域が一体となって取り組む健 全な水循環の再生	愛知県地域政策局土地水 資源課 設楽ダム連続公 開講座運営チーム	愛知大学豊橋キャン パス	2012.7.28
岩井紀子	オオサンショウウオ観察会	シデコブシの会	瀬戸市	2012.7.28
井上淳・澤田晴雄	せと環境塾2012 講座4「森と水の エネルギー」	瀬戸市環境課	生態水文学研究所	2012.8.11～12
澤田晴雄	水生昆虫観察会	地域環境活性化協議会	生態水文学研究所	2012.8.18
田中延亮	「豊田市足助地域における森の健 康診断その2」持続可能な社会を 考える ～矢作川流域の人工林の 健康診断～	愛知県立豊田東高等学校	豊田市	2012.8.22
蔵治光一郎・田中延 亮・岩井紀子・松井理 生・澤田晴雄・井上 淳・渡部賢・荒木田き よみ	森林を通して、環境を科学の視点 で考えよう	三重中学校・高等学校	生態水文学研究所・ 瀬戸川・蛇が洞川	2012.8.22～23
田中延亮	水にふれあう親子ツアー	愛知中部水道企業団	生態水文学研究所	2012.8.25
蔵治光一郎	我々の身近にある環境・エコを考 える	東海銀杏会	マリOTTアソシアホ テル名古屋	2012.8.27
蔵治光一郎	東京大学演習林 生態水文学研究 所とは	筑波大学生命環境学群地 球学類水文学野外実験 B・地球科学専攻水文学 野外実験	生態水文学研究所 赤津宿泊施設	2012.8.28

氏名	講演名	主催	開催場所	日程
蔵治光一郎	流域委員会の現状と展望	グリーンアクセス・プロジェクトチーム[大阪大学大久保研究室、環境パートナーシップオフィスEPO、(公財)公害地域再生センター(あおぞら財団)]	あおぞら財団	2012.9.9
田中延亮	あいち海上の森大学・森林再生コース「森林の機能と水循環」	あいち海上の森センター	生態水文学研究所	2012.9.16
蔵治光一郎	東京都水源林の管理	矢作川流域圏懇談会山部会	岡崎市農村環境改善センター	2012.10.27
澤田晴雄	職場体験	瀬戸市立幡山中学校	生態水文学研究所	2012.11.1～2
蔵治光一郎	愛知県「尾張東部丘陵」の1300年の歴史	半田市教育委員会	生態水文学研究所 赤津宿泊施設	2012.11.3, 11.10
蔵治光一郎・澤田晴雄	講座「知多半島の歩み」	半田市教育委員会	生態水文学研究所	2012.11.3
田中延亮	第八回森の健康診断報告会「緑のダム実験」の報告	矢作川水系森林ボランティア協議会	豊田市	2012.11.4
蔵治光一郎	豊田市の変遷と森の公益的機能	豊田東高校	生態水文学研究所 赤津宿泊施設	2012.11.6
蔵治光一郎・田中延亮・澤田晴雄・松井理生	持続可能な社会を考える ～矢作川流域の人工林の健康診断～	愛知県立豊田東高校	生態水文学研究所	2012.11.7
蔵治光一郎・田中延亮	講座「知多半島の歩み」	半田市教育委員会	生態水文学研究所	2012.11.1
蔵治光一郎	ランビルにおける気象・水文・水質研究のこれまでとこれから	サラワク熱帯林研究コンソーシアム/京都大学総合博物館/総合地球環境学研究所プロジェクト「人間活動下の生態系ネットワークの再生と崩壊」	京都大学稲盛財団 記念館大会議室	2012.12.8
田中延亮	「庄内川水系・水のつながり」第4回源流の森(2)	なごや環境大学	生態水文学研究所	2012.12.9
田中延亮・岩井紀子・澤田晴雄・松井理生	生物環境科学基盤実験実習	名古屋大学	生態水文学研究所	2012.12.13
蔵治光一郎・田中延亮	犬山研究林案内人養成講習	犬山市公園緑地課	生態水文学研究所	2013.1.19
蔵治光一郎	犬山研究林を利用する みなさまに東京大学が伝えたいこと	犬山市	さらさくら	2013.1.19
岩井紀子	「あいち自然再生カレッジ」第5回:両生類を守るには 一水と陸のつながりを考えるー	愛知県立大学	愛知県立大学名駅 サテライトキャンパス	2013.1.19
澤田晴雄	標石を探そうツアー	シデコブシの会	生態水文学研究所	2013.1.2
澤田晴雄・荒木田きよみ	犬山研究林案内人養成講習	犬山市公園緑地課	生態水文学研究所	2013.2.2
澤田晴雄	ニホンジカによる森林食害と、その調査手法	愛知県勤労者山岳連盟自然保護部	労山愛知県連事務所	2013.2.16
蔵治光一郎	「森と水」の関係を解き明かす	かすがい環境まちづくり パートナーシップ会議	レディヤン春日井	2013.2.23
蔵治光一郎	身近にある水と森を考える	東海電波懇談会	メルパルク名古屋	2013.3.7

■ 国際交流 ■

交流事業

相手大学および 機関名	国名	協定締結 の有無	交流期間	目的
農業開発研究所 (ARDA) タイ		有	2012.4.1～ 6.30	Golden Jubilee Ph.D. Scholars project奨学金受給者Nilobol氏の 研究のための滞在

国際シンポジウム

参加者氏名	シンポジウム名	主 催	開 催 地	日 程
廣嶋 卓也	国際学会Forests for People	ウィーン農科大学	アルプバッハ (オーストリア)	2012.5.21～26
當山 啓介	国際学会Forests for People	ウィーン農科大学	アルプバッハ (オーストリア)	2012.5.21～26
山田利博	3rd meeting of IUFRO Working Unit 7.03.12	IUFRO 7.03.12 Alien invasive species and international trade	東京大学	2012.6.10～16
山田利博	International Symposium on Oak Forest Preservation	韓国山林科学院	韓国・ソウル	2012.8.27～29
山田利博	第5回アジア演習林コンソーシウム シンポジウム	東京大学	富士癒しの森研 究所	2012.9.26～29
廣嶋卓也	第5回アジア演習林コンソーシウム シンポジウム	東京大学	富士癒しの森研 究所	2012.9.26～28
久本洋子	第5回アジア演習林コンソーシウム シンポジウム	東京大学	富士癒しの森研 究所	2012.9.26～28
當山啓介	第5回アジア演習林コンソーシウム シンポジウム	東京大学	富士癒しの森研 究所	2012.9.26～28
鶴見康幸	第5回アジア演習林コンソーシウム シンポジウム	東京大学	富士癒しの森研 究所	2012.9.26～28
當山啓介	2013 International Symposium on Frontier Agriscience and Technology	信州大学	信州大学	2013.2.27
廣嶋 卓也	Forest Resource Management and Mathematical Modeling International Symposium – FORMATH FUKUSHIMA 2013–	統計数理研究所リスク解 析戦略研究センター・い わき明星大学	いわき明星大学	2013.3.13～15
當山 啓介	Forest Resource Management and Mathematical Modeling International Symposium – FORMATH FUKUSHIMA 2013–	統計数理研究所リスク解 析戦略研究センター・い わき明星大学	いわき明星大学	2013.3.13～15
尾張敏章	生態系サービスのための森林管理 に関する国際シンポジウム	ソウル国立大学	ソウル(韓国)	2013.6.28
芝野博文	アジア大学演習林コンソーシウム第 5回シンポジウム	東京大学	山梨県山中湖村	2012.9.27～29
尾張敏章	アジア大学演習林コンソーシウム第 5回シンポジウム	東京大学	山梨県山中湖村	2012.9.27～29
井口和信	アジア大学演習林コンソーシウム第 5回シンポジウム	東京大学	山梨県山中湖村	2012.9.27～29
尾張敏章	国際シンポジウム「グリーン経済に おける林産物のマーケティングと森 林認証」	岩手大学	岩手県盛岡市	2013.3.28
鎌田直人	IUFRO 7.03.12 “Alien invasive species and international trade”	東京大学	東京大学	2012.6.10～13
鎌田直人	Invasive Ambrosia Beetle Conference	University of California, Riverside	Riverside, CA, USA	2012.8.12～14

参加者氏名	シンポジウム名	主 催	開 催 地	日 程
鎌田直人	第25回国際昆虫学会議	韓国昆虫学会	韓国・大邱	2012.8.19～24
鎌田直人	第5回アジア演習林コンソーシウム シンポジウム	東京大学	富士癒しの森研 究所	2012.9.27～30
浅野友子	第5回アジア演習林コンソーシウム シンポジウム	東京大学	富士癒しの森研 究所	2012.9.27～30
平尾聡秀	第5回アジア演習林コンソーシウム シンポジウム	東京大学	富士癒しの森研 究所	2012.9.27～30
大村和也	第5回アジア演習林コンソーシウム シンポジウム	東京大学	富士癒しの森研 究所	2012.9.27～30
原口竜成	第5回アジア演習林コンソーシウム シンポジウム	東京大学	富士癒しの森研 究所	2012.9.27～30
五十嵐勇治	第5回アジア演習林コンソーシウム シンポジウム	東京大学	富士癒しの森研 究所	2012.9.27～30
齋藤俊浩	第5回アジア演習林コンソーシウム シンポジウム	東京大学	富士癒しの森研 究所	2012.9.27～30
鎌田直人	IUFRO07.02.07 The impact of Climate Change to Forest Plant Protection	Gaja Mada University	Yogyakarta, Indonesia	2012.10.8～10
浅野友子	US-Japan Joint Seminar of Catchment Hydrology and Forest Biogeochemistry	Nobuhito Ohte Kevin McGuire	University of Hawaii	2013.3.3～3.7
楠本 大	3rd meeting of IUFRO Working Unit 7.03.12	IUFRO 7.03.12 Alien invasive species and international trade	東京大学	2012.6.10～16
楠本 大	第5回アジア演習林コンソーシウム シンポジウム	東京大学	富士癒しの森研 究所	2012.9.26～30
岩井紀子	World Congress of Herpetology	International Herpetological Committee	カナダ	2012.8.8～14
田中延亮	3rd International Conference on Forests and Water in a Changing Environment	Organising Committee of 3rd International Conference on Forests and Water in a Changing Environment	福岡市	2012.9.18～20
五名美江	3rd International Conference on Forests and Water in a Changing Environment	Organising Committee of 3rd International Conference on Forests and Water in a Changing Environment	福岡市	2012.9.18～20
蔵治光一郎	3rd International Conference on Forests and Water in a Changing Environment	Organising Committee of 3rd International Conference on Forests and Water in a Changing Environment	福岡市	2012.9.18～20
蔵治光一郎	第5回アジア演習林コンソーシウム シンポジウム	東京大学	富士癒しの森研 究所	2012.9.26～29
澤田晴雄	第5回アジア演習林コンソーシウム シンポジウム	東京大学	富士癒しの森研 究所	2012.9.26～29
岩井紀子	第5回アジア演習林コンソーシウム シンポジウム	東京大学	富士癒しの森研 究所	2012.9.26～29
齋藤暖生	山梨県環境科学研究所国際シンポ ジウム2012	山梨県環境科学研究所	山梨県富士吉田 市	2012.9.29
藤原章雄	山梨県環境科学研究所国際シンポ ジウム2012	山梨県環境科学研究所	山梨県富士吉田 市	2012.9.29
齋藤暖生	第5回アジア演習林コンソーシウム シンポジウム	東京大学	富士癒しの森研 究所	2012.9.26～30
藤原章雄	第5回アジア演習林コンソーシウム シンポジウム	東京大学	富士癒しの森研 究所	2012.9.26～30

2012 年度 共同研究

共同研究

氏名	研究課題	共同研究者所属	氏名	国籍
山田利博	日本と韓国で発生しているブナ科 萎凋病に関する比較研究	壇国大学校	Kim, Seon Hwan	韓国
広嶋卓也	日本－台湾におけるスギの成長 比較	国立台湾大学	Chih-Hsin Cheng	台湾
平尾聡秀	冷温帯林における樹冠ギャップの 空間異質性の解明	University of Helsinki	Timo Kuuluvainen	フィンランド
蔵治光一郎	Impact of Climate Change on Rainfall Variability in Mae Chaem and Whole mountainous area on Upper Chao Praya River Basin	タイ国王立灌漑局 (農学共同研究員)	Nilobol Aranyabhaga	タイ
蔵治光一郎	Hydrology and meteorology in Crocker Range Park, Sabah, Malaysia	マレーシアサバ大学国際 熱帯林業学部	Maznah Mahali	マレーシア
鎌田直人	養菌性キクイムシが媒介する樹木 萎凋病の国際的なリスク評価に必 要な基礎データの収集	South Bohemian University	Vojtech Novotny	チェコ
鎌田直人	養菌性キクイムシが媒介する樹木 萎凋病の国際的なリスク評価に必 要な基礎データの収集	New Guinian Binatang Research Center	Martin Mogia Joseph kua	パプアニューギニア
鎌田直人	養菌性キクイムシが媒介する樹木 萎凋病の国際的なリスク評価に必 要な基礎データの収集	Kassetsart University	Sunisa Sanguansub Wiwat Suasaard	タイ
鎌田直人	養菌性キクイムシが媒介する樹木 萎凋病の国際的なリスク評価に必 要な基礎データの収集	Chaing Mai University	Sawai Buranapanic	タイ
鎌田直人	養菌性キクイムシが媒介する樹木 萎凋病の国際的なリスク評価に必 要な基礎データの収集	University of California, Riverside	Mary Lu Arpaia Richard Stouthamer	アメリカ
鎌田直人	養菌性キクイムシが媒介する樹木 萎凋病の国際的なリスク評価に必 要な基礎データの収集	University of Florida	Jiri Hulcr Jorge Peña	アメリカ
鎌田直人	養菌性キクイムシが媒介する樹木 萎凋病の国際的なリスク評価に必 要な基礎データの収集	Gaja Mada Univeristy	Sri Rahayu	インドネシア
鎌田直人	高解像度衛星データ活用のため の東アジアの植生調査	Chaing Mai University	Teerapong Saowaphak	タイ

海外渡航

氏名	所属演習林	行き先	用務	出発日	帰国日
山田利博	千葉演習林	韓国	調査	2012.7.4	2012.7.6
山田利博	千葉演習林	韓国	調査, シンポジウム参加	2012.8.26	2012.8.30
廣嶋 卓也	千葉演習林	ドイツ・オーストリア	国際学会Forests for People 参加	2012.5.19	2012.5.28
當山 啓介	千葉演習林	ドイツ・オーストリア	国際学会Forests for People 参加	2012.5.19	2012.5.28
尾張敏章	北海道演習林	スウェーデン	World Bioenergy 2012にて木質ペレットの国際貿易に関する資料収集	2012.5.26	2012.6.3
尾張敏章	北海道演習林	中国	二段林成長モデリング現地データ収集	2012.6.11	2012.6.19
尾張敏章	北海道演習林	韓国	生態系サービスのための森林管理に関する国際シンポジウム参加	2012.6.27	2012.6.28
尾張敏章	北海道演習林	ポルトガル	国際森林研究機関連合(IUFRO)第5部会全体会議にて研究発表	2012.7.6	2012.7.15
尾張敏章	北海道演習林	ニュージーランド	異齢林経営に関するIUFRO国際会議にて研究発表・ニュージーランド林業に関する資料収集	2012.11.11	2012.11.25
鎌田直人	秩父演習林	パプア・ニューギニア	調査	2012.5.5	2012.5.19
鎌田直人	秩父演習林	タイ	調査	2012.5.29	2012.6.8
鎌田直人	秩父演習林	パプア・ニューギニア	調査	2012.7.28	2012.8.4
平尾聡秀	秩父演習林	フィンランド	調査	2012.8.3	2012.8.15
鎌田直人	秩父演習林	アメリカ	シンポジウム参加	2012.8.11	2012.8.16
鎌田直人	秩父演習林	韓国	国際昆虫学会議	2012.8.19	2012.8.24
鎌田直人	秩父演習林	インドネシア	IUFRO世界大会・調査	2012.10.5	2012.10.13
鎌田直人	秩父演習林	パプア・ニューギニア	調査	2012.11.3	2012.11.10
鎌田直人	秩父演習林	タイ	調査	2012.11.11	2012.11.24
鎌田直人	秩父演習林	パプア・ニューギニア	調査	2013.2.23	2013.3.9
浅野友子	秩父演習林	アメリカ	セミナー参加(US-Japan Joint Seminar on Catchment Hydrology and Biogeochemistry)	2013.3.3	2013.3.9
平尾聡秀	秩父演習林	フィンランド	調査	2013.3.4	2013.3.17
田中延亮	生態水文学研究所	タイ	熱帯季節林の水文気象の調査, 研究打ち合わせ	2012.5.13	2012.5.16
蔵治光一郎	生態水文学研究所	マレーシア	JICA-BBEC短期専門家「雲霧林生態系調査」	2012.7.10	2012.7.15
田中延亮	生態水文学研究所	タイ	科研プロジェクトの現地観測と現場打合せ	2012.7.27	2012.8.3
岩井紀子	生態水文学研究所	カナダ・アメリカ	国際両生爬虫類学会参加・教授訪問	2012.8.8	2012.8.21
蔵治光一郎	生態水文学研究所	タイ	SATREPS短期専門家「気候変動に対する水分野の適応策立案・実施支援システム構築プロジェクト」ワークショップ出席	2012.8.9	2012.8.12
蔵治光一郎	生態水文学研究所	マレーシア	キナバル、クロッカー、ランビルの観測機器メンテナンス	2012.9.2	2012.9.9
田中延亮	生態水文学研究所	タイ	熱帯季節林の水文気象の調査, 研究打ち合わせ	2013.9.5	2013.9.11
田中延亮	生態水文学研究所	タイ	熱帯季節林の水文気象の調査, 研究打ち合わせ	2012.10.24	2012.11.2
蔵治光一郎	生態水文学研究所	タイ	SATREPS短期専門家「気候変動に対する水分野の適応策立案・実施支援システム構築プロジェクト」ワークショップ出席とメーチャム流域雨量計メンテナンス	2013.1.29	2013.2.5
田中延亮	生態水文学研究所	カンボジア	ゴム園における炭素吸収・排出量の評価手法の開発のため、ゴム林の炭素・水循環に関する調査・研究	2013.3.4	2013.3.8
蔵治光一郎	生態水文学研究所	エクアドル	科研費「Walker循環系における大気振動と山岳の森林限界の形成」ガラパゴス諸島イサベラ島に設置した気象観測機器のメンテナンス	2013.3.9	2013.3.18
岩井紀子	生態水文学研究所	マダガスカル	野外調査	2013.3.12	2013.3.26
齋藤暖生	富士癒しの森研究所	ラオス	天水田地帯におけるシロアリ塚由来資源に関する調査	2012.7.31	2012.8.10

■出版広報活動■

演習林報告

「演習林報告」127号・128号を発行した。

演習林報告第127号 2012年6月25日発行

広嶋卓也 日本におけるJ-VER制度とカーボンオフセットの傾向と課題－英文－	1-16
五名美江・若原妙子・白木克繁・蔵治光一郎・鈴木雅一 マレーシア・ランビル国立公園小流域における土壌水、地下水、 渓流水の高濃度硫酸の起源と生成機構－英文－	17-34
秋元真也・石野貴久・寺田珠実・鮫島正浩・鴨田重裕 ユーカリのフェノール性成分とフェニルアラニンアンモニリアーゼの遺伝子解析 ...	35-44
蔵治光一郎・鎌田直人・芝野博文・山田利博・山本清龍・山中千恵子・算用子麻未 東京大学演習林富士癒しの森研究所・千葉演習林における 年平均気温の長期データの推定	45-56
スカルティニンシー・齊藤陽子・井出雄二 <i>Gmelina arborea</i> Roxb. と <i>Peronema canescens</i> Jack. の 腋芽のカプセル化－英文－	57-65

演習林報告第128号 2013年2月25日発行

田中延亮・鎌田直人・芝野博文・尾張敏章・大川あゆ子・五十嵐勇治・荒木田きよみ 東京大学演習林生態水文学研究所・北海道演習林・秩父演習林における 年平均気温の長期データの推定	1-19
番匠克二 日光国立公園戦場ヶ原湿原における保全意識と保全対策の変遷	21-85
井出雄二・黄バーナード永龍・指村奈穂子 古文書に記録された1811年の伊豆天城山の森林状況	87-120
秋元真也・石野貴久・寺田珠実・鮫島正浩・鴨田重裕 <i>Eucalyptus robusta</i> 由来のフェニルアラニンアンモニリアーゼ遺伝子の クローニングと解析－英文－	121-137

演習林

「演習林」53号を発行した。

演習林第53号 2013年3月1日発行

丹下健・染谷恵 東京大学田無演習林における樹高成長が異なるスギ植栽地の土壌	1-7
相川美絵子・吉田弓子・五十嵐勇治・大村和也・澤田晴雄 秩父演習林における亜高山帯風害跡地試験地の毎木調査資料(1971～2008)	9-28
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所 生態水文学研究所日降水量・日流出量観測結果報告(VIII)	29-53
蔵治光一郎・加藤敦美・五名美江 生態水文学研究所穴の宮試験流域日降水量の再計算結果報告(I)	55-66
五十嵐勇治・大村和也・相川美絵子・澤田晴雄 秩父演習林における原生林固定試験地毎木調査資料	67-127
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所 昭和30年に作成された穴の宮、東山、数成、白坂の各水位観測所からの諸報告 ...	129-152
浅野友子・川崎雅俊・藤原菜生子・大村和也・高野充広・ 千嶋武・原口竜成・平田雅和・鎌田直人 秩父演習林入川流域における河川水の化学組成モニタリング地点の検討	153-167
齋藤俊浩・後藤秀章・平尾聡秀・鎌田直人 1994-2003年に秩父演習林の誘引トラップで捕獲された キクイムシ類のリストの再検討	169-193
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 東京大学演習林気象報告(自2011年1月至2011年12月)	195-220

科学の森ニュース



■第58号■ 2012年6月10日発行

【表紙記事】演習林長新任のご挨拶

《記事》

- ・演習林所属の学生6名が大学院を修了しました（教育研究センター）
- ・辰巳晋一さんが笹川科学研究助成研究奨励賞を受賞しました（教育研究センター）
- ・2年ぶりの春の一般公開（千葉演習林）
- ・演習林のイベントダイジェスト 2012年6月～2012年9月
- ・東京大学演習林出版局一新刊紹介

<クローズアップ>

農学系総務課研究支援チーム附属施設担当（教育研究センター）

<科学の森の動植物紹介>

モウソウチク（樹芸研究所）

<名所・名物紹介>

大麓山（だいろくさん）（北海道演習林）



■第59号■ 2012年9月10日発行

【表紙記事】「癒しの森」をイメージ パネル式看板お披露目会（富士癒しの森研究所）

《記事》

- ・高校生と考える森林の持続可能な未来（北海道演習林）
- ・夏休み恒例「高校生のための森と海のゼミナール」を実施しました（千葉演習林）
- ・生態水文学研究所創立90周年記念シンポジウム（生態水文学研究所）
- ・演習林のイベントダイジェスト 2012年6月～2012年12月

<クローズアップ>

東大サステイナブルキャンパスプロジェクト（TSCP）（東京大学TSCP室）

<科学の森の動植物紹介>

クスギ（田無演習林）

<コラム>

特別天然記念物オオサンショウウオを守る（生態水文学研究所 岩井紀子）



■第60号■ 2012年12月10日発行

【表紙記事】第5回アジア大学演習林シンポジウムを開催（国際交流委員会）

《記事》

- ・北海道フットパス研修（富士癒しの森研究所）
- ・第14回全国演習林協議会「森林管理技術賞」を受賞（企画部）
- ・演習林のイベントダイジェスト 2012年9月～2013年3月

<クローズアップ>

赤津研究林長期生態系プロットとリタ-トラップによる種子生産量調査（生態水文学研究所）

<科学の森の動植物紹介>

カエントケ（生態水文学研究所）

<名所・名物紹介>

樹木園（秩父演習林）

<60号を迎えた科学の森ニュース>

「森林の魅力と大切さ」を発信しよう（演習林長 鈴木雅一）



■第61号■ 2013年3月10日発行

【表紙記事】生態水文学研究所創立90周年記念シンポジウムを主催（生態水文学研究所）

《記事》

- ・冬の恒例イベント～第8回 影森祭～（秩父演習林）
- ・温室特別公開日でアロマキャンドル作り体験（樹芸研究所）
- ・16名の中学生を職場体験で受け入れました（田無演習林）
- ・演習林のイベントダイジェスト 2012年12月～2013年6月

<クローズアップ>

フットパスが結ぶ森林と地域住民とのあらたな関係（富士癒しの森研究所）

<科学の森の動植物紹介>

ミゾゴイ（千葉演習林）

<コラム>

山地の川での水の流れを解明する（秩父演習林 浅野友子）

演習林出版物

■ 東京大学秩父演習林 科学の森たんけん 12 「冬芽」■

2012年4月1日 発行

編集 秩父演習林企画広報委員会

発行 東京大学大学院農学生命科学研究科
附属演習林 秩父演習林

定価 300円税込

科学の森たんけん 12



< 目次 >

1. 冬芽とは
 - (1) 冬芽の前に
 - (2) 冬芽の種類
 - (3) 長枝と短枝
 - (4) 冬芽の形と葉痕の形
2. 演習林で見られる主な冬芽
3. 出かけてみよう!

■ 東京大学樹芸研究所 温室本 芸のある植物たち ■

2013年3月31日 発行

編集 東京大学演習林出版局

発行 東京大学演習林出版局

定価 1,000円＋税 四六判 112頁

ISBN978-4-90332-17-2



< 目次 >

巻頭言

樹芸研究所紹介

樹芸研究所温室の歴史

温室植物図鑑

アラビアコーヒーノキ・ネコノヒゲ・チークノキ・ストロファンツ属の樹木・ゴレンシ(スターフルーツ)・サボテブランコ(シロサボテ)・インドセンダン(ニーム)・オオバマホガニー・カシューナットノキ・レイシ(ライチ)・アセロラ・パラゴムノキ・ナンヨウアブラギリ・キャッサバ・マテ・チャット(アラビアチャ)・ビャクダン・カユブテ・ベイラムノキ・グアバア(パンジロウ)・シナジンコウ・マカダミア(クイーンズランドナットノキ)・インドシタン(カリン)・アカミノキ(ログウッド)・タマリンド・キンゴウカン・サボジラ・ミラクルベリー(ミラクルフルーツ)・ベニノキ・キワタ・カカオノキ・キヤニモモ(タマゴノキ)・フタバガキ科の樹木・インドボダイジュ・コショウ・セイロンニッケイ・ブリアン(ボルネオテツボク)・イランイラン・バニラ・サイザルアサ

温室植物写真展

温室での花期

温室植物目録

和名索引

見学について・アクセス

参考文献

新聞・雑誌・放送等

演習林名	メディア	日付	内容
生態水文学研究所	毎日新聞岐阜県版	2012.4.2	開門調査検証の経緯聞く 長良川河口堰 岐阜市で市民団体学習会(蔵治准教授)
生態水文学研究所	岐阜新聞岐阜県版	2012.4.2	長良川河口堰問題 市民100人が学習会(蔵治准教授)
生態水文学研究所	CBCテレビ「イッポウ」	2012.4.5	東海三県を流れる川を河口から上流そして現流域へと遡り、最初の一滴を探し求める特集コーナー
千葉演習林	BayFM「パワーベイ モーニング」	2012.4.20	番組内の千葉県情報紹介コーナー「ちーばレポ」に當山助教が電話出演 一般公開に関する情報や見どころ等を紹介
生態水文学研究所	尾張東部放送	2012.4.23	「蔵治先生の環境講座」(蔵治准教授)
生態水文学研究所	東愛知新聞	2012.4.17	「原告排除」の条文巡り紛糾 県事務局配布資料、誤り認める 設楽ダム連続公開講座 運営地チームが豊橋で会合(蔵治准教授)
生態水文学研究所	東日新聞	2012.4.17	第1回は7月中に 運営チーム開催方法話し合う 設楽ダム連続公開講座(蔵治准教授)
樹芸研究所	伊豆新聞	2012.5.11	キャッサバ芋で桜餅 温室公開日に体験イベント
生態水文学研究所	東日新聞	2012.5.17	設楽ダム公開連続講座 通称は「とよがわ流域県民セミナー」「豊川流域」テーマに7月初回(蔵治准教授)
北海道演習林	北海道新聞	2012.5.27	神社山散策路を2日間だけ公開
北海道演習林	北海道新聞	2012.6.9	イトウ保護通し景観維持 南富良野で東大北海道演習林 住民ら120人ワークショップ
生態水文学研究所	尾張東部放送	2012.6.11	「蔵治先生の環境講座」(蔵治准教授)
富士癒しの森研究所	毎日新聞	2012.6.19	聞き書きコモンズ 高校生に説明会(齋藤助教)
生態水文学研究所	中日新聞なごや東版	2012.6.22	地球の里山保全学ぶ 海上の森大学来月開講 「持続可能」狙い市民活動コース新設(田中助教)
田無演習林	タウン通信	2012.6.13	樹木博士20回目
北海道演習林	日刊富良野	2012.7.14	消防隊員と演習林職員で合同訓練 林野火災初期対応を確認
生態水文学研究所	中日新聞	2012.7.29	設楽ダム理解へ 講座に150人参加 県が豊橋で開催(蔵治准教授)
生態水文学研究所	朝日新聞	2012.7.29	設楽ダムみんなで考えよう 豊橋で県民セミナー始まる(蔵治准教授)
生態水文学研究所	読売新聞	2012.7.29	ダムあり方など考える 豊橋で豊川流域県民セミナー(蔵治准教授)
生態水文学研究所	東日新聞	2012.7.29	ダムへの理解、知事が求む 流域の特性学ぶ とよがわ流域県民セミナー第1回 藤田佳久教授ら講演 愛大で150人参加(蔵治准教授)

演習林名	メディア	日付	内容
生態水文学研究所	東愛知新聞	2012.7.29	豊川の特性に理解深める 第1回「とよがわ流域 県民セミナー」県の設楽ダム連続公開講座 愛 大で講演や討論会(蔵治准教授)
生態水文学研究所	東愛知新聞	2012.7.29	第3回は「三河湾と魚」 運営チームの第5回会 議(蔵治准教授)
生態水文学研究所	尾張東部放送	2012.7.30	「蔵治先生の環境講座」(蔵治准教授)
生態水文学研究所	尾張東部放送	2012.8.13	「蔵治先生の環境講座」(蔵治准教授)
生態水文学研究所	毎日新聞西部本社 (朝刊)	2012.9.25	「緑のダム」効果大雨時ほど鮮明(蔵治光一郎、 五名美江)
生態水文学研究所	尾張東部放送	2012.10.1	「蔵治先生の環境講座」(蔵治准教授)
樹芸研究所	伊豆新聞	2012.10.18	カカオでチョコレート 東大樹芸研究所特別公 開 採取や作り方体験
生態水文学研究所	中日新聞	2012.10.22	「森の健康診断」小学生も(蔵治准教授)
千葉演習林	千葉Walker2013冬号	2012.11.8	千葉演習林秋の一般公開
生態水文学研究所	矢作新報	2012.11.9	恵那市域の間伐が調査データにくっきり 第8回 「矢作川森の健康診断」報告会(蔵治准教授)
生態水文学研究所	東京新聞(朝刊)	2012.11.13	「緑のダム」効果実証、森林回復で4割減(蔵治 光一郎、五名美江)
千葉演習林	房日新聞	2012.11.14	演習林で巣箱架け交流事業で子どもら
千葉演習林	東京新聞	2012.11.16	澄んだ空気に包まれて
生態水文学研究所	尾張東部放送	2012.11.19	「蔵治先生の環境講座」(蔵治准教授)
千葉演習林	房日新聞	2012.11.27	安田講堂など見学 44人が東大キャンパスツ アー
秩父演習林	NHK総合	2012.11.30	「小さな旅30周年記念～ふるさとの歳月～」 秩父演習林の入川軌道跡で撮影した映像
教育研究センター	CNインターボイス	2012.12.15	教育用DVD「日本の亜寒帯の森」(後藤准教授)
樹芸研究所	伊豆新聞	2012.12.17	アロマ独特の香り 南伊豆の東大樹芸研究所 キャンドル作り体験
生態水文学研究所	尾張東部放送	2012.1.7	「蔵治先生の環境講座」(蔵治准教授)
生態水文学研究所	尾張東部放送	2012.2.4	「蔵治先生の環境講座」(蔵治准教授)
田無演習林	読売新聞	2013.3.15	東大演習林 市民と活用検討 今春にも協議会 発足へ
北海道演習林	北海道新聞	2013.3.27	生産から販売まで林業の区立改善を 米大学 教授ら講演

2012年度 演習林を利用して行った論文等

■利用状況■

演習林を利用して行った論文等

	発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
	高木 悦郎	Effects of the seed parasitoid wasp <i>Macrodasyceras hirsutum</i> Kamijo on the bird-dispersed tree <i>Ilex integra</i> Thunb. in the plant-insect-bird triad system	東京大学博士論文			2013
	Sunisa Sanguansub	Ambrosia beetle guild attacking a deciduous oak tree <i>Quercus serrata</i> in the Central Japan and species risk assessment in relation to potential invasiveness and aggressiveness based on niche analysis	東京大学博士論文			2012
	小原 章裕	森林小流域の降雨流出過程における溶存有機物の量的・質的動態に関する研究	東京大学修士論文			2013
	中渕 遥平	降雨－地下水変換モデルによる斜面崩壊発生予測に関する研究	東京大学修士論文			2013
	栗野 雄大	房総半島におけるキマダラヒカゲ属3種の生態比較	東京大学卒業論文			2013
	杉浦 奈美	葉緑体シーケンスによるイチイガシ (<i>Quercus gilva</i>) の遺伝構造	東京大学卒業論文			2013
	磯辺 山河	千葉県房総丘陵におけるヒメコマツ実生の遺伝的組成と生育環境	宇都宮大学卒業論文			2013
	山中 克正	房総半島、東京大学千葉演習林東部の地質	京都大学卒業論文			2013
	平田 郁生	房総半島、東京大学千葉演習林西部の地質	京都大学卒業論文			2013
	Maki Suzuki	Succession of abandoned coppice woodlands weakens tolerance of ground-layer vegetation to ungulate herbivory: A test involving a field experiment	Forest Ecology and Management	289-1	318-324	2013
	Sunisa Sanguansub, Hideaki Goto, Naoto Kamata	Guild structure of ambrosia beetles attacking a deciduous oak tree <i>Quercus serrata</i> in relation to wood oldness and seasonality in three locations in the Central Japan	Entomological Science	15	42-55	2012
	Hiroe Narita, Junji Sugiyama, Shigenori Kuga	Chemotaxonomical identification of Holocene bogwood recovered after 2007 Niigataken Chuetsu-oki Earthquake	Holzforschung	66	951-957	2012
	Hiroki Yamaguchi, Hiroki Tanaka, Morifumi Hasegawa, Makoto Tokuda, Tadao Asami, Yoshihito Suzuki	Phytohormones and willow gall induction by a gall-inducing sawfly	New Phytologist	196-2	586-595	2012
	山口 大貴、貫井 光太、鈴木 義人	シバヤナギにゴールを形成するハバチのサイトカイニン合成能の検討	日本農芸化学会	2013	2A46a04	2013
	石塚 航	北方針葉樹トドマツの標高に沿った局所適応の実体解明と将来予測への応用	東京大学博士論文		195pp	2012
	Tatsumi S., Owari T., Toyama K. and Shiraishi N.	Adaptation of a spatially-explicit individual-based forest dynamics model SORTIE-ND to conifer-broadleaved mixed stands in the University of Tokyo Hokkaido Forest.	FORMATH	11	1-26	2012
	Kimura, M.K., Goto, S., Suyama, Y., Matsui, M., Woeste, K., Seiwa, K.	Morph-specific mating patterns in a low-density population of a heterodichogamous tree, <i>Juglans ailantifolia</i>	Plant Ecology	213 (9)	1477-1487	2012
	Mizukoshi, A., Johnson, K.P., Yoshizawa, K.	Co-phylogeography and morphological evolution of sika deer lice (<i>Damalinea sika</i>) with their hosts (<i>Cervus nippon</i>)	Parasitology	139 (12)	1614-1629	2012
	表 溪太	Population bottlenecks and genetic structure dynamics of the Blakiston's fish owl (<i>Bubo blakistonii</i>) on Hokkaido Island, Japan, revealed by mitochondrial DNA and microsatellite analysis シマフクロウ北海道集団におけるボトルネックおよび遺伝的構造の変遷:ミトコンドリアDNAおよびマイクロサテライト解析による検討	北海道大学修士論文		76pp	2013
	佐藤 大介	北海道山間部天然林における営巣資源（巣箱）を巡る2種の小型哺乳類エゾモモンガ及びヒメネズミの関係	帯広畜産大学卒業論文		20pp	2013
	柴谷 みのり	北海道の山間部天然林におけるエゾモモンガ <i>Pteromys volans orii</i> の巣材資源の解明－その形態的特徴について－	帯広畜産大学卒業論文		21pp	2013
	吉村 裕貴	北海道山間部天然林においてエゾモモンガ <i>Pteromys volans orii</i> の巣箱利用を決定づける環境要因の解明	帯広畜産大学卒業論文		33pp	2013
※	Sunisa SANGUANSUB, Hideaki GOTO and Naoto KAMATA	Guild structure of ambrosia beetles attacking a deciduous oak tree <i>Quercus serrata</i> in relation to wood oldness and seasonality in three locations in the Central Japan	Entomological Science			2011
※	S Sakaguchi, Y Takeuchi, M Yamasaki, S Sakurai and Y Isagi	Lineage admixture during postglacial range expansion is responsible for the increased gene diversity of <i>Kalopanax septemlobus</i> in a recently colonised territory	Heredity	107	338-348	2011
※	水上 久雄	埼玉県初確認の蛾 1 種の記録	寄せ蛾記 (埼玉昆虫談話会誌)	142	44	2011
※	水上 久雄	東京大学秩父演習林にて2010年に採集した蛾	寄せ蛾記 (埼玉昆虫談話会誌)	142	45-56	2011

2012年度 演習林を利用して行った論文等

	発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
※	田 悟 敏弘	＜東京大学秩父演習林の昆虫類データベース＞東京大学秩父演習林および周辺地で記録した昆虫アミメカゲロウ類[第2回]	寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会誌)	143	29-35	2011
※	田 悟 敏弘	＜東京大学秩父演習林の昆虫類データベース＞東京大学秩父演習林および周辺地で記録した昆虫甲虫類[第2回]	寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会誌)	143	36-40	2011
※	田 悟 敏弘	＜東京大学秩父演習林の昆虫類データベース＞東京大学秩父演習林および周辺地で記録した昆虫異翅類[第2回]	寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会誌)	143	41-53	2011
※	新井 浩二	秩父演習林の昆虫等のデータベース構築プロジェクト・奥秩父入川溪谷とその周辺で得られた甲虫類(東京大学秩父演習林における甲虫相調査成果の報告その1)	寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会誌)	144	1-58	2011
※	Imamura N, Tanaka N, Ohte N	Inorganic ion budget in the forest canopy of a beech forest in The university of Tokyo Chichibu forest	The Fourth Symposium of Asian University Forests; International Symposium on Long-Term Monitoring and Experiments of University Forest			2011
	新村博	植物柔組織セルロースの存在形態に関する研究	東京大学博士論文			2012
	植田睦之	2011年度コア・準コアサイト鳥類調査 越冬期結果報告	モニタリングサイト1000 陸生鳥類調査情報	4 (1)	3	2012
	植田睦之・平野敏明・黒沢令子	長時間の録音データから鳥のさえずり状況を知るための聞き取り時間帯の検討	Bird Research	8	T1-T6	2012
	植田睦之・黒沢令子・斎藤 肇	森林音のライブ配信から聞き取った森林性鳥類のさえずり頻度のデータ	Bird Research	8	R1-R4	2012
	Hiroe Narita, Junji Sugiyama and Shigenori Kuga	Chemotaxonomical identification of Holocene bogwood recovered after 2007 Niigataken Chuetsu-oki Earthquake	Holzforschung	66	951-957	2012
	Shota Sakaguchi, Michimas a Yamasaki, Chihiro Tanaka and Yuji Isagi	Examining the factors influencing leaf disease intensity of Kalopanax septemlobus (Thunb. ex Murray) Koidzumi (Araliaceae) over multiple spatial scales: from the individual, forest stand, to the regions in the Japanese Archipelago	Journal of Ecology and Field Biology	35 (4)	359-365	2012
	SHOTA SAKAGUCHI, YING-XIONG QIU, YI-HUI LIU, XIN-SHUAI QI, SEA-HYUN KIM, JINGYU HAN, YAYOI TAKEUCHI, JAMES R.P. WORTH, MICHIMASA YAMASAKI, SHOGO SAKURAI and YUJI ISAGI	Climate oscillation during the Quaternary associated with landscape heterogeneity promoted allopatric lineage divergence of a temperate tree Kalopanax septemlobus (Araliaceae) in East Asia	Molecular Ecology	21	3823-3838	2012
	三輪 誠	埼玉県奥秩父のブナ林に及ぼすオゾンの影響 - 大気中オゾン濃度からの推定 -	第15回自然系調査研究機関連絡会議 調査研究・活動事例発表会			2012
	巽大喜, 吳炳雲, 松下 範久, 宝月岱造	スギ・ヒノキ人工林土壌中のアーバスキュラー菌根菌の群集構造と共生効果	日林学術講	123	K20	2012
	徳原俊介・村上道夫・小坂浩司・小熊久美子・酒井宏治・滝沢智	N-ニトロソアミン類とその前駆物質の土壌への吸脱着及び微生物分解	土木学会論文集	63(7)	III_633-III_672	2012
	長谷和子・阿部真人・嶋田正和	オタマジャクシの「群れ」形成における血縁・系統の及ぼす影響	日本動物行動学会第31回奈良大会	P2-50		2012
	巽 大喜	スギ・ヒノキに感染するアーバスキュラー菌根菌の共生機能	東京大学修士論文			2013
	五十嵐 隼	秩父山地におけるオノオレカンバの生育地環境および遺伝構造	東京大学修士論文			2013
	高田 乃倫予	山村振興における森林資源活用の実態 - 埼玉県秩父市の山村地域の現状 -	東京大学修士論文			2013
	中村 和彦	映像アーカイブを用いたフェノロジー観察学習に関する研究	東京大学博士論文			2013
	深堀 惇太郎	秩父山地ウダイカンバ高齢級林の林分動態と成立要因	宇都宮大学卒業論文			2013
	奥井 あずさ	ブナ・イヌブナ原生林における樹木成長と土壌成分との関係	千葉大学卒業論文			2013
	五十嵐隼, 齊藤陽子, 井出雄二	秩父山地におけるオノオレカンバの生育地推定	第124回日本森林学会	P1-053		2013
	高橋拓史・櫻井倫・仁多見俊夫・酒井秀夫	LiDARデータを使用した森林作業道路面侵食傾向分析	第124回日本森林学会	P1-188		2013

2012 年度 演習林を利用して行った論文等

	発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
	宗 昆	アカマツ苗を用いた成熟した混交林における外生菌根菌群集への重金属影響の評価	第124回日本森林学会		M22	2013
	竹口智	ニワウルシの根萌芽の成長特性	日本大学卒業論文			2013
	中達正人	ベッコウタケの樹体内における動態に関する研究	東京大学修士論文			2013
	丹下健・染谷恵	東京大学田無演習林における樹高成長が異なるスギ植栽地の土壌	演習林	53	1-7	2013
	永井牧子・櫻井尚武	環境の違いや季節の違いによるニワウルシ (Ailanthus altissima) 個体の消長	関東森林研究	63(1)	77-80	2012
	Kazuki Nanko, Ai Watanabe, Norifumi Hotta, Masakazu Suzuki	Physical interpretation of the difference in drop size distributions of leaf drips among tree species	Agricultural and Forest Meteorology	163	74-84	2013
※	Wilfredo A. Dumale Jr., Tsuyoshi Miyazaki, Kenta Hirai, Taku Nishimura	SOC Turnover and Lime-CO2 Evolution during Liming of an Acid Andisol and Ultisol	Open Journal of Soil Science	1	49-53	2011
	T. Tange, M. Someya, M. Norisada, M. Masumori	Photosynthetic limitation of similar-height Cryptomeria japonica trees growing at different rates	Photosynthetica	51(1)	158-160	2013
	Sou N. Matsunaga, Shireru Niwa, Akira Tani, Dai Kusumoto, Yasuhiro Utsumi, Tsutomu Enoki, Tsutomu Hiura	Seasonal variation in basal emission rates and composition of mono- and sesquiterpenes emitted from dominant conifers in Japan	Atmospheric Environment	69	124-130	2013
	Tetsushi Itokazu, Ken'ichirou Kosugi, Yuichi Onda, Koichiro Kuraji, Nobuaki Tanaka, Motoshige Goto, Takeshi Ohta, Takahisa Mizuyama	Differences in Direct Runoff Characteristics with Vegetation Recovery in Granite Watersheds	3rd International Conference on Forest & Water in a Changing Environment		100	2012
	梅藤幸太郎・村瀬泰久・山本一清	航空機LiDAR による樹冠形変動の把握	中部森林学会大会研究発表要旨集			2012
	Takayuki Yamagishi, Toshihiro Yamada, and Yuji Matsumoto	IR-SNOM analysis of occluding substances in lumina of xylem elements in sapwood of Quercus serrata attacked by Platypus quercivorus.	4th International Conference on Pulping, Papermaking and Biotechnology			2012
	山ぎし崇之	病傷害を受けた樹木辺材の木部細胞内腔に沈着する物質の化学構造分析	東京大学博士論文			2013
	Takayuki Yamagishi, Kento Aizawa, Toshihiro Yamada, Yuji Matsumoto	IR-SNOM analysis of occluding substances in lumina of xylem elements in sapwood of Quercus serrata attacked by Platypus quercivorus.	Analytical Sciences	29(4)	411-415	2013
	中達正人	ベッコウタケの樹体内における動態に関する研究	東京大学修士論文		63pp	2013
	村瀬康久	人工林における下層植生の成立要因と間伐効果の要因解析	名古屋大学修士論文			2013
	森下絵理子	PALSARによる国内人工林の森林情報把握可能性の検討	名古屋大学修士論文			2013
	梅藤幸太郎	航空機LiDARによる早期森林資源利用診断システムの開発ー樹冠形変動の把握ー	名古屋大学卒業論文			2013
※	土肥和貴	過密及び強度間伐ヒノキ人工林の樹冠遮断特性	東大・修論			
※	鍋倉賢二	3Dカメラによる樹幹形計測手法の開発	名古屋大・卒業論文			
※	中野寛子	樹冠遮断量の降雨強度依存性が流域水収支に与える影響について	宇都宮大学・卒業論文			
※	土肥和貴・田中延亮・蔵治光一郎	過密ヒノキ人工林の間伐が樹冠遮断量に及ぼす影響の観測と解析	中部森林研究	60		
	宮部涼太郎	道の利用・管理が関わる森林内の道周辺の環境形成について	東京大学卒業論文			
	武田愛実	森林の成長に伴う樹冠遮断蒸発量の変化が河川流出に与える影響	筑波大学卒業論文			2013
	五十嵐祥晃	河川における流速、河床基質に対応した資源の移動機構	千葉大学修士論文			2013

※は、これまで発行の年報に未掲載の論文である。2012年度の集計には反映されていない

2012年度 演習林を利用して行った論文数	
千葉	16
北海道	9
秩父	21
田無	7
生態水文	10
富士	2
樹芸	0
合計	65

全利用者

演習林名：千葉演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	18	鴨川市有害鳥獣対策協議会				18	18	有害鳥獣捕獲	日帰り
2	4	4	君津市経済部農林振興課				4	4	わなによる有害鳥獣捕獲の実施	日帰り
3	4	2	千葉大学 理学研究科		1	5		6	羽化トラップの設置，同位体サンプルの採集	日帰り
4	4	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	1		4		5	森林伐採後10年間の植生成長に伴う水収支変化	日帰り
5	4	1	東大 農・演習林研究部				1	1	マツ枯れ試験研究（研究終了後片付け）	日帰り
6	4	4	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	研究用ヤマビルの飼育管理と研究支援	日帰り
7	4	1	東大 新領域創成科学研究科	13		46		59	自然環境学野外総合実習	日帰り
8	4	1	東大 農・千葉演習林	3			27	30	鴨川市交流事業「野鳥の巣箱をかけよう（巣箱観察）」	日帰り
9	4	1	千葉演習林ボランティア会Abies				3	3	野鳥の巣箱観察サポート	日帰り
10	4	2	東大 農・森林経理学研究室	4				4	スギ・ヒノキ高齢人工林成長予測式の改良	清澄宿泊施設
11	4	1	散策会（法政二高OB会）				5	5	猪ノ川林道植物観察	日帰り
12	4	1	千葉県立中央博物館	2			2	4	昆虫調査	日帰り
13	4	2	千葉県森林インストラクター会	2			33	35	演習林の植生，地層，動物などに関する研修	清澄宿泊施設
14	4	2	千葉演習林ボランティア会Abies				11	11	千葉県森林インストラクター会との交流会	清澄宿泊施設
15	4	1	千葉県農林総合森林研究所	3				3	ヒメコマツ放虫試験	日帰り
16	4	1	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	1				1	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
17	4	2	東大 農・千葉演習林				215	215	春の一般公開	日帰り
18	4	2	千葉県環境生活部大気保全課				2	2	化学物質大気環境調査	日帰り
19	4	1	千葉大学 理学研究科		1	2		3	羽化トラップの設置，同位体サンプルの採集	日帰り
20	4	1	宇都宮大学 農学部森林科学科		2			2	暖温帯照葉樹林の見学及びヒメコマツの分布状況の確認	日帰り
21	4	2	千葉県立中央博物館	6				6	フロア調査	札郷宿泊施設
22	4	1	東大 農・森林動物学研究室			1		1	森林の断片化による樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の崩壊プロセスの解明	日帰り
23	4	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	1		1		2	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	日帰り
24	5	22	鴨川市有害鳥獣対策協議会				24	24	有害鳥獣捕獲	日帰り
25	5	4	君津市経済部農林振興課				4	4	わなによる有害鳥獣捕獲を実施するため	日帰り
26	5	3	千葉県環境生活部大気保全課				4	4	科学物質大気環境調査（5/15～16） 非汚染地域大気環境調査（5/1）	日帰り
27	5	6	京都大学 理学部地質学鉱物学教室		12			12	演習林内での地質調査（卒業研究）	清澄宿泊施設2
28	5	3	山階鳥類研究所				3	3	鳥類標識調査による鳥類相の把握	清澄宿泊施設2
29	5	4	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	研究用ヤマビルの飼育管理	日帰り
30	5	4	東大 農・森林経理学研究室	12	32	4		48	森林経理学実習	札郷宿泊施設
31	5	5	丹下 健	12	110			122	造林学実験	清澄宿泊施設
32	5	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室		1	2		3	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	日帰り
33	5	2	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	4				4	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	郷台宿泊施設
34	5	2	東大 農・森林動物学研究室		2			2	卒論研究の現地調査（ヤマキマダラヒカゲ）	札郷宿泊施設
35	5	1	橋本 佳奈				2	2	取材（ヤマビルに関する情報収集）	日帰り
36	5	3	東大 農・森林植物学研究室	9	57	6		72	森林植物学実験の野外実習	清澄宿泊施設
37	5	4	千葉大学 理学研究科		1	8		9	羽化トラップの設置，同位体サンプルの採集	日帰り
38	5	5	日本鳥類標識協会				10	10	サンコウチョウの基礎研究，鳥類標識調査，鳥類相の把握	日帰り
39	5	1	千葉大学 大学院理学研究科			1	1	2	地震に関する電磁気現象の観測学的研究	日帰り
40	5	1	東大 農・森林動物学研究室			1		1	森林の断片化による樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の崩壊プロセスの解明	日帰り
41	5	1	東大 農・千葉演習林	23				23	千葉演習林教職員による「春の研修会」	日帰り
42	5	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室			2		2	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	日帰り

2012 年度 全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
43	5	1	千葉演習林ボランティア会Abies				1	1	春の研究会聴講	日帰り
44	5	2	千葉県立中央博物館	10				10	昆虫調査	清澄宿泊施設
45	5	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	2	1	1		4	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	日帰り
46	5	1	千葉演習林ボランティア会Abies				7	7	郷台苗畑除草作業	日帰り
47	5	4	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構	4			24	28	地質の調査実習	日帰り
48	5	3	東北大学 植物園協力研究員	9				9	千葉演習林内生育編組製品可能植物試料の採集	清澄宿泊施設
49	5	3	千葉県立中央博物館	7				7	フロア調査	清澄宿泊施設
50	5	2	東邦大学 理学部 博士研究員	2				2	植物の防御戦略がシカ・植物・昆虫相互作用系に与える影響	清澄宿泊施設
51	5	7	京都大学 理学部地質学鉱物学教室		14			14	卒業研究（地質調査）	札郷宿泊施設
52	5	4	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	8				8	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	郷台宿泊施設
53	5	2	東大 新領域創成科学研究科・環境学研究系自然環境学専攻	4		10		14	地域自然誌論	清澄宿泊施設
54	5	2	千葉県立君津青葉高等学校 総合学科	4			32	36	環境系「東大演習林」校外学習	清澄宿泊施設
55	5	2	東大 新領域創成科学研究科・自然環境学専攻	2	3	2		7	シカの排除と伐採が広葉樹二次林の分解過程に及ぼす影響	清澄宿泊施設2
56	5	1	千葉大学 理学研究科			2		2	羽化トラップの設置、同位体サンプルの採集	日帰り
57	6	21	片桐 有而				25	25	有害鳥獣捕獲	日帰り
58	6	4	鈴木 洋邦				4	4	わなによる有害獣捕獲を実施するため	日帰り
59	6	3	千葉県環境生活部大気保全課				4	4	非汚染地域大気環境調査（6/1），科学物質大気環境調査（6/11,12）	日帰り
60	6	2	日本鳥類標識協会				4	4	サンコウチョウの基礎研究，鳥類標識調査，鳥類相の把握	日帰り
61	6	1	埼玉県立自然の博物館友の会				3	3	自然観察会の下見	日帰り
62	6	6	NPO法人房総の野生生物調査会				6	6	研究用ヤマビルの飼育管理及び元大学院生の研究終了に係る研究資材の撤去等補助（6/25）	日帰り
63	6	6	(財)国際緑化推進センター	16			72	88	JICA課題別研修「国家森林モニタリングシステム整備のための人材育成」	清澄宿泊施設
64	6	2	東大 教・附属中等教育学校	2				2	附属学校の総合学習で宿泊を行うための下見と打合せ	清澄宿泊施設
65	6	1	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	1				1	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
66	6	12	京都大学 理・地質学鉱物学教室		24	22		46	卒業研究	札郷宿泊施設
67	6	3	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室		1	3		4	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	清澄宿泊施設2
68	6	1	京都大学 大学院理学研究科			2		2	クガビル類の生息確認	日帰り
69	6	1	東大 農・附属演習林教育研究センター	1				1	教養学部体験ゼミ「危険生物」実習の下見	日帰り
70	6	2	元東京大学（農・附属演習林）				3	3	平成23年度までの研究の片づけ	日帰り
71	6	3	東大 農・千葉演習林	49	6	8	10	73	第17回利用者説明会	清澄宿泊施設
72	6	2	千葉演習林ボランティア会Abies				11	11	第17回利用者説明会参加及び6月度活動（菖蒲沢手入れ）	清澄宿泊施設
73	6	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	3	1	2		6	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	日帰り
74	6	4	産業総合研究所 地圏資源環境研究部門	5				5	京都大学理学部山路先生指導下の卒業生（地質）2名に対する現地指導	清澄宿泊施設
75	6	1	茨城大学 農・資源生物科学科	1		1		2	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
76	6	3	京都大学 理・地質学鉱物学教室	5				5	清澄層・天津層の地質巡検	清澄宿泊施設
77	6	1	東大 農・森林動物学研究室			1		1	森林の断片化による樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の崩壊プロセスの解明	日帰り
78	6	2	千葉県立中央博物館	10				10	昆虫調査	清澄宿泊施設2
79	6	1	東大 農・事務部経理課 予算・決算チーム	10				10	内部監査	日帰り
80	6	1	東大 農・演習林研究部	3	22			25	教養学部体験ゼミ「危険生物ゼミ」	日帰り
81	6	1	千葉演習林ボランティア会Abies				2	2	菖蒲沢への菖蒲移植後の確認	日帰り
82	6	2	千葉県立中央博物館	6				6	フロア調査	清澄宿泊施設
83	6	1	東大 環境安全本部	1				1	産業医による千葉演習林巡視	日帰り
84	6	1	千葉大学 大学院理学研究科	1				1	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究	日帰り

2012 年度 全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
85	6	2	宇都宮大学 農・森林科学科	2	4	2		8	千葉県房総j丘陵におけるヒメコマツ実生の生育環境と遺伝的特性	清澄宿泊施設
86	7	12	鴨川市有害鳥獣対策協議会				12	12	有害鳥獣捕獲	日帰り
87	7	4	君津市経済部農林振興課				4	4	わなによる有害鳥獣捕獲を実施するため	日帰り
88	7	11	千葉県環境生活部大気保全課				13	13	非汚染地域大気環境調査（7/2） 科学物質大気環境調査（7/4-5） ダイオキシン類大気環境調査（7/24-8/1）	日帰り
89	7	2	東大 農・秩父演習林	2				2	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	清澄宿泊施設
90	7	2	茨城大学 理・理学科・生物学コース	2				2	マメ科植物の胚柄発達様式多様性の解明	日帰り
91	7	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究j室	1	1	1		3	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	日帰り
92	7	4	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	研究用ヤマビルの飼育管理	日帰り
93	7	1	東大 新領域創成科学研究科・自然環境学	2		1		3	菌類従属栄養植物ラン科のツチアケビとクロムヨウランの保全に向けた研究	日帰り
94	7	1	埼玉県立自然の博物館友の会				16	16	自然観察会	日帰り
95	7	2	森林総合研究所c木材特性研究領域	4				4	スギ品種の材質調査	清澄宿泊施設
96	7	1	ジャパンフォーレスト				1	1	演習林内の林地残材の有効利用（割箸・バラ箸等の製造）の検討について調査	日帰り
97	7	9	京都大学 理・地質学鉱物学教室		17			17	卒論執筆のため	札郷宿泊施設
98	7	1	千葉大学 大学院理学研究科	2		1	2	5	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究	日帰り
99	7	2	地球科学総合研究所				8	8	地質の調査研修	日帰り
100	7	2	千葉大学 理学研究科	4	2	4	30	40	千葉高校SPPによる見学 7/12 下見 7/15 SPP実施	日帰り
101	7	1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング				2	2	森林資源から利益を生み出す新たな仕組みの検討	日帰り
102	7	1	慶応義塾大学 経済学部生物学教室	1				1	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
103	7	1	千葉大学 大学院理学研究科	1				1	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究	日帰り
104	7	1	東大 新領域創成科学研究科・自然環境学	1		1		2	菌類従属栄養植物ラン科のツチアケビとクロムヨウランの保全に向けた研究	日帰り
105	7	6	(一社)日本森林技術協会森林情報グループ				21	21	デジタル員林空間情報利用技術開発事業（林野庁補助事業）実施のため	日帰り
106	7	3	千葉大学 理学研究科	2	3	3	2	10	羽化トラップの設置、同位体サンプルの採集	日帰り
107	7	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室		1	2		3	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	日帰り
108	7	2	千葉県立中央博物館	10				10	昆虫調査	郷台宿泊施設
109	7	1	学校法人戸村学園 コスモス幼稚園	34			134	168	林間学校（清澄寺〜麻綿原間ハイキング）	日帰り
110	7	2	千葉県立中央博物館	4				4	フロラ調査	清澄宿泊施設
111	7	1	日本鳥類標識協会				2	2	サンコウチョウの基礎研究、鳥類標識調査、鳥類相の把握	日帰り
112	7	5	東大 新領域創成科学研究科自然環境学専攻	7		5		12	シカの排除と伐採が広葉樹二次林の分解過程に及ぼす影響	清澄宿泊施設2
113	7	2	東大 医学系研究科国際保健学専攻人類生態学	11	10	16		37	フィールドワーク実習	清澄宿泊施設
114	7	1	陸上自衛隊 中央野外通信群				3	3	清澄山（NHK中継所周辺）での通信現地調査のため	日帰り
115	7	5	京都大学 理・地質学鉱物学教室		5			5	卒業論文作成のため（七里川地質図作成）	札郷宿泊施設
116	7	2	東大 農・千葉演習林	10			23	33	高校生のための森と海のゼミナール開催のため	清澄宿泊施設
117	7	2	千葉演習林ボランティア会Abies				6	6	千葉演習林事業のサポート（高校生のための森と海のゼミナール）	清澄宿泊施設
118	7	2	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	2	2	4		8	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	札郷宿泊施設
119	7	1	神明神社 氏子総代				9	9	購入予定材の運材方法を検討するため	日帰り
120	8	1	千葉県環境生活部大気保全課				2	2	非汚染地域大気環境調査（7/2） 科学物質大気環境調査（7/4-5） ダイオキシン類大気環境調査（7/24-8/1）	日帰り
121	8	4	京都大学 理・地質学鉱物学教室		4			4	卒業論文作成のため（七里川地質図作成）	札郷宿泊施設
122	8	1	東大 農・千葉演習林	5			12	17	高校生のための森と海のゼミナール開催のため	
123	8	1	千葉演習林ボランティア会Abies				3	3	千葉演習林事業のサポート（高校生のための森と海のゼミナール）	

2012 年度 全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
124	8	18	鴨川市有害鳥獣対策協議会				20	20	有害鳥獣捕獲	日帰り
125	8	3	君津市経済部農林振興課				3	3	わなによる有害獣捕獲を実施するため	日帰り
126	8	4	千葉県環境生活部大気保全課				6	6	非汚染地域大気環境調査 8/1, 8/31 化学物質大気環境調査 8/7～8/8	日帰り
127	8	1	千葉大学 大学院理学研究科	2				2	地震に関する電磁気現象の観測学的研究	日帰り
128	8	3	東大 教・附属中等教育学校	6			72	78	総合的な学習 課題別学習「自然研究」	清澄宿泊施設
129	8	5	NPO法人房総の野生生物調査会				5	5	研究用ヤマビルの飼育管理	日帰り
130	8	2	NPO法人房総の野生生物調査会				10	10	自然観察会及びNPO総会	札郷宿泊施設
131	8	3	東大 農・森林経理学研究室	3				3	多様な施業を組み合わせた時空間森林計画に関する研究	清澄宿泊施設2
132	8	1	長狭学園 鴨川市立長狭中学校	4			5	9	長狭学園7年生の1日職場体験	日帰り
133	8	3	東邦大学 理学部	3				3	植物の防御戦略がシカ・植物・昆虫相互作用系に与える影響	清澄宿泊施設2
134	8	2	千葉県立中央博物館	6				6	フロア調査	清澄宿泊施設2
135	8	3	東大 教・附属中等教育学校	6	3		42	51	生物部活動（植生毎木調査，昆虫採集，水生昆虫採集・観察）	札郷宿泊施設
136	8	18	京都大学 理学部地質学鉱物学教室		18			18	卒論研究	札郷宿泊施設
137	8	1	東大 新領域創成科学研究科自然環境学	1		8		9	菌類従属栄養植物ラン科のツチアケビとクロムヨウランの保全に向けた研究	日帰り
138	8	22	京都大学 理学部		22			22	卒論研究	札郷宿泊施設
139	8	1	東大 新領域創成科学研究科自然環境学専攻			1		1	修士研究相談のため	日帰り
140	8	2	東大 新領域創成科学研究科自然環境学専攻	2		2		4	シカの排除と伐採が広葉樹二次林の植生と昆虫相に及ぼす影響	清澄宿泊施設2
141	8	1	宇都宮大学 農・森林科学科		1			1	千葉県房総丘陵におけるヒメコマツ実生の生育環境と遺伝的特性	日帰り
142	8	1	千葉県農林総研森林研究所	7	1		3	11	ヒメコマツ研究グループ繁殖状況モニタリング調査	日帰り
143	8	1	茨城大学 農・資源生物科学科	1				1	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
144	8	1	茨城大学 理学部（理学科・生物学コース）	1				1	マメ科植物の胚柄発達様式多様性の解明	日帰り
145	8	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	2		2		4	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	日帰り
146	8	1	東邦大学 理学部	1				1	植物の防御戦略がシカ・植物・昆虫相互作用系に与える影響	日帰り
147	8	2	千葉県立中央博物館	10				10	昆虫調査	郷台宿泊施設
148	8	6	京都大学 理学部地質学鉱物学教室	30	48	6		84	課題演習E1（地質調査分野外実習）	清澄宿泊施設
149	8	1	東大 農・森林利水及び砂防工学研究室			2		2	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	日帰り
150	8	5	東大 新領域創成科学研究科 自然環境学専攻	5		5		10	シカの排除と伐採が広葉樹二次林の植生と昆虫相に及ぼす影響	清澄宿泊施設2
151	8	1	東邦大学 理学部生命圏環境科学科	1				1	植物の防御戦略がシカ・植物・昆虫相互作用系に与える影響	日帰り
152	8	3	千葉大学 理学研究科地球科学コース	9	63	3		75	千葉大学理学部地球科学科実験「地質学野外実験」	清澄宿泊施設
153	8	1	東大 農・生薬システム学専攻	3				3	実習の打合せ	日帰り
154	8	1	東大 農・森林動物学研究室			1		1	森林の断片化による樹木一種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の崩壊プロセスの解明	日帰り
155	9	1	君津市経済部農林振興課				1	1	わなによる有害獣捕獲を実施するため	日帰り
156	9	23	京都大学 理学部		23			23	卒論研究	清澄宿泊施設2
157	9	5	千葉大学 理学研究科地球科学コース	13	90	4		107	千葉大学理学部地球科学科実験「地質学野外実験」	清澄宿泊施設
158	9	18	鴨川市有害鳥獣対策協議会				19	19	有害鳥獣捕獲	日帰り
159	9	5	君津市経済部農林振興課				5	5	わなによる有害獣捕獲を実施するため	日帰り
160	9	2	東大 理・地球惑星科学専攻	6		3		9	地球惑星環境学野外調査（実習下見）	清澄宿泊施設2
161	9	5	東大 農・森林経理学研究室	5				5	多様な施業を組み合わせた時空間森林計画に関する研究	札郷宿泊施設
162	9	5	千葉演習林ボランティア会Abies				11	11	二段林調査サポート	清澄宿泊施設
163	9	3	東邦大学 理学部	3				3	植物の防御戦略がシカ・植物・昆虫相互作用系に与える影響	清澄宿泊施設
164	9	3	宇都宮大学 農学部森林科学科		3	9		12	千葉県房総丘陵におけるヒメコマツ実生の生育環境と遺伝的特性	清澄宿泊施設
165	9	1	東大 農・森園管理学研究室	2				2	モウソウチク開花試験地の見学及びコショウノキの生育確認	日帰り

2012 年度 全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
166	9	1	千葉大学 理学研究科	1	1	1	1	4	羽化トラップの設置、同位体サンプルの採集	日帰り
167	9	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室		1	4		5	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	日帰り
168	9	1	東大 新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1		1		2	シカの排除と伐採が広葉樹二次林の植生と昆虫相に及ぼす影響	日帰り
169	9	2	千葉大学 理学研究科	2	2	2	2	8	羽化トラップの設置、同位体サンプルの採集	日帰り
170	9	2	千葉県 環境生活部大気保全課				2	2	化学物質大気環境調査	日帰り
171	9	21	京都大学 理・地質学鉱物学教室		21			21	卒業論文（地質）	札郷宿泊施設
172	9	4	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	研究用ヤマビルの飼育管理と生態観察	日帰り
173	9	1	千葉県農林総合研究センター 森林研究所	1				1	ヒメコマツ実生調査	日帰り
174	9	2	立正大学 地球環境学部	2				2	流水による岩盤の浸食	札郷宿泊施設
175	9	2	東大 農・生圏システム学専攻緑地創成学研	4		32		36	フィールド科学総合演習	清澄宿泊施設
176	9	1	茨城大学 農・資源生物科学科	1				1	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
177	9	4	東大 農・千葉演習林	24	76			100	全学体験ゼミ「野生動物の保護管理」	清澄宿泊施設
178	9	1	東大 農（研究科長）	6				6	研究科長による附属施設安全パトロール	日帰り
179	9	6	東大 理学系研究科地球惑星システム科学講座	18	72	30		120	地球惑星環境学野外講座	清澄宿泊施設
180	9	2	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	2			2	4	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	郷台宿泊施設
181	9	2	千葉県立中央博物館	16				16	昆虫調査	札郷宿泊施設
182	9	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室		1	2		3	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	日帰り
183	9	2	東邦大学 理学部	2				2	植物の防御戦略がシカ-植物-昆虫相互作用系に与える影響	清澄宿泊施設
184	9	2	東大 農・千葉演習林	24				24	アジア大学演習林コンソーシアム第5回シンポジウム事前研修	清澄宿泊施設
185	9	2	千葉県立中央博物館	6				6	フロラ調査	札郷宿泊施設
186	10	22	鴨川市有害鳥獣対策協議会				25	25	有害鳥獣捕獲	日帰り
187	10	4	君津市 経済部農林振興課				4	4	わなによる有害鳥獣捕獲を実施するため	日帰り
188	10	3	千葉県 環境生活部大気保全課				4	4	化学物質大気環境調査（10/2-3） 非汚染地域大気環境調査（10/1）	日帰り
189	10	2	千葉大学 理学研究科	4				4	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究	日帰り
190	10	1	清水建設株式会社 技術研究所				1	1	在来樹種3種の葉緑体DNA分析のための試料採取	日帰り
191	10	1	東大 新領域創成科学自然環境学奈良研究室	1		1		2	菌類従属栄養植物ラン科のツチアケビとクロムヨウランの保全に向けた研究	日帰り
192	10	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	1		2		3	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	日帰り
193	10	1	東邦大学 理学部	1				1	植物の防御戦略がシカ-植物-昆虫相互作用系に与える影響	日帰り
194	10	1	東大 農・千葉演習林	19			1	20	巻上げ機の特別教育実施のため	日帰り
195	10	4	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	研究用ヤマビルの飼育管理と生態観察	日帰り
196	10	2	千葉演習林ボランティア会Abies	4			16	20	A b i e s 活動「お月見研修会」	札郷宿泊施設
197	10	1	千葉大学 大学院理学研究科	2		1	3	6	地震に関連する電磁気現象の観測的研究	日帰り
198	10	3	東大 新領域創成科学研究科自然環境学専攻	4		3		7	広葉樹二次林の生態系に対するシカ排除と伐採の影響	清澄宿泊施設2
199	10	22	京都大学 理学部地質学鉱物学教室		22			22	卒論作成（地質学）	清澄宿泊施設2
200	10	14	京都大学 理学部地質学鉱物学教室		14			14	卒業研究	札郷宿泊施設
201	10	1	千葉県勤労者山岳連盟自然保護委員会				3	3	関東ブロック自然保護担当者会議のための下見	日帰り
202	10	2	千葉県立中央博物館	10				10	昆虫調査	札郷宿泊施設
203	10	5	静岡大学 理学部地球科学科	9	60			69	地質調査法実習	清澄宿泊施設
204	10	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室		1	2		3	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	日帰り
205	10	1	千葉県立中央博物館	46				46	植生学会エクスカージョン	日帰り
206	10	2	東大 農・附属演習林森林圏生態社会学研究室	11	4	6		21	森林圏生態社会学研究室ゼミ合宿のため	清澄宿泊施設
207	10	1	東大 農・森林動物学研究室			1		1	森林の断片化による樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の崩壊プロセスの解明	日帰り
208	10	3	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	6				6	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	郷台宿泊施設

2012 年度 全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
209	10	2	国立歴史民俗博物館	12				12	国立歴史民俗博物館・共同研究に伴う調査研究	清澄宿泊施設2
210	10	1	東大 新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1		1		2	広葉樹二次林の生態系に対するシカ排除と伐採の影響	日帰り
211	10	1	日本樹木医会二樹会				15	15	巨樹古木（清澄寺大スギ-倒伏樹切断面）調査	日帰り
212	10	4	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	8	11	4		23	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	清澄宿泊施設2
213	10	1	千葉大学 大学院理学研究科	3				3	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究	日帰り
214	10	1	NPO法人房総の野生生物調査会 技術部長				2	2	ブナ科植物の堅果落下量調査	日帰り
215	10	2	千葉県立中央博物館	4				4	フロア調査	札郷宿泊施設
216	10	1	東邦大学 理学部	1				1	植物の防御戦略がシカ-植物-昆虫相互作用系に与える影響	日帰り
217	10	1	千葉大学 大学院理学研究科	1				1	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究	日帰り
218	10	2	千葉県勤労者山岳連盟自然保護委員会	2			50	52	関東ブロック自然保護担当者会議	清澄宿泊施設
219	10	1	千葉県森林インストラクター会				45	45	自然観察会	日帰り
220	10	2	日本地質学会担当理事（産業技術総合研究所地質情報研究部門）	4			14	18	地質の調査研修	日帰り
221	10	1	千葉演習林ボランティア会Abies				4	4	天津小学校緑の教室サポート	日帰り
222	10	1	鴨川市立天津小学校	3			62	65	総合的な学習の時間「緑の教室」	日帰り
223	10	1	東大 農・森林経理学研究室	1		3		4	多様な施業を組み合わせた時空間森林計画に関する研究	郷台宿泊施設
224	11	12	京都大学 理学部地質学鉱物学教室		12			12	卒論作成（地質学）	清澄宿泊施設2
225	11	2	日本地質学会担当理事（産業技術総合研究所地質情報研究部門）	4			14	18	地質の調査研修	清澄宿泊施設
226	11	1	東大 農・森林経理学研究室	1		3		4	多様な施業を組み合わせた時空間森林計画に関する研究	
227	11	13	鴨川市有害鳥獣対策協議会				13	13	有害鳥獣捕獲	日帰り
228	11	3	君津市経済部農林振興課				3	3	わなによる有害鳥獣捕獲を実施するため。	日帰り
229	11	4	千葉県環境生活部大気保全課				6	6	非汚染地域大気環境調査（11/1, 30），化学物質大気環境調査（11/8, 9）	日帰り
230	11	3	立正大学 地球環境学部	3				3	流水による岩盤の侵食	札郷宿泊施設
231	11	1	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	1				1	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
232	11	1	東大 農・森林植物学研究室	1				1	樹木病原菌の伝播・繁殖様式の解明	日帰り
233	11	1	東京新聞 首都圏情報班				1	1	秋の一般公開について紙面紹介のための取材	日帰り
234	11	5	NPO法人房総の野生生物調査会				5	5	研究用ヤマビルの飼育管理と生態観察	日帰り
235	11	1	東大 農・千葉演習林	2			39	41	公開講座「野鳥の巣箱をかけよう！」	日帰り
236	11	1	千葉演習林ボランティア会Abies				3	3	公開講座サポート（野鳥の巣箱をかけよう！）	日帰り
237	11	1	千葉県森林インストラクター会				3	3	11月11日開催予定の自然観察会下見	日帰り
238	11	1	国立歴史民俗博物館	4				4	国立歴史民俗博物館・共同研究に伴う調査研究	日帰り
239	11	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	1	1	1		3	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	日帰り
240	11	2	内浦山県民の森				9	9	主催事業下見（2月14日・15日実施予定「清澄八山をめぐる」）	日帰り
241	11	2	日本鳥類標識協会				4	4	鳥類相，鳥類標識調査	日帰り
242	11	1	千葉県森林インストラクター会				33	33	演習林の自然観察	日帰り
243	11	1	東大 農・千葉演習林	20				20	秋の研修会開催	日帰り
244	11	2	千葉県立中央博物館	10				10	昆虫調査	清澄宿泊施設2
245	11	1	千葉演習林ボランティア会Abies				3	3	秋の研修会聴講及び安野二段林見学	日帰り
246	11	1	内浦山県民の森				2	2	主催事業下見（11月30日実施予定「紅葉の猪ノ川溪谷ロングハイキング」）	日帰り
247	11	1	東京農工大学 地域生態システム学科		1			1	樹木の防御機構の樹勢による違いについて	日帰り
248	11	2	特定非営利活動法人 樹木生態研究会				36	36	千葉演習林内での樹木観察	清澄宿泊施設
249	11	1	ちば山				25	25	演習林を含む県産材のPR	日帰り
250	11	3	東邦大学 理学部	3				3	植物の防御戦略がシカ・植物・昆虫相互作用系に与える影響	清澄宿泊施設2
251	11	2	千葉県立中央博物館	6				6	フロア調査	清澄宿泊施設

2012 年度 全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
252	11	2	宇都宮大学 農学部森林科学科森林生態学・育林学研究室	4	4			8	千葉県房総丘陵におけるヒメコマツ実生の生育環境と遺伝的特性	清澄宿泊施設
253	11	1	名も無い森の交流会（千葉県森林インストラクター会）				11	11	南房総の植生を学び演習林の自然林、人工林の見学	日帰り
254	11	2	東大 農・千葉演習林				1681	1681	公開講座「秋の一般公開」実施	日帰り
255	11	2	千葉演習林ボランティア会Abies				18	18	シデコブシ（水文研究所サポーターズクラブ）との交流会	清澄宿泊施設
256	11	2	東京大学赤津研究林サポーターズクラブ シデコブシの会				20	20	千葉演習林内の植生や森林の成り立ちなどを見学する。	清澄宿泊施設
257	11	1	内浦山県民の森				1	1	主催事業下見（「紅葉の猪ノ川渓谷ロングハイキング」）	日帰り
258	11	1	千葉県森林インストラクター会				45	45	観察会下見（千葉演習林内の自然観察）	日帰り
259	11	1	内浦山県民の森				2	2	主催事業下見（「紅葉の猪ノ川渓谷ロングハイキング」）	日帰り
260	11	1	東大農場・演習林の存続を願う会				40	40	千葉演習林見学	日帰り
261	11	1	千葉県生涯大学校南房学園園芸科				30	30	広葉樹林の紅葉と山林風景、メタセコイア見本林等見学	日帰り
262	11	1	東大 渉外本部（東京大学基金）	3			20	23	東京大学基金特別セミナー	日帰り
263	11	1	NPO法人 房総の野生生物調査会				2	2	ブナ科植物の堅果落下量調査	日帰り
264	11	2	京都大学 理学部地質学鉱物学教室		2			2	卒業研究（地質図作成）	札郷宿泊施設
265	11	1	内浦山県民の森				29	29	「紅葉の養老渓谷ロングハイキング」実施	日帰り
266	11	1	東大 総合図書館	6			7	13	総合図書館「秋の自然観察会」	札郷宿泊施設
267	11	1	千葉県君津市教育委員会文化振興課	5			7	12	坂畑小学校スクールミュージアム自然観察会（事前下見）	日帰り
268	12	2	東大 農・千葉演習林				2689	2689	公開講座「秋の一般公開」実施	日帰り
269	12	17	京都大学 理学部地質学鉱物学教室		17			17	卒業研究（地質図作成）	清澄宿泊施設2
270	12	1	東大 総合図書館	4			6	10	総合図書館「秋の自然観察会」	
271	12	13	片桐 有而				14	14	有害鳥獣捕獲	日帰り
272	12	3	君津市経済部農林振興課				3	3	わなによる有害獣捕獲を実施するため	日帰り
273	12	2	日本鳥類標識協会				4	4	鳥類相、鳥類標識調査	日帰り
274	12	1	千葉県森林インストラクター会				51	51	演習林の自然観察	日帰り
275	12	1	千葉県勤労者山岳連盟				8	8	ロングハイキング下見	日帰り
276	12	1	NPO法人 房総の野生生物調査会				6	6	早稲田大学卒業生による卒論研究林の見学	日帰り
277	12	2	国立歴史民俗博物館	6				6	国立歴史民俗博物館・共同研究に伴う調査研究（炭焼窯跡の調査）	清澄宿泊施設2
278	12	1	内浦山県民の森				33	33	「紅葉の猪ノ川渓谷ハイク」開催のため	日帰り
279	12	2	樹木環境ネットワークOB会				14	14	自然観察会	清澄宿泊施設
280	12	4	NPO法人 房総の野生生物調査会				4	4	研究用ヤマビルの飼育管理と生態観察	日帰り
281	12	1	ふるさとの自然に親しむ会				4	4	君津の奥地、郷台作業所周辺の見学	日帰り
282	12	1	柏ゆうゆうクラブ				27	27	東大千葉演習林において南房総の植生を観察する	日帰り
283	12	1	千葉演習林ボランティア会Abies				2	2	利用者案内（柏ゆうゆうクラブ）	日帰り
284	12	1	君津市教育委員会 文化振興課	5			23	28	坂畑小学校スクールミュージアム自然観察会	日帰り
285	12	1	千葉県森林インストラクター会				29	29	森林講座（NHK文化センター柏教室）の実施	日帰り
286	12	2	千葉県立中央博物館	10				10	フロラ調査（地衣類）	清澄宿泊施設
287	12	2	千葉県立中央博物館	8				8	昆虫調査	札郷宿泊施設
288	12	1	君津市生涯学習交流センター				40	40	自然探索	日帰り
289	12	1	君津中央公民館サークル自然探勝会				25	25	自然観察	日帰り
290	12	1	（独）森林総合研究所	2				2	技会プロ・地球温暖化が森林及び林業分野に与える影響評価	日帰り
291	12	3	千葉県環境生活部大気保全課				4	4	化学物質大気環境調査（12/13、14）非汚染地域大気環境調査（12/28）	日帰り
292	12	15	京都大学 理学部地質学鉱物学教室		15			15	卒論作成のため	清澄宿泊施設2
293	12	2	東大 新領域創成科学研究科自然環境学専攻	2				2	広葉樹二次林の生態系に対するシカ排除と伐採の影響	清澄宿泊施設2
294	12	1	東大 農・森林利用学研究室	1		1		2	GISを利用した林内道路計画に関する研究	日帰り
295	12	3	東邦大学 理学部	5				5	植物の防御戦略がシカ-植物-昆虫相互作用系に与える影響	清澄宿泊施設
296	12	4	東大 農・森林経理学研究室	12	40			52	森林計測学実習	清澄宿泊施設

2012 年度 全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
297	12	1	茨城大学 理学部理学科・生物コース	1				1	ミヤマトベラの種子採集	日帰り
298	12	1	東大 新領域創成科学研究科自然環境評価学研究室			2		2	カシ類におけるTubakia spp. の病原性	日帰り
299	12	3	NPO法人房総の野生生物調査会				11	11	ブナ科植物の堅果落下量調査、前沢試験地の片付け	日帰り
300	12	2	千葉県森林インストラクター会				15	15	FIC野外活動「石尊山へ麻綿原を歩く」の下見	日帰り
301	12	1	千葉県立中央博物館	3				3	県立中央博物館主催の観察会を実施するにあたっての下見	日帰り
302	12	1	東邦大学 理学部	1				1	植物の防御戦略がシカ・植物・昆虫相互作用系に与える影響	日帰り
303	12	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室		1	2		3	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	日帰り
304	12	1	東大 地震研究所	2				2	地震観測用機器の点検	日帰り
305	12	1	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	2				2	映像モニタリングによるカエル類の生息調査（郷台池の浚渫作業）	日帰り
306	12	1	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	2				2	映像モニタリングによるカエル類の生息調査（郷台池貯水用ダム造営作業）	清澄宿泊施設
307	1	16	鴨川市有害鳥獣対策協議会				16	16	有害鳥獣駆除	日帰り
308	1	3	君津市経済部農林振興課				3	3	わなによる有害獣捕獲を実施するため	日帰り
309	1	4	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	研究用ヤマビルの飼育管理と生態観察	日帰り
310	1	1	東大 農・森林利用学研究室	1			2	3	研究計画打合せと現地下見	日帰り
311	1	1	内浦山県民の森				2	2	平成25年度主催事業ハイキング下見	日帰り
312	1	1	千葉大学 理学研究科			1		1	羽化トラップの設置、同位体サンプルの採集	日帰り
313	1	2	森林総合研究所	6				6	技会プロ・地球温暖化が森林及び林業分野に与える影響評価と適応技術の開発	日帰り
314	1	1	内浦山県民の森				2	2	主催事業「三石山からハイキング」下見	日帰り
315	1	1	房総丘陵トレイルラン&ハイク実行委員会				8	8	3月3日開催予定イベントの下見	日帰り
316	1	6	千葉県環境生活部大気保全課				8	8	化学物質大気環境調査（1/16-17） ダイオキシン類大気環境調査（1/28-31） 非汚染地域大気環境調査（1/30）	日帰り
317	1	1	東邦大学 理学部	1				1	植物の防御戦略がシカ・植物・昆虫相互作用系に与える影響	日帰り
318	1	9	東大 農・森林利用学研究室	4			50	54	タワーヤーダのインターロック機構張力測定	清澄宿泊施設
319	1	1	東大 新領域創成科学研究科自然環境評価学研究室	1		2		3	修士論文「カシ類におけるTubakia spp. の病原性」	日帰り
320	1	2	株式会社野生動物保護管理事務所				8	8	ニホンジカの個体数推定のための糞粒調査	日帰り
321	1	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	1	1	1		3	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	日帰り
322	1	1	千葉県勤労者山岳連盟				39	39	ロングハイク（モミ・ツガ観察ハイク）	日帰り
323	1	1	東邦大学 理学部	1				1	植物の防御戦略がシカ・植物・昆虫相互作用系に与える影響	日帰り
324	1	2	千葉県立中央博物館	2			6	8	フロア調査（地衣類）	清澄宿泊施設
325	1	1	東大 農・森林利用学研究室	1				1	タワーヤーダ調査実験	日帰り
326	2	1	東大 農・森林利用学研究室				5	5	タワーヤーダのインターロック機構張力測定	
327	2	6	鴨川市有害鳥獣対策協議会				6	6	有害鳥獣捕獲	日帰り
328	2	3	君津市経済部農林振興課				3	3	わなによる有害獣捕獲を実施するため	日帰り
329	2	4	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	研究用ヤマビルの飼育管理と生態観察	日帰り
330	2	1	東大 新領域創成科学研究科	2		1		3	栓皮剥皮試験地における伐倒試験及び解析作業の打合せ	日帰り
331	2	1	東大 農・千葉演習林				40	40	森林博物資料館の一般公開	日帰り
332	2	1	千葉県立中央博物館	4			27	31	県立中央博物館主催の観察会を実施するにあたっての下見	日帰り
333	2	3	内浦山県民の森				12	12	主催事業「清澄八山をめぐる」下見	日帰り
334	2	3	日本鳥類標識協会				6	6	鳥類相、鳥類標識調査	日帰り
335	2	1	東邦大学 理学部	1				1	植物の防御戦略がシカ・植物・昆虫相互作用系に与える影響	日帰り
336	2	8	千葉県環境生活部大気保全課				10	10	ダイオキシン類大気環境調査（2/1～2/5） 化学物質大気環境調査（2/6～2/7） 非汚染地域大気環境調査（2/28）	日帰り

2012 年度 全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
337	2	1	千葉演習林ボランティア会Abies				8	8	Abies活動「郷台苗畑モウソウチク試験地の整備」	日帰り
338	2	1	房総丘陵トレイルラン&ハイク事務局				35	35	コース下見及びスクール開催	日帰り
339	2	1	慶応義塾大学 経済学部生物学教室	1				1	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
340	2	3	NPO法人房総の野生生物調査会				6	6	ニホンジカ生息数調査補助	清澄宿泊施設
341	2	2	東大 農・千葉演習林	33				33	シカ生息数調査	日帰り
342	2	2	千葉県立中央博物館	8				8	昆虫調査	札郷宿泊施設
343	2	1	立正大学 地球環境科学部	1				1	立正大学地球環境科学部「フィールドワークA」の下見	日帰り
344	2	2	内浦山県民の森				58	58	主催事業「清澄八山をめぐる」下見	日帰り
345	2	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	2		2		4	森林水文研究に関する現地観測及び試験地の森林施業（間伐）のための準備作業	日帰り
346	2	4	東大 農・千葉演習林		56	14		70	全学体験ゼミ「房総の森林と生業を学ぶ」	清澄宿泊施設
347	2	1	千葉県立君津青葉高等学校総合学科	3			5	8	マツ類の接ぎ木技術を学び、本校演習林で取り組んでいるヒメコマツの保全活動につなげる。	日帰り
348	2	1	東大 新領域創成科学研究科	3				3	自然環境学野外総合実習の下見	日帰り
349	2	1	房総丘陵トレイルランレース事務局				4	4	コースの下見及びコース整備	日帰り
350	2	1	安房生物愛好会				3	3	暖地性樹木ホルトノキ、オガタマノキ及びバクチノキの分布調査	日帰り
351	2	4	東大 新領域創成科学研究科	5				5	桧皮剥皮試験地における伐倒試験及び解析作業	清澄宿泊施設2
352	2	2	京都大学 理学部地質学鉱物学教室		4			4	演習林内の地質学的研究	清澄宿泊施設2
353	2	1	房総丘陵トレイルランレース事務局				4	4	トレイルランレース準備のため	清澄宿泊施設2
354	3	1	東大 新領域創成科学研究科	1				1	桧皮剥皮試験地における伐倒試験及び解析作業	
355	3	1	京都大学 理学部地質学鉱物学教室		2			2	演習林内の地質学的研究	
356	3	1	房総丘陵トレイルランレース事務局				4	4	トレイルランレース準備のため	
357	3	11	鴨川市有害鳥獣対策協議会				12	12	有害鳥獣捕獲	日帰り
358	3	3	君津市経済部農林振興課				3	3	わなによる有害獣捕獲を実施するため	日帰り
359	3	3	房総丘陵トレイルラン&ハイク実行委員会				1042	1042	トレイルラン大会実施のため	清澄宿泊施設
360	3	5	NPO法人房総の野生生物調査会				5	5	研究用ヤマビルの飼育管理と生態観察	日帰り
361	3	1	内浦山県民の森				2	2	平成25年度催事「清澄山系の源流をゆく」下見	日帰り
362	3	6	京都大学 理学部地質学鉱物学教室		9			9	演習林内の地質学的研究	清澄宿泊施設2
363	3	3	千葉県環境生活部大気保全課				4	4	化学物質大気環境調査（3/4-5）非汚染地域大気環境調査（3/29）	日帰り
364	3	2	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	2	4	6		12	森林水文研究に関する現地観測	札郷宿泊施設
365	3	1	慶応義塾大学 経済学部生物学教室	1				1	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
366	3	3	東大 新領域創成科学研究科	3				3	檜皮剥皮試験地における伐倒試験及び解析作業	清澄宿泊施設2
367	3	3	東京学芸大学 環境科学分野	3	38	9		50	地質調査法の実習	札郷宿泊施設
368	3	2	千葉県山岳連盟 ふわくハイキングサークル				41	41	植物観察	清澄宿泊施設
369	3	1	君津市経済部農林振興課				62	62	銃器による有害獣捕獲を実施するため	日帰り
370	3	1	東大 農・森林動物学研究室			1		1	森林の断片化による樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の崩壊プロセスの解明	日帰り
371	3	1	内浦山県民の森				2	2	「第23回関東ふれいの道ふれあいウォーク」下見	日帰り
372	3	2	千葉県立中央博物館	8			2	10	昆虫調査	札郷宿泊施設
373	3	1	内浦山県民の森				26	26	「第23回関東ふれあい道のふれあいウォーク」実施	日帰り
374	3	2	千葉演習林ボランティア会Abies				24	24	Abies総会（3/16）及び演習林を歩こう（3/17）開催のため	清澄宿泊施設
375	3	3	立正大学 地球環境学部	3				3	流水による岩盤の侵食	札郷宿泊施設
376	3	1	千葉県立中央博物館	3				3	猪ノ川沿いの上総・三浦層群に発達する炭酸塩岩の調査	日帰り
377	3	1	千葉県森林インストラクター会				5	5	ハイキングコース選定のための下見	日帰り

2012 年度 全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
378	3	1	千葉県立君津青葉高等学校	3			5	8	ヒメコマツの保全、森林科学、千葉演習林で育苗されているヒメコマツの苗木を譲り受け、学校で植栽され衰退が懸念されているヒメコマツの保全につなげる。また穂木も譲り受け挿し木増殖で後継苗木を育成する。	日帰り
379	3	2	東京貝類同好会	2			12	14	千葉演習林並びに周辺の陸産貝類相を明らかにする。	清澄宿泊施設
380	3	1	東大 地震研究所技術部 総合観測室	3				3	地震観測機器点検及びNTT光回線の引込工事立会い	日帰り

利用者数合計 10,611
利用件数 380

2012 年度 全利用者（北海道演習林）

演習林名：北海道演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	30	森林科学専攻			30		30	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発、およびシミュレーションに基づく持続的な管理方法の提示	山部長期宿泊施設
2	4	3	附属演習林	3				3	北方に生育する樹木がいかに標高など立地環境に適応して天然分布しているのかを明らかにするため、北海道演習林大麓山斜面を対象にプロット調査を行い、各樹種の天然分布域を定量的に把握する。	山部宿泊施設
3	4	2	樹芸研究所	2				2	苗畑における暗色雪腐れ病の発生状況の確認と菌検査を行う	宿泊なし
4	4	2	CNインターボイス				4	4	教育用DVD制作	宿泊なし
5	5	30	森林科学専攻			30		30	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発、およびシミュレーションに基づく持続的な管理方法の提示	山部長期宿泊施設
6	5	1	岩手大学	1			2	3	クスサンの飼育実験	日帰り
7	5	1	森林総合研究所	1				1	カバノキ類の着花量・開花時期に関する研究調査	日帰り
8	5	2	農林総合研究センター茶業研究所	2				2	茶樹の極寒冷地育種・栽培企画試験	宿泊なし
9	5	1	森林総合研究所	1				1	カバノキ類の着花量・開花時期に関する研究調査	日帰り
10	5	2	北海道演習林			2		2	積雪制御による天然更新促進技術の開発	山部宿泊施設
11	5	6	東京大学総合文化研究科	6	6			12	トドマツ標高別集団の適応形質の探索と環境条件の計測	山部宿泊施設
12	5	1	富良野市立東山保育所				41	41	春の遠足	日帰り
13	5	2	帯広畜産大学生命科学研究部	2	6			8	樹上性小型ほ乳類の森林利用性に関する基礎生態学研究	山部宿泊施設
14	5	2	森林総合研究所	2				2	カバノキ類の着花量・開花時期に関する研究調査	山部宿泊施設
15	5	1	北海道演習林	10	17			27	教養学部全学体験ゼミナール「景観としての森林生態系と人間の感覚」	セミナーハウス
16	5	4	日本森林技術協会 森林情報グループ				20	20	デジタル森林空間情報利用技術開発事業	宿泊なし
17	6	30	森林科学専攻			30		30	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発、およびシミュレーションに基づく持続的な管理方法の提示	山部長期宿泊施設
18	6	1	北海道演習林	8	17			25	教養学部全学体験ゼミナール「景観としての森林生態系と人間の感覚」	セミナーハウス
19	6	2	日本森林技術協会 森林情報グループ				10	10	デジタル森林空間情報利用技術開発事業	宿泊なし
20	6	1	森林総合研究所	1				1	カバノキ類の着花量・開花時期に関する研究調査	日帰り
21	6	4	東京大学附属演習林教育研究センター	4				4	北海道演習林職員へのリモートセンシング技術指導を行う	山部宿泊施設
22	6	2	北海道大学	2	2			4	101林班B小班で調査用資材の回収	山部宿泊施設
23	6	1	東京大学教育学部附属中等教育学校	1				1	7/3～7/6の修泊研修に伴う研修計画の現地確認	宿泊なし
24	6	1	道民カレッジ・フレンズ十勝				69	69	樹の歴史・育成・管理の事情等を学ぶ	
25	6	8	東京大学森林科学専攻演習林			8		8	ウダイカンバの形態的特徴を明らかにするために、昨年度調査した再生林産のウダイカンバ（通称：メジロ）と天然林産で銘木市へ出品されたウダイカンバ（通称：マカバ）について、心材率・心材の色合いの違いを定量的に比較する。	山部宿泊施設
26	6	2	帯広畜産大学生命科学研究部	2	14	6		22	樹上性小型ほ乳類の森林利用性に関する基礎生態学研究	山部宿泊施設
27	6	4	東京大学秩父演習林	8		4		12	北海道で近年被害が広がっているカラマツハラアカハバチの密度変動を時空間的に解析し、変動要因について特にbio-regulation complexの観点から解析する。定点を設け、蛹の密度推定・蛹の寄生率捕食率を調べる。全天空写真から失業程度を測定し、衛星データ、昆虫密度と比較して、補間法により空間的な密度推定を行う。	山部宿泊施設

2012 年度 全利用者（北海道演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
28	6	2	東京大学新領域	4				4	エゾマツ青変病における水分通道阻害の発生機構を明らかにするため、水分通道阻害の発生様式を組織学的に明らかにするとともに、病原菌の宿主木部組織内での進展過程と水分通道阻害の発生経過を比較解析する。このため、エゾマツの苗木に対して病原菌の人工接種を行い、経時的に苗木を採取して実験室に持ち帰り、組織学的観察と解析とを行う。苗木の採取に先立って、水分生理状態の測定と通道域の染色を行い、採取時には試料を凍結させる。	宿泊なし
29	6	1	東京大学北海道演習林	1			13	14	公開セミナー	宿泊なし
30	6	4	農林総合研究センター茶業研究所	4				4	茶樹の極寒冷地育種・栽培企画試験	
31	6	3	樹芸研究所	3				3	苗畑における暗色雪腐病の発生状況の確認と菌検査を行う	宿泊なし
32	6	1	北海道国際交流協力・総合センター				9	9	天然林施業技術を活用した林分施業法について学ぶ	日帰り
33	7	31	森林科学専攻			31		31	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発、およびシミュレーションに基づく持続的な管理方法の提示	山部長期宿泊施設
34	7	3	有限会社マジックデスク				9	9	農学部広報「弥生」表紙撮影	宿泊なし
35	7	4	東京大学教育学部附属中等教育学校	12			156	168	東京大学教育学部附属学校宿泊研修北海道コース	セミナーハウス
36	7	7	東京大学演習林教育研究センター	14		7		21	葉植性昆虫カラマツハラアカの個体郡動態の時空間解析	山部宿泊施設
37	7	22	東京大学演習林教育研究センター			22		22	葉植性昆虫カラマツアカハラバチの個体郡動態の時空間解析	日帰り
38	7	2	帯広畜産大学生命科学研究部	2	20	2		24	樹上性小型ほ乳類の森林利用性に関する基礎生態学研究	山部宿泊施設
39	7	1	富良野市教育委員会社会教育課社会教育係				12	12	富良野市ことぶき大学東山校研究	日帰り
40	7	1	旭川市博物科学館				17	17	富良野活断層見学会	日帰り
41	7	1	北海道旭川農業高等学校	2			42	44	苗穂や樹種見本及び学習	
42	7	2	帯広畜産大学生命科学研究部	2	6	4		12	樹上性小型ほ乳類の森林利用性に関する基礎生態学研究	山部宿泊施設
43	7	4	東京大学北海道演習林				68	68	サマー・サイエンスキャンプ2012「森林の未来は？ー森を知り、持続的な名取り扱いを考える」	セミナーハウス
44	7	1	富良野市教育委員会生涯学習センター				15	15	道北地区博物館等連絡協議会研修	日帰り
45	7	2	東京大学環境安全管理室	4				4	環境安全に関わる講演、毒劇物管理確認、不要試薬等の現物確認	山部宿泊施設
46	7	1	北海道札幌啓成高等学校	3			15	18	北海道札幌啓成高等学校SSH道内研修A（自然環境）	山部長期宿泊施設
47	8	31	森林科学専攻			31		31	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発、およびシミュレーションに基づく持続的な管理方法の提示	山部長期宿泊施設
48	8	31	東京大学演習林教育研究センター			31		31	葉植性昆虫カラマツアカハラバチの個体郡動態の時空間解析	日帰り
49	8	2	北海道札幌啓成高等学校	6			30	36	北海道札幌啓成高等学校SSH道内研修A（自然環境）	山部長期宿泊施設
50	8	1	東京大学北海道演習林	1			1	2	ナキウサギの保全に関する基礎調査	日帰り
51	8	4	東京大学樹芸研究所	4	52			56	全学体験ゼミ「森に学ぶ（ふらの）」	山部宿泊施設
52	8	4	東京大学秩父演習林	8		4		12	北海道で近年被害が広がっているカラマツハラアカハラバチの密度変動を時空間的に解析し、変動要因について特にbio-regulation complexの観点から解析する。定点を設け、蛹の密度推定・蛹の寄生率捕食率を調べる。全天空写真から失葉程度を測定し、衛星データ、昆虫密度と比較して、補間法により空間的な密度推定を行う。	セミナーハウス
53	8	1	岩手大学農学部	1		1		2	食葉性昆虫被害のリスクが高い広葉樹林の適切な施業管理方法の創出	日帰り
54	8	3	北海商科大学商学部	15	3	18		36	アメリカ政治史研究富良野合宿	セミナーハウス
55	8	1	北海道大学サステイナビリティ学教育研究セン	3		15		18	地域持続モデル構築フィールド研修	日帰り
56	8	2	帯広畜産大学生命科学研究部	2	10	1		13	樹上性小型ほ乳類の森林利用性に関する基礎生態学研究	山部宿泊施設
57	8	1	同志社女子大学現代社会学部	1	18		1	20	インターンシップ2	日帰り
58	8	1	Dept. of Forest Resources	7		4		11	砂防事業等現地調査	山部宿泊施設

2012 年度 全利用者（北海道演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
59	8	1	東京学芸大学理学系研究科	2	4	1	28	35	東京学芸大学自然地理ゼミ・山遊会白滝巡検	日帰り
60	8	1	北海道帯広農業高等学校	2			40	42	帯広農業高校 森林科学科1年 見学	日帰り
61	8	2	筑波大学大学院生命環境科	2		6		8	東京大学北海道演習射林及び周辺箇所の砂防等状況調査	セミナーハウス
62	8	1	東京大学秩父演習林	2		1		3	北海道で近年被害が広がっているカラマツハラアカハバチの密度変動を時空間的に解析し、変動要因について特にbio-regulation complexの観点から解析する。定点を設け、蛹の密度推定・蛹の寄生率捕食率を調べる。全天空写真から失葉程度を測定し、衛星データ、昆虫密度と比較して、補間法により空間的な密度推定を行う。	山部宿泊施設
63	9	30	森林科学専攻			30		30	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発、およびシミュレーションに基づく持続的な管理方法の提示	山部長期宿泊施設
64	9	30	東京大学演習林教育研究センター			30		30	葉植性昆虫カラマツアカハラバチの個体群動態の時空間解析	日帰り
65	9	6	東京大学秩父演習林	12		6		18	北海道で近年被害が広がっているカラマツハラアカハバチの密度変動を時空間的に解析し、変動要因について特にbio-regulation complexの観点から解析する。定点を設け、蛹の密度推定・蛹の寄生率捕食率を調べる。全天空写真から失葉程度を測定し、衛星データ、昆虫密度と比較して、補間法により空間的な密度推定を行う。	山部宿泊施設
66	9	2	東京大学千葉演習林	2				2	トドマツF1雑種における由来標高が繁殖に及ぼす影響と遺伝的変異の解明	山部宿泊施設
67	9	4	東京大学農学部森林科学専攻	4	68	24		96	森林科学総合実習	セミナーハウス
68	9	1	北海道立総合研究機構林産試験場				2	2	道産広葉樹資源の育成に向けた人工林材の材質調査	日帰り
69	9	4	岩手大学	4			8	12	食葉性昆虫被害のリスクが高い広葉樹林の適切な施業管理方法の創出	宿泊なし
70	9	2	北海道演習林	4				4	航空レーザー測量を用いた三次元構造の抽出に関する研究	山部宿泊施設
71	9	2	奈良県林業倶楽部				32	32	平成24年度奈良県林業倶楽部現地研修会	宿泊なし
72	9	2	東京大学農学部森林利用学研究室	4		6		10	北方天然林の施業に関する見学・研修	山部宿泊施設
73	9	2	株式会社クリタス				18	18	森林吸収源インベントリ情報整備事業 土壌等調査	宿泊なし
74	9	3	東京大学北海道演習林	3		9		12	持続的森林圏経営論	セミナーハウス
75	9	3	農林総合研究センター茶業研究所	3				3	茶樹の極寒冷地育種・栽培企画試験	
76	9	1	酪農学園とわの森三愛高校	2			4	6	道内研修	日帰り
77	9	2	帯広畜産大学生命科学研究部	2	12	4		18	樹上性小型ほ乳類の森林利用性に関する基礎生態学研究	山部宿泊施設
78	9	1	大川木材青壮年会				22	22	国産材利用促進のための樹木の生態観察研修	日帰り
79	9	1	富良野市立東山保育所				43	43	秋の遠足	宿泊なし
80	9	1	岩手大学	1			1	2	食葉性昆虫被害のリスクが高い広葉樹林の適切な施業管理方法の創出	
81	9	1	海外林業コンサルタンツ協会				16	16	地域住民の参加による多様な森林保全（JICA研修）	日帰り
82	9	5	東京大学新領域創成科学研究科	15		85		100	陸域生態学実習	セミナーハウス
83	9	1	東京大学新領域創成科学研究科	1				1	樹種共存の葉層分割仮説と透過率分岐仮説の並行検証	山部長期宿泊施設
84	10	31	森林科学専攻			31		31	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発、およびシミュレーションに基づく持続的な管理方法の提示	山部長期宿泊施設
85	10	30	東京大学演習林教育研究センター			30		30	葉植性昆虫カラマツアカハラバチの個体群動態の時空間解析	日帰り
86	10	2	東京大学新領域創成科学研究科	2				2	樹種共存の葉層分割仮説と透過率分岐仮説の並行検証	山部長期宿泊施設
87	10	1	北海道大学	1				1	積雪制御による天然更新促進技術の開発	宿泊なし
88	10	1	上川教育研究会	40				40	上川管内教育研究会	日帰り
89	10	1	中富良野町立旭中小学校	8				8	上富良野・中富良野・富良野教育研究生活・総合部会	日帰り
90	10	3	東京大学農学部森林科学専攻	3		3		6	外生菌根共生がアスベスト鉱山跡地におけるシラカンバの生育に及ぼす効果	山部宿泊施設

2012 年度 全利用者（北海道演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
91	10	17	東京大学森林科学専攻演習林			17		17	ウダイカンバの形態的特徴を明らかにするために、昨年度調査した再生林産のウダイカンバ（通称：メジロ）と天然林産で銘木市へ出品されたウダイカンバ（通称：マカバ）について、心材率・心材の色合いの違いを定量的に比較する。	山部宿泊施設
92	10	4	北海道演習林	4		8		12	森林流域管理学	セミナーハウス
93	10	3	帯広畜産大学生命科学研究部	6	36			42	樹上性小型ほ乳類の森林利用性に関する基礎生態学研究	山部長期宿泊施設
94	10	1	上富良野町旭新あずま会				32	32	富良野の森林に関する研修及び自然観察	日帰り
95	10	3	東京農工大学				3	3	気候変動下における森林の炭素固定量予測	山部宿泊施設
96	10	1	北海道演習林				6	6	林分施業法草創期の森林管理を伺う	宿泊なし
97	10	4	岩手大学	4			4	8	食葉性昆虫被害のリスクが高い広葉樹林の適切な施業管理方法の創出	宿泊なし
98	10	1	富良野市立樹海小学校	2			18	20	総合的な学習の時間	日帰り
99	10	4	東京大学秩父演習林	8		4		12	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
100	10	1	北海道立森林総合研究機構				1	1	針葉樹・広葉樹材の材質試験用木の伐採と提供	日帰り
101	10	1	東京大学社会教育学	1	7		4	12	文化ワークショップを基本とした過疎・高齢地区のまちづくり体験プログラム	日帰り
102	10	1	森林総合研究所				1	1	時期別コンテナ苗植付試験の功程調査	日帰り
103	10	1	帯広畜産大学生命科学研究部	1	3			4	樹上性小型ほ乳類の森林利用性に関する基礎生態学研究	日帰り
104	10	1	東京大学秩父演習林	1				1	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析	日帰り
105	11	30	森林科学専攻			30		30	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発、およびシミュレーションに基づく持続的な管理方法の提示	山部長期宿泊施設
106	11	2	オックスフォード大学付属植物園				6	6	演習林の見学及び種子採集活動に関する相談	宿泊なし
107	11	3	農林総合研究センター茶業研究所				6	6	茶樹の極寒冷地育種・栽培企画試験	宿泊なし
108	11	3	北海道大学	3				3	積雪制御による天然更新促進技術の開発	山部宿泊施設
109	11	5	東京大学農学部生命科学		5			5	東京大学体験活動プログラム「森が社会に貢献する-持続可能な森づくりへの挑戦-」	山部宿泊施設
110	11	4	附属演習林	4		8		12	北方針葉樹における環境適応の実態と遺伝子メカニズムの解明	山部宿泊施設
111	11	1	総合研究機構林産試験場				2	2	道産広葉樹の育成に向けたウダイカンバ材の材質調査	宿泊なし
112	11	2	北海道大学	2				2	積雪制御による天然更新促進技術の開発	山部宿泊施設
113	12	31	森林科学専攻			31		31	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発、およびシミュレーションに基づく持続的な管理方法の提示	山部長期宿泊施設
114	12	2	北海道立総合研究機構林産試験場				4	4	道産広葉樹資源の育成に向けた人工林材の材質調査	宿泊なし
115	12	1	CNインターボイス				2	2	教育用DVD制作	山部宿泊施設
116	1	31	森林科学専攻			31		31	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発、およびシミュレーションに基づく持続的な管理方法の提示	山部長期宿泊施設
117	1	1	富良野市立樹海小学校	3			28	31	総合的な学習の時間「樹海の森へ」	日帰り
118	2	28	森林科学専攻			28		28	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発、およびシミュレーションに基づく持続的な管理方法の提示	山部長期宿泊施設
119	2	1	パスコ				7	7	日本国際協力システム「カメルーン国森林保全計画」研究員受入	セミナーハウス
120	2	2	東京大学千葉演習林	2				2	森林経営計画等の森林管理上の運営計画及び林地データ管理方法の検討	山部宿泊施設
121	2	3	東京大学樹芸研究所	3				3	森林調査に関する毎木調査方法並びにレーザーコンパスを用いた調査測量方法の習得	山部宿泊施設
122	2	1	北海道演習林	4				4	天然林の持続的順応的管理のあり方に関する意見交換会	日帰り
123	2	1	農林総合研究センター茶業研究所	1				1	茶樹の極寒冷地育種・栽培企画試験	日帰り
124	2	2	北海道演習林	6	72			78	教養学部全学体験ゼミナール 雪の森林に学ぶ	セミナーハウス
125	3	31	森林科学専攻			31		31	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発、およびシミュレーションに基づく持続的な管理方法の提示	山部長期宿泊施設

2012 年度 全利用者（北海道演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
126	3	1	北海道演習林	3	36			39	教養学部全学体験ゼミナール 雪の森林に学ぶ	宿泊なし
127	3	1	富良野市生涯学習センター				27	27	博物館事業・富良野の自然に親しむ集い	宿泊なし
128	3	3	ルイジアナ州立大学	3		3		6	富良野地区合同ワークショップ「富良野地方の美しい農山村景観維持のために」での講演及び林内視察	山部宿泊施設
129	3	7	北海道演習林	7				7	林運施業方に関する研修	山部宿泊施設

利用者数合計 2,393

利用件数 129

2012 年度 全利用者（秩父演習林）

演習林名：秩父演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	特定非営利活動法人 バードリサーチ	1				1	モニタリングサイト1000森林コアサ イト鳥類調査	日帰り
2	4	1	新潟大学農学部附属 フィールド科学教育研究 センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
3	4	2	東京大学大学院農学生命 科学研究科 森林科学専 攻	4		6		10	路網計画準備踏査	川俣学生宿舎 (食事あり)
4	4	1	奥秩父山塊イヌワシ調査 グループ				1	1	奥秩父地域における大型猛禽類の生 息実態調査	日帰り
5	4	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科 森林科学専 攻			1		1	山地林生態系における湿性・乾性沈 着量の定量化と起源の推定	日帰り
6	4	1	演習林企画部	1				1	林内見学	日帰り
7	4	1	演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
8	4	1	埼玉県環境部秩父環境管 理事務所 企画調整・自 然公園担当				2	2	秩父多摩甲斐国立公園登山道巡視	日帰り
9	4	1	奥秩父山塊イヌワシ調査 グループ				1	1	奥秩父地域における大型猛禽類の生 息実態調査	日帰り
10	4	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科・研究科長付 フィールド研究支援石田 研究室	1				1	鳥類標識疾病調査、ミズナラ結実、 長期生態系調査	日帰り
11	4	2	東京大学大学院農学生命 科学研究科附属演習林秩 父演習林	4				4	アラスカの山火事と虫害に関する論 文執筆に関する打合せ	外部宿泊
12	4	1	千葉大学・大学院理学研 究科	1		1		2	葉食性昆虫群集・土壌微生物群集に ついての研究打合せ	日帰り
13	4	3	早稲田大学人間科学部人 間環境学科野生動物学教 室	6	36	12		54	早稲田大学人間科学部3・4年野生 動物保護管理学演習、大学院動物行 動生態学演習	川俣学生宿舎 (食事あり)
14	4	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科附属演習林富 士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
15	4	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科附属演習林富 士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
16	4	2	埼玉昆虫談話会				10	10	秩父演習林及びその周辺の昆虫相 データベース構築	川俣学生宿舎 (自炊泊)
17	4	1	カセサート大学昆虫学部	1				1	学位論文審査会準備と練習	日帰り
18	4	2	東京大学大学院新領域創 成科学研究科自然環境学 専攻			6		6	自動撮影カメラを用いた開芽フェノ ロジーの記録	栃本宿舎(自炊 泊)
19	4	10	東京大学大学院農学生命 科学研究科附属演習林秩 父演習林	10		17		27	標本整理（スニサ）・化学実験（パ ニサラ）	外部宿泊
20	4	1	東京大学大学院総合文化 研究科広域科学専攻広域 システム科学系			1		1	日本産ヒキガエルの幼生期における 社会行動	日帰り
21	4	1	埼玉県農林総合研究セン ター茶業研究所 栽培担 当	4				4	茶の山間冷涼地育種・栽培比較試験	日帰り
22	5	2	東京大学大学院農学生命 科学研究科附属演習林富 士癒しの森研究所	2				2	ロボットカメラデータ回収	栃本宿舎(自炊 泊)
23	5	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科附属演習林富 士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
24	5	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科附属演習林富 士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
25	5	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科 森林科学専 攻			2		2	山地林生態系における湿性・乾性沈 着量の定量化とそれらに影響してい る要因の解明	日帰り
26	5	4	東京大学大学院農学生命 科学研究科附属演習林秩 父演習林	4		4		8	標本整理（スニサ）・化学実験（パ ニサラ）	外部宿泊
27	5	1	埼玉県秩父市立影森中 学校	6			80	86	第2学年 林間学校	日帰り
28	5	3	千葉大学大学院・理学研 究科・生物学コース	2	6	18		26	材食者の寄主選択に関する研究	川俣自炊宿舎
29	5	4	埼玉県高体連登山専門部	64			357	421	学校総合体育大会 登山の部	日帰り
30	5	2	NPO法人 房総の野生生 物調査会				14	14	秩父演習林・荒川源流域の自然観察 会	栃本宿舎(自炊 泊)
31	5	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科・森林動物学 研究室	1			3	4	科研「森林の時空間的存在様式が昆 虫の遺伝的特性に及ぼす影響- プナ 林の昆虫を対象として」のサンプル 採集	日帰り
32	5	2	東京大学大学院新領域創 成科学研究科 自然環境 学専攻	2		2		4	気象センサー移設、ウェブカメラ設 置作業、景観データ収集	栃本宿舎(自炊 泊)

2012 年度 全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
33	5	4	東京大学大学院農学生命科学研究科 森林科学専攻	7	7	8		22	森林土壌学実習	川俣学生宿舎（食事あり）
34	5	1	埼玉県立大滝げんきプラザ 所長	4			72	76	山で遊ぼう1「新緑の荒川源流ハイックと秩父小昼飯作り」実施	日帰り
35	5	3	独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所滝沢ダム管理所				18	18	河川水辺の国勢調査の両生類、爬虫類、哺乳類調査	外部宿泊
36	5	1	東京大学 農学生命科学科 生圏システム学専攻 緑地創成学研究室			1		1	チョウ類を用いた里山林の人的管理の有無による緑地評価の研究	日帰り
37	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科・研究科長付 フィールド研究支援石田研究室	1				1	鳥類標識疾病調査、ミズナラ結実、長期生態系調査	日帰り
38	5	2	特定非営利活動法人 パードリサーチ				2	2	モニタリングサイト1000森林コアサイト鳥類調査	栃本宿舎（自炊泊）
39	5	17	琉球大学・大学院理工学研究科			17		17	樹木機能特性に関する化学実験・データ解析・修士論文打ち合わせ	外部宿泊
40	5	1	埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当	1				1	オゾンデータの回収・ミヤマスカシユリの鉢の確認	日帰り
41	5	1	東京大学農学生命科学研究科・森林植物学研究室	2		1		3	スギ・ヒノキの成長に及ぼす内生菌根菌の影響	日帰り
42	5	1	東京大学演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
43	5	2	埼玉昆虫談話会				10	10	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築	川俣学生宿舎（自炊泊）
44	5	1	新潟大学農学部附属 フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
45	5	2	東京大学秩父演習林				59	59	春の自由見学日	日帰り
46	5	2	東京大学秩父演習林	7				7	シカ柵設置に関する打合せと現地検討	日帰り
47	5	1	奥秩父山塊イヌシ調査グループ				1	1	奥秩父における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
48	5	2	Swiss Federal Institute of Technology Zurich			2		2	シオジの葉柄サンプルの採取およびシオジの実生苗の採取	栃本宿舎（自炊泊）
49	5	2	University of Fribourg	2				2	ケヤキ属の遺伝変異	栃本宿舎（自炊泊）
50	5	1	シオジの会				1	1	忌避ブロックの調査地状況確認と退去処理	日帰り
51	5	2	日本大学生物資源科学部 獣医学科実験動物学研究室			2		2	野帳における血液原虫保有状況および媒介昆虫調査	テント・幕営
52	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科・研究科長付 フィールド研究支援石田研究室	2				2	鳥類標識疾病調査、ミズナラ結実、長期生態系調査	テント・幕営
53	5	1	東京大学秩父演習林	1			3	4	森林の見学	日帰り
54	5	3	千葉大学大学院・理学研究科・生物学コース			9		9	葉食者の奇主選択に関する研究	栃本宿舎（自炊泊）
55	5	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科・自然環境学専攻	8		16	18	42	ライブ音配信鳥類センサス現地見学検討会	川俣学生宿舎（食事あり）
56	5	1	東京大学演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
57	5	1	千葉大学大学院・理学研究科・生物学コース			3		3	葉食者の奇主選択に関する研究	栃本宿舎（自炊泊）
58	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
59	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
60	6	29	琉球大学・大学院理工学研究科			29		29	樹木機能特性に関する化学実験・データ解析・修士論文打ち合わせ	外部宿泊
61	6	1	千葉大学大学院・理学研究科・生物学コース			3		3	葉食者の奇主選択に関する研究	日帰り
62	6	2	東京大学富士癒しの森研究所	6	40			46	全学体験ゼミナール「危険生物の知識」	川俣学生宿舎（食事あり）
63	6	1	東京大学富士癒しの森研究所	2				2	全学体験ゼミナール「危険生物の知識」の準備	日帰り
64	6	1	東京大学秩父演習林しおじの会				29	29	木本を中心とした植物観察	日帰り
65	6	2	特定非営利活動法人 パードリサーチ				2	2	モニタリング1000森林コアサイト鳥類調査	栃本宿舎（自炊泊）
66	6	1	千葉県森林インストラクター会				8	8	千葉県森林インストラクター会野外講座第1回下見	日帰り
67	6	1	東京大学秩父演習林	2		1		3	シカ柵設置に関する現地検討	日帰り
68	6	4	琉球大学理学部	4				4	樹木機能特性に関するデータ整理、データ解析、論文打合せ	日帰り
69	6	1	新潟大学農学部附属 フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り

2012 年度 全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
70	6	1	信州大学山岳科学総合研究所	1				1	森林動態に関するデータ整理、データ解析、論文打合せ	日帰り
71	6	1	独立行政法人製品評価技術基盤機構バイオテクノロジセンター				4	4	微生物（糸状菌、放線菌）の採集	日帰り
72	6	5	千葉大学大学院理学研究科生物学コース	1	2	15		18	材食者の宿主選択に関する研究	川俣自炊宿舎
73	6	1	東大農学生命科学研究科森林科学専攻			1		1	山地林生態系における湿性・乾性沈着量の定量化とそれらに影響している要因の解明	日帰り
74	6	1	東京大学演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
75	6	1	埼玉県環境科学国際センター	2				2	雁坂峠周辺の環境データ収集	日帰り
76	6	1	埼玉県農林総合研究センター茶業研究所	5				5	茶の山間冷涼地育種・栽培比較試験	日帰り
77	6	2	早稲田大学人間科学学術院	2		4		6	野生動物（クマ、リス、ネズミ）の生態学的研究	川俣自炊宿舎
78	6	1	奥秩父イヌワシ調査グループ				1	1	奥秩父における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
79	6	2	埼玉昆虫談話会				10	10	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築	川俣自炊宿舎
80	6	2	千葉大学大学院理学研究科生物学コース	2		10		12	材食者の宿主選択に関する研究	川俣自炊宿舎
81	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生態システム学専攻			1		1	ナツツバキ属樹木の比較系統地理学的研究	日帰り
82	6	1	埼玉県環境科学国際センター	2				2	オゾンデータ回収、アサガオ移植、ミヤマスカシユリの鉢の確認	日帰り
83	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	1		1		2	林道浸食状況調査の予備調査	日帰り
84	6	1	東京大学農学生命科学研究科	1				1	ミズナラの結実動態調査	日帰り
85	6	1	東京大学農学生命科学研究科	1				1	ミズナラの結実動態調査	日帰り
86	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	2				2	ミズナラ結実動態調査、鳥類標識調査	テント・幕営
87	6	1	千葉大学大学院園芸学研究室	1	4	1		6	森林生産性と土壌環境の関係に関する研究の打合せ、調査地下見	日帰り
88	6	1	埼玉県農林総合研究センター	2				2	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環システム技術の確立	日帰り
89	7	31	琉球大学・大学院理工学研究科			31		31	樹木機能特性に関する化学実験・データ解析・修士論文打ち合わせ	外部宿泊
90	7	1	千葉県森林インストラクター会				6	6	千葉県森林インストラクター会野外講座第2回下見	日帰り
91	7	1	千葉県森林インストラクター会				40	40	千葉県森林インストラクター会野外講座	日帰り
92	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻	2				2	10月学生実習の下見	日帰り
93	7	2	東京大学秩父演習林	8				8	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的リスク評価に必要な基礎データの収集	日帰り
94	7	1	森林総合研究所	2				2	森林に生息する土壌動物の群集形成プロセスに進化的時間スケールから迫る	日帰り
95	7	2	荒川ダム総合管理所滝沢ダム管理所				6	6	河川水辺の国勢調査の両性類、爬虫類、哺乳類調査	日帰り
96	7	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
97	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室			1		1	山地林生態系における湿性・乾性沈着量の定量化とそれらに影響している要因の解明	日帰り
98	7	1	早稲田大学人間科学学術院	1		2		3	野生動物（クマ・リス・ネズミ）生態学的研究	日帰り
99	7	4	千葉大学大学院理学研究科生物学コース		4	12		16	材食者の寄主選択に関する研究	川俣自炊宿舎
100	7	1	東京大学富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
101	7	1	東京大学富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ	日帰り
102	7	1	東京大学富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ	日帰り
103	7	1	東京大学演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
104	7	1	東京大学演習林企画部	2				2	自動撮影カメラのメディア交換および星野撮影	日帰り
105	7	3	日本テレビ				33	33	慰霊登山	日帰り
106	7	1	東京都立隅田川高校	1				1	生物実習の打合せ、現地下見	日帰り
107	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	2				2	ミズナラ結実動態調査、鳥類標識調査	日帰り
108	7	1	秩父観光協会大滝支部				450	450	入川溪谷ハイキング	日帰り
109	7	1	秩父愛鳥会				10	10	野鳥観察、調査	日帰り

2012 年度 全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
110	7	1	バードリサーチ				1	1	モニタリング1000森林コアサイト鳥類調査	日帰り
111	7	1	埼玉県農林総合研究センター	2				2	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環システム技術の確立	日帰り
112	7	1	東京大学農学生命科学研究科	1				1	長期生態系調査、モニタリングサイト1000森林調査	日帰り
113	7	1	東京大学農学生命科学研究科	1				1	長期生態系調査、モニタリングサイト1000森林調査	日帰り
114	7	1	宇都宮大学農学部森林科学科森林生態・育林研究室	2	1	1		4	秩父山地ウダイカンバ高齢級林の林分動態と成立要因	川俣学生宿舎（食事あり）
115	7	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻			2		2	自動撮影カメラを用いた開芽フェノロジーの記録	日帰り
116	7	1	埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当	4				4	オゾンデータ回収、アサガオ、ミヤマスカシユリの確認	日帰り
117	7	1	森林総合研究所きのこ・微生物研究領域きのこ研究室	2				2	日本菌学会関東支部観察会の下見	日帰り
118	7	2	信州大学山岳科学総合研究所	2				2	森林動態に関する研究打合せ	日帰り
119	7	1	横浜国立大学大学院環境情報研究室	4				4	シカ食害が土壌生態系に及ぼす影響に関する研究打合せ、調査地下見	日帰り
120	7	1	埼玉県農林総合研究センター茶業研究所	5				5	茶の山間冷涼地育種・栽培比較試験	日帰り
121	7	2	埼玉昆虫談話会				10	10	秩父演習林およびその周辺の昆虫相データベース構築	川俣学生宿舎（自炊泊）
122	7	3	千葉大学大学院理学研究科生物学コース			15		15	葉食者の寄主選択に関する研究	川俣自炊宿舎
123	7	1	東京大学秩父演習林	2				2	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	日帰り
124	7	1	千葉大学大学院理学研究科			1		1	樹木の葉の総フェノール・縮合タンニンの比色定量分析	日帰り
125	7	1	秩父消防署	7				7	巡視	日帰り
126	7	2	韓国生物資源研究所動物資源部	4				4	コウモリ群集動態モニタリングのための夜間音声調査、捕獲調査地下見	栃本宿舎（自炊泊）
127	8	31	琉球大学・大学院理工学研究科			31		31	樹木機能特性に関する化学実験・データ解析・修士論文打ち合わせ	外部宿泊
128	8	1	宇都宮大学農学部森林科学科森林生態・育林研究室	2	1	1		4	秩父山地ウダイカンバ高齢級林の林分動態と成立要因	日帰り
129	8	1	新潟大学農学部付属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
130	8	2	東京大学秩父演習林	4		2		6	シカ柵設置に関する現地踏査	栃本宿舎（自炊泊）
131	8	1	秩父観光協会大滝支部				449	449	入川溪谷ハイキング	日帰り
132	8	1	埼玉県農林総合研究センター	2				2	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環システム技術の確立	日帰り
133	8	4	首都大学東京理工学部生命科学専攻	4	52	8		64	動物系統学野外実習	川俣学生宿舎（食事あり）
134	8	3	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	6	18	3		27	森林土壌学実験	川俣学生宿舎（食事あり）
135	8	5	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻木材化学研究室	5				5	樹木組織に含まれる多糖フィブリルの性状分析	日帰り
136	8	1	千葉大学大学院園芸学研究科	1	2			3	森林生産性と土壌環境の関係に関する研究の打合せ、調査地検討	日帰り
137	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	2				2	鳥類標識調査	テント・幕営
138	8	1	埼玉県環境科学国際センター	2				2	オゾンデータ回収、アサガオ、ミヤマスカシユリ、確認、調査	
139	8	1	日本テレビ				9	9	慰霊登山の準備	日帰り
140	8	1	日本テレビ				9	9	慰霊登山	日帰り
141	8	1	東京大学富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
142	8	1	東京大学富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
143	8	3	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	9		33		42	森林生態学野外実習	川俣学生宿舎（食事あり）
144	8	1	埼玉県農林総合研究センター	21				21	関東・中部林業試験研究機関連絡協議会花粉症対策研究会	日帰り
145	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室			1		1	山地林生態系における湿性・乾性沈着量の定量化とそれらに影響している要因の解明	日帰り
146	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林利用学研究室	1		1		2	林道浸食状況調査の予備調査	日帰り
147	8	2	東京大学秩父演習林	4			36	40	公開講座東大の森林で昆虫採集	川俣学生宿舎（食事あり）

2012 年度 全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
148	8	1	森林総合研究所	2				2	森林に生息する土壌動物の群集形成プロセスに進化的時間スケールから迫る	日帰り
149	8	1	埼玉昆虫談話会				2	2	穿孔虫類、特にカミキリムシ、ゾウムシ、キクイムシの調査	日帰り
150	8	2	千葉大学大学院理学研究科生物学コース	2		6		8	葉食者の寄主選択に関する研究	川俣学生宿舎（自炊泊）
151	8	1	東京大学演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
152	8	2	埼玉昆虫談話会				16	16	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築	川俣学生宿舎（自炊泊）
153	8	2	千葉大学大学院理学研究科生物学コース			6		6	葉食者の寄主選択に関する研究	川俣自炊宿舎
154	8	1	埼玉昆虫談話会				1	1	穿孔虫類、特にカミキリムシ、ゾウムシ、キクイムシの調査	
155	8	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				1	1	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
156	8	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻			1		1	自動撮影カメラを用いた樹木フェノロジーの記録	
157	8	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	2				2	景観データ収集、デジタルカメラ、ウェブカメラ設置	テント・幕営
158	8	2	宇都宮大学農学部森林科学科森林生態学育林学研究室	2	6	2		10	秩父山地ウダイカンバ高齢級林の林分動態と成立要因	川俣学生宿舎（食事あり）
159	8	2	東京都立隅田川高等学校	18			32	50	生物実習	日帰り
160	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林利用学研究室	2	4	9		15	森林利用学会学生セミナー	日帰り
161	8	3	千葉大学大学院理学研究科生物学コース			9		9	葉食者の寄主選択に関する研究、植物の葉の硝酸還元酵素量に関する研究	川俣自炊宿舎
162	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1				1	森林植物学実験野外実習の下見	日帰り
163	8	1	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境学コース	1	1	1		3	天然林における土壌と生産力との関係に関する研究	日帰り
164	8	1	東京大学演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
165	9	30	琉球大学・大学院理工学研究科			30		30	樹木機能特性に関する化学実験・データ解析・修士論文打ち合わせ	外部宿泊
166	9	1	東京大学富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
167	9	1	東京大学富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
168	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科生態システム学専攻	4		28		32	フィールド科学総合演習（森圏管理学実習）	川俣学生宿舎（食事あり）
169	9	1	埼玉県農林総合研究センター	2				2	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環システム技術の確立	日帰り
170	9	4	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	8	12	16		36	理学部生物学科植物科学野外実習III	川俣学生宿舎（食事あり）
171	9	5	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻	5				5	樹木組織に含まれる多糖フィブリルの性状分析	日帰り
172	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	12	72	16		100	森林植物学実験野外実習	川俣学生宿舎（食事あり）
173	9	2	林木育種センター	4				4	チチブミネバリの探索収集およびアオダモ類の地理変異の解明	栃本宿舎（自炊泊）
174	9	4	早稲田大学人間科学学術院	4		8		12	野生動物（クマ・リス・ネズミ）の生態学的研究	川俣自炊宿舎
175	9	1	東京大学演習林企画部	2				2	自動撮影カメラのメディア交換、星野写真撮影	日帰り
176	9	1	国立科学博物館植物研究部	1				1	シオジに発生する未記載種と考えらる子囊菌採集	日帰り
177	9	1	東京大学秩父演習林	2				2	シカ柵毎木調査準備、調査地下見	日帰り
178	9	1	埼玉県農林総合研究センター茶業試験場	5				5	茶の山間冷涼地育種、栽培比較試験	日帰り
179	9	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
180	9	1	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻			1		1	山地林生態系における湿性・乾性沈着量の定量化とそれらに影響している要因の解明	日帰り
181	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻林政学研究室	14	66	12		92	森林政策学演習	川俣学生宿舎（食事あり）
182	9	1	埼玉きのこ研究会				13	13	キノコ調査、観察	日帰り
183	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生態システム学専攻	2		2		4	オノオレカンパの葉の採集	外部宿泊
184	9	3	石川県白山自然保護センター	6				6	シカの捕獲および発信機装着の現地作業視察	外部宿泊

2012 年度 全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
185	9	2	千葉大学大学院理学研究科			6		6	シカの食害調査・硝酸還元調査	川俣自炊宿舎
186	9	2	埼玉昆虫談話会				8	8	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築	川俣自炊宿舎
187	9	1	埼玉県立熊谷高校	3			8	11	熊谷高校SSH、講義・演習	日帰り
188	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	2				2	鳥類標識調査、ミズナラ結実調査	テント・幕営
189	9	1	千葉大学園芸学部緑地環境学科		2			2	天然林における土壌と生産力との関係に関する研究	日帰り
190	9	1	早稲田大学人間科学学術院	1		2		3	野生動物（クマ・リス・ネズミ）の生態学的研究	日帰り
191	9	2	日本大学生物資源科学部			2		2	野鳥における血液原虫保有状況および媒介昆虫の調査	外部宿泊
192	9	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	オゾンデータ回収、ミヤマスカシウリの鉢確認	日帰り
193	9	2	千葉大学大学院理学研究科	1		14		15	材食性昆虫に関する研究	川俣自炊宿舎
194	9	1	東京大学秩父演習林	19				19	アジア大学演習林コンソーシアム	川俣自炊宿舎
195	10	15	琉球大学・大学院理工学研究科			15		15	樹木機能特性に関する化学実験・データ解析・修士論文打ち合わせ	外部宿泊
196	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻	6	42	9		57	森林科学実習、バイオマス科学実習	川俣学生宿舎（食事あり）
197	10	1	埼玉県農林総合研究センター	2				2	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環システム技術の確立	日帰り
198	10	1	独立行政法人製品評価技術基盤機構バイオテクノロジセンター	3				3	微生物の収集	日帰り
199	10	1	東京大学秩父演習林	19				19	アジア大学演習林コンソーシアム	日帰り
200	10	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
201	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			1		1	山地林生態系における湿性・乾性沈着量の定量化とそれらに影響している要因の解明	日帰り
202	10	3	荒川ダム総合管理所滝沢ダム管理所				24	24	河川水辺の国勢調査の両生類、爬虫類、哺乳類調査	日帰り
203	10	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	4		8		12	林道浸食状況調査の予備調査	川俣学生宿舎（食事あり）
204	10	4	早稲田大学人間科学学術院	4		8		12	野生動物（クマ、リス、ネズミ）の生態学的研究	栃本宿舎（自炊泊）
205	10	1	埼玉きのこ研究会				3	3	菌類（キノコ）調査	日帰り
206	10	1	本田静六博士を顕彰する会				20	20	林内見学	日帰り
207	10	1	森林総合研究所	7	2		18	27	日本菌学会関東支部観察会	日帰り
208	10	1	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境学コース		1			1	天然林における土壌と生産力との関係に関する研究	日帰り
209	10	1	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境学コース		1			1	天然林における土壌と生産力との関係に関する研究	日帰り
210	10	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科 自然環境学専攻	8		16		24	自然環境デザインスタジオ2	テント・幕営
211	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
212	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
213	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
214	10	1	東京大学演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
215	10	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科 自然環境学専攻	4		2		6	ロボットカメラとフェノロジーカメラ（ガーデンウォッチカム）メンテ	栃本宿舎（自炊泊）
216	10	2	埼玉昆虫談話会				8	8	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築	川俣自炊宿舎
217	10	2	日本大学生物資源科学部			2		2	野鳥における血液原虫保有状況および媒介昆虫調査	テント・幕営
218	10	2	東京大学農学生命科学研究科	2				2	鳥類標識調査、ミズナラ結実調査	テント・幕営
219	10	1	東京大学農学生命科学研究科	1				1	ミズナラ結実調査	日帰り
220	10	1	東京大学農学生命科学研究科	1				1	ミズナラ結実調査	日帰り
221	10	1	埼玉県農林総合研究センター茶業研究所 栽培担当	4				4	茶の山間冷涼地育種・栽培比較試験	日帰り
222	10	2	千葉大学大学院理学研究科生物学コース			6		6	シカ食害調査、硝酸還元調査	川俣学生宿舎（自炊泊）
223	10	2	Department of Forest Sciences University of Helsinki	6			2	8	Retention forestry に関する研究打合せ、見学	外部宿泊

2012 年度 全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
224	10	2	秩父演友会(秩父演習林OB会)				20	20	秩父演友会総会、林内見学	川俣学生宿舎(食事あり)
225	10	1	東京大学秩父演習林				18	18	秩父演習林見学会（寄付者対象）	日帰り
226	10	1	千葉大学園芸学研究科	1	2			3	天然林における土壌と生産力との関係に関する研究	日帰り
227	10	1	東京大学富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラ機器調整	日帰り
228	10	1	東京大学秩父演習林				14	14	秋の自由見学	日帰り
229	10	2	東京大学秩父演習林				23	23	ワサビ沢展示室特別開室	日帰り
230	10	11	東京大学秩父演習林	54	53	66		173	シカ柵試験地測量・毎木調査	川俣自炊宿舎
231	11	1	秩父観光協会大滝支部				400	400	入川溪谷ハイキング	日帰り
232	11	1	埼玉県農林総合研究センター	2				2	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環システム技術の確立	日帰り
233	11	1	秩父観光協会大滝支部				50	50	入川溪谷ハイキング	日帰り
234	11	1	秩父観光協会大滝支部				50	50	入川溪谷ハイキング	日帰り
235	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
236	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
237	11	4	早稲田大学人間科学学術院	4		8		12	野生動物（クマ、リス、ネズミ）の生態学的研究	栃本宿舎(自炊泊)
238	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	4		2		6	人工林試験地の調査	川俣学生宿舎(食事あり)
239	11	1	早稲田中学	10			309	319	荒川を学ぶ、源流を体験する	日帰り
240	11	1	秩父観光協会大滝支部	10				10	入川溪谷ハイキング下見	日帰り
241	11	2	東京大学秩父演習林	64				64	平成24年度技術職員等試験研究・研修会議	川俣学生宿舎(食事あり)
242	11	1	特定非営利活動法人 樹の生命を守る会				22	22	特定非営利活動法人 樹の生命を守る会 秋季研修	日帰り
243	11	1	埼玉県秩父環境管理事務所	2				2	秩父多摩甲斐国立公園登山道巡視	日帰り
244	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	2				2	樹木病原菌の伝播・繁殖様式の解明	日帰り
245	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科・研究科長付フィールド研究支援石田研究室	1				1	鳥類標識疾病調査、ミズナラ結実、長期生態系調査	日帰り
246	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科・研究科長付フィールド研究支援石田研究室	1				1	鳥類標識疾病調査、ミズナラ結実、長期生態系調査	日帰り
247	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科・研究科長付フィールド研究支援石田研究室	1				1	鳥類標識疾病調査、ミズナラ結実、長期生態系調査	日帰り
248	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科・研究科長付フィールド研究支援石田研究室	1				1	鳥類標識疾病調査、ミズナラ結実、長期生態系調査	日帰り
249	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科・研究科長付フィールド研究支援石田研究室	1				1	鳥類標識疾病調査、ミズナラ結実、長期生態系調査	日帰り
250	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科・研究科長付フィールド研究支援石田研究室	1				1	鳥類標識疾病調査、ミズナラ結実、長期生態系調査	日帰り
251	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科・研究科長付フィールド研究支援石田研究室	1				1	鳥類標識疾病調査、ミズナラ結実、長期生態系調査	日帰り
252	11	1	東京大学演習林企画部	2				2	星野写真の撮影	日帰り
253	11	1	東京大学演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
254	11	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	オゾンデータ回収、アサガオ移植、ミヤマスカシユリの鉢の確認	日帰り
255	11	3	Department of Forest Sciences, University of Helsinki	9				9	“Retention forestry!”に関する研究打合せ・秩父演習林見学	外部宿泊
256	11	2	千葉大学園芸学研究科環境園芸学専攻			2		2	食肉目哺乳類による種子散布	川俣自炊宿舎
257	11	1	西東京自然を見つめる会				22	22	自然観察会	日帰り
258	11	1	宇都宮大学農学部森林科学科森林生態学育林学研究室	1	3	2		6	秩父山地ウダイカンバ高齢級林の林分動態と成立要因	日帰り
259	11	1	東京大学田無演習林	1				1	総合科目「森のエネルギーを使いこなす」実習下見	日帰り
260	11	2	埼玉昆虫談話会				6	6	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築	川俣自炊宿舎

2012 年度 全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
261	11	1	新潟大学農学部附属 フィールド科学教育研究 センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
262	11	2	東京大学大学院新領域創 成科学研究科 自然環境 学専攻	6		16	3	25	自然環境デザインスタジオ2	テント・幕営
263	11	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科森林科学専攻 森林圏生態社会学研究室			1		1	林業活性化による山村振興の可能性 ー埼玉県秩父市の山村におけるUター ン者の現状ー	日帰り
264	11	1	千葉大学園芸学研究科	1	1			2	天然林における土壌と生産力との関 係に関する研究	日帰り
265	11	1	埼玉県農林総合研究セン ター茶業研究所 栽培担 当	5				5	茶の山間冷涼地育種・栽培比較試験	日帰り
266	11	1	千葉大学大学院理学研究 科生物学コース	1		2		3	シカ食害調査	日帰り
267	11	1	信州大学山岳科学総合研 究所	1				1	打合せ	日帰り
268	12	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科附属演習林富 士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
269	12	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科附属演習林富 士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
270	12	2	東京大学田無演習林	6		36		42	総合科目「森のエネルギーを使いこ なす」実習	川俣学生宿舎 (食事あり)
271	12	1	新潟大学農学部附属 フィールド科学教育研究 センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
272	12	1	東京大学演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
273	12	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科・研究科長付 フィールド研究支援石田 研究室	1				1	ミズナラ結実、長期生態系調査	日帰り
274	12	3	千葉大学園芸学研究科環 境園芸学専攻			3		3	食肉目哺乳類による種子散布	川俣自炊宿舎
275	12	2	埼玉昆虫談話会				8	8	秩父演習林及びその周辺の昆虫相 データベース構築	川俣自炊宿舎
276	12	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科生物材料科学 専攻	1				1	樹木組織に含まれる多糖フィブリル の性状分析	日帰り
277	12	3	千葉大学園芸学研究科環 境園芸学専攻			3		3	食肉目哺乳類による種子散布	川俣自炊宿舎
278	12	1	千葉大学大学院・理学研 究科・生物学コース	1		2		3	シカ食害調査	日帰り
279	12	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科森林科学専攻 森林圏生態社会学研究室			1		1	山村振興における森林資源活用の実 態ー埼玉県秩父市の山村地域の現状ー	日帰り
280	12	3	東京大学大学院農学生命 科学研究科森林科学専攻 森林圏生態社会学研究室			3		3	山村振興における森林資源活用の実 態ー埼玉県秩父市の山村地域の現状ー	日帰り
281	12	1	埼玉県農林総合研究セン ター茶業研究所 栽培担 当	3				3	茶の山間冷涼地育種・栽培比較試験	日帰り
282	12	1	千葉大学園芸学研究科		1			1	天然林における土壌と生産力との関 係に関する研究	日帰り
283	12	1	奥秩父山塊イヌワシ調査 グループ				1	1	奥秩父における大型猛禽類の生息実 態調査	日帰り
284	12	1	埼玉県環境科学国際セン ター 自然環境担当	1				1	オゾンデータの回収・ミヤマスカシ ユリの鉢の確認	日帰り
285	1	1	東京大学演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
286	1	2	特定非営利活動法人 バードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000森林コアサ イト鳥類調査	栃本宿舎(自炊 泊)
287	1	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科附属演習林富 士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
288	1	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科附属演習林富 士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
289	1	1	新潟大学農学部附属 フィールド科学教育研究 センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
290	1	1	地球温暖化観測推進事務 局/環境省・気象庁	1				1	観測施設の共同利用に関する調査	日帰り
291	1	2	東京大学大学院農学生命 科学研究科・研究科長付 フィールド研究支援石田 研究室	2				2	長期生態系調査、モニタリングサイ ト1000森林調査	日帰り
292	1	1	奥秩父山塊イヌワシ調査 グループ				2	2	奥秩父地域における大型猛禽類の生 息実態調査	日帰り
293	1	4	北海道大学大学院農学研 究院環境資源学専攻生物 生態体系学講座昆虫体系 学研究室	4				4	雌による精子の選択から生じる隠蔽 された生殖的隔離：サッポロフキ バッタの事例	日帰り

2012 年度 全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
294	1	2	特定非営利活動法人 バードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000森林コアサ イト鳥類調査	栃本宿舎(自炊 泊)
295	1	3	北海道大学大学院農学研 究院環境資源学専攻生物 生態体系学講座昆虫体系 学研究室	3				3	雌による精子の選択から生じる隠蔽 された生殖的隔離：サッポロフキ バッタの事例	日帰り
296	2	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科附属演習林富 士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
297	2	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科附属演習林富 士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
298	2	1	東京大学演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
299	2	1	東京大学水産実験所	1				1	附属施設としての役割と業務比較	日帰り
300	2	1	新潟大学農学部附属 フィールド科学教育研究 センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
301	2	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科・研究科長付 フィールド研究支援石田 研究室	1				1	長期生態系調査、モニタリングサイ ト1000森林調査	日帰り
302	2	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科・研究科長付 フィールド研究支援石田 研究室	1				1	長期生態系調査、モニタリングサイ ト1000森林調査	日帰り
303	2	1	埼玉県農林総合研究セン ター茶業研究所 栽培担 当	8				8	茶の山間冷涼地育種・栽培比較試験	日帰り
304	2	1	埼玉県環境科学国際セン ター 自然環境担当	2				2	オゾンデータの回収・ミヤマスカシ ユリの鉢の確認	日帰り
305	2	1	東京大学秩父演習林				21	21	公開講座「水源の山を訪ねてー森林 と水の研究ー」	日帰り
306	2	1	奥秩父山塊イヌワシ調査 グループ				1	1	奥秩父における大型猛禽類の生息実 態調査	日帰り
307	3	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科附属演習林富 士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
308	3	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科附属演習林富 士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
309	3	1	東京大学大学院新領域創 成科学研究科 自然環境 学専攻	2				2	ロボットカメラシステム開発	日帰り
310	3	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科森林科学専攻	1		1		2	スマートフォン材積測定アプリケー ション動作実験	日帰り
311	3	1	新潟大学農学部附属 フィールド科学教育研究 センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
312	3	1	東京大学演習林企画部	2				2	自動撮影カメラのメディア交換およ び星野写真の撮影	日帰り
313	3	1	奥秩父山塊イヌワシ調査 グループ				2	2	奥秩父における大型猛禽類の生息実 態調査	日帰り
314	3	1	岐阜大学流域圏科学研究 センター	1				1	シカ剥ぎ痕跡とクマ剥ぎ痕跡の違い の確認	日帰り
315	3	1	しおじの会				1	1	野生動物に対する忌避剤の効果の調 査	日帰り
316	3	1	東京大学大学院新領域創 成科学研究科自然環境学 専攻			1		1	森林映像記録ロボットカメラのメン テナンス作業	日帰り
317	3	1	埼玉県環境科学国際セン ター 自然環境担当				1	1	オゾンデータの回収・ミヤマスカシ ユリの鉢の確認	日帰り
318	3	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科生態システム 学専攻			1		1	オノオレカンバの葉の採集	日帰り
319	3	1	東京大学大学院新領域創 成科学研究科 自然環境 学専攻	2				2	ロボットカメラシステム開発	日帰り
320	3	1	埼玉昆虫談話会				5	5	秩父演習林及びその周辺の昆虫相 データベース構築	川俣自炊宿舎
321	3	1	奥秩父山塊イヌワシ調査 グループ				1	1	奥秩父における大型猛禽類の生息実 態調査	日帰り
322	3	1	奥秩父山塊イヌワシ調査 グループ				1	1	奥秩父における大型猛禽類の生息実 態調査	日帰り

利用者数合計 4,861
利用件数 322

演習林名：田無演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	昆虫遺伝学研究室	9				9	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクスギの育成	日帰り
2	4	1	新領域創成科学研究科 福田研究室	2				2	マツ材線虫における木部通水阻害の発生と線虫頭数の関係	日帰り
3	4	11	生物多様性研究室				11	11	マツ類におけるテントウムシの調査	日帰り
4	4	1	生態調和農学機構	1	24			25	フィールド農学基礎実習	日帰り
5	4	1	造林学研究室	3	21			24	造林学実験	日帰り
6	4	1	東大農場・演習林の存続を願う会				50	50	田無演習林定例観察・調査会（植物）	日帰り
7	4	1	造林学研究室	2	7	1		10	森林土壌学実験	日帰り
8	4	1	演習林教育研究センター	1				1	DNA分子マーカーによるミズナラとカシワの簡易識別法の確立	日帰り
9	4	3	造林学研究室	3	2			5	樹高成長の異なるスギ成木の水分生理状態	日帰り
10	4	1	森林理水及び砂防工学研究室			5		5	窒素などの大気負荷の大きい森林生態系における物質循環に関する研究	日帰り
11	4	1	森林理水及び砂防工学研究室			5		5	窒素などの大気負荷の大きい森林生態系における物質循環に関する研究	日帰り
12	4	1	森林理水及び砂防工学研究室			5		5	窒素などの大気負荷の大きい森林生態系における物質循環に関する研究	日帰り
13	4	1	なし				1	1	樹林の見学	日帰り
14	4	2	いであ株式会社				4	4	騒音調査	日帰り
15	4	3	新日本開発株式会社				6	6	環境調査	日帰り
16	4	1	いであ株式会社				1	1	オオタカの繁殖状況の調査	日帰り
17	4	1	多摩六都科学館（指定管理者 株式会社乃村工藝社）				9	9	博学連携に向けての演習林内見学	日帰り
18	4	1	一般個人見学者				306	306	見学	日帰り
19	4	1	一般個人見学者				61	61	見学	日帰り
20	4	2	西東京市立西原保育園	7			42	49	見学	日帰り
21	4	1	西東京市立ひばりヶ丘保育園	3			36	39	見学	日帰り
22	4	1	ディサービスセンター介護隊				10	10	見学	日帰り
23	5	5	生物多様性研究室				5	5	マツ類におけるテントウムシの調査	日帰り
24	5	1	東大農場・演習林の存続を願う会				10	10	田無演習林定例観察・調査会（動物）	日帰り
25	5	1	東大農場・演習林の存続を願う会				45	45	田無演習林定例観察・調査会（植物）	日帰り
26	5	5	演習林教育研究センター	5				5	DNA分子マーカーによるミズナラとカシワの簡易識別法の確立	日帰り
27	5	2	造林学研究室	2	2			4	樹高成長の異なるスギ成木の水分生理状態	日帰り
28	5	2	森林理水及び砂防工学研究室			2		2	窒素などの大気負荷の大きい森林生態系における物質循環に関する研究	日帰り
29	5	2	田無演習林	2				2	丸太を使ったRaffaerea quercivora病原力比較のための接種方法の検討	日帰り
30	5	1	わかば歩こう会				12	12	社会見学	日帰り
31	5	1	練馬区立関町リサイクルセンター				40	40	田無演習林内の樹木、草木、虫等と、その生態系を学びたい	日帰り
32	5	1	元気で歩こう会				50	50	緑地・樹林の見学	日帰り
33	5	1	東京都小学校理科教育研究会OB会				15	15	見学	日帰り
34	5	2	西東京市立西原保育園	6			12	18	見学	日帰り
35	5	1	生態調和農学機構	1				1	貼りシバを利用した半自然草地における植生復元手法の有効性の検討	日帰り
36	5	12	生物多様性科学研究室		12	10		22	アメリカザリガニが引き起こす生態系の代替安定状態に関する実験的検証	日帰り
37	5	1	演習林教育研究センター	1				1	スギとニオイヒバにおける2倍体と4倍体由来挿し木苗の成長比較	日帰り
38	5	1	森林植物学研究室		6			6	五月祭に出展する苗木の分譲	日帰り
39	5	2	田無演習林	6	8			14	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成-子どもに伝える自然体験-」	日帰り
40	5	1	田無演習林	1				1	ビットホールトラップを使った地表徘徊性甲虫相の調査	日帰り
41	5	1	東大農場・演習林の存続を願う会				45	45	柵内見学許可願い	日帰り
42	5	1	大気汚染測定運動西東京市連絡会				1	1	大気汚染測定（二酸化窒素NO2測定）	日帰り
43	5	1	森林動物学研究室	3	20	1		24	森林動物学実験	日帰り
44	5	1	植物検索研究会				1	1	外来ボブライ属の分類	日帰り
45	5	1	新日本開発工業				2	2	環境調査	日帰り
46	5	4	新日本開発工業				4	4	環境調査	日帰り
47	5	1	一般個人見学者				298	298	見学	日帰り
48	5	1	一般個人見学者				45	45	見学	日帰り
49	6	1	東大農場・演習林の存続を願う会				12	12	環境省実施（事務委託：日本自然保護協会）の「モニタリング1000里地調査」	日帰り

2012 年度 全利用者（田無演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
50	6	1	造林学研究室	3	21			24	造林学実験	日帰り
51	6	2	東大農場・演習林の存続を願う会				20	20	田無演習林定例観察・調査会（動物）	日帰り
52	6	1	東大農場・演習林の存続を願う会				43	43	田無演習林定例観察・調査会（植物）	日帰り
53	6	2	演習林教育研究センター	2				2	DNA分子マーカーによるミズナラとカシワの簡易識別法の確立	日帰り
54	6	2	造林学研究室	2	1			3	樹高成長の異なるスギ成木の水分生理状態	日帰り
55	6	4	森林理水及び砂防工学研究室			6	3	9	窒素などの大気負荷の大きい森林生態系における物質循環に関する研究	日帰り
56	6	2	森林理水及び砂防工学研究室			3		3	窒素などの大気負荷の大きい森林生態系における物質循環に関する研究	日帰り
57	6	2	森林理水及び砂防工学研究室			4		4	窒素などの大気負荷の大きい森林生態系における物質循環に関する研究	日帰り
58	6	2	西東京市立西原保育園	6			12	18	見学	日帰り
59	6	1	生態調和農学機構	1				1	貼りシバを利用した半自然草地における植生復元手法の有効性の検討	日帰り
60	6	19	生物多様性科学研究室		30	5		35	アメリカザリガニが引き起こす生態系の代替安定状態に関する実験的検証	日帰り
61	6	1	田無演習林	3	4			7	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成-子どもに伝える自然体験-」	日帰り
62	6	1	田無演習林	6	4		89	99	「第20回子ども樹木博士」認定会	日帰り
63	6	1	大気汚染測定運動西東京市連絡会				1	1	大気汚染測定（二酸化窒素NO2測定）	日帰り
64	6	3	森林植物学研究室	3		1		4	樹木病原菌の伝播・繁殖様式の解明	日帰り
65	6	2	日本大学生物資源科学部造林・風致学研究室		2			2	ニワウルシの根萌芽についての研究	日帰り
66	6	1	情報学環境教育部			2		2	ビデオジャーナリズム演習	日帰り
67	6	1	生態調和農学機構				4	4	西東京市立保谷中学校の職場体験	日帰り
68	6	1	一般個人見学者				16	16	見学	日帰り
69	6	1	森林動物学研究室	1				1	マツ材線虫病に関わる生物相互間の研究	日帰り
70	6	1	個人グループ				20	20	自然観察 特に樹木	日帰り
71	6	1	西東京市立田無小学校わかば学級	12			48	60	歩行訓練	日帰り
72	6	1	西東京市教育研究会 理科部	33				33	植物の観察	日帰り
73	6	3	新日本開発工業（株）				10	10	環境調査	日帰り
74	6	1	西東京市秀和会老人会				20	20	見学	日帰り
75	6	1	一般個人見学者				247	247	見学	日帰り
76	6	3	秩父演習林	13				13	演習林基盤データ整備委員会生物部門鳥類分野関連調査	日帰り
77	7	1	東大農場・演習林の存続を願う会				12	12	環境省実施（事務委託：日本自然保護協会）の「モニタリング1000里地調査」	日帰り
78	7	1	造林学研究室	3	21			24	造林学実験	日帰り
79	7	1	東大農場・演習林の存続を願う会				10	10	田無演習林定例観察・調査会（動物）	日帰り
80	7	1	東大農場・演習林の存続を願う会				12	12	田無演習林定例観察・調査会（植物）	日帰り
81	7	2	演習林教育研究センター	2				2	DNA分子マーカーによるミズナラとカシワの簡易識別法の確立	日帰り
82	7	3	造林学研究室	3	2			5	樹高成長の異なるスギ成木の水分生理状態	日帰り
83	7	3	森林理水及び砂防工学研究室			9	6	15	窒素などの大気負荷の大きい森林生態系における物質循環に関する研究	日帰り
84	7	2	森林理水及び砂防工学研究室	1		4		5	窒素などの大気負荷の大きい森林生態系における物質循環に関する研究	日帰り
85	7	1	森林理水及び砂防工学研究室			3		3	窒素などの大気負荷の大きい森林生態系における物質循環に関する研究	日帰り
86	7	12	生物多様性科学研究室		22	10		32	アメリカザリガニが引き起こす生態系の代替安定状態に関する実験的検証	日帰り
87	7	2	日本大学生物資源科学部造林・風致学研究室		2			2	ニワウルシの根萌芽についての研究	日帰り
88	7	2	北海道大学苫小牧研究林	3				3	多様な樹木の分光特性と形質に関する研究	日帰り
89	7	3	森林動物学研究室	3				3	マツ材線虫病に関わる生物相互間の研究	日帰り
90	7	1	森林動物学研究室	1		1		2	2種のマツ材線虫病の繁殖干渉	日帰り
91	7	1	新領域創成科学研究科・奈良研究室	1				1	外生菌根菌の菌糸耐久試験	日帰り
92	7	3	東久留米市立南中学校				21	21	職場体験学習	日帰り
93	7	1	造林学研究室	1				1	造林学実験（来年度、接木実習に用いる苗木の準備）	日帰り
94	7	2	北海道大学苫小牧研究林	2				2	生物起源揮発性有機化合物放出量測定（常緑広葉樹）	日帰り
95	7	1	森林環境資源科学専修（風致）		1	2		3	竹が人に与える冷涼感について	日帰り

2012 年度 全利用者（田無演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
96	7	1	NP0法人杉の木カレッジ 28期OB会				9	9	散策 一般教養	日帰り
97	7	2	新日本開発工業（株） グリーン自然観察会（東京 農業大学成人学校卒業 生の任意団体）				4	4	環境調査（猛禽類および植物）	日帰り
98	7	1	田無演習林	6			59	65	西東京市保谷駅前公民館講座「世界 に一つの樹木図鑑を作ろう」	日帰り
100	7	1	一般個人見学者				9	9	見学	日帰り
101	7	1	一般個人見学者				214	214	見学	日帰り
102	8	2	東大農場・演習林の存続 を願う会				18	18	田無演習林定例観察・調査会（動 物）	日帰り
103	8	1	演習林教育研究センター	1				1	DNA分子マーカーによるミズナラとカ シワの簡易識別法の確立	日帰り
104	8	1	造林学研究室	1	1			2	樹高成長の異なるスギ成木の水分生 理状態	日帰り
105	8	1	森林理水及び砂防工学研 究室			2	3	5	窒素などの大気負荷の大きい森林生 態系における物質循環に関する研究	日帰り
106	8	4	生物多様性科学研究室		5	1		6	アメリカザリガニが引き起こす生態 系の代替安定状態に関する実験的検 証	日帰り
107	8	1	森林動物学研究室	4	8			12	森林動物学実験	日帰り
108	8	1	日本大学生物資源科学部 造林・風致学研究室		4			4	ニワウルシの根萌芽についての研究	日帰り
109	8	1	森林動物学研究室	1				1	マツ材線虫病に関わる生物相互間の 研究	日帰り
110	8	1	環境地水学研究室	3	1	1		5	降雨に伴う土壌呼吸と溶剤性物質の 溶脱に関する研究	日帰り
111	8	1	森林動物学研究室	4	8			12	教養学部全学一般研究ゼミナール 「昆虫と節足動物の生物学」に関連 した昆虫の野外実習	日帰り
112	8	4	総合文化研究科 伊藤元 巳研究室	4				4	ハマダイコンの環境勾配に沿ったエ コタイプ間比較	日帰り
113	8	4	造林学研究室	4				4	樹木体内のセシウムの分布と移動	日帰り
114	8	1	大人の遠足会				20	20	樹木に関する初歩の知識と森林の楽 しみ方の実践	日帰り
115	8	1	エコプラザ西東京				50	50	エコプラザ西東京主催事業「夏休み によきによきワークショップ」	日帰り
116	8	1	西東京ブレイパーク☆ キャラバン				50	50	ブレイパーク（動植物の観察）	日帰り
117	8	2	新日本開発工業（株）				2	2	環境調査（猛禽類および植物）	日帰り
118	8	1	実践学園中学校、高等学 校	1			7	8	見学	日帰り
119	8	1	西東京市立みどり保育園	2			21	23	見学	日帰り
120	8	1	一般個人見学者				325	325	見学	日帰り
121	9	1	東大農場・演習林の存続 を願う会				9	9	田無演習林定例観察・調査会（動 物）	日帰り
122	9	2	演習林教育研究センター	2				2	DNA分子マーカーによるミズナラとカ シワの簡易識別法の確立	日帰り
123	9	2	造林学研究室	3				3	樹高成長の異なるスギ成木の水分生 理状態	日帰り
124	9	2	森林理水及び砂防工学研 究室			3	6	9	窒素などの大気負荷の大きい森林生 態系における物質循環に関する研究	日帰り
125	9	5	生物多様性科学研究室		7	3		10	アメリカザリガニが引き起こす生態 系の代替安定状態に関する実験的検 証	日帰り
126	9	2	森林植物学研究室	2				2	樹木病原菌の伝播・繁殖様式の解明	日帰り
127	9	2	日本大学生物資源科学部 造林・風致学研究室		2			2	ニワウルシの根萌芽についての研究	日帰り
128	9	1	森林動物学研究室	1		1		2	2種のマツ材線虫病の繁殖干渉	日帰り
129	9	3	総合文化研究科 伊藤元 巳研究室	3				3	ハマダイコンの環境勾配に沿ったエ コタイプ間比較	日帰り
130	9	5	造林学研究室	5				5	樹木体内のセシウムの分布と移動	日帰り
131	9	1	財団法人武蔵野市福祉公 社 武蔵野市高齢者総合セン ター風景画講座				16	16	風景の写生	日帰り
132	9	1	実践学園中学校、高等学 校	5			60	65	校外学習	日帰り
133	9	2	東大農場・演習林の存続 を願う会				28	28	講義室の利用	日帰り
134	9	1	一般個人見学者				120	120	見学	日帰り
135	10	1	東大農場・演習林の存続 を願う会				7	7	環境省実施（事務委託：日本自然保 護協会）の「モニタリング1000里地 調査」	日帰り
136	10	1	東大農場・演習林の存続 を願う会				40	40	田無演習林定例観察・調査会（植 物）	日帰り
137	10	5	演習林教育研究センター	5				5	DNA分子マーカーによるミズナラとカ シワの簡易識別法の確立	日帰り
138	10	3	造林学研究室	3	1			4	樹高成長の異なるスギ成木の水分生 理状態	日帰り

2012 年度 全利用者（田無演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
139	10	1	森林理水及び砂防工学研究室			3	3	6	窒素などの大気負荷の大きい森林生態系における物質循環に関する研究	日帰り
140	10	1	西東京市立西原保育園	4			28	32	見学	日帰り
141	10	2	生態調和農学機構	1		2		3	貼りシバを利用した半自然草地における植生復元手法の有効性の検討	日帰り
142	10	1	森林植物学研究室	1				1	樹木病原菌の伝播・繁殖様式の解明	日帰り
143	10	2	日本大学生物資源科学部 造林・風致学研究室		2			2	ニワウルシの根萌芽についての研究	日帰り
144	10	1	森林動物学研究室	1		1		2	2種のマツ材線虫病の繁殖干渉	日帰り
145	10	6	総合文化研究科 伊藤元巳研究室	6				6	ハマダイコンの環境勾配に沿ったエコタイプ間比較	日帰り
146	10	4	造林学研究室	4				4	樹木体内のセシウムの分布と移動	日帰り
147	10	1	多摩六都科学館 指定管理者 乃村工芸社				4	4	科学館の展示協力依頼、下見	日帰り
148	10	1	西武学園文理小学校	6			105	111	生活科の理科分野において、身近にみられる動植物、科学の現象に興味、関心を持つきっかけとして利用したい。	日帰り
149	10	1	社会福祉法人大誠会 西 東京市立田無保育園 3 歳児リス組	3			19	22	園外保育	日帰り
150	10	1	杉並・農芸高校OB会				16	16	杉並・農芸高校ことぶき会の森林に関する勉強のため	日帰り
151	10	1	三鷹市立第六中学校				33	33	三鷹市周辺地域の工場や研究所を訪問し見聞を広めることを目的とする。施設内における様々な特徴を観察し、学習をしていく。	日帰り
152	10	1	サフラン愛児園	4			39	43	自然観察	日帰り
153	10	2	自由学園初等部	5			20	25	生活科の授業（東大演習林の木や草と仲良くなり、秋の一日を満喫する）10/16は下見	日帰り
154	10	3	西東京市立田無第二中学校				9	9	職場体験学習	日帰り
155	10	1	生物多様性科学研究室	1				1	フィールド科学専修・生物多様性科学実習	日帰り
156	10	1	総合文化研究科 伊藤元巳研究室	1				1	トドマツの遺伝的背景の違いによる成長量と成長戦略の違いの検出	日帰り
157	10	1	アジア生物資源環境研究センター	1		1		2	樹木体内のセシウムの分布と移動	日帰り
158	10	1	多摩六都科学館				3	3	地域の自然―植物の紹介（いろいろな種）―	日帰り
159	10	1	造林学研究室	1				1	樹木体内のセシウムの分布と移動（試料提供）	日帰り
160	10	1	東京農工大学植物資源形成学研究室			1		1	ウルシ科植物における植物体再生系の確立	日帰り
161	10	1	東京大学教育学部附属中等教育学校	1			50	51	ツリークライミングとネイチャーゲーム	日帰り
162	10	1	西東京市立谷戸第二小学校				4	4	生活科学習	日帰り
163	10	1	生態調和農学機構				15	15	田無演習林の全般的な見学と雑木林の草本植物の見学	日帰り
164	10	1	小平市認知症講座 ウォーキンググループ				7	7	散策	日帰り
165	10	1	一般個人見学者				206	206	見学	日帰り
166	11	2	東大農場・演習林の存続を願う会				21	21	田無演習林定例観察・調査会（動物）	日帰り
167	11	1	東大農場・演習林の存続を願う会				45	45	田無演習林定例観察・調査会（植物）	日帰り
168	11	1	演習林教育研究センター	1				1	DNA分子マーカーによるミズナラとカシワの簡易識別法の確立	日帰り
169	11	1	森林理水及び砂防工学研究室			3	3	6	窒素などの大気負荷の大きい森林生態系における物質循環に関する研究	日帰り
170	11	1	森林理水及び砂防工学研究室	1		2		3	窒素などの大気負荷の大きい森林生態系における物質循環に関する研究	日帰り
171	11	1	日本大学生物資源科学部 造林・風致学研究室		1			1	ニワウルシの根萌芽についての研究	日帰り
172	11	1	森林動物学研究室	1		1		2	2種のマツ材線虫病の繁殖干渉	日帰り
173	11	3	総合文化研究科 伊藤元巳研究室	3				3	ハマダイコンの環境勾配に沿ったエコタイプ間比較	日帰り
174	11	2	造林学研究室	2				2	樹木体内のセシウムの分布と移動	日帰り
175	11	1	西東京市立田無第二中学校				3	3	職場体験学習	日帰り
176	11	2	総合文化研究科 伊藤元巳研究室	2				2	トドマツの遺伝的背景の違いによる成長量と成長戦略の違いの検出	日帰り
177	11	1	東京大学教育学部附属中等教育学校	1			50	51	ツリークライミングとネイチャーゲーム	日帰り
178	11	1	読売日本文化センター				15	15	学習・観察	日帰り
179	11	1	西東京市立保谷小学校	3			60	63	総合的な学習の時間、いろいろな種類の木を知る	日帰り
180	11	1	西東京市立住吉小学校						秋さがし、どんぐりの採集	日帰り
181	11	1	西東京市立谷戸第二小学校				140	140	生活科学習	日帰り

2012 年度 全利用者（田無演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
182	11	1	東久留米市立第五小学校	3			85	88	生活科学習	日帰り
183	11	1	ビーフェア田無保育園				47	47	施設の散策	日帰り
184	11	1	田無演習林	6			83	89	「第21回子ども樹木博士」認定会	日帰り
185	11	1	多摩六都科学館 研究交流グループ 自然チーム				4	4	多摩六都科学館 常設展示室 展示更新	日帰り
186	11	1	NPO法人東京シティガイドクラブ多摩グループ				8	8	ガイド学習	日帰り
187	11	1	さくらだフレンドの会				32	32	学習・見学会	日帰り
188	11	1	野田の樹木を見て歩こう会				20	20	森林見学	日帰り
189	11	1	如水会多摩北支部				34	34	森林見学	日帰り
190	11	1	自由学園幼児生活団幼稚園	4			15	19	遠足	日帰り
191	11	1	西東京市立けやき保育園	2			14	16	散策	日帰り
192	11	2	西東京市立田無保育園	8			22	30	散策	日帰り
193	11	1	一般個人見学者				286	286	見学	日帰り
194	11	1	一般個人見学者				86	86	見学	日帰り
195	12	1	東大農場・演習林の存続を願う会				9	9	田無演習林定例観察・調査会（動物）	日帰り
196	12	3	演習林教育研究センター	3				3	DNA分子マーカーによるミズナラとカシワの簡易識別法の確立	日帰り
197	12	1	西東京市立西原保育園	3			25	28	見学	日帰り
198	12	1	森林植物学研究室	1				1	樹木病原菌の伝播・繁殖様式の解明	日帰り
199	12	2	森林動物学研究室	2		2		4	2種のマツ材線虫病の繁殖干渉	日帰り
200	12	3	総合文化研究科 伊藤元巳研究室	3		3		6	ハマダイコンの環境勾配に沿ったエコタイプ間比較	日帰り
201	12	2	造林学研究室	2				2	樹木体内のセシウムの分布と移動	日帰り
202	12	1	田無演習林	21			10	31	リース作り	日帰り
203	12	1	株式会社環境プロデュース調査技術部				2	2	平成24年度 東京都環境局委託カラス生息状況調査	日帰り
204	12	2	大気汚染測定運動西東京市連絡会				2	2	大気汚染測定（二酸化窒素NO2測定）	日帰り
205	12	3	演習林教育研究センター		3			3	卒業論文「林内の道の環境と管理・利用とに関する研究」	日帰り
206	12	1	西東京市立泉小学校	4			85	89	自然観察	日帰り
207	12	1	個人				1	1	森林見学	日帰り
208	12	1	一般個人見学者				24	24	見学	日帰り
209	12	1	向台保育園	5			40	45	散策	日帰り
210	12	1	一般個人見学者				153	153	見学	日帰り
211	1	1	東大農場・演習林の存続を願う会				12	12	環境省実施（事務委託：日本自然保護協会）の「モニタリング1000里地調査」	日帰り
212	1	1	東大農場・演習林の存続を願う会				8	8	田無演習林定例観察・調査会（動物）	日帰り
213	1	1	森林植物学研究室	1				1	樹木病原菌の伝播・繁殖様式の解明	日帰り
214	1	1	森林動物学研究室	1		1		2	マツ材線虫病に関わる生物相互間の研究	日帰り
215	1	1	森林動物学研究室	1		1		2	2種のマツ材線虫病の繁殖干渉	日帰り
216	1	1	総合文化研究科 伊藤元巳研究室	1		1		2	ハマダイコンの環境勾配に沿ったエコタイプ間比較	日帰り
217	1	1	造林学研究室	1				1	樹木体内のセシウムの分布と移動	日帰り
218	1	3	東久留米市立下里小学校				6	6	職場体験学習	日帰り
219	1	1	新領域創成科学自然環境評価学研究室	1		1		2	カシ類におけるTubakia spp. の病原性	日帰り
220	1	1	製紙科学研究室	1				1	樹木における二酸化炭素同化産物の輸送と在形成に関する研究	日帰り
221	1	1	一般個人見学者				111	111	見学	日帰り
222	1	1	個人				2	2	自家用薪の分譲	日帰り
223	1	1	生態調和農学機構	1	29	1		31	フィールド農学基礎実習および緑地環境実地実習	日帰り
224	2	1	東大農場・演習林の存続を願う会				40	40	環境省実施（事務委託：日本自然保護協会）の「モニタリング1000里地調査」	日帰り
225	2	2	東大農場・演習林の存続を願う会				17	17	田無演習林定例観察・調査会（動物）	日帰り
226	2	2	演習林教育研究センター	2				2	DNA分子マーカーによるミズナラとカシワの簡易識別法の確立	日帰り
227	2	1	造林学研究室	1				1	樹高成長の異なるスギ成木の水分生理状態	日帰り
228	2	1	西東京市立西原保育園	5			33	38	見学	日帰り
229	2	2	森林植物学研究室	2				2	樹木病原菌の伝播・繁殖様式の解明	日帰り
230	2	2	総合文化研究科 伊藤元巳研究室	2		1		3	ハマダイコンの環境勾配に沿ったエコタイプ間比較	日帰り
231	2	1	造林学研究室	1				1	樹木体内のセシウムの分布と移動	日帰り
232	2	4	演習林教育研究センター	1		4		5	分子マーカーを用いたチークの系統地理学的研究	日帰り

2012 年度 全利用者（田無演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
233	2	1	(株) 地域開発コンサル タツツ				1	1	猛禽類調査 東京都環境局「平成24年度希少猛禽 類生息状況等調査委託」	日帰り
234	2	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類調査（東京大学本部）	日帰り
235	2	1	新日本開発工業（株）				1	1	環境調査（猛禽類） 東京都建設局委託	日帰り
236	2	1	新日本開発工業（株）				1	1	環境調査（猛禽類） 東京都建設局委託	日帰り
237	2	1	一般個人見学者				113	113	見学	日帰り
238	3	3	演習林教育研究センター	3				3	DNA分子マーカーによるミズナラとカ シワの簡易識別法の確立	日帰り
239	3	1	造林学研究室	1				1	樹高成長の異なるスギ成木の水分生 理状態	日帰り
240	3	5	総合文化研究科 伊藤元 巳研究室	5				5	ハマダイコンの環境勾配に沿ったエ コタイプ間比較	日帰り
241	3	2	総合文化研究科 伊藤元 巳研究室	2				2	トドマツの遺伝的背景の違いによる 成長量と成長戦略の違いの検出	日帰り
242	3	1	東久留米市立下里中学校				2	2	職場体験学習	日帰り
243	3	10	演習林教育研究センター			10		10	分子マーカーを用いたチークの系統 地理学的研究	日帰り
244	3	1	緑地創成学研究室			1		1	関東における自生のコブシと造園で 利用されたコブシの遺伝的な違いに ついて	日帰り
245	3	1	東京ユニオンガーデン・ 散策の会				20	20	散策	日帰り
246	3	1	自由学園最高学部	1	3			4	卒業研究「自然と人との関わり-武蔵 野の動植物、ニホンミツバチを中心 に-	日帰り
247	3	1	新領域創成科学研究科 奈良研究室	1				1	外生菌根菌の菌糸耐久試験	日帰り
248	3	2	森林環境資源科学専修		2			2	卒業研究「エサの固さによるおたま じゃくしの口の変形」	日帰り
249	3	1	西東京市立田無小学校5 年				89	89	農場、演習林見学	日帰り
250	3	1	新日本開発工業（株）				1	1	環境調査	日帰り
251	3	1	一般個人見学者				165	165	見学	日帰り

利用者数合計 6,227

利用件数 251

演習林名: 生態水文学研究所

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	16	東京大学 生態水文学研究所	10			10	20	研究のため	日帰り
2	4	1	犬山研究林利用者協議会				12	12	リーフレット作成のための題材探しと写真撮影及び歩道整備	日帰り
3	4	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会定例会	日帰り
4	4	1	シデコブシの会				23	23	植物観察会・総会	日帰り
5	4	1	犬山研究林利用者協議会				10	10	リーフレット作成のための題材探しと写真撮影及び歩道整備	日帰り
6	4	1	犬山研究林利用者協議会				15	15	リーフレット作成のための題材探しと写真撮影及び歩道整備	日帰り
7	4	1	瀬戸市役所 環境課	1			2	3	「せと環境塾」講座打合せ	日帰り
8	5	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	リーフレット作成のための題材探しと写真撮影及び歩道整備	日帰り
9	5	7	東京大学 生態水文学研究所	7				7	研究のため	日帰り
10	5	1	東京大学大学院総合文化研究科 広域科学専攻	1				1	「ハマダイコンの環境勾配に沿ったエコタイプ間比較」のための圃場試験地の検討	日帰り
11	5	1	一般				1	1	ホンゴウソウ、ヒナノシャクジョウ及び変形菌の調査	日帰り
12	5	3	京都大学大学院農学研究科山地保全学研究室	3				3	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性	赤津宿泊施設
13	5	2	東京大学 生態水文学研究所	10	3	6	2	21	平成24年度利用者研究集会・尾張東部丘陵自然環境研究者の会（仮称）	日帰り
14	5	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会定例会	日帰り
15	5	1	シデコブシの会				4	4	とよた森林学校 イベント打合せ	日帰り
16	5	1	犬山研究林利用者協議会				8	8	リーフレット作成のための題材探しと写真撮影及び歩道整備	日帰り
17	5	1	一般				1	1	ホンゴウソウ、ヒナノシャクジョウ及び変形菌の調査	日帰り
18	5	1	シデコブシの会				11	11	シデコブシの会 バードウォッチング	日帰り
19	5	1	一般				1	1	ホンゴウソウ、ヒナノシャクジョウ及び変形菌の調査	日帰り
20	5	3	東京大学大学院農学生命科学研究科（森林科学専攻・森林理水及び砂防工学研究室）	3	30	3		36	森林保全学実習	赤津宿泊施設
21	5	1	犬山研究林利用者協議会				21	21	東大「犬山の森」ふれあい自然観察会	日帰り
22	6	10	東京大学 生態水文学研究所	10				10	研究のため	日帰り
23	6	3	東京大学教養学部	3	71			74	総合科目 一般D「ダムと森林」フィールドワーク	赤津宿泊施設
24	6	1	名古屋大学大学院生命科学研究科（生物環境科学科・森林保全学研究室）	1		1		2	打合せ、ナラ枯れ状況の視察	日帰り
25	6	1	シデコブシの会				4	4	愛知中部水道企業団とイベント打合せ	日帰り
26	6	1	一般				1	1	ホンゴウソウ、ヒナノシャクジョウおよび変型菌の調査	日帰り
27	6	1	豊田森林組合 総務課とよた森林学校事務局				37	37	とよた森林学校 森林セミナー	日帰り
28	6	1	シデコブシの会				5	5	とよた森林学校 イベント補助	日帰り
29	6	1	犬山研究林利用者協議会				8	8	尾張北部自然観察会会員による自然観察活動	日帰り
30	6	1	公益財団法人ニッセイ緑の財団				5	5	財団として進める公益的機能の高い森づくりに関する知見を深める為	日帰り
31	6	2	南山大学総合政策学部	4	12			16	総合政策学部学外体験プログラムA	赤津宿泊施設
32	6	1	一般				1	1	ホンゴウソウ、ヒナノシャクジョウおよび変型菌の調査	日帰り
33	6	1	犬山研究林利用者協議会				8	8	リーフレット作成のための題材探しと写真撮影及び歩道整備	日帰り
34	6	1	矢作川水系森林ボランティア協議会				4	4	打合せ	日帰り
35	6	1	筑波大学 生命環境系	1				1	恩田CREST研究サイトの見学	日帰り
36	6	1	一般				1	1	ホンゴウソウ、ヒナノシャクジョウ及び変形菌の調査	日帰り
37	6	1	シデコブシの会				31	31	赤津研究林 案内人養成講習会	日帰り
38	6	1	生態水文学研究所	2	1	1		4	研究用地視察、打合せ	日帰り
39	6	5	東京大学 生態水文学研究所	5				5	データ入力	日帰り
40	6	1	犬山研究林利用者協議会				8	8	リーフレット作成のための題材探しと写真撮影及び歩道整備	日帰り
41	7	7	生態水文学研究所	7				7	研究のため	日帰り
42	7	3	一般				3	3	ホンゴウソウ、ヒナノシャクジョウ及び変形菌の調査	日帰り
43	7	1	フォーラム東明21				25	25	県道清掃活動	日帰り
44	7	1	堤英祐				24	24	「森の学習会」開催	日帰り
45	7	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会定例会	日帰り

2012 年度 全利用者（生態水文学研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
46	7	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	リーフレット作成のための題材探しと写真撮影及び歩道整備	日帰り
47	7	1	名古屋大学生命農学研究科		1	1		2	CRESTプロジェクト「水資源の利用効率を最大化する森林管理手法の開発」	日帰り
48	7	1	東京大学農学生命科学研究科（森林科学専攻・造林学）	1				1	樹木内のセシウムの分布と移動	日帰り
49	7	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	リーフレット作成のための題材探しと写真撮影及び歩道整備	日帰り
50	7	2	シデコブシの会				25	25	植物観察会	赤津宿泊施設
51	7	2	東京大学森林科学専攻・森林理水および砂防工学研究室			2		2	山地林生態系における湿性・乾性沈着量の定量化とそれらに影響している要因の解明	日帰り
52	8	6	東京大学森林科学専攻・森林理水および砂防工学研究室			6		6	山地林生態系における湿性・乾性沈着量の定量化とそれらに影響している要因の解明	日帰り
53	8	5	東京大学 生態水文学研究所	5				5	研究のため	日帰り
54	8	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会 定例会	日帰り
55	8	2	瀬戸市役所環境課	8	2	2	25	37	「せと環境塾2012」 講座4『森と水のエネルギー』	日帰り
56	8	3	一般				3	3	ホンゴウソウ、ヒナノシヤクジョウおよび変形菌の調査	日帰り
57	8	1	一般				1	1	ホンゴウソウ、ヒナノシヤクジョウおよび変形菌の調査	日帰り
58	8	1	名古屋大学生命農学研究科		1	1		2	CRESTプロジェクト「水資源の利用効率を最大化する森林管理手法の開発」	日帰り
59	8	4	東京大学農学生命科学研究科 森林圏生態社会学研究室			4		4	土砂災害の歴史的経緯に関する研究の調査の準備	五位塚宿泊施設
60	8	1	シデコブシの会				5	5	地域環境活性化協議会 イベント補助	日帰り
61	8	1	シデコブシの会				7	7	愛知中部水道企業団『水とふれあう親子ツアー』 イベント補助	日帰り
62	8	1	地域環境活性化協議会	1			35	36	小学生を対象にした水生昆虫観察及び環境教育	日帰り
63	8	1	愛知中部水道企業団				26	26	「水」をテーマにした親子体験教室	日帰り
64	8	1	一般				1	1	ホンゴウソウ・ヒナノシヤクジョウおよび変形菌の調査	日帰り
65	8	2	梅村学園 三重中学校・高等学校	4			62	66	クラブ特別活動「森林を通して、環境を科学の視点で考えよう」	赤津宿泊施設
66	8	5	筑波大学 生命環境科学研究科地球科学専攻	5	32	40		77	講義（学生野外実験）	赤津宿泊施設
67	8	1	犬山研究林利用者協議会				10	10	自然観察活動「森の健康診断」	日帰り
68	9	6	東京大学 生態水文学研究所	6				6	研究のため	日帰り
69	9	3	一般				3	3	ホンゴウソウ、ヒナノシヤクジョウおよび変形菌の調査	日帰り
70	9	2	名古屋大学 生命農学研究科		2	2		4	CRESTプロジェクト「水資源の利用効率を最大化する森林管理手法の開発」	日帰り
71	9	1	東京大学 農学生命科学研究科・森林植物学研究室	1		1		2	樹木病原菌の伝播・繁殖機構の分子生態学的解明	日帰り
72	9	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会 定例会	日帰り
73	9	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	自然観察活動（リーフレット作成の取材活動）	日帰り
74	9	1	あいち海上の森センター				19	19	あいち海上の森大学講座 森林環境（森林の機能と水環境、演習林視察）	日帰り
75	9	1	シデコブシの会				5	5	あいち海上の森大学 イベント補助	日帰り
76	9	3	東京大学 総合文化研究科広域科学専攻	3				3	ハマダイコンの環境勾配に沿ったエコタイプ間比較	日帰り
77	9	1	小川昌彦				12	12	案内人・補助者スキルアップ講習会	日帰り
78	9	5	東京大学 生態水文学研究所	10				10	測量学実習の指導	赤津宿泊施設
79	9	5	東京大学 農学生命科学研究科 森林科学専攻 森林理水及び砂防工学研究室			5		5	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	赤津宿泊施設
80	9	5	東京大学 農学生命科学研究科 森林科学専攻 森林理水及び砂防工学研究室		75	5		80	測量学実習	赤津宿泊施設
81	9	1	筑波大学 生命環境系	1				1	恩田CREST研究サイトでの調査	日帰り
82	9	1	東京大学 総合文化研究科 広域科学専攻	1				1	ハマダイコンの環境勾配に沿ったエコタイプ間比較	日帰り
83	9	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	自然観察活動（リーフレット作成の取材活動）	日帰り
84	9	7	東京大学 生態水文学研究所	7				7	研究のため	日帰り
85	9	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会 定例会	日帰り

2012 年度 全利用者（生態水文学研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
86	10	4	東京大学 生態水文学研究所	4				4	研究のため	日帰り
87	10	1	東京大学 広域科学専攻（伊藤元己研究室）	1				1	ハマダイコンの環境勾配に沿ったエコタイプ間比較	日帰り
88	10	1	三重大学		1		1	2	イチヤクソウの個体数調査の下見	日帰り
89	10	1	名古屋大学 生命農学研究科		1	1		2	CRESTプロジェクト「水資源の利用効率を最大化する森林管理手法の開発	日帰り
90	10	1	犬山研究林利用者協議会				4	4	自然観察活動（歩道の整備ほか）	日帰り
91	10	1	犬山研究林利用者協議会				13	13	秋のふれあい自然観察会	日帰り
92	10	1	犬山研究林利用者協議会				8	8	尾張北部自然観察会会員による自然観察活動	日帰り
93	10	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会 定例会	日帰り
94	10	2	東京大学 森林理水及び砂防工学研究室			2		2	山地林生態系における湿性・乾性沈着量の定量化とそれらに影響している要因の解明	外部宿泊施設
95	10	1	シデコブシの会				18	18	シデコブシの会 植物観察会	日帰り
96	10	1	犬山研究林利用者協議会				4	4	南部中学校総合学習訪問 ほか	日帰り
97	10	1	犬山市立南部中学校				5	5	第一学年総合学習	日帰り
98	11	7	東京大学 生態水文学研究所	7				7	研究のため	日帰り
99	11	1	東京大学 広域科学専攻	1				1	ハマダイコンの環境勾配に沿ったエコタイプ間比較	日帰り
100	11	1	シデコブシの会				6	6	半田市教育委員会 講座「知多半島の歩み」イベント補助	日帰り
101	11	1	半田市文化財専門委員会				29	29	半田市教育委員会 講座「知多半島の歩み」イベント開催	日帰り
102	11	4	東京大学 生態水文学研究所	4				4	データ入力	日帰り
103	11	1	愛知県立豊田東高等学校	2			15	17	持続可能な社会を考える「矢作川流域の人工林の健康診断」	日帰り
104	11	3	東京農工大学農学部地域生態システム学科		3			3	研究林見学・研究相談	日帰り
105	11	1	持続可能な豊かな社会をつくるネットワーク				4	4	「みんなの森あるき2012 写真のチカラ」イベント開催	日帰り
106	11	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	NGO「持続ネット」見学者対応および協議会自主活動	日帰り
107	11	1	シデコブシの会				6	6	半田市教育委員会 講座「知多半島の歩み」イベント補助	日帰り
108	11	1	半田市文化財専門委員会				24	24	半田市教育委員会 講座「知多半島の歩み」イベント開催	日帰り
109	11	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会定例会	日帰り
110	11	1	東京大学 総合文化研究科広域科学専攻	1				1	ハマダイコンの環境勾配に沿ったエコタイプ間比較	日帰り
111	11	1	生活協同組合 コープあいち				11	11	「森の学習会」開催	日帰り
112	11	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	定例自主活動	日帰り
113	11	1	東京大学 農学生命科学研究科（森林科学・森林動物学）	1				1	花崗岩溪流における低生動物の形態特性	日帰り
114	11	1	東京大学 生態水文学研究所				31	31	東海銀杏の会 見学会	日帰り
115	11	1	東京大学 生態水文学研究所	2				2	赤津研究林の見学	日帰り
116	11	1	東京大学 生態水文学研究所	1				1	データ入力・印刷 その他	日帰り
117	11	1	半田市教育委員会				9	9	半田市文化財専門委員会による行政視察	日帰り
118	12	2	東京大学 生態水文学研究所	2				2	研究のため	日帰り
119	12	3	東京大学 生態水文学研究所	3				3	研究のため	日帰り
120	12	2	東京大学 生態水文学研究所	31	4	20		55	第3回森林水文学を考える若手研究会の会を開催のため	赤津宿泊施設
121	12	1	東京大学 生態水文学研究所	1			24	25	創立90周年記念シンポジウム 見学会	日帰り
122	12	3	東京大学 総合文化研究科 広域科学専攻	3				3	ハマダイコンの環境勾配に沿ったエコタイプ間比較	外部宿泊施設
123	12	1	シデコブシの会				5	5	藤前干潟を守る会 なごや環境大学 講座 イベント補助	日帰り
124	12	1	藤前干潟を守る会				7	7	なごや環境大学講座「庄内川水系・水のつながり 源流の森」	日帰り
125	12	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会 定例会	日帰り
126	12	1	東京大学 生態水文学研究所	9				9	地球規模課題対応国際科学技術協力事業（ASTREPS）気候変動に対する水分野の適応作立案・実施支援システムの構築（IMPAC-T）モンスーン変動と人為的影響グループ（AIMV）トレーニングコース実施のため	日帰り
127	12	1	名古屋大学 生命農学研究科	1	38	2		41	生物環境科学基礎実験実習	日帰り
128	12	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	定例自主活動	日帰り
129	1	1	大阪大学 人間科学研究科 人類学研究室	2				2	量水堰ほか、主要な観測施設	日帰り

2012 年度 全利用者（生態水文学研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
130	1	1	犬山市生活環境部公園緑地課				15	15	犬山研究林案内人養成講習のため	日帰り
131	1	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	定例自主活動「犬山研究林案内人養成講習支援活動」	日帰り
132	1	1	シデコブシの会				18	18	シデコブシの会 標石を探そうツアー	日帰り
133	1	1	名城大学 農学部生物環境科学科 環境動物学研究室	1	1			2	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響についての調査場所下見	日帰り
134	1	4	東京大学 生態水文学研究所	6				6	研究のため	日帰り
135	1	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	犬山研究林案内人養成講習支援活動	日帰り
136	2	1	犬山市生活環境部公園緑地課				14	14	犬山研究林案内人養成講習のため	日帰り
137	2	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会 定例会	日帰り
138	2	3	東京大学教養学部	3	63			66	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	赤津宿泊施設
139	2	2	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻			2		2	修士研究打ち合わせ	五位塚宿泊施設
140	2	7	東京大学 生態水文学研究所	8				8	研究のため	日帰り
141	2	1	犬山研究林利用者協議会				9	9	定例自主活動（自然観察）	日帰り
142	3	1	瀬戸市東明連区自治連合会				35	35	瀬戸設楽線沿線清掃活動	日帰り
143	3	1	名古屋大学附属高校	1				1	長期生態系プロット見学	日帰り
144	3	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会 定例会	日帰り
145	3	1	犬山研究林利用者協議会				10	10	定例自主活動（自然観察）	日帰り
146	3	1	愛知教育大学教育学部理科教育講座	1				1	ツチガエルの越冬幼生の採集	日帰り

利用者数合計 1,641

利用件数 146

演習林名：富士癒しの森研究所

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	東邦大学理学部生物学科		1			1	自動撮影装置のデータ回収、シラビソ稚樹の状態の観察	日帰り
2	4	1	山梨県立富士北稜高等学校	1	6			7	2年生建築実習における富士北麓の森林に関する基礎学習	日帰り
3	4	1	演習林研究部	2				2	台湾・国立嘉義大学 林金樹教授による見学	日帰り
4	4	1	非営利活動法人アースバウンダー	6	84			90	環境教育プログラム ネイチャーハントのフィールドとして利用	日帰り
5	4	1	渋谷区教育委員会事務局				28	28	渋谷区立小学校教職員が、移動教室の実施踏査を行うため	日帰り
6	4	1	富士癒しの森研究所	4	2	10	6	22	春の特別ガイド「春の彩りをたずねて」	日帰り
7	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	生態学的視点からみた薪材生産のあり方に関する研究	日帰り
8	4	1	山梨県立富士北稜高等学校	1	14			15	自然観察	日帰り
9	5	1	東邦大学理学部生物学科	2	1			3	自動撮影装置のデータ回収、シラビソ稚樹の状態の観察	日帰り
10	5	1	個人				2	2	見学	日帰り
11	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	4	10		2	16	都留科文大実習	富士山中宿泊施設
12	5	1	ドッグリゾートワフ				40	40	散策	日帰り
13	5	1	渋谷区立中幡小学校	2	68		2	72	昼食	日帰り
14	5	1	ドッグリゾートワフ				40	40	散策	日帰り
15	5	1	NPO法人アースバウンダー	13	180			193	小学生を対象にした環境教育ワークショップの実施	日帰り
16	5	1	山中湖村村長				13000	13000	第32回スポニチ山中湖村ロードレース大会に伴う会場野及び周辺道路として	富士山中宿泊施設
17	5	1	ドッグリゾートワフ				40	40	散策	日帰り
18	5	1	渋谷区立笹塚小学校		49		7	56	散策、昼食、スケッチ	日帰り
19	5	1	ドッグリゾートワフ				40	40	散策	日帰り
20	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻	2	18	2		22	森圏管理学実習（フィールド科学専修）	日帰り
21	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	3				3	森林の見学、自然観察	日帰り
22	6	1	NPO法人アースバウンダー	15	210			225	高校生を対象にした環境教育ワークショップの実施	日帰り
23	6	1	ドッグリゾートワフ				20	20	散策	
24	6	1	ドッグリゾートワフ				20	20	散策	日帰り
25	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2				2	エゾマツにおけるコンテナ苗と裸苗の活着比較	日帰り
26	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻修士課程			3		3	ニホンリスによるオニグルミの利用状況	富士山中宿泊施設
27	6	1	東京大学農学部環境資源科学課程森林環境資源科学専修	1	1			2	卒業論文作成のための調査下見	日帰り
28	6	1	ドッグリゾートワフ				20	20	散策	日帰り
29	6	1	山梨県立富士北稜高等学校建築デザイン系列	1	14			15	森林空間整備にむけた素材の研究（芝刈り及び柴垣制作、薪割等）	日帰り
30	6	1	ドッグリゾートワフ				20	20	散策	日帰り
31	6	2	東邦大学大学院生物学専攻植物生態学研究室			2		2	自動撮影装置のデータ回収、シラビソ稚樹の状態の観察	富士山中宿泊施設
32	6	4	目黒星美学園小学校	40	436			476	自然観察	日帰り
33	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	エゾマツにおけるコンテナ苗と裸苗の活着比較	日帰り
34	6	1	帝京科学大学生命環境学部自然環境学科	1				1	林床の寄生植物シオガマグクの生態調査及び研究打合せ	日帰り
35	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	1				1	外生菌根金の子実体調査	日帰り
36	6	1	演習林企画部	1		3		4	「森林生態圏管理学特論」	日帰り
37	6	1	NPO法人アースバウンダー				40	40	高校生を対象にした環境教育ワークショップの実施	日帰り
38	6	1	新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1	1			2	自然環境学研究、サイバーフォレスト研究	日帰り
39	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	76			60	136	演習林交歓会	日帰り
40	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	48				48	第15回関東甲信地区大学演習林等技術職員研修	日帰り
41	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	4	16	8		28	学部演習「環境設計演習」における富士を対象にしたレクリエーション計画策定演習実習	日帰り
42	7	1	NPO法人アースバウンダー	15	155			170	高校生を対象にした環境教育ワークショップの実施	日帰り
43	7	2	演習林企画部	8		60		68	総合科目「「癒しの森」を考える」	日帰り

2012 年度 全利用者（富士癒しの森研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
44	7	4	東京大学農学部環境資源科学課程森林環境資源科学専修演習林教育研究センター		4			4	卒業論文作成のための調査等	富士山中宿泊施設
45	7	1	山梨県立富士北稜高等学校建築デザイン系列	1	14			15	森林空間整備にむけた素材の研究(間伐・枝打・造形計画)	日帰り
46	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	4	10		2	16	都留科文大実習	日帰り
47	7	3	東京大学農学部環境資源科学課程森林環境資源科学専修演習林教育研究センター		3			3	卒業論文作成のための調査等	日帰り
48	7	2	東邦大学大学院生物学専攻植物生態学研究室			2		2	自動撮影装置のデータ回収、シラビソ稚樹の状態の観察	富士山中宿泊施設
49	7	2	丸山幼稚園	33			155	188	休憩・昼食・散策	日帰り
50	7	2	八幡幼稚園	36			130	166	夏季宿泊保育に伴い、自然に触れる体験学習をさせたい	日帰り
51	7	1	静岡サレジオ学園	8			65	73	樹木の観察と日の出前の富士山を見るために	日帰り
52	7	1	不二聖心女子学院高等学校				78	78	オリエンテーリング	日帰り
53	7	3	東京大学農学部環境資源科学課程森林環境資源科学専修演習林教育研究センター		3			3	卒業論文作成のための調査等	富士山中宿泊施設
54	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生態環境調査室			3		3	ニホンリスによるオニグルミの利用状況に関する調査	日帰り
55	7	1	野外学校FOS		1		37	38	野外学校	日帰り
56	7	1	NPO法人アースパウンダー				1	1	7/28～8/5日の利用に先立つ下見	日帰り
57	7	4	NPO法人アースパウンダー				72	72	山中湖村宿泊施設に滞在する小学生を対象にした環境教育	日帰り
58	7	1	東京大学大学院情報理工学系研究科電子情報学専攻			1		1	研究打合せ	日帰り
59	7	1	岡山大学名誉教授				5	5	見学	日帰り
60	7	1	ボーイスカウト神奈川連盟南足柄1団				2	2	敷地内見学	日帰り
61	8	5	NPO法人アースパウンダー				90	90	山中湖村宿泊施設に滞在する小学生を対象にした環境教育	日帰り
62	8	2	東邦大学院生物学専攻植物生態学研究室			2		2	自動撮影装置のデータ回収、シラビソ稚樹の状態の観察	日帰り
63	8	1	東邦大学・理学部・生物学科	1		1		2	シラビソの水分収支・光合成特性についての成木と稚樹の比較	日帰り
64	8	1	日本ボーイスカウト神奈川連盟				2	2	研修での利用の下見	日帰り
65	8	1	野外学校FOS				11	11	野外学校	日帰り
66	8	1	東邦大学院生物学専攻植物生態学研究室			1		1	自動撮影装置のデータ回収、シラビソ稚樹の状態の観察	日帰り
67	8	1	日本ボーイスカウト神奈川連盟横浜地区横浜第103団				19	19	敷地内見学	日帰り
68	8	1	ボーイスカウト横浜第61団				29	29	ボーイスカウト活動による青少年の育成のため	日帰り
69	8	3	森林科学専攻森林動物学研究室	9	60	6		75	森林動物学実験	日帰り
70	8	16	東京大学農学部獣医科		320			320	部活の合宿	日帰り
71	8	1	日本ボーイスカウト横浜みなと地区				85	85	樹木観察	日帰り
72	8	4	岡山大学名誉教授				20	20	見学	日帰り
73	8	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻修士課程1年	2		1		3	研究下見	日帰り
74	8	1	学校法人アントメント会聖ヨゼフ学園小学校	4				4	体験学習見学	富士山中宿泊施設
75	8	1	個人				2	2	見学	日帰り
76	9	2	帝京科学大学生命環境学部自然環境学科	2	8			10	林床の植物の菌根共生に関する調査およびきのこ調査	富士山中宿泊施設
77	9	1	渋谷区立長谷戸小学校	6			21	27	山中湖畔の見学、散策	日帰り
78	9	1	山梨県立富士北稜高等学校建築デザイン系列	1			14	15	森林空間整備にむけた素材・構造の研究(薪棚制作)	日帰り
79	9	3	演習林企画部	15		17		32	体験ゼミ「癒しの森を創る(夏)」	日帰り
80	9	1	日本ボーイスカウト神奈川連盟				11	11	9/17利用の下見	日帰り
81	9	1	日本ボーイスカウト神奈川連盟				11	11	9/17利用の下見	日帰り
82	9	1	日本ボーイスカウト神奈川連盟				34	34	ボーイスカウト指導者の研修の為	日帰り
83	9	1	東邦大・理学部・生物学科	1		1	1	3	シラビソの水分収支・光合成特性についての成木と稚樹の比較	日帰り

2012 年度 全利用者（富士癒しの森研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
84	9	1	東邦大・理学部・生物学科	1	19	3		23	野外基礎実習（学部1年生）	日帰り
85	9	1	東邦大学院生物学専攻植物生態学研究室			1		1	自動撮影装置のデータ回収、シラビソ稚樹の状態の観察	日帰り
86	9	1	個人				2	2	散策	日帰り
87	9	1	ダイトウテクノグリーンk.k				1	1	シラビソの水分収支・光合成特性についての成木と稚樹の比較	日帰り
88	9	5	秩父演習林	240		20		260	アジア演習林コンソーシアム第5回シンポジウム開催	日帰り
89	9	4	東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻	32		200		232	工学部社会基盤学科の必修授業のフィールド演習	日帰り
90	10	1	NPO法人アースパウンダー	12	53			65	山中湖村宿泊施設に滞在する小学生を対象にした環境教育	日帰り
91	10	1	東京大学ワンダーフォーゲル部OB会				26	26	演習林見学	日帰り
92	10	2	専修大学	2	18			20	兵庫県立大学三俣ゼミとの合同研究ゼミ合宿のため	日帰り
93	10	3	兵庫県立大学経済学部	3	39			42	専修大学泉ゼミとの合同研究ゼミ合宿のため	日帰り
94	10	1	東京大学農学部環境資源科学課程森林環境資源科学専修		1			1	卒業論文「林内の道に関する研究」作成のため調査	日帰り
95	10	4	東京大学大学院農学生命科学研究科生態環境調査室		1	3		4	人為的あるいは自然的な環境変化がニホンリスの分布と生態に及ぼす影響に関する調査	日帰り
96	10	2	山梨県立富士北稜高等学校建築デザイン系列	2	26		4	32	森林空間と生活空間の連携に関する実技・実習	富士山中宿泊施設
97	10	4	東京大学大学院農学生命科学研究科生態環境調査室			4		4	人為的あるいは自然的な環境変化がニホンリスの分布と生態に及ぼす影響に関する調査	日帰り
98	10	1	東京大学農学部環境資源科学課程森林環境資源科学専修		1			1	卒業論文「林内の道に関する研究」作成のため調査	日帰り
99	10	1	NPO法人アースパウンダー				85	85	幼稚園児を対象にした環境教育プログラムの実施	日帰り
100	10	2	ドッグリゾート ワフ		74			74	散策	日帰り
101	10	2	ドッグリゾート ワフ				74	74	散策	日帰り
102	10	2	ドッグリゾート ワフ				74	74	散策	日帰り
103	10	1	東邦大学理学部	1		1	1	3	シラビソの水分収支・光合成特性についての成木と稚樹の比較	日帰り
104	10	1	学校法人アトメント会 聖ヨゼフ学園小学校	5	65			70	2年生自然体験学習	日帰り
105	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	30				30	東大職員特別ガイド「キノコに親しむ」	日帰り
106	10	1	富士急リゾートアメニティ				2	2	林内残存木の譲受	日帰り
107	11	4	東京大学大学院農学生命科学研究科生態環境調査室			4		4	人為的あるいは自然的な環境変化がニホンリスの分布と生態に及ぼす影響に関する調査	富士山中宿泊施設
108	11	5	東京大学大学院農学生命科学研究科生態環境調査室			5		5	人為的あるいは自然的な環境変化がニホンリスの分布と生態に及ぼす影響に関する調査	富士山中宿泊施設
109	11	1	東邦大学理学部	1				1	シラビソの水分収支・光合成特性についての成木と稚樹の比較	日帰り
110	11	1	東京大学農学部環境資源科学課程森林環境資源科学専修		1			1	卒業論文「林内の道の環境と管理・利用とに関する研究」作成のため調査	日帰り
111	11	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻斉藤研究室	1		5	1	7	森時間の提案とその可能性に関する研究	日帰り
112	11	1	山中湖村中学校	2	22			24	卒業写真撮影	日帰り
113	11	1	山中湖村中学校	3	24			27	卒業写真撮影	日帰り
114	12	1	東京大学農学部環境資源科学課程森林環境資源科学専修		1			1	卒業論文「林内の道の環境と管理・利用とに関する研究」作成のため調査	日帰り
115	12	2	東京大学農学部環境資源科学課程森林環境資源科学専修		2			2	卒業論文「林内の道の環境と管理・利用とに関する研究」作成のため調査	日帰り
116	12	2	演習林企画部	10	20	12		42	総合科目「癒しの森を創る（冬）」	日帰り
117	12	1	東邦大学理学部	1		1		2	シラビソの水分収支・光合成特性についての成木と稚樹の比較	日帰り
118	12	4	東京大学大学院農学生命科学研究科生態環境調査室		1	4		5	人為的あるいは自然的な環境変化がニホンリスの分布と生態に及ぼす影響に関する調査	富士山中宿泊施設
119	12	2	演習林企画部	6	38			44	総合科目「森をはかる」	日帰り
120	12	1	個人				4	4	文学の森のさく主杭利用作業	日帰り
121	12	1	富士癒しの森研究所	1	1		6	8	体験型公開講座「フットパスde森づくり」の実施	日帰り
122	12	2	体験活動プログラム「落ち葉たき体験」	2	4			6	体験活動プログラム「落ち葉たき体験」	日帰り
123	12	2	富士癒しの森研究所	22			15	37	落ち葉たき	日帰り

2012 年度 全利用者（富士癒しの森研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
124	12	1	農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	1				1	グイマツとカラマツの雑種に関する研究	日帰り
125	12	1	付属演習林研究センター	1				1	エゾマツにおけるコンテナ苗と裸苗の活着比較試験	日帰り
126	1	4	東京大学大学院農学生命科学研究科生態環境調査室			4		4	人為的あるいは自然的な環境変化がニホンリスの分布と生態に及ぼす影響に関する調査	富士山中宿泊施設
127	1	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生態環境調査室			2		2	人為的あるいは自然的な環境変化がニホンリスの分布と生態に及ぼす影響に関する調査	富士山中宿泊施設
128	1	1	東邦大学理学部	1				1	シラビソの水分収支・光合成特性についての成木と稚樹の比較	日帰り
129	1	1	東邦大学理学部生物学科			1		1	自動撮影装置のデータ回収、シラビソ稚樹の状態の観察	日帰り
130	2	1	大学院総合文化研究科国際社会科学専攻関連社会科学コース	2	9	13		24	初心者を対象とした初歩的な測量実習（等高線付き簡易地図作成のための水平・水準測量）	富士山中宿泊施設
131	2	1	富士癒しの森研究所	31				31	特別ガイド「冬の散歩みち」	日帰り
132	2	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生態環境調査室			2		2	人為的あるいは自然的な環境変化がニホンリスの分布と生態に及ぼす影響に関する調査	富士山中宿泊施設
133	2	1	東邦大学理学部生物学科	1				1	シラビソの水分収支・光合成特性についての成木と稚樹の比較	日帰り
134	3	1	工学系研究科都市工学専攻	1		1		2	2013年度の都市工学専攻まちづくり大学院演習授業のための現地視察	日帰り

利用者数合計 17,891

利用件数 134

2012 年度 全利用者（樹芸研究所）

演習林名：樹芸研究所

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	浦和実業学園高等学校	6			68	74	熱帯植物の利用と観察について	日帰り
2	4	1	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	2				2	山地河道の水理特性解明のための調査	日帰り
3	4	1	神奈川工科大学工学研究科 応用化学・バイオサイエンス専攻	1	1			2	パラゴムノキの葉・茎及びラテックス採集、核酸抽出実験	日帰り
4	5	1	大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	1				1	乾性土壌における撥水性発現の時空間的変動に関する研究	日帰り
5	5	3	名古屋大学大学院・環境学研究科・地球環境科学	12	9			21	国産ユーカリ研究	スポーツアピア下賀茂
6	5	1	樹芸研究所	3			9	12	第1回温室特別公開日	日帰り
7	5	1	樹芸研究所	6			10	16	第2回温室特別公開日	日帰り
8	5	1	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	2				2	山地河道の水理特性解明のための調査	日帰り
9	6	2	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	8	2	6		16	山地河道の水理特性解明のための調査	スポーツアピア下賀茂
10	6	2	住友ゴム工業 材料開発本部材料第二部	2			4	6	パラゴムノキのカルスを利用したゴム生産系の構築	外部施設泊
11	6	3	秩父演習林	8				8	東大演習林基盤データ整備委員会・生物部門・鳥類、定点調査	加納事務所休憩施設
12	6	6	一般	1			6	7	ニホンジカ(伊豆・富士)個体群等生態系保全事業のため	日帰り
13	7	31	一般	31			31	62	ニホンジカ(伊豆・富士)個体群等生態系保全事業のため	日帰り
14	7	2	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	4				4	山地河道の水理特性解明のための調査	外部施設泊
15	7	2	名古屋大学大学院・環境学研究科・地球環境科学	9	2	4		15	国産ユーカリ研究	外部施設泊
16	7	1	伊東植物散歩の会				30	30	温室植物見学	日帰り
17	7	1	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1				1	山地河道の水理特性解明のための調査	日帰り
18	7	1	大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	1				1	乾性土壌における撥水性発現の時空間的変動に関する研究	日帰り
19	7	1	樹芸研究所	1	2			3	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
20	8	4	樹芸研究所	24	8			32	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
21	8	31	一般	1			31	32	ニホンジカ(伊豆・富士)個体群等生態系保全事業のため	日帰り
22	8	4	樹芸研究所	26	116			142	全学体験ゼミナール「夏版・伊豆に学ぶ1」	スポーツアピア下賀茂
23	8	1	大学生		2			2	温室植物見学	日帰り
24	8	1	神奈川工科大		3			3	温室植物見学	日帰り
25	8	1	日本大学生物資源科学部		34			34	温室植物見学	日帰り
26	8	5	樹芸研究所	29	5			34	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
27	8	4	樹芸研究所	27	120			147	全学体験ゼミナール「夏版・伊豆に学ぶ2」	スポーツアピア下賀茂
28	8	2	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	4				4	山地河道の水理特性解明のための調査	外部施設泊
29	8	1	北大植物園	1				1	温室植物見学	日帰り
30	8	2	山形大学理学部物質生命化学科	3		2		5	パラゴムノキの葉・茎の採集、並びにカルス誘導実験	外部施設泊
31	9	30	一般	30			30	60	ニホンジカ(伊豆・富士)個体群等生態系保全事業のため	日帰り
32	9	4	樹芸研究所	31	64			95	国際開発農学専修「森林実習」	スポーツアピア下賀茂
33	9	1	一般				4	4	温室植物見学	日帰り
34	9	5	樹芸研究所	9	50			59	全学体験ゼミナール「企画系・さらに伊豆に学ぶ」	スポーツアピア下賀茂
35	9	1	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1				1	山地河道の水理特性解明のための調査	日帰り
36	9	5	樹芸研究所	23	10			33	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
37	9	4	樹芸研究所	17	88			105	全学体験ゼミナール「森に学ぶ」	スポーツアピア下賀茂
38	10	31	一般	31			31	62	ニホンジカ(伊豆・富士)個体群等生態系保全事業のため	日帰り
39	10	1	樹芸研究所	5			7	12	第3回温室特別公開日	日帰り
40	10	1	樹芸研究所	5			9	14	第4回温室特別公開日	日帰り
41	10	1	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1				1	山地河道の水理特性解明のための調査	外部施設泊
42	10	1	一般				3	3	温室植物見学	日帰り
43	11	1	大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	1				1	乾性土壌における撥水性発現の時空間的変動に関する研究	日帰り
44	11	2	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	4				4	山地河道の水理特性解明のための調査	外部施設泊
45	11	2	樹芸研究所	6	6		10	22	体験活動「伊豆に学ぶ応用編」	加納事務所休憩施設

2012 年度 全利用者（樹芸研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
46	11	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
47	11	3	一般				15	15	狩猟	日帰り
48	11	1	演習林企画部	3				3	技術職員研修打合せ	日帰り
49	11	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
50	12	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
51	12	2	大学院農学生命科学研究 科附属演習林秩父演習林	4				4	上流域水系ネットワークにおける森林- 溪流生態系の放射性物質移動と生物 濃縮の評価	外部施設泊
52	12	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
53	12	1	一般				4	4	温室植物見学	日帰り
54	12	3	北海道演習林	11				11	基盤整備GIS部門研修会	外部施設泊
55	12	1	樹芸研究所	4			13	17	第5回温室特別公開日	日帰り
56	12	1	樹芸研究所	4			14	18	第6回温室特別公開日	日帰り
57	12	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
58	12	3	一般				15	15	狩猟	日帰り
59	12	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
60	12	2	樹芸研究所	3	6		10	19	体験活動「伊豆に学ぶ応用編」	加納事務所休 憩施設
61	12	2	樹芸研究所	2	6		10	18	体験活動「伊豆に学ぶ応用編」	加納事務所休 憩施設
62	1	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
63	1	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
64	1	1	一般				4	4	温室植物見学	日帰り
65	1	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
66	1	3	一般				15	15	狩猟	日帰り
67	1	1	森林科学専攻林政学研究 室	2	3		2	7	獣害に関するアンケート調査	日帰り
68	1	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
69	1	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
70	1	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
71	1	1	樹芸研究所	2	1			3	卒論準備	日帰り
72	2	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
73	2	3	一般				15	15	狩猟	日帰り
74	2	1	一般				1	1	水生昆虫(トンボ幼虫)の調査・研究	日帰り
75	2	1	大学院農学生命科学研究 科附属演習林秩父演習林	3			1	4	山地河道の水理特性解明のための調 査	日帰り
76	2	1	大学院農学生命科学研究 科森林科学専攻造林学研 究室	1				1	乾性土壌における撥水性発現の時空 間の変動に関する研究	日帰り
77	2	5	樹芸研究所	31	5			36	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休 憩施設
78	2	4	樹芸研究所	29	124			153	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ・1」	スポーツア ド下 賀茂
79	2	1	一般				1	1	水生昆虫(トンボ幼虫)の調査・研究	日帰り
80	2	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
81	2	5	樹芸研究所	31	15			46	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休 憩施設
82	2	4	樹芸研究所	28	79			107	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ・2」	スポーツア ド下 賀茂
83	3	3	樹芸研究所	38				38	平成24年度技術職員研修「木質系資 源の伝統的活用技術と教育への応用」	スポーツア ド下 賀茂
84	3	6	樹芸研究所	21	24		3	48	全学体験ゼミ「企画系さらに伊豆に学 ぶ」	加納事務所休 憩施設
85	3	2	大学院農学生命科学研究 科附属演習林秩父演習林	4				4	山地河道の水理特性解明のための調 査	外部施設泊

利用者数合計 1,909

利用件数 85

■ 研修 ■

技術職員

研 修 名	開 催 機 関	開催月	参加人数
平成24年度技術職員等試験研究・研修会議	東京大学大学院農学 生命科学研究科附属 演習林	11	24
平成24年度 千葉県・地域シンポジウム	森林GISフォーラム	11	1
第5回農学生命科学研究科技術職員研修会	東京大学大学院農学 生命科学研究科	2	21
平成24年度技術職員研修(木質系資源の伝統的活用技術 と教育への応用)	東京大学大学院農学 生命科学研究科附属 演習林	3	3
平成24年度試験研究成果発表会	千葉県農林総合研究 センター森林研究所	3	2
第15回関東甲信越地区大学演習林等技術職員研修	東京大学大学院農学 生命科学研究科附属 演習林	6	3
平成24年度中国・四国・近畿地区大学附属演習林等技術 職員研修	高知大学	10	3
第21回九州地区国立大学法人農学部附属演習林等技術 職員研修	宮崎大学	10	1
平成24年度北海道地区メンター養成研修	人事院北海道事務局	12	1
平成24年度国立大学法人北海道大学北方生物圏フイール ド科学センター森林圏ステーション技術職員研修	北海道大学	1	1
平成24年度附属施設実務研修(附属水産実験所)	東京大学大学院農学 生命科学研究科	6～10	1
平成24年度新規採用職員研修 I	東京大学	4	1
平成24年度東京大学新任教職員研修	東京大学	4	1
平成24年度東海地区農学部附属演習林等技術職員研修	静岡大学	10	1
第24回生物学技術研究会	基礎生物学研究所	2	1

事務職員

研 修 名	開 催 機 関 等	開催月	参加人数
平成24年度東京大学次世代リーダー育成研修	東京大学	9	2
平成24年度東京大学係長研修(初任者)	東京大学	9	1
平成24年度北海道地区セクシュアル・ハラスメント防止研修 (指導者養成コース)	人事院北海道事務局	10	1
平成24年度東京大学係長級研修(5年経験者)	東京大学	12	2
平成24年度財務会計研修	東京大学	1	1
財務会計研修(簿記編)	東京大学	11	1

■安全衛生■

下表のように安全・防災のための各種講習会を実施した。その他に各演習林の実情と必要性に応じ安全衛生のための定期的な会議や点検を実施、あるいは日常的な連絡・注意喚起のための態勢を整備してい

安全・防災のための講習会等

研 修 名	開 催 機 関 等	開催月	参加人数
刈払い機研修会	農学生命科学研究科 業務運営組織検討委 員会機械グループ	9	3
平成24年度教育研究安全衛生マネジメント システム説明会	農学生命科学研究科 環境安全管理室	4	1
枝打ち作業時留意点の確認(春の研修会)	千葉演習林	5	24
総合消防訓練及び救命法講習	千葉演習林	11	24
エビペン講習会	北海道演習林	6	35
高橋副室長による化学物質による講習会	北海道演習林	7	29
救急講習会	北海道演習林	10	37
避難訓練	北海道演習林	10	32
環境安全講習会	東京大学環境安全セ ンター	5	2
平成24年度第5回環境安全講習会	東京大学環境安全セ ンター	10	1
交通安全講習会	北海道演習林	11	36
平成24年度秋期化学物質等(化学物質・ UTCRI)S)取り扱い講習会	東京大学	11	2
リスクアセスメント実務研修会	林業・木材製造業労	12	1
スノーモビル安全運転講習会	北海道演習林	1	26
安全運転管理者講習	埼玉県公安委員会	6	1
平成24年度消火訓練	秩父演習林	8	17
枝打ち講習会	秩父演習林	11	12
交通安全講習	秩父警察署	12	19
メンタルヘルスセミナー	東京大学環境安全本 部	1	16
平成24年度消火訓練	秩父演習林	2	22
安全衛生講習(刈り払い機)	生態水文学研究所	11	8
防災訓練	生態調和農学機構	10	8
温泉管取扱講習会	樹芸研究所	6	4

資格取得のための講習等

研 修 名	開 催 機 関 等	開催月	参加人数
わな猟免許の更新	千葉県環境生活部自 然保護課	6	1
巻上げ機特別教育	林業・木材製造業労働 災害防止協会	10	19
伐木等(大径木等)特別教育	林業・木材製造業労働 災害防止協会	12	1
巻上げ機特別教育	キャタピラー教習所	9	3
巻上げ機特別教育	キャタピラー教習所	11	3
低圧電気取扱(限定付)特別教育	キャタピラー教習所	3	2
平成24年度森林情報士養成研修	日本森林技術協会	8	1
小型移動式クレーン技能講習	キャタピラー教習所埼玉 教習センター	12	1
平成24年度林業技士(森林土木部門)	日本森林技術協会	12	1
巻き上げ機特別教育	キャタピラー教習所埼玉 教習センター	1	2
中型自動車免許限定解除	秩父中央自動車学校	7	1

災害統計

2012年度は災害は14件、ヒヤリハットは12件であった。HHが12件であった。また、スノーモービルの横転などのHHが1件あった。また、鉋による切創が3件、ハチ刺されの災害が7件あった(7～8月)。

	教職員	学生	その他
重大及び休業災害(4日以上)			
休業災害(4日未満)			
不休災害	14件	1件	
災害合計	14件	1件	件
ヒヤリハットなど	12件		
そのうち設備災害	11件		

山火事予防活動

演習林名	名	称	開催場所	日程	参加人数
千葉	「千葉県山火事予防運動」周知		千葉演習林	2013.2.15	全職員
北海道	巡視・異常乾燥警報の発令依頼。注意喚起の幟、設置と撤去		北海道演習林一円	2012.4.19～5.31	全職員
北海道	林野火災消防訓練		北海道演習林内(オンコ沢)	2012.6.28	全職員
秩父	平成24年度消火訓練(大血川管内)		秩父演習林	2012.8.27	17
秩父	平成24年度消火訓練(栃本管内)		秩父演習林	2013.2.01	22

2012年度 人事異動

■人事異動■

日付	異動	新職名	氏名	旧職名
2012.4.1	昇任	附属演習林北海道演習林技術専門員	岡村 行治	同専門職員
2012.4.1	昇任	附属演習林秩父演習林技術専門職員	原口 竜成	同技術職員
2012.4.1	任命	附属演習林富士癒しの森研究所長	浅野 友子	附属演習林教育研究センター長
2012.4.1	免		石橋 整司	附属演習林富士癒しの森研究所長
2012.4.1	任命	附属演習林教育研究センター長	後藤 晋	
2012.4.1	勤務換	附属演習林秩父演習林講師	浅野 友子	附属演習林教育研究センター講師
2012.4.1	勤務換	附属演習林教育研究センター技術専門職員	米道 学	附属演習林千葉演習林技術専門職員
2012.4.1	勤務換	附属演習林企画部技術専門職員	犬飼 浩	附属演習林田無演習林技術専門職員
2012.4.1	勤務換	附属演習林富士癒しの森研究所技術専門職員	村瀬 一隆	附属演習林樹芸研究所技術専門職員
2012.4.1	勤務換	附属演習林秩父演習林技術専門職員	齋藤 俊浩	附属演習林教育研究センター技術専門職員
2012.4.1	勤務換	附属演習林田無演習林技術専門員	芝野 伸策	附属演習林企画部技術専門員
2012.4.1	勤務換	附属演習林生態水文学研究所技術専門職員	松井 理生	附属演習林北海道演習林技術専門職員
2012.4.1	勤務換	附属演習林北海道演習林技術専門職員	平田 雅和	附属演習林秩父演習林技術専門職員
2012.4.1	勤務換	附属演習林秩父演習林技術専門職員	才木 道雄	附属演習林生態水文学研究所技術専門職員
2012.9.1	昇任	附属演習林北海道演習林准教授	尾張 敏章	附属演習林北海道演習林講師
2012.9.1	昇任	附属演習林秩父演習林講師	平尾 聡秀	附属演習林秩父演習林助教
2013.1.1	採用	附属演習林秩父演習林助教	鈴木 智之	信州大学山岳科学総合研究所助教(特例雇用)
2013.3.31	任期满了退職		神塚 武一	附属演習林秩父演習林林業作業員(再雇用)
2013.3.31	任期满了退職		山中 千恵子	附属演習林千葉演習林技術職員(再雇用)
2013.3.31	任期满了退職		飯沼 利雄	附属演習林北海道演習林林業作業員(再雇用)
2012.4.1	配置換	医学部 主査(附属疾患生命工学センター)	早乙女 豊	総務課附属演習林秩父演習林事務室主査
2012.4.1	配置換	農学系総務課附属演習林秩父演習林事務室主任	亀原 弥生	医科学研究所総務課庶務係主任
2012.4.1	配置換	工学部総務課共同利用チーム主査	大村 栄	総務課附属演習林北海道演習林主査
2012.4.1	出向復帰	国立日高青少年自然の家総務課総務係長	山下 敦子	総務課附属演習林北海道演習林庶務係長
2012.4.1	昇任	総務課附属演習林北海道演習林庶務係長	横山 和宏	総務課附属演習林北海道演習林会計係主任
2012.4.1	在籍出向	農学系総務課附属演習林北海道演習林会計係主任	本田 貴一郎	苫小牧工業高等専門学校総務課施設管理係主任
2012.7.1	昇任	総務課附属演習林北海道演習林専門職員	幸路 英吉	物性研究所予算・決算係専門職員(係長級)
2013.3.31	定年退職	総務課千葉演習林事務室(再雇用)	根上 昌久	総務課千葉演習林事務室主査

■ 予算配分と収入 ■

予算配分

単位:千円

		2011年度	2012年度
配 分	当初配分	292,374	266,355 (前年赤字9,187千円分減額)
	市町村交付金相当額	69,190 (震災繰越18,900千円含)	43,249
	追加配分、協力金等	31,376 (その他)	7,664 (専攻協力金、特殊雇用指定経費等)
運 営 費	小 計	392,940	317,268
借 地 料	事項指定経費	7,964 (秩父・富士借地料支払)	8,069 (秩父・富士借地料支払)
合 計		400,904	325,337
収入不足戻し		-27,162	-3,716 (年度末に研究科へ返還)
指定経費残額			-201 (年度末に大学へ返還)
最終配分額		373,742	321,420

予算執行

執行額	387,299	研究科決算書執行額	312,734	財会システムデータ
残額	-13,557		8,686	

収入

林産物収入	:	96,727	99,130
損害賠償金	:	3,932 (立木補償等)	12,227 (立木補償等)
土地貸付料等	:	11,044	11,933
その他収入等	刊行物販売、講習料、不用品	2,705	1,401
合 計		114,408	124,691

演習林林産物収入細分表

区 分	立 木	素 材	そ の 他			合 計
			ヒサカキ	苗 木	残材等	
千葉演習林	483.790 m ³	m ³	24 束	本		1,843,000 円
	1,829,000 円	円	14,000 円	円		
北海道演習林	23,408.760 m ³	1,787.529 m ³	束	本		97,283,815 円
	55,321,700 円	41,962,115 円	円	円	円	
生態水文学研究所	0.080 m ³	m ³	束	本		3,000 円
	3,000 円	円	円	円	円	
合 計	23,892.63 m ³	1,787.529 m ³	24 kg	0 本		99,129,815 円
	57,153,700 円	41,962,115 円	14,000 円	0 円	0 円	

■組織図■

企画部・教育研究センター

組織(主任職員)		配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
演習林林長	教授 鈴木 雅 一		
企画部			
部長	教授 石 橋 整 司		事務補佐員 柴 田 ゆ う 子
統括技術長	技術専門職員 犬 飼 浩		
教育研究センター			
センター長	准教授 後 藤 晋	准教授 鴨 田 重 裕 (兼)	事務補佐員 小 林 ひ と み
		助教 前 原 忠	2012.4.1から2012.5.31 まで 2012.9.1から
		特任助教 三 浦 直 子	
		技術主任・技術専門職員	学術支援職員 藤 原 菜 生 子
		米 道 学 恵	
		技術職員 近 澤 静 恵	
		2012.11.1から育休	
		技術職員 瀬 戸 祥 子	
		2012.11.16から	
農学系事務部		研究支援チーム	
事務部長	紺 野 鉄 二	副課長 森 啓 介	
総務課長	伊 藤 嘉 朗	係長 古 川 稔 子	
経理課長	佐 納 悠 司		
教務課長	蔭 山 達 也		
		他事務部各係	

研究員・学生等

学生等	氏名
博士3年	ピンカンタヨン・パニサラ
博士3年	陳元君
博士2年	梯公平
博士2年	辰巳晋一
博士1年	テュウエ・テュウエ・ウイン
博士1年	ドゥラン・ホルヘ
修士2年	門脇希
修士2年	高田及倫予
修士2年	滝川寛之
修士1年	田神悠介
修士1年	平林毅一郎
学部4年	眞田知輝
学部4年	宮部涼太郎
研究生	スヤイフル・アムリ・サラギー

千葉演習林

組織(主任職員)			配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
林長	教授	山田 利博		
林長補佐	講師	廣嶋 卓也		
教育研究主任	講師	廣嶋 卓也(兼)		
主査		根上 昌久		
技術主任	技術専門職員	村川 功雄		
技術副主任	技術専門職員	鶴見 康幸		
事務係	事務室係長	根上 昌久(兼)		事務補佐員 舩津 由美子 2012.5.31まで
	事務室主任	野山 智		
	事務室主任	田山 勝則		
宿泊管理係	事務室主任	野山 智(兼)		臨時用務員 糟谷 育代 特任専門職員 京極 道子 特任専門職員 羽若部 理會 2012.6.1より
森林管理係	技術専門職員	塚越 剛史	技術専門職員 軽込 勉 技術職員 山中 千恵子 2013.3.31まで 技術職員 梁瀬 桐子 2012.10.1より	
施設係	主査	根上 昌久(兼)		
企画調整係	技術専門職員	藤平 晃司		
土木係	技術専門職員	大石 諭	技術専門職員 阿達 康眞(兼)	
試験係	助教	久本 洋子	助教 當山 啓介	
資料管理係	講師	廣嶋 卓也(兼)	技術職員 三次 充和	
清澄作業所	技術専門職員	鶴見 康幸(兼)	技術専門職員 阿達 康眞 技術専門職員 大塚 明宏 2012.4.4まで	特任専門職員 粕谷 善廣 技能補佐員 長谷川 二郎 技能補佐員 岡田 康則 特任専門職員 富川 勲 特任専門職員 加瀬 清己
札郷作業所	技術専門職員	里見 重成		臨時用務員 糟谷 育代(兼) 特任専門職員 宮原 はな 特任専門職員 吉田 龍三

北海道演習林

組織(主任職員)			配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)
林長	教授	芝野博文			
林長補佐	講師	尾張敏章			
	准教授	尾張敏章			
	2012.9.1から				
教育研究主任	助教	坂上大翼			
専門職員		幸路英吉			
		2012.7.1から			
技術主任	技術専門職員	井口和信			
庶務係	係長	横山和宏	主任	天山 学	事務補佐員 穴澤三恵子
会計係	係長	岡田教和	主任	本田貴一郎	
資産管理係	係長	米田久和			
企画調整係	技術専門職員	井口和信(兼)	技術専門職員	大川あゆ子	特任専門職員 岡本ヒサヨ 2012.5.1から 2012.10.31まで
					特任専門職員 石崎敏幸 2012.5.1から 2012.10.31まで
調査資料係	技術専門職員	笠原久臣	技術職員	中川雄治	特任専門職員 齊藤代糸子
			技術専門職員	大川あゆ子(兼)	
種苗造林係	技術専門職員	宅間隆二	技術職員	犬飼慎也	
生産販売係	技術専門員	岡村行治			特任専門職員 中陳いづみ 2012.4.5まで
					特任専門職員 高橋可奈 2012.6.1から
土木生産係(土木担当)技術専門職	磯崎靖雄		技術職員	及川 希	
			林業作業員	飯沼利雄(再)	
土木生産係(生産担当)技術専門職	平田雅和		技術専門職員	鈴木祐紀	
			技術職員	高橋功一	
			技術職員	遠國正樹	
調査第一係	技術専門職員	小池征寛	技術専門職員	岡平卓巳	
			技術職員	算用子麻未	
			農学特定支援員	西牧一俊	
調査第二係	技術専門職員	福士憲司	技術職員	井上 崇	
			技術職員	江口由典	
			技術職員	廣川俊英(再)	
試験係			教授	芝野博文	
			講師	尾張敏章	
			准教授	尾張敏章	
			2012.9.1から		
			助教	坂上大翼	
山部樹木園	技術専門職員	木村徳志	技術職員	小川 瞳	技能補佐員 内芝和江 2012.4.1から 2012.11.30まで
			技術職員	福岡 哲	技能補佐員 安藤佳子 2012.4.1から 2012.11.30まで
					技能補佐員 佐藤裕子 2012.4.1から 2012.11.30まで
					技能補佐員 中坪優子 2012.4.1から 2012.11.30まで
セミナーハウス 施設長		芝野博文	一般職員	横山和宏(兼)	技能補佐員 飯沼芳子 特任専門職員 杉原時子 臨時用務員 矢吹喜市 2012.4.1から 2012.11.30まで
					臨時用務員 米澤京子 2012.5.1から 2012.10.31まで

秩父演習林

組織(主任職員)			配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
林長	教授	鎌田直人		
林長補佐	講師	浅野友子		
事務室	専門職員	依田正明		臨時用務員 浅見美津子
	係長	草開泰之		
	主任	亀原弥生		
	主任	渡邊幸司		
教育研究主任	助教	平尾聡秀	助教 鈴木智之 2013.1.1から	特任研究員 藤井正典
	講師	2012.9.1から		
技術主任	技術専門職員	五十嵐勇治	技術職員 木村恒太 2012.5.1から	事務補佐員 富澤貴志
森林管理チーム	技術専門職員	原口竜成	技術専門職員 千嶋武 技術専門職員 才木道雄 技術専門職員 高德佳絵 (育休)	
利用促進チーム	技術専門職員	相川美絵子	技術専門職員 齊藤俊浩 技術職員 丹羽悠二 技術職員 吉田弓子	特任専門職員 新井容子 特任専門職員 島崎雅美
作業所チーム	技術専門職員	大村和也	技術専門職員 高野充広 技術職員 神塚武一	臨時用務員 山中五郎 臨時用務員 山中淑子 臨時用務員 浅見美津子(兼)
影森苗畑主任	技術専門職員	五十嵐勇治(兼)		

田無演習林

組織(主任職員)			配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
林長	講師	安村 直樹		
教育研究主任	助教	楠本 大		
技術主任	技術専門員	芝野 伸策	技術専門職員 栗田直明	技能補佐員 前田 克人 2012.9.30まで 技能補佐員 尾林 文男 2012.9.30まで 特任専門職員 石浦恭子 技術補佐員 後藤美津子

2012年度 組織図（生態水文学研究所・富士癒しの森研究所・樹芸研究所）

生態水文学研究所

組織(主任職員)			配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
所長 アドバイザー 気象水文データ管理室 2012.10.22まで	准教授 教授 准教授	蔵治光一郎 鷺谷いづみ 蔵治光一郎		
気象水文過去データ管理室 2012.10.23から	准教授	蔵治光一郎	助教 田中延亮	特任研究員 五名美江 特任専門職員 鎌田幸子 特任専門職員 加藤敦美 特任専門職員 乙部みどり 特任専門職員 五名美恵 2012.5.1から
教育研究主任 教育研究推進係	助教 助教	田中延亮 岩井紀子	技術専門職員 松井理生 技術専門職員 澤田晴雄 技術職員 後藤太成 2012.10.22まで	特任専門職員 鎌田幸子 特任専門職員 加藤敦美 特任専門職員 乙部みどり 2012.10.22まで 学術支援職員 新實夏美 2012.11.16から 特任研究員 五名美江 2012.10.23から
事務主任	事務室係長	平野圭二		事務補佐員 加藤正勝 事務補佐員 大地泰子
技術主任 研究林管理係	技術専門職員 技術専門職員	澤田晴雄 井上 淳	技術職員 渡部賢 技術職員 後藤太成 技術職員 荒木田きよみ	技能補佐員 波多野八重子 技能補佐員 胡桃沢清 技能補佐員 胡桃沢朝 特任専門職員 米山博 特任専門職員 遠藤隆宣 2012.4.30まで
環境安全推進者	技術専門職員	井上 淳	事務室係長 平野圭二 技術職員 後藤太成	

富士癒しの森研究所

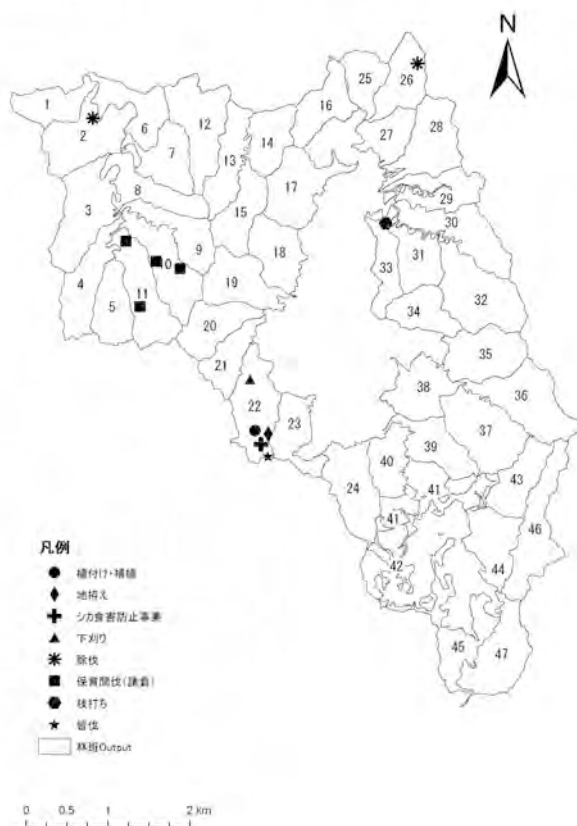
組織(主任職員)			配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
所長 所長補佐 教育研究主任 技術主任	講師 助教 助教 技術専門職員	浅野友子 藤原章雄 齋藤暖生 村瀬一隆		
			技術専門職員 西山教雄	臨時用務員 高村洋子 事務補佐員 齋藤純子

樹芸研究所

組織(主任職員)			配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
所長 所長補佐 技術主任	准教授 助教 技術専門職員	鴨田重裕 井上広喜 渡邊良広		
事務係 調査試験研究係			技術専門職員 辻良子(兼) 技術専門職員 辻良子 技術職員 小林徹行	技能補佐員 土屋福江 須藤和子 2012.9.30まで
森林管理係			技術専門職員 辻和明	技能補佐員 高橋 誠 大島浩子

■管理■

■管理業務実行位置図■ 千葉演習林

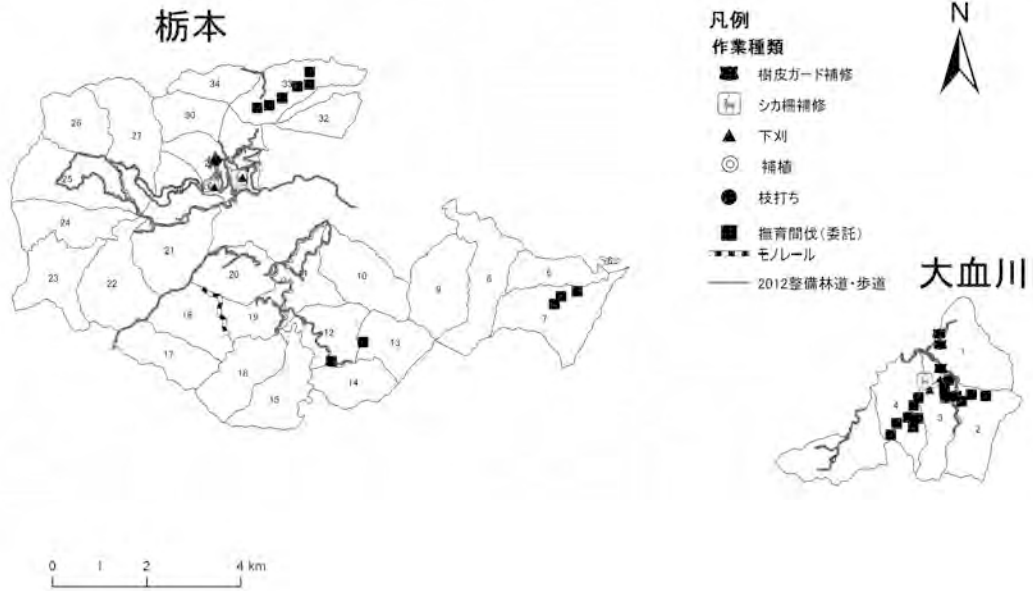


■管理業務実行位置図■ 北海道演習林

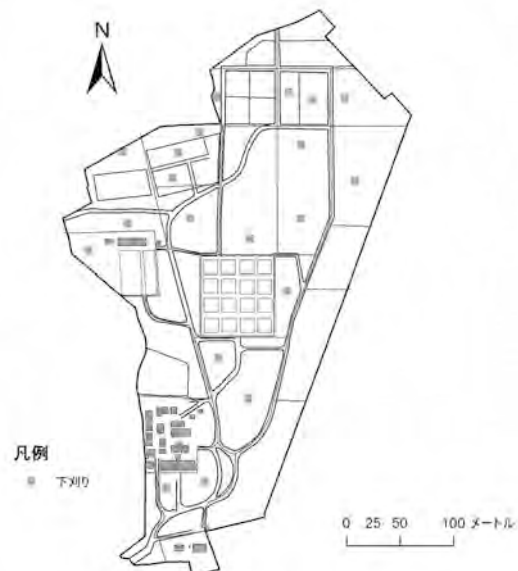
- 凡例
- 補付け・補植
 - ◆ 地植え
 - ✦ シカ食害防止事業
 - ▲ 下刈り
 - ✱ 除伐
 - 保育間伐(鎌刈)
 - 枝打ち
 - ★ 皆伐
 - 林道Output
- 試験地指定
- 天然林調査試験地指定
 - ⊙ 天然林調査試験地指定
 - ⊗ その他試験地指定



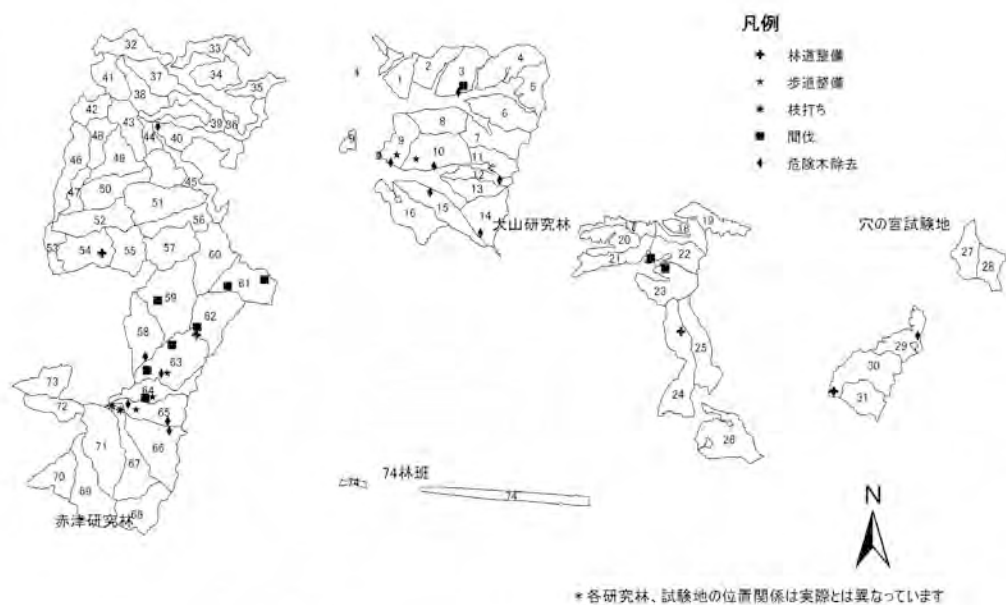
■管理業務実行位置図 ■ 秩父演習林



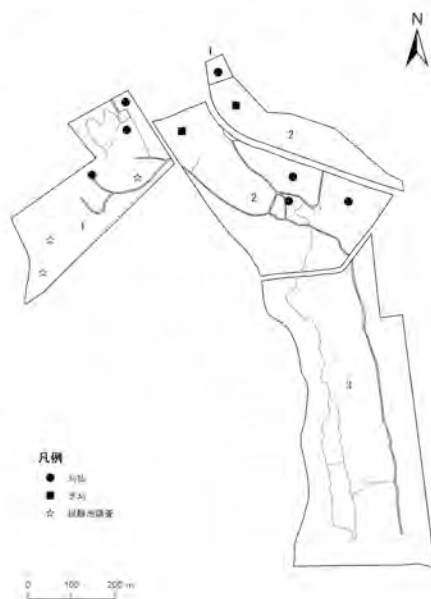
■管理業務実行位置図 ■ 田無演習林



■管理業務実行位置図■ 生態水文学研究所



■管理業務実行位置図■ 富士癒しの森研究所





2012年度 管理面積集計表・林相別蓄積集計表・植栽樹種

管理面積集計表

2012年4月1日現在
ha

	合計	樹 林 地								竹 林	伐 採 跡 地	未 立 木 地	そ の 他
		人工林				天然林							
		小計	針葉樹林	混交林	広葉樹林	小計	針葉樹林	混交林	広葉樹林				
千 葉	2,170	858	826	17	15	1,302		377	925	1			9
北海道	22,717	3,503	3,155	158	190	18,381		15,513	2,868			643	190
秩 父	5,812	767	749		18	4,986	199	778	4,009				59
田 無	9	6	2	3	1	0							3
生態水文	1,292	304	302		2	949		949					39
富 士	38	38	34	1	3	0							
樹 芸	246	109	50		59	106			106				31
合 計	32,284	5,585	5,118	179	288	25,724	199	17,617	7,908	1	0	643	331

※2012年度より、北海道演習林の針葉樹林は混交林へ区分した

林相別蓄積集計表

2012年4月1日現在

	m ³		
	計	人工林	天然林
千 葉	810,611	252,212	558,399
北 海 道	4,963,759	644,037	4,319,722
秩 父	1,462,189	360,322	1,101,867
田 無	1,900	1,900	
生態水文	239,026	84,928	154,098
富 士	11,462	11,462	
樹 芸	74,797	51,153	23,644
合 計	7,563,744	1,406,014	6,157,730

植栽樹種

	本			
	スギ	ヒノキ	クス	
千 葉	1,600	530	30	
北海道	トドマツ	エゾマツ	アカエゾマツ	カラマツ(スーパーF1)
	6,969	8,203	2,295	1,800
秩 父	ヒノキ			
	50			
田 無				
生態水文				
富 士				
樹 芸				

立木伐採量

		伐 採 材 積						利用 間伐 材積	主間伐 合計
		計	人工林		天然林				
			小計	針葉樹	広葉樹	小計	針葉樹		
千 葉	立木販売	481	479	479	2		2	3	484
	素材生産資材量								
	その他	179		179					
	合 計	660	479	658	2		2	3	484
北海道	立木販売	16,651			16,651	14,175	2,477	6,758	6,758
	素材生産資材量							526	526
	その他								
	合 計	16,651			16,651	14,175	2,477	7,283	7,283
秩 父	立木販売								
	素材生産資材量								
	その他								
	合 計								
田 無	立木販売								
	素材生産資材量								
	その他								
	合 計								
生態水文	立木販売								
	素材生産資材量								
	その他								
	合 計								
富 士	立木販売								
	素材生産資材量								
	その他								
	合 計								
樹 芸	立木販売								
	素材生産資材量								
	その他								
	合 計								
合 計	立木販売	17,132	479	479	16,653	14,175	2,479	6,761	7,242
	素材生産資材量							526	526
	その他	179		179					
	合 計	17,311	479	658	16,653	14,175	2,479	7,287	24,598

育林実行量

演習林名	地帯え		新植・補植その他植栽			下刈り		除伐		枝打ち		保育間伐		獣害対策(シカ柵設置など)		その他		
	林小班	面積 (ha)	備考	林小班	面積 (ha)	備考	林小班	面積 (ha)	備考	林小班	面積 (ha)	備考	林小班	面積 (ha)	備考	林小班	面積 (ha)	
千葉	2C10a-1	0.60		22C10a-1	0.53	2160	22C7	0.75	2C1	1.08	33C1-3	0.79	4m	10C4-2	1.34	請負	22C10a-1	0.37
千葉									22C2-2	2.39				10C5-4	1.24	"		
千葉														11C3-1	4.06	"		
千葉														11C3-2	"	"		
千葉														11C1-1	1.17	"		
北海道	8B	1.26		8B	1.26	1494	58A	0.90						71C	11.24		16B	0.26
北海道	8C	0.18		8C	0.18	150	98B	0.67									17A	1.25
北海道	9A	0.01		9A	0.01	12	29D	4.21	請負								18B	0.38
北海道	10B	5.71		10B	5.71	6870	58A	3.83	"								18D	6.14
北海道	35D	0.90	面積は 推定	14	3.56	1816	61AB	0.93	"								26A	0.08
北海道	40A	5.39		40A	5.39	6498	72D	2.11	"								32C	0.23
北海道	40B	0.09		40B	0.09	44	73D	0.28	"								33A	2.18
北海道	41A	0.06		41A	0.06	124	75B	1.49	"								33C	5.35
北海道	72D	2.11		72D	2.11	2201	94C	2.05	"								34D	1.53
北海道	88B	0.05		88B	0.05	58	94C	8.70	"								47B	0.34
北海道							96BC	4.45	"								57C	3.65
北海道							97C	0.34	"								68A	0.95
北海道							97C	20.67	"								71D	0.44
北海道							98B	11.32	"								72D	4.53
北海道																	74C	1.20
北海道																	74D	2.10
北海道																	74J	0.91
北海道																	74P	0.42
北海道																	77A	0.43
北海道																	87C	1.72
北海道																	87K	0.81
秩父				29い40	0.02	50	補植	0.70			29い4	1.20		2い1	5.57	請負(注1)	い3	3.75
秩父								0.22						2い2	3.45	"	い11	1.11
秩父							29い40	0.22						2い10	0.92	"	い29	1.14
秩父							31い23	1.18						2い11	0.95	"	3い23	0.70
秩父														3い7	0.58	"	3い30	0.70
秩父														3い17	3.32	"	29い40	シカ柵補修
秩父														3い18	1.56	"	31い23	0.22
秩父														3い24	4.88	"		1.18
秩父														3い25	2.11	"		"
秩父														4い12	4.02	"		"
秩父														4い14	1.44	"		"
秩父														4い15	2.83	"		"
秩父														4い16	1.15	"		"
秩父														4い18	2.55	"		"
秩父														4い19	2.16	"		"
秩父														7い1	11.32	"		"
秩父														7い2	8.74	"		"
秩父														7い7	1.16	"		"
秩父														12い8	3.24	"		"
秩父														13い5	4.70	"		"
秩父														33い1	0.64	"		"
秩父														33い3	0.90	"		"
秩父														33い4	6.21	"		"
秩父														33い5	8.25	"		"
秩父														33い8	1.56	"		"
秩父														33い9	0.77	"		"

注1. 埼玉県水源地域の森づくり事業により実施(積雪により一部で工期が2013年度まで延長された)。

[illegible]

2012年度 素材生産総括表・土木実行総括表・道路現況

素材生産総括表

m³

	素材生産資材量			素材生産量			歩留(%)		
	計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	平均	針葉樹	広葉樹
千 葉									
北海道	2,421.90	895.03	1,526.87	1,808.24	496.29	1,311.96	70.69	55.45	85.92
秩 父									
田 無									
生態水文									
富 士									
樹 芸									
合 計	2,421.90	895.03	1,526.87	1,808.24	496.29	1,311.96	70.69	55.45	85.92

土木実行総括表

m

千 葉	実行内容	林道維持	歩道維持	林道開設			
	実行数量	32,826	23,013	20.0			
北海道	実行内容	車道手入	崩壊修繕	砂利均し	除雪	請負草刈	請負砂利敷
	実行数量	46,450	2,500	40,200	17,800	234,500	1,400
秩 父	実行内容	車道開設	車道維持	歩道維持	モノレール維持		
	実行数量	2,205	13,859	50,609	3,067		
田 無	実行内容						
	実行数量						
生態水文	実行内容	林道草刈	林道補修				
	実行数量	5,250	800				
富 士	実行内容	車道草刈	歩道草刈				
	実行数量	600	900				
樹 芸	実行内容	車道草刈	歩道草刈				
	実行数量	5,937	1,708				

道路現況

m

	車道延長				歩道延長	
	林道延長	作業道延長	計	密度(m/ha)	延長	密度(m/ha)
千 葉	31,282		31,282	14.5	126,190	57.4
北海道	484,500	448,890	933,390	41.0	7,800	0.3
秩 父	11,395	4,669	16,064	2.8	181,391	31.2
田 無						
生態水文	11,840	1,500	13,340	10.3	12,400	9.6
富 士	2,087		2,087	54.9	2,357	62.0
樹 芸	3,486	3,657	7,143	29.0	11,753	47.8
合 計	544,590	458,716	1,003,306		341,891	208.3

各演習林所在地および連絡先

企画部・教育研究センター

〒113-8657
東京都文京区弥生1-1-1
電話 03-5841-5497
FAX 03-5841-5494

千葉演習林

〒299-5503
千葉県鴨川市天津770
電話 04-7094-0621
FAX 04-7094-2321

清澄作業所

〒299-5505
千葉県鴨川市清澄135
電話 04-7094-0585

札郷作業所

〒292-0537
千葉県君津市黄和田畑字前沢1442-1
電話 0439-39-3122

郷台作業所

〒292-0533
千葉県君津市折木沢字相ノ沢
電話 0439-39-3121

北海道演習林

〒079-1561
北海道富良野市山部東町9番61号
電話 0167-42-2111
FAX 0167-42-2689

セミナーハウス

〒076-0161
北海道富良野市字麓郷市街地1
電話 0167-29-2204

山部樹木園

〒079-7582
北海道富良野市字山部第一苗圃
電話 0167-39-6017

秩父演習林

〒368-0034
埼玉県秩父市日野田町1-1-49
電話 0494-22-0272
FAX 0494-23-9620

栃本作業所

〒369-1901
埼玉県秩父市大滝3450-2
電話 0494-55-0355
FAX 0494-55-0355

大血川作業所

〒369-1907
埼玉県秩父市大滝5198
電話 0494-54-1220

影森苗畑

〒369-1871
埼玉県秩父市大字下影森764
電話 0494-23-9768

生態水文学研究所

〒489-0031
愛知県瀬戸市五位塚町11-44
電話 0561-82-2371
FAX 0561-85-2838

赤津作業所

〒489-0014
愛知県瀬戸市北白坂町1-1

犬山作業所

〒484-0094
愛知県犬山市塔野地字大畔178-2

穴の宮試験地

〒489-0008
愛知県瀬戸市曽野町411-1

富士癒しの森研究所

〒401-0501
山梨県南都留郡山中湖村山中341-2
電話 0555-62-0012
FAX 0555-62-4798

樹芸研究所

〒415-0304
静岡県賀茂郡南伊豆町加納457
電話 0558-62-0021
FAX 0558-62-3170

青野作業所

〒415-0327
静岡県賀茂郡南伊豆町青野851
電話 0558-62-0254

田無演習林

〒188-0002
東京都西東京市緑町1-1-8
電話 042-461-1528
FAX 042-461-2302

演習林年報

平成25年 6 月30日

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林
文京区弥生 1 丁目 1 番 1 号

印刷・製本 明誠企画株式会社

